昭和58年3月25日発行　毎月1回25日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可

建　築　と　社　会

Vol.64 通巻 732号

特集●多様化する運動施設

3
1983



日本建築協会

クリヤマは、世界の眼で考えます。室内・屋外のスポーツ床材が基本である…と、

クリヤマはあらゆるスポーツ層の人びとが安全で快適なプレーのできるスポーツ床材と、そのシステムの研究開発を広く世界の眼で行っています。フランスのＢ．Ａ．Ｔ社、イタリアのモンド社の本格的スポーツ床材を使用目的、利用層などに応じて使えるすぐれた製品として、日本国内においても数多くの実績をもとにおすすめし、絶大な好評を得ています。



●摂津市鳥飼地区体育館



●トラック：スポーツフレックス・スーパーX使用

■取扱製品

taraflex sport floor ≪タラフレックス・スポーツ・フロア≫
オリンピックや世界選手権で採用。理想の室内スポーツ床材。

sportflex® super x ≪スポーツフレックス・スーパーX≫トラック競技用
オリンピック連続採用の実績。

sportflex® ≪スポーツフレックス≫テニスコート用
世界で使われているオールウェザータイプ(全天候型)。

輸入日本総発売元
栗山ゴム株式会社

本　　社　大阪市淀川区西中島１丁目12番４号　〒532　電話　大　阪　(06)　305―2871番(代表)
東京支店　東京都渋谷区南平台町15―13帝都渋谷ビル　〒150　電話　東　京　(03)　463―1841番(代表)
名古屋営業所　名古屋市中村区名駅３丁目16番22号　〒450　電話　名古屋　(052)586―1313番(代表)
名古屋ダイヤビルディング３階303―1号
支店営業所　福岡・岡山・広島・長崎・大分・尾道・高松・鳥栖・佐世保・北九州



神戸市・西神ニュータウン狩場神尻公園

私たちの遊具に対する考え方。

●私たちティンバーフォームは、子供たちのアウトドアでの遊びに、システマティックに取り組んでいます。私たちの物創りの最も基本的な考え方は、本当に子供のためになり、子供の望んでいる遊びを提供したいということ。そして遊具ひとつひとつの優劣を最終的に決めるのは、あくまで子供たち自身に他ならない、ということです。

実際、現在のティンバーフォームが完成するまでに私たちが辿った過程や遊びに対する分析は、昔ながらの遊具メーカーの手法とはまったく異なり、私たちは、まず、子供たちがどんな「遊び」を求めているか、そして子供たちにとって「遊び」はどんな意味をもっているかを分析するというまったく本質的な部分を研究することからスタートしています。

●「遊び」は、子供たちに欠かせない大切な仕事に他ならない。これが私たちティンバーフォームの結論です。子供たちは、遊びながら自分自身に目覚め、遊びを通して自分と廻りの世界との関わりを学び、遊びによって考えることや工夫することを知るのです。

そうした子供にとっての遊びの重要性を考えれば、遊びは単なる遊びではなく、遊具も単に思いつきや勘から生まれた遊具であってはならないはずです。必要なのは、子供たちの未知の能力を引き出し、より完全な人間性を培うことのできる遊び、そしてそのためのより良い環境(遊具)を創り出すことではないでしょうか。

●「遊び」は、子供たちにとってただ肉体の運動ではありません。子供たちは、遊びながら仲間とのコミュニケーションを体験し、助け合うことの素晴しさを経験するのです。言わば遊びによって心を養うのです。また、想像力というものは、子供の頃はいくらでも養うことができるものですが、子供たちは、最も単純な形からこそ想像力をかきたてられるものです。例えばロケットや駅馬車などを、精密に複製化することで子供たちの興味は誘えたとしても、そうした即物的な形の中には、もはや子供たちの想像力が入り込む余地はなく、従ってティンバーフォームとはまったく異質で無縁のものと言えましょう。

子供のためになり、子供の望みを叶えるために生まれた私たちティンバーフォームのコンセプト。それは、遊具(あるいは遊具を構成する各部分)は、子供の心と身体を育て、しかも心と身体によく馴染み、そのために、彼等の冒険心を満たし、変化に富み、かつ安全で、抽象性と自然性を備えたものでなければならないと考えます。

●冒険(Challenge)によって子供たちは、自分自身の素質を知ることができます。例えば、自分はどこまで高く、どれだけ早く登れるか。どれだけ長い間バランスを保つことができるか、といった様々な冒険に挑むことで、肉体の耐久力の限界を知り、また、自分自身の能力とかけ離れたことを行なうのが、いかに無意味であるかを、文字通り体験としてさとってゆくのです。しかも、冒険は、子供たちが遊びに求める最も基本的な面白味であり、中でも体力の限界に挑むといった肉体的な冒険を、子供たちはこの上なく好むものです。もし子供たちから冒険心を取り去ってしまえば、それは間違いなく、子供たちの健全な成熟への道を断ち切ってしまうことといっても良いでしょう。

●安全性(Safety)は、確かに遊具を設計する際に不可欠の要素です。がしかし、遊具を使う子供たちの安全を考え過ぎると、逆に、子供たちの興味を制限し、冒険心を満たせない無味乾燥の遊具となってしまいます。その結果、子供たちは、そうした遊具の機能があまりに単調なため見向きもせず、結局、彼らの冒険心を満たすための、もっと危険な遊びをさせてしまうことにもなりかねません。ブランコは、しばしば危ない発射台として使われていますし、滑り台にしても、子供たちがハシゴに列をつくって順番を待つような状況では、(より冒険を求めて)ちょっとした悪戯で押したり突いたりすれば、非常に危険なことは言うまでもありません。そして、どこの公園でも、こうした遊具はあり、その危険性についてはあまりにも野放しにされています。

つまり理想の遊具とは、安全性と冒険性という相反する条件を、いかにバランスさせるかにあるといえ、少なくとも本昇り程度の冒険性は持ち合わせ、例え子供たちにとってその遊具が未経験であったり、不慣れであっても、存分に冒険心をくすぐり、また十分に安全性が確保されたものでなければなりません。

●子供たちは、変化(Flexible)に富み、しかも適応性(Adaptable)に優れた遊戯環境を求めています。そこで私たちティンバーフォームは、単体モジュールを次々に組み合わせ、つなぎ合わせることのできる遊具システムを開発しています。これによってティンバーフォームは、子供たちの様々な要求に的確に応えるトータルな遊戯環境を創り出すことが可能です。これまでの固定した柔軟性のない遊具ではなく、縦横無尽に変化発展できる単体モジュールシステムならではの遊びの世界では、子供たちは画一的な遊び方ではなく、あくまで子供たち自身の発想を生かして自由な遊び方ができます。

●ティンバーフォームの遊具モジュールは、革新的な製作工法から生まれます。この工法は、既に10年以上も前にティンバーフォームが"遊び場革命"を起した時点で初めて世に示した技術です。ティンバーフォームのすべてのユニットは、多くの熟練した職人たちの手で、厳格な品質基準のもとに近代設備の工場で一貫生産されており、そのため、他の現場製作のものに比べて、はるかに高い品質と精度を実現し、そして優れた経済性を誇ります。

また、ティンバーフォームの製品の多くは、十分な重量と座りの良いデザインのため、ハイコストなコンクリートなどによる基礎工事の必要をなくし、必要であっても最少限に留めています。従って設置後の移動も可能ですし、また、据付も従来に比べ、簡単にできるため、高度な技術も熟練した職人の手も必要としません。

●ティンバーフォームの遊具システムは、単体モジュール化されているため、遊園設計者の方々に自由に選んでいただけます。しかも、選んだ個々のモジュールを、設計に合わせて様々に組み合わせることが可能なため、限りないバリエーションが生まれます。そのため、遊園地の全体計画の中に、望むままのものを理想的な形で採り入れることができるわけです。

●ティンバーフォームは、あくまで子供たちの可能性を信じ、ひとつでも多く子供たちについて知ることを出発点として、子供たちの心と身体を健全に育てる遊具を創り続けています。

The first name in wood for play

TIMBERFORM®

ティンバーフォーム木製システム遊具

■販売施工代理店

株式会社 創　　研
〒167 東京都杉並区荻窪5丁目10-21
TEL.03-393-5516

株式会社 根津商店
〒650 神戸市中央区元町通1丁目10-11
TEL.078-321-0786

株式会社 高 松 組
〒810 福岡市中央区薬院4丁目2-1
TEL.092-522-3931

株式会社 ソリッド
〒862 熊本市神水1丁目7-2
TEL.0963-84-2271

株式会社 スティック
〒900 那覇市西1丁目5-5-N709
TEL.0988-62-1677

■輸入総販売代理店

株式会社 ティムバーフォーム・ジャパン
〒673-02 神戸市西区富士見が丘1丁目13-3
TEL.078-994-1448



“脱木床”が始まっている。

▲富谷町立富ヶ丘小学校(宮城) ▼千里朝日会館体育館(大阪)



学校体育館や地域社会の体育施設で ACフロア55の高い安全性と耐久性 メンテナンスの容易さが認められました。

発売10年――木床にかわる新しい体育館床材

ACフロア55

講堂など多目的に使われる小・中・高校の体育館や、プレイルームともいえる地域社会の体育施設では、いま、ACフロア55が数多く採用され、高い評価をいただいています。

表層の滑りにくさや発泡層のクッション性が生む高い安全性、摩耗・腐触に強い塩ビリッチの表層による抜群の耐久性、水拭きだけで維持できるメンテナンスの容易さ、また、連続気泡の発泡層がもたらす静かさ・暖かさなど……

競技を目的とする本格的な体育館でも、それにふさわしい床構法でお応えするなど、ACフロア55は、木床にかわる新しい体育館床材として、十分な性能と備えをもっています。

★くわしくは資料をお求めください。

床を創る
TAJIMA

田島応用化工株式会社
〈田島グループ〉――田島ルーフィング
東京／〒101東京都千代田区岩本町3-11-13
☎(03)866-6101(代)
大阪／〒550大阪市西区京町堀1-10-5
☎(06)441-5951(代)

建築をかえる●暮らしをかえる――――ブリヂストンの建築用品



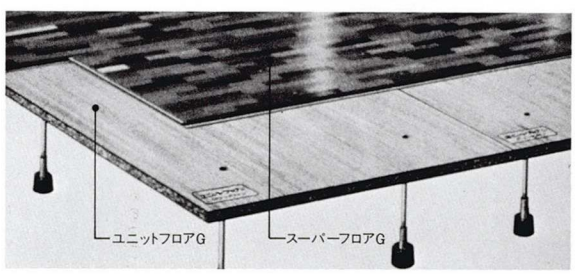
新しい時代の木質系スポーツフロアシステム。

●下地材から仕上げ材まで一体化したシステム

スポーツをする心を知りつくして生まれた、ブリヂストンのスポーツ施設専用フロアシステム、ユニットフロアG&スーパーフロアG。長時間運動しても疲労が少なく、関節などに障害の起こらないフロアを、というプレイヤーのニーズに的確に応える、その優れた特性が各地で好評を呼んでいます。さらに、下地材から仕上げ材までを一体化したブリヂストン独自の画期的なシステムが、工期を従来工法の約⅓に短縮、施工面での大幅なメリットを生みだします。●クッションゴムが床に適度な弾力性を与え、運動感が良く、安全性にも優れた床面をつくっています。●床下空間が広く換気通風性が良好のため、湿気を防ぎ床の寿命を長持ちさせます。●専用仕上げ材スーパーフロアGは積層構造ですので、反り・狂いが殆んどなく、従来のフローリングに比べて耐久性があります。●スーパーフロアGは大版床板のため、従来のように捨板を必要とせず工期を大幅に短縮します。●工業生産化された製品ですので品質が安定しており、安心して御使用頂けます。

スポーツフロア システム

スーパーユニット



BS ブリヂストン

ブリヂストンタイヤ株式会社 建築用品販売部　東京都中央区京橋1-10-1〒104 TEL03-567-0111(大代表)

MIZUNO
THE WORLD OF SPORTS



美津濃は施設づくりでも、先進のエキスパートです。

あらゆるスポーツ施設づくりに、美津濃ならではの優れた技術と経験豊かなスタッフのノウハウを結集。
企画から設計、監理、そして施工にいたるまで一貫したシステムで数多くの実績を築いてきました。
これからも、安全・強靱・機能性をあくことなく追求。
さらに高品質で優れたスポーツ施設づくりを目指し、一層の努力を続けます。

取扱い品目 ●総合グラウンド ●陸上競技場 ●野球場 ●テニスコート ●球技場多目的グラウンド ●プール ●学校施設・その他

お問い合わせ、資料のご請求は

美津濃株式会社 スポーツ施設部 建設大臣許可(特-55) 第4394号
美津濃一級建築士事務所(に) 第2690号

●大阪本社 〒541大阪市東区大川町25☎(06)202-1171●東京本社 〒101東京都千代田区神田小川町3-22☎(03)233-7235

建築と社会
©1917年創刊
第64集・1983

通巻732号 3

表紙デザイン：
水野哲雄（京都芸術短期大学講師）

特集予告
■4月号／建築と品質管理
■5月号／計画におけるコミュニケーションとグラフィックプレゼンテーション
■6月号／大阪駅とターミナルビル
■7月号／維持管理と設備更新

会　長　福田朝生
副会長　足立　孝・市川　宏
　　佐野正一・松村雄二

編集委員会（昭和57年度）

編集委員長	河津　隆之
横山　誠一	阪田　弘二
編集理事	＊澤柳　健
井上　滉	藤原庸二郎
今井潤之介	●施工材料分科会
今西　祥郎	＊岡田　善弘
小林　清	中尾　正
竹中　錬一	西牧　恵吉
武田　恭一	三浦　康夫
長谷部朗郎	横井　征夫
堀内　史郎	吉村　桂造
前野慶太郎	●法令分科会
松村　慶三	坂　雅勝
横山　誠一	＊中田　巌
渡辺　忠	（投稿欄小委員会）
編集委員	池口　和雄
（特集小委員）	嘉積　俊一
○福田　晴虔	谷崎　敏邦
●計画分科会	○羽生　克彦
岡田　信幸	早田　平
加藤　輝男	（作品作風小委員会）
柏木　浩一	卯田　隆一
川口　正春	○小野　為一
倉本　卿介	小野知佳子
＊田中　直人	佐々木昭男
竹本　俊平	志方　敬育
中馬　博良	高山　司郎
手嶋　純一	寺元　通夫
富川　薫	苫名　正
轟　泰輔	能丸　弘毅
藤本憲太郎	宮崎　宗久
船越　暉由	（広告企画小委員会）
宮口　恒樹	△荒川　治徳
山口　繁雄	池渕　俊男
●構造分科会	倉橋　岩夫
＊観音　延平	田中　功
柴田　道生	下前　裕一
田渕　基嗣	高田　茂
高橋　尚	棚橋　和夫
中西　尚晃	中河　克則
山口　猛	原田　常介
●設備分科会	福井　喜朗
磯田　憲生	○渡辺　忠
大倉　良司	

○副委員長＊幹事　△副委員長代行

編集人　松井昭光
印　刷　昭和58年3月20日
発　行　昭和58年3月25日
発行人　吉田悦二
発行所　（社）日本建築協会
　　大阪市東区北浜3－37
　　電　06－231－9648
　　振替口座　大阪1-39975
印刷所　日本写植印刷株式会社
　　電　06－606－1111㈹
　　大信印刷株式会社
　　電　06－451－7631㈹
　　株式会社研文社
　　電　06－314－0151
定　価　750円（送料別）

新建築
会告
スケッチブック
法令コーナー180
新建材紹介コーナー77
建築と社会ニュース
読者の頁
設計者のプロフィール
レポート
ニュース
日本建築総合試験所だより
都市気球3
建築の眼
特集
作品作風
事例紹介
総論
各論
資料
構造の頁103
設備の頁102
施工材料の頁101
月報

JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

CONTENTS

ARCHITECTURE AND SOCIETY

特集●多様化する運動施設

SPECIAL FEATURES ON THE DIVERSIFICATION OF SPORTS FACILITIES

芦屋浜シーサイドタウン（芦屋緑2）団地
……設計：兵庫県住宅供給公社・大成建設　施工：大成建設… 6
社団法人日本建築協会定款（一部変更）．通常総会決議お知らせ．建築工事実務講習会
広島で開催．信楽の神慈秀明会・教祖殿とやきもののまちを訪ねる．電通大阪ビル新
築工事の見学会．京の伝統工芸（錺金具）を見る―二条城と森本錺金具製作所を訪ねて―…… 9
最近竣工した新建築9点（No.1648～1656）…… 11
市街化調整区域における「開発許可」制度の取扱いの一部変更―大阪府の場合／熊谷賢一…… 12
ゴーエススラリー―ポリマーラテックスセメント系注入材／川村真次…… 15
住民発意のまちづくり活発に展開―神戸真野地区・丸山地区・御菅地区―．神戸具象彫刻
大賞展'83全国公募．大阪府立体育会館建て替え計画 ―昭和62年2月完成予定―…… 16
アメリカ建築巡礼記（その3）"落水荘"／小竹達也．"現代における数寄的世界とは"
―シンポジウムに参加して―／茶之木宏…… 17
中川洋一氏を訪ねる／柏木浩一…… 19
村野藤吾―建築とイメージ展／松井昭光，「村野藤吾」展に寄せて／香川清和 …… 20
第2回大阪都市景観建築賞決まる…… 22
建築技術安全審査委員会について…… 23
都市に物語（ストーリー）を／土屋敦夫…… 24
我々は"毒ガス"と"爆弾"と同居している／藤原　勉．建築構造と用途／白子典雄
情景－3－　／遠藤剛生．　住民参加／山本康雄…… 26

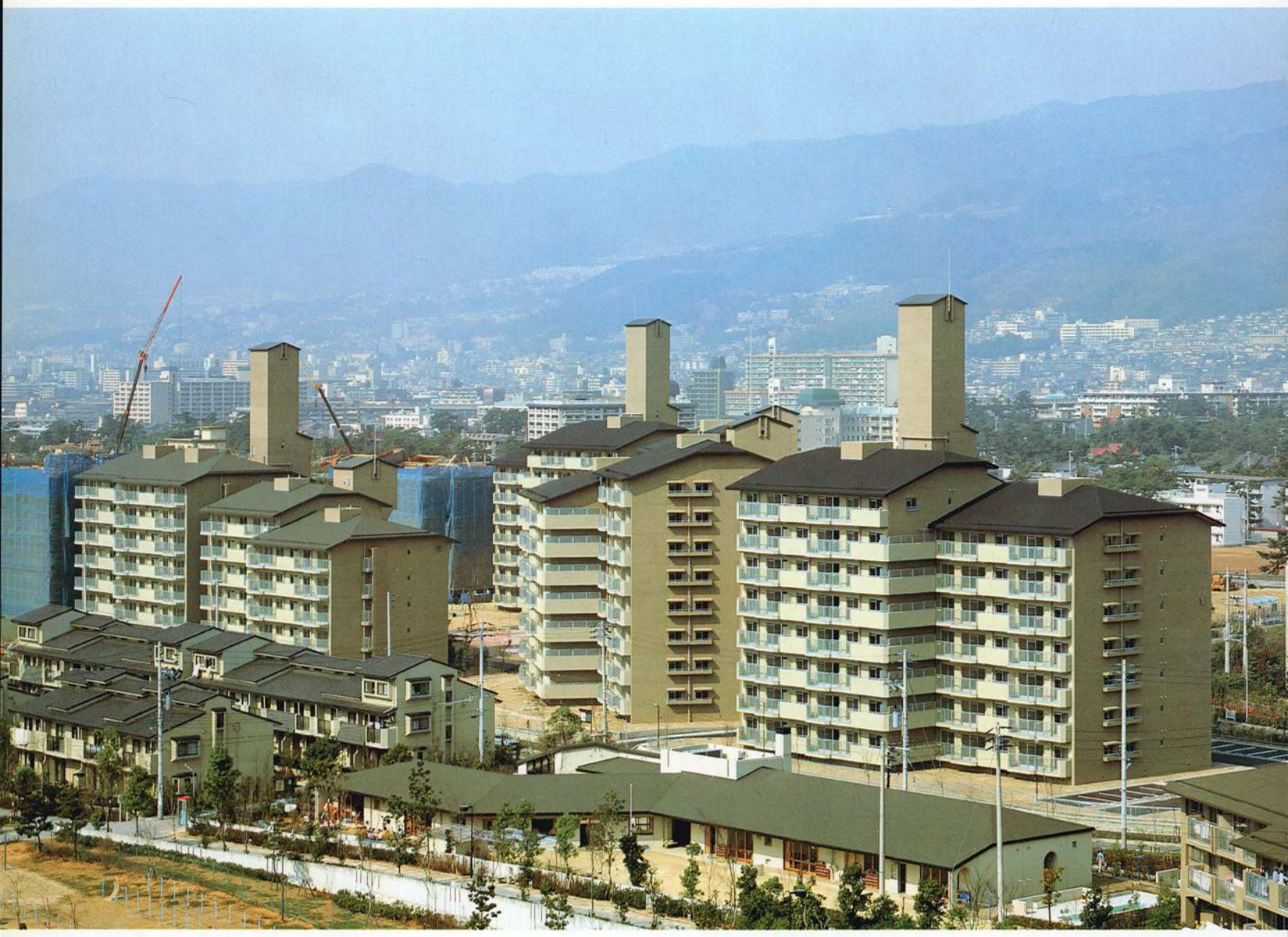
多様化する運動施設

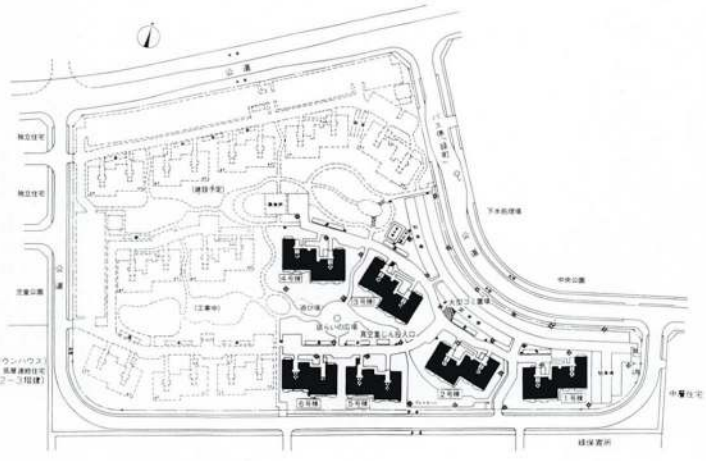
岡山市総合文化体育館
……設計：岡田新一設計事務所　施工：フジタ工業・安藤建設・松本組建設共同企業体… 28
武田記念体育館 ……設計施工：大林組… 30
ポートアイランドスポーツセンター体育館．大阪城国際文化スポーツホール．
神戸総合運動公園陸上競技場 …… 32
多様化する運動施設―最近の動向を考える ……嶋田勝次… 35
競技施設のパーソナル化
1．運動施設のインドア化―CBCスクェアーガーデン ……松井淳之・高山順行… 38
2．健康維持からの要請―兵庫県立健康センター ……辻　昇三… 40
3．家族的レクリエーションへの開放Ⅰ―山城総合運動公園（太陽が丘）…
……松岡正樹… 43
4．家族的レクリエーションへの開放Ⅱ―グリーンピア三木…… 加藤俊明… 45
社会体育と教育
1．社会体育施設の運営・利用についての私見 ……田口守隆… 49
2．鹿屋体育大学の役割 ……岡田参郎… 51
3．北米のフィットネス施設の動向 ……池田　勝… 54
競技場の基本寸法 ……美津濃スポーツ施設部… 58

木構造の変遷と地方性（その3）／宮本長二郎…… 76
視聴覚教室の設備（その2）／本吉知司…… 77
超大型油圧式破壊機による岩盤破砕／小川弘…… 78
日本建築協会月間の動き（昭和58年1月分）…… 79

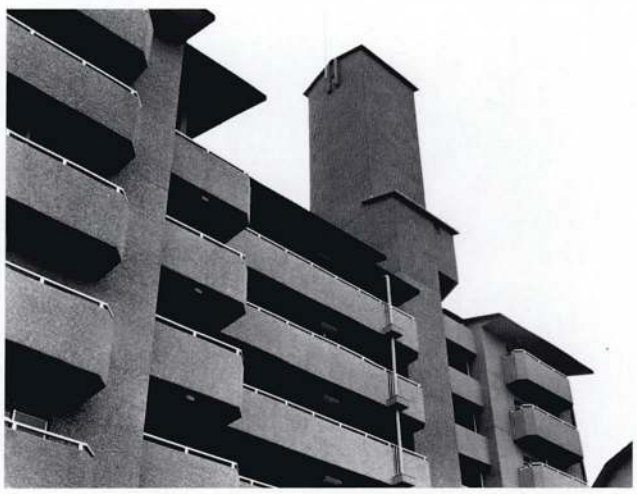
芦屋浜シーサイドタウン「芦屋緑2」団地

設計　兵庫県住宅供給公社・大成建設
施工　大成建設





配置図
1：4000



所 在 地　芦屋市緑町
敷地面積　36,508.5㎡
建築面積　3,026.7㎡（今回竣工分）
延床面積　19,182.8㎡（今回竣工分）
構造規模　RC、6～8階建、6棟（170戸）
工　　期　昭和56年6月～昭和58年1月

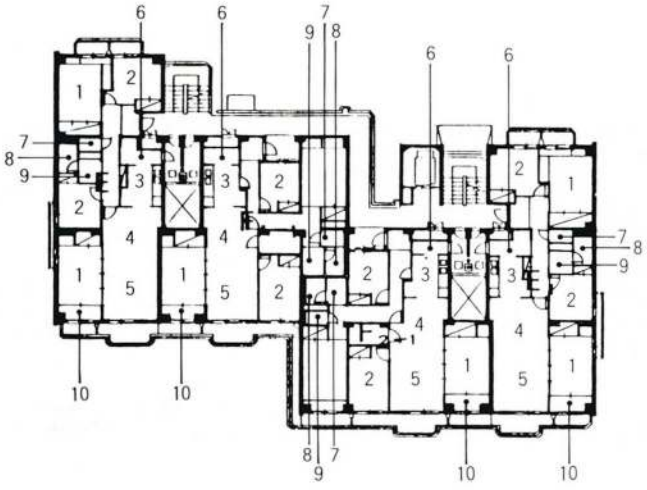
芦屋浜シーサイドタウンの一画を成すのが中層集合住宅団地「芦屋緑２」団地の計画です。当計画は、民間事業主体が設計段階から参画した、設計施工発注の方式で、今回その一部が完成しました。計画にあたっては「団地全体の建築形態が多様で画一的でなく、住環境として活力のある街づくりの指向」と「各住戸は永住可能な住居として種々の家族が要求する生活の多様性とライフステージに対応できるもの」を重視し、雁行型住棟とそれにとり囲まれながらもくつろぎのある中庭や、南面四室の住居を含めた各住戸には勝手口や光庭（吹抜）に面するサービスバルコニーを配慮し和室には各住戸バリエーションのある床の間を設けるなど、いわゆる“一戸建感覚”に近い間取りとし、豊かな営なみの生まれる「永住」のための環境づくりを心がけました。





撮影：東出清彦





1．和室６帖
2．洋室
3．台所
4．食堂
5．居間
6．ユーティリティ
7．便所
8．浴室
9．洗面所
10．広縁

４号棟２～７階平面図
1：450

昭和58年２月23日通常総会で承認

社団法人 日本建築協会定款（抜萃）

現行条文

第 19 条　本会に次の役員を置く

会　長　　1　名
副会長　　2　名　以上
理　事　　16　名　以上
支部長　　若干名
監　事　　2　名　以上
評議事　　若干名

会長、副会長及び理事を以て、民法上の理事とする。

第 20 条　監事及び評議員は総会で、会長、副会長及び理事は評議員会で、正会員中からこれを選任する。支部長は、支部規程により、支部所属正会員の互選によって選任する。

第 21 条　役員の任期は２年とし、選任年度の次期の事業年度初からこれを起算する。但し、評議員の任期は、選任年度の３月からこれを起算する。

役員は、同一の役員に重任することができない。但し、特別の事情あるときは夫々の選任機関の承認を得て重任することが出来る。

会長、支部長、及び常務理事を除く役員は、毎年その半数を改選する。役員に欠員を生じたときは、これを補選する。但し、第19条に掲げる最低数を欠かないときは、次の評議員会において承認を得たうえ、次の改選期まで補選しないことができる。

補選に依る役員の任期は、前任者の残期間とする。

第 22 条　会長は、会務を総理し、本会を代表し、総会及び理事会の議長となる。副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。

第 23 条　会長、副会長、理事及び支部長は、理事会を組織して会務を執行する。

理事会の議事は出席者の過半数でこれを決し、可否同数の場合には、議長の決するところによる。

理事会に出席できない者は、書面で議決に参加し又は他の出席者に委任して、議決権を行使することを妨げない。

第 24 条　理事会は、理事中から又は理事以外の者から、常務理事若干名を選任することが出来る。理事以外から選任された常務理事は、これを第19条による理事とする。但しこの場合には選任後評議員会の承認を得なければならない。

常務理事は、会長、副会長を補佐し、常時会務を処理し、会長、副会長事故あるときは、その職務を代理する。

第 25 条　支部長は、支部を代表し、支部の会務を執行する。

第 45 条　財産目録及び貸借対照表は、毎事業年度末現在によりこれを調整する。

前年度の収支決算、財産目録、貸借対照表及び事業報告書は、毎年６月迄に常務理事又は担当理事がこれを調整し、理事会の議決を経て、監事に提出しなければならない。

監事は、前項の書類を受理したときは、これを監査し意見を附して、総会及び評議員会に報告しなければならない。

変更条文

第 19 条　本会に次の役員を置く

会　長　　1　名
副会長　　**5 名以内**
理　事　　**40名以上50名以内（専務理事、常務理事を含む）**
支部長　　若干名
監　事　　**3 名以内**
評議員　　若干名

会長、副会長及び理事を以て、民法上の理事とする。

第 20 条　監事及び評議員は総会で、会長、副会長及び理事は評議員会で、正会員中からこれを選任する。支部長は、支部規程により、支部所属正会員の互選によって選任する。

第 21 条　専務理事、常務理事は、第20条の規定にかかわらず、理事会の承認を得て、会長がこれを任命する。

理事の内、若干名を常任理事に委嘱することができる。

第 22 条　役員の任期は２年とし、選任年度の次期の事業年度初からこれを起算する。但し、評議員の任期は、選任年度の３月からこれを起算する。

役員は、同一の役員に重任することができない。但し、特別の事情あるときは夫々の選任機関の承認を得て重任することが**できる。**

会長、支部長、**専務理事**及び常務理事を除く役員は、毎年その半数を改選する。役員に欠員を生じたときは、これを補選する。但し、第19条に掲げる最低数を欠かないときは、次の評議員会において承認を得たうえ、次の改選期まで補選しないことができる。

補選に依る役員の任期は、前任者の残期間とする。

第 23 条　会長は、会務を総理し、本会を代表し、総会及び理事会の議長となる。副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。

専務理事及び常務理事は、会長の指揮を受けて業務を処理する。

第 24 条　会長、副会長**及び理事**は、理事会を組織して会務を執行する。

理事会の議事は出席者の過半数でこれを決し、可否同数の場合には、議長の決するところによる。

理事会に出席できない者は、書面で議決に参加し又は他の出席者に委任して、議決権を行使することを妨げない。

第 25 条　支部長は、支部を代表し、支部の会務を執行する。

支部長は、理事会に出席して意見を述べることができる。但し議決に加わることはできない。

第 45 条　財産目録及び貸借対照表は、毎事業年度末現在によりこれを調整する。

前年度の収支決算、財産目録、貸借対照表及び事業報告書は、毎年６月迄に**専務**理事又は**常務**理事がこれを調整し、理事会の議決を経て、監事に提出しなければならない。

監事は、前項の書類を受理したときは、これを監査し意見を附して、総会及び評議員会に報告しなければならない。

◀通常総会決議お知らせ

昭和58年２月23日開催の通常総会におきまして、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせ致します。

記

(1) 監事１名、本部所属評議員21名選挙の件
投票の結果、下記の方々が当選せられました。(敬称略)

監事

井上　滉(大建設計)

本部所属評議員

(技術部門)

大下　順良(平和建設)
竹原永一郎(伊東建築設計事務所)
辰巳　詢二(府建築部営繕室)
平川　玄治(修成建設専門学校)

(総合部門)

井上　司郎(松村組)
内村　俊一(大日本土木)
岡　幸夫(安藤建設)
阪上　貞男(鉄建建設)
白石　静二(鴻池組)
百瀬　正信(西松建設)
森川　祐二(三井建設)
川崎　敬三(近畿建設)
水間　義雄(水間組)

(電気部門)

姉川　正男(東光電気工事)
鳴尾　源蔵(大阪電気暖房)
若山　繁(近畿電気工事)

(管工部門)

岩井　市郎(大気社)
川瀬甲子雄(扶桑管工業)
松本　亮二(清水工業所)

(建材部門)

加藤忠三郎(平田タイル)
細野　松雄(三友工業)

(2) 定款一部変更の件
役員の定数に歯止めを設け、常任理事制、専務理事を置くことができるよう、前頁のとおり定款の一部を変更しました。

寄附金の受領
このたび名誉正会員白石登喜男氏より、事業資金の一部として金壱封のご寄附を頂戴いたしました。ここに誌して厚く御礼申し上げます。
社団法人　日本建築協会

◀建築工事実務講習会広島で開催

建築工事の実務に、すぐに役立つ講義として好評のある上記講習会を下記のとおり開催することになりました。

今回は、テキストを全面的に改訂し、技術の進歩に即応した最新の知識の修得をはかるとともに、地下１階、地上５階ビルの着工から完成に至るまでの実例をとりあげました。

記

日　時　昭和58年**3**月**28**日(月) 午前９時～午後５時
会　場　中特会館３Ｆ会議室（広島市中区幟町３－７）
ＴＥＬ 082－221－0518
科目講師　**施工計画**　大林組本店建築工務部次長　金田　宏氏
仮設見積　大林組広島支店工務部工務課長　古荘　昭憲氏
積算業務　竹中工務店大阪本店見積課長　黒川征一郎氏
定　員　100 名
会　費　11,000円（含テキスト代）
テキスト体裁：Ｂ５判・図表入り285頁。
他にモデル建物見積書及びモデル建物設計図集あり。
申込方法　会費を添えて広島県建築士会までお申込み下さい。
申込締切　58年３月22日(定員に達し次第締切)
申込先　（社）広島県建築士会
〒730 広島市中区国泰寺町１丁目８－４(日興ビル)
共　催　㈱日本建築協会・㈳広島県建築士会
㈱広島県建設工業協会
後　援　㈳日本建築材料協会中国四部

◀信楽の神慈秀明会･教祖殿とやきもののまちを訪ねる

(大塚オーミ陶業㈱・近江化学陶器㈱の見学)

昨年５月、建設工事中の見学に参りました神慈秀明会・教祖殿は基本設計者のミノル・ヤマサキ氏のデザインイメージ〈富士山の形態〉による新しい造形の巨大な神苑で完成も真近に迫り、５月初めの落慶式を前にして最後の仕上工事が進んでおります。

このたび、神慈秀明会のご厚意により竣工直前に再度見学できることになりました。

同時に今回は、久びさに1,300年の歴史をもつ、やきもののまち「信楽」を訪ね、大型陶板工場とタイル工場で信楽焼のあたたかな肌ざわりにふれ、新しい芸術陶板のかずかずを見学いたします。

早春の週末旅行に多数ご参加お申込みをお待ちします。

この催しには清水建設株式会社と大塚オーミ陶業株式会社並びに近江化学陶器株式会社にご協力をいただきました。

なお、今回は、神慈秀明会現場の都合で大阪府建築士会と期せずして同日の催しになりましたが、コース、見学先が異なりますので、いずれか１ヵ所へお申込み願います。

日　時　**3**月**26**日(土)　集合 9：00→解散 18：00ごろ
晴雨不問・全行程貸切バス利用
集合場所　大阪・国鉄、大阪駅西口ガード下（中央郵便局の北側の高架下）付近
目標会旗
◎全行程貸切バスのため解散時間、その他の変更もあります。
定　員　40名（バス１台）
参加会費　会　員　1,000円
会員外　1,500円　（バス代、昼食代の一部）当日いただきます。
主なスケジュール
● 午前→神慈秀明会・教祖殿の見学
● 午後→大塚オーミ陶業㈱、近江化学陶器㈱の見学
申込方法　**電話申込みといたします。**　３月22日(火)までに氏名・勤務先名・所属部課名・年令・連絡電話番号・参加証送付先を建築協会事業課（ＴＥＬ 06－231－9640）へお申越し下さい。参加証をお送りいたします。





〈神慈秀明会・教祖殿〉・建築概要

所在地	滋賀県甲賀郡信楽町大字田代	延床面積	16,240㎡
建築主	宗教法人　神慈秀明会	階数	地下１階、地上１階
基本設計	ミノル・ヤマサキ・アンド・アソシエーツ	最高高さ	46.4m
実施設計・監理	伊東建築設計事務所 日本設計事務所 坪井善勝研究室、その他	構造	・礼拝堂…地下部分／ＲＣ・ＳＲＣ造、地上部分／Ｓ造 ・エントランスホワイエ…地下部分／ＳＲＣ造、地上部分／Ｓ造 ・神殿…地上部分／ＳＲＣ造
施工	清水建設株式会社	工期	昭和55年６月→昭和58年３月
敷地面積	971,516㎡		
建築面積	6,433㎡		

〈近江化学陶器(株)のオーミタイル〉

創業明治７年、会社設立昭和16年の近江化学陶器（株）は、天平の昔より信楽焼として著名な信楽の地で、恵まれた素材と100 余年の彩技術により現代建築にマッチしたすぐれた「オーミタイル」を生みだし、特別注文システムを採用し、美しく、よりたくましいタイルの製造に専念されています。

〈大塚オーミ陶業株式会社の陶板〉

同社は、昭和48年に大塚化学薬品株式会社と近江化学陶器株式会社により、大型陶板の製法、施工法を確立した合弁会社として設立されました。この陶板は、従来の焼物特有のあたたかさ、神秘性、オリジナリティを兼ね備え、自由な表現による新しい分野の大型芸術陶板として開発されたもので、レリーフ、線彫、スクラッチなど、立体技法を駆使した豊かな表現力と永遠の美しさを保存できる焼物のもつ特長により、現代の建物の「顔」として、あらゆる方面で採用されています。



◀電通大阪ビル新築工事の見学会

大阪市の大阪駅前再開発による４棟のビルの完工に伴い、周辺のオフィスビルの建設工事が盛況を極め、大阪の表玄関付近には次つぎとユニークなビルの出現がみられます。

電通大阪ビルは、㈱電通が、情報社会の代表的な企業として地理的に朝日、毎日両新聞社に最寄りの立地条件を考慮した堂島タケナカホールの跡地に建設される専用事務所ビルです。

内部は、大ホール、スタジオ、試写室をはじめ電通独特の施設に加え、センターコア方式による使い勝手のよい快適なオフィス環境を確保された設備を有し、今後のオフィス空間の示唆的な存在といえます。また、外装をアルミパネルによるカーテンウオール仕上げとし、特に１、２階は花崗石打込ＰＣ板の渋い色調が重厚さを増し、現代の最高の品質と設備を備えた格調高いオフィスビルです。

なお、外回りには貴重な敷地を遊歩道、公開空地に提供され、特に植栽には心を配っておられます。

今回は(株)電通の特別のご厚意と(株)槇総合計画事務所並びに㈱竹中工務店のご協力により竣工直後に見学をさせていただくことになりました。多数ご参加下さい。

日　　時　**4**月**12**日(火)　集合14：00→解散16：30

集合場所　同上ビル正面玄関前付近・目標会旗

ただし、大阪・梅田・国鉄大阪駅西口前より南へ（四ツ橋筋）→桜橋交差点を越えて約100ｍの向かって右側の近鉄堂島ビルの角を右折し（向かい側に大阪毎日ホールあり）最初の四ツ辻の左側角。（梅田より徒歩約10分所要）

定　　員　40名

参加会費　会　員　500　円
会員外　700　円　（当日受付でいただきます。）

申込方法　往復ハガキ１名に１枚限りとし、氏名・勤務先名・所属部課名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し「大阪電通ビルの見学」と明記の上４月４日(月)までに建築協会事業課へ。

建築概要

建 築 地	大阪市北区堂島中２丁目17－１
建 築 主	株式会社　電通
設計監理	株式会社　槇総合計画事務所
施　　工	株式会社　竹中工務店
建物用途	事務所（専用事務所）
構造規模	地上、鉄骨造、地下、鉄骨鉄筋コンクリート造 地下２階、地上13階、塔屋１階
高　　さ	最高高さ58.15ｍ　最高軒高57.4ｍ
敷地面積	5,015.1㎡　（歩道提供184.98㎡・公開空地483.32㎡）
建築面積	1,716.9㎡
延床面積	23,597.7㎡
外装仕上	１、２階〔ＰＣポルトガル産花崗石　ＪＰ仕上〕 ３階以上〔アルミカーテンウオール　アルマイト仕上〕
駐車台数	法定　66台
工　　期	昭和56年４月→昭和58年３月末



◀京の伝統工芸(錺金具)を見る
二条城と森本錺金具製作所を訪ねて



錺金具
釘隠し
森本錺金具製作所



製作中の三代目森本安之助氏▶

古来、日本の建築美をささえてきたもののひとつに錺金具があります。

手工の職人技で創業以来約100年。確固たる文化を築いてこられた三代・森本安之助氏の仕事場をたずね、日頃拝見できない建築錺金具のかずかずをご紹介していただくことになりました。

また今回は、最初に森本氏の復原作品の多くが用いられている二条城を訪れ、氏の精巧な作品を身近に見学し、現場でのご説明もお願いしております。

陽春の京の散策をかねて多数ご参加をお待ちします。

日　　時　**4**月**23**日(土)　集合13：00→解散17：00　（晴雨不問）

集合場所　京都・二条城、東大手門入口前付近（堀川通）・目標会旗
（京都市上京区堀川二条）

〔参考〕集合所までの交通費は各自ご負担願います。
京都より→国鉄・京都駅前より市バス９番乗車→二条城前下車。
阪急電車・四条大宮駅より東へ徒歩５分→堀川通より
市バス９番乗車→二条城前下車、すぐ前
◎その他詳細道順は参加証にてお知らせします。

講　　師　佃　　忠夫氏（文化財建造物保存技術協会委員）
森本安之助氏（株式会社森本錺金具製作所社長）

定　　員　25名

参加会費　会　員　1,200円
会員外　1,500円　（拝観料、タクシー代、その他）当日いただきます。

申込方法　往復はがき１名に１枚限りとし、氏名・年令・勤務先名・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を必ず記入し、「京の伝統工芸を見る」と明記の上４月11日(月)までに建築協会事業課へ、見学先の都合で定員を超過した場合は会員優先にて抽せんで決定しますから必ず会員、会員外の区別をご記入願います。

〔見学先の紹介〕

●二条城

慶長８年（1603年）徳川家康の造営といわれ、三代家光が増築し、徳川家代々の京都屋敷で、将軍上洛の時の居城である。天守閣、本丸殿舎などは焼失し、残っている主要建物は二の丸御殿で５棟よりなり、車寄や、遠侍、大広間、黒書院、白書院がある。また桃山時代の華麗な美術を代表する欄間の彫刻、狩野探幽一門の襖絵などがあり、二の丸庭園は豪壮な蓬莱形式である。

●森本錺金具製作所

明治10年(1877年)初代森本安之助氏が錺職として錺金具の製作業を創設し、以来約100年に亘り終始錺金具の製造に専念され、現在、敏夫氏が三代目安之助を襲名。わが国の代表的な錺金具製作者として、国宝・重文建造物の錺金具工事の復原、伊勢神宮正殿その他一式の錺金具をはじめ、全国の著名な神社、仏閣で森本氏の作品を見ない所がないといわれている。また、三代安之助氏は、現代の建築に錺金具を取り入れる意欲的な仕事を計画されて、情熱を持ちつづけておられます。

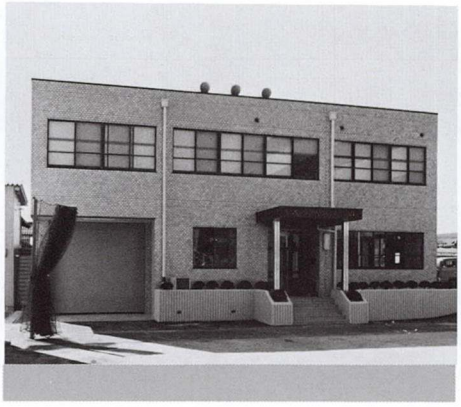
〔備考〕貴重な錺金具の総カタログを、当日参加者全員にいただくことになっております。

■写真と概要をどしどしお送り下さい。
凡例：a．所在地　b．敷地面積　c．建築面積　c．延床面積　e．構造規模　f．工期　g．最寄駅



1648 **滋賀県動物保護管理センター**

県　設計：滋賀県建築設計監理事業協同組合
施工：西村建設
a．滋賀県甲賀郡甲西町大字岩根字焼尾136-38
b．30,145.00㎡
c．　784.57㎡
d．　662.65㎡
e．RC、1F
f．昭和56年9月～昭和57年3月
g．草津線、三雲駅



1649 **長浜地方職員会館**

設計：大村建築設計事務所
施工：茂森工務店
a．長浜市平方町1152－2
b．6,655.0㎡
c．　209.4㎡
d．　395.5㎡
e．RC、2F
f．昭和56年9月～昭和57年3月
g．北陸線、長浜駅



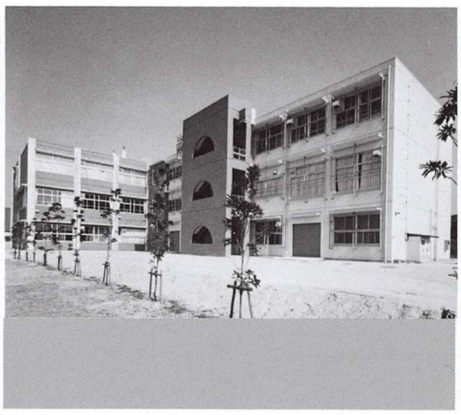
1650 **草津高等学校**

設計：滋賀県建築設計監理事業協同組合
施工：(第1工区)東レエンジニアリング
(第2工区)北中工務店
a．草津市木ノ川町955－6
b．39,770㎡
c．2,218㎡
d．6,648㎡
e．RC他、4F
f．昭和56年7月～昭和57年3月
g．東海道線、草津駅



1651 **琵琶湖研究所**

設計：浦辺建築事務所
施工：松井工業
a．大津市打出浜24－2
b．3,995.00㎡
c．1,160.83㎡
d．2,999.94㎡
e．RC、3F（1F）
f．昭和56年12月～昭和57年10月
g．東海道本線、大津駅



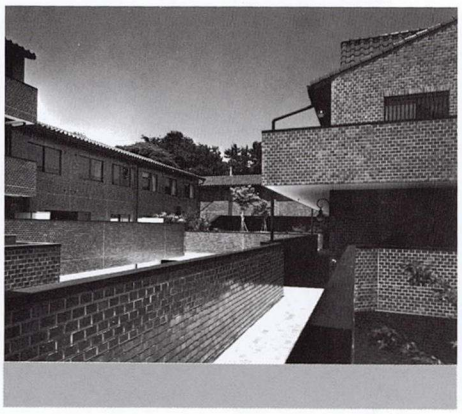
1652 **瀬田工業高等学校実習棟**

設計：滋賀県建築設計監理事業協同組合
施工：大輪建設
a．大津市神領3丁目
b．44,348.61㎡
c．1,569.40㎡
d．3,859.66㎡
e．RC他、3F（1F）
f．昭和56年10月～昭和57年10月
g．東海道本線、石山駅



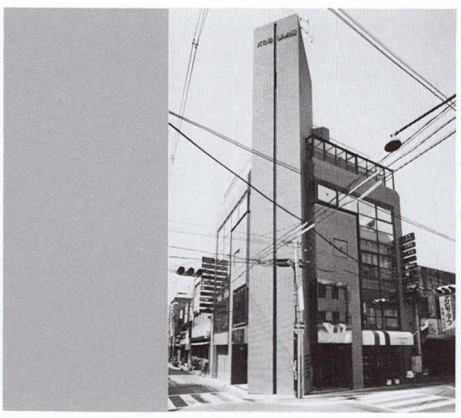
1653 **八日市南高等学校本館棟**

設計：滋賀県建築設計監理事業協同組合
施工：丸八建設
a．八日市市春日町
b．68,693.00㎡
c．1,099.82㎡
d．3,666.23㎡
e．本館棟RC、4F
f．昭和56年8月～昭和57年10月
g．近江鉄道、八日市駅



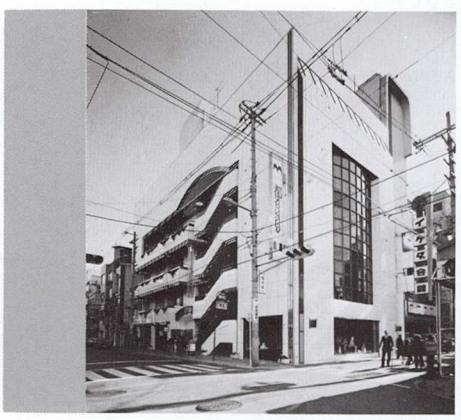
1654 **ネオハイツベルビュ**

設計：藏建築設計事務所
施工：戸田建設
a．東京都大田区中央5丁目29番1号
b．5,487.59㎡
c．2,682.64㎡
d．5,402.82㎡
e．RC、2F、B1
f．昭和55年6月～昭和56年4月
g．都営地下鉄浅草線、西馬込駅



1655 **小角ビル**

設計：藏建築設計事務所
施工：松井建設
a．大阪市南区大宝寺町46番地の3
b．110.40㎡
c．98.11㎡
d．486.67㎡
e．S、6F
f．昭和56年5月～昭和56年12月
g．地下鉄御堂筋線、心斎橋



1656 **都ファッションビル**

設計：藏建築設計事務所
施工：大末建設
a．大阪市南区畳屋町6－1
b．　418.78㎡
c．　384.06㎡
d．2,311.08㎡
e．S、5F
f．昭和55年4月～昭和56年1月
g．地下鉄御堂筋線、心斎橋

日本建築協会法規委員会

法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

180

市街化調整区域における「開発許可」制度の取扱いの一部変更―大阪府の場合―

1．昭和57年10月1日から施行されたもの―大阪府運用準の新旧対照表―

項目	改正前	改正後
1. 収用対象事業の施行により移転するものの取扱い	(1) 現在地と同一地域とみなされる市街化調整区域内に新たに土地を取得し立地する場合 (2) 市街化調整区域に関する都市計画の決定前から市街化調整区域内に土地を所有している場合	(1) 同左 (2) 同左 (3) 収用事業の起業者が開発許可権者(大阪府知事)とあらかじめ協議し、適切な土地をあっ旋する場合
2. 農家の二、三男が分家する場合の住宅の取扱い	(1) 農家に限定 (2) 子及び孫 (3) 申請時点で1年以上同居していること。 (4) 申請時点で3年以上所有している土地であること。 (5) 自己の居住のための一戸建専用住宅であること。 (6) 建ぺい率は60%以下、階数は2以下とすること。	(1) 市街化調整区域内の既存集落に市街化調整区域に関する都市計画の決定前から引き続き生活の本拠を有する非農家も対象とする。 (2) 子、孫、兄弟、姉妹、甥、姪及び娘むこ予定者 (3) 過去に同居の事実があれば足りる。 (4) 市街化調整区域に関する都市計画の決定前から所有している土地であること。 (5) 同左 (6) 同左
3. 社寺仏閣及び納骨堂の取扱い	個別に処理	(1) 宗教法人の行う儀式、教化育成のための施設及びこれに附属する社務所、くり等規模、構造、設計等がこれら宗教活動上の必要に照らしてふさわしいものであること。 (2) 宿泊施設、休憩施設は含まないものとする。
4. 建築基準法第39条第1項の災害危険区域等に存する建築物の移転の取扱い	(別段の定めは無し)	(1) がけ地近接危険住宅移転事業として行う移転 (2) 地すべり防止法第24条第3項の規定による承認を得た関連事業計画に基づく移転 (3) 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律第9条第3項の勧告に基づく移転 (4) 建築基準法第10条第1項の命令に基づく移転 (5) その他条例、要綱又は特定の行政機関の指示に基づく(1)～(4)までと同等と認められる移転
5. レクリエーション施設の取扱い	(1) 野球場、庭球場、陸上競技場、遊園地、動物園、その他運動レジャー施設及び墓園の維持管理を目的とする建築物	(1) 同左 (2) 自然休養村整備事業を推進するに当って必要最小限不可欠な施設である建築物 (3) キャンプ場、スキー場等第2種特定工作物に該当しない運動レジャー施設であって、地域における土地利用上支障がないものの管理上又は利用上必要最小限不可欠な施設である建築物 (4) 第2種特定工作物の利用増進上宿泊機能が必要不可欠であり、かつ、周辺の状況等から判断して当該工作物の敷地内に建築することに格段の合理性がある場合の宿泊施設である建築物

2．昭和57年12月1日から施行されたもの―大阪府運用基準の新旧対照表―

項目	改正前	改正後
6. 既存集落内におけるやむを得ぬ自己用住宅の取扱い（新規）		(1) 適用の範囲 ア．既存集落（自然的条件及び社会的条件に照らし独立して一体的な日常生活圏を構成している集落（例えば、町村合併前の旧町村役場を中心として発達した集落、主要道路の沿線に発達した集落）であって、おおむね50以上の建築物が連たんしているものであること。）内に存すること。 イ．申請者が市街化調整区域に関する都市計画の決定前から所有している（その決定前から所有していた者から相続により取得している場合も含む）土地であること。 (2) 住宅建築の必要性―婚姻、転勤等により転居せざるを得ないとき、住宅の過密、狭小等の事情があるとき等の理由があること。 (3) 用途―自己の居住のための一戸建専用住宅であること。 (4) 建築物の規模―建ぺい率は60%以下で2階建以下であること。
7. 既存住宅における開発行為の取扱い（新規）		(1) 適用の範囲 市街化調整区域内の既存宅地（市街化区域に隣接又は近接し、おおむね50以上の建築物が連たんしている地域内であって、市街化調整区域に関する都市計画が決定された際宅地である土地）であって、開発許可を行うことによってより一層好ましい住宅地形成ができる土地であること。 (2) 用途―原則として、一戸建専用住宅であること。 (3) 建築物の規模 ア．建ぺい率は50%以下 イ．容積率は100%以下 ウ．高さは10m以下 エ．外壁の後退距離は敷地境界線から1m以上 (4) 敷地面積―150㎡(都市計画上支障がない場合は120㎡)以上であること。
8. 既存建築物の建替の取扱い	(1) 従前の建築物の敷地の範囲内で行われるものであること。 (2) 従前の建築物と同一の用途であること。 (3) 床面積の合計が従前の1.5倍以下(自己用住宅は165㎡以下もしくは従前の1.5倍以下)であること。 (4) 階数は3階以下であること。	(従来どおり)

3．その他―大阪府運用基準の新旧対照表―

項目	改正前	改正後
9. 地区集会所等の取扱い	法第34条第1号を適用	(従来どおり)

都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域とに二分するいわゆる『線引き』制度と、都市計画区域における開発行為等を一定の基準のもとに規制する『開発許可』制度は、昭和44年の新都市計画法制定によって初めてわが国に導入されたものであり、大阪府ではその翌年の昭和45年６月に両制度が施行された。

この新しい制度は、建築基準法、宅地造成等規制法などとの連動体制を基礎に、その後の住宅、宅地開発のあり方や、市街地形成のあり方に強い影響力を行使するに至ったが、とりわけ、市街化を抑制すべき区域として定められた市街化調整区域での開発行為、建築行為は厳しく規制されることとなり、マクロな土地利用規制としては、かなりの成果を収めたところである。

しかし、こうした厳しい土地利用規制に対しては、厳しいが故の社会的あつれきも多くあり、制度発足以来、さまざまな立場、観点に立った多くの批判なり議論が展開されてきたところである。ことに近年の住宅不況をはじめとする社会経済情勢の変化は、残された土地資源への期待を強めるとともに、市街化調整区域における開発行為の取扱い緩和を求める声をいやが上にも高めることとなった。

このような状況を受けて、建設省は昨年７月に、市街化調整区域における開発許可制度の運用について新たな方針を通達するに及び、大阪府においても、通達の主旨、内容を十分にふまえて検討を進めた結果、昨年10月と12月の二度にわたって新たな運用基準を施行する運びとなった。

ここではその新しい運用基準の概要を紹介する。

主な改正点

まず、建設省通達の内容であるが、その趣旨とするところは、地域の実情に即して地域住民の立場に十分配慮するとともに社会経済の発展の動向等にも即した柔軟かつ現実をふまえた制度の運用をはかる必要があるとしていることにとどまっており、市街化調整区域設定の基本的主旨にまで変更を加えるものではないことに留意しておかなければならない。以下、通達ではこの趣旨に沿って、市街化調整区域においても許可できるようなケースを、条件を含めて例示的に列挙している。

(1)　農家の二、三男が分家する場合の住宅等（非農家を含む）
(2)　収用対象事業の施行により移転するものの取扱い
(3)　既存集落内においてやむを得ぬ事情のもとに建設する自己用住宅
(4)　既存宅地（法第43条１項６号該当宅地）における開発行為の取扱い
(5)　社寺仏閣および納骨堂
(6)　地区集会所等
(7)　既存建築物の建て替え
(8)　災害危険区域（建築基準法第39条１項）等に存する建物の移転
(9)　レクリエーション施設

大阪府の場合、これらのうちとくに大きく変わった取扱いが必要となるのは、(1)のいわゆる分家の取扱い、(3)の既存集落内での自己用住宅の取扱い、(4)の既存宅地での開発行為の取扱いの３点であったが、それぞれ、ほぼ、通達の考え方に即して、新しい運用基準を作成し、施行するに至った。すなわち(1)については、非農家の分家をも許可対象に加えることとし、(3)、(4)については、全く新たな許可対象事案として取扱うことにしたところである。

また、その他の項目についても、ほぼ建設省通達の考え方と同様に取扱い方針をまとめており、先の３点を含めた全体の概要は左頁の**表**のとおりである。

なお、地区集会所、既存建築物の建て替えのほかはいずれも大阪府開発審査会の議を経て許可されるものであり、許可に要する日数は一般案件に比して１ヵ月以上は長くなるのが通例である。

（大阪府建築部開発指導課　熊谷賢一）

訂正

■法令コーナー178「街づくり関係法の最近の動き」において、表現に正確さを欠きましたので、本文中および別表１の(2)の表現を下記のとおり訂正いたします。

- 神戸国際港都建設計画地区→**インターナショナルスクェア東地区**
- 都市計画告示年月日は、神戸市において、ポイアイランドの**インターナショナルスクェア東地区は昭和57年９月24日、真野地区は昭和57年11月18日**

■法令コーナー179「調理室等に設ける換気設備の技術的基準の改正」の廃気量kQ、理論廃ガス量k等の表現に一部誤りがありますので、疑義がありましたら、大阪府建築指導課または当編集部にお問い合わせ下さい。

日本建築協会企画・建築技術選書 34

身障者・高齢者のための建築設計

吉田あこ 著

―斯界の第一人者がわかりやすく語る配慮設計のポイント集―

国際障害者年を迎えてから２年が経過した．全国の都市には，車いす使用者用トイレや盲人用信号など，身障者・高齢者を配慮した設計にあちこちでお目にかかる今日である．しかし，配慮したつもりでも，何らまとを得ていないものも随分と多い．なぜだろうか．

そうしたいくつかの例の中から，数編を文章化して「配慮する」とはどういうことかを考えてみた．

本書は，「身障者だから配慮設計」と身構えるのではなく，配慮設計について誰もが考えられる身近な解決のポイント集である．

主要目次

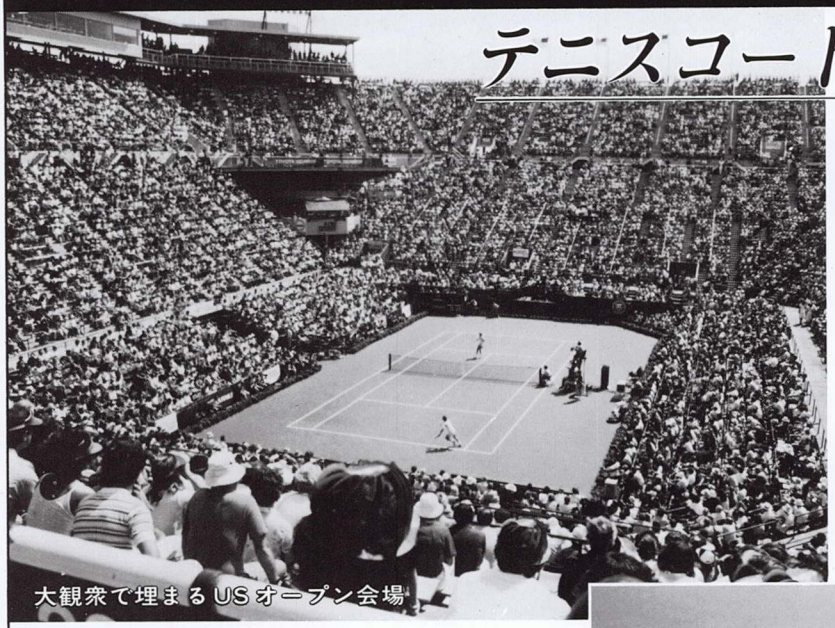
Ⅰ　設計計画　―わかりやすい考え方―
- どんな理念，どんな姿勢で考えるか
- どれだけの数を対象にするのか
- ハンディキャップとはどういうことか

Ⅱ　設計詳細　―目につく矛盾とミス？―
- 国際シンボルマークについて考える
- 車いすの動作スペースはどれだけ必要か
- 段差カットの手法および排水溝との関係
- 手すり高はどれだけとるか
- これからの配慮設計，ＭＡＩ ハウス計画



Ａ５・160頁・定価1300円

〈目録進呈〉　☎075-343-0811　学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入



大観衆で埋まるUSオープン会場

テニスコートの歴史を変えた！

DecoTurf II™

1978年からＵＳオープンが行われるようになったニューヨークのフラッシングメドウのUSTA（全米テニス協会）ナショナルテニスセンターのコート36面すべてに採用され、テニスコートの歴史を変えたとまでいわれる全天候型の**デコターフII**。四季を通じて快適にプレーできると、日本でも人気抜群!!

光公害をシャットアウトした！

ENVIRO LIGHT II

太陽が沈むということは、どんなにエキサイトしたゲームでも、昔はそれまでであった。しかし、いまの若者は口をそろえて抗議する。「ENVIRO LI-GHT IIがあるぞ」

光を最大限に利用、エネルギー効率を高めると同時に、低セット型で光公害を最小限にとどめるように設計!!



松蔭女子大学テニスコート

耐摩耗性で勝負する防湿床材

FLINTKOTE®



神戸・名谷「須磨パティオ」駐車場

耐久性、耐摩性、またすべり抵抗性や亀裂ができても使用中に元通りになる復元性、粘着性を評価され、倉庫や工場、駐車場にも使われているだけでなく、不燃性を買われてガス工場や爆薬工場の床にも使用されています。

さらに、完全無毒無臭であるため、各種食品工場、貯蔵庫にも進出!!

OSAKA SHELL HATUBAISYO

株式会社 シェル石油大阪発売所 建材施設部門

本　社　〒530 大阪市北区堂島浜１丁目２番６号（新大ビル９階）　☎(06)343－0441
大阪本部　〒552 大阪市港区南市岡１丁目11－11　☎(06)584－0681
東　京　〒104 東京都中央区京橋２丁目９番２号（等１ぬり彦ビル）　☎(03)562－4676
福　岡　〒810 福岡市中央区舞鶴１丁目１番５号（舞鶴ビル）　☎(092)721－6640

日本建築協会建材委員会

新建材紹介コーナー

《新建材紹介　№98》

ポリマーラテックスセメント系注入材 〝ゴーエススラリー注入工法〟

恒和化学工業株式会社
本社　〒143　東京都大田区平和島6-1-1 TRCビル　TEL (03)767—3551
支社　〒561　大阪府豊中市豊南町南６－３－13　TEL (06)332—5721
ゴーエス産業株式会社
〒143 東京都大田区北糀谷１－８－13　TEL (03)745—2145

近年、コンクリート面の剝離したモルタル層に対する注入接着といえば、エポキシ樹脂注入が一般的に使用されている。

ここに紹介するポリマーラテックスセメント系スラリー（略してスラリーという）は、低い粉体水比で良好な流動性が得られ、0.5㎜以上の不規則な空隙にも均一に注入でき、注入後、固化した材料の性能も収縮強度、接着力の点で、エポキシ樹脂注入に代わり十分実用されるものである。注入の工法も空気圧を直接材料にかけ、連続的にノズルより吐出させるもので、作業能率も良好であり、また材料も安価であることから壁のコンクリートとモルタル層の剝離、床スラブの仕上げモルタルの浮き上がり、サッシュまわりの空隙、その他コンクリート打込み時の空隙等、コンクリート構造物の大小の空隙に、注入充填するのに適している。スラリーは、エポキシ樹脂による注入が高価であり、また対象物の水の存在や工事時期が低温のための強度発現不良等の問題点をかかえているのに対し、新しい面に期待される材料、工法といえるであろう。

組成および特長

スラリーの組成は作業性、物性値を維持するために種々の添加材を加えた水硬性セメントの主材と、合成高分子ラテックスの二種から成り、施工時に所定の水を加えて粉体とラテックスを均一に混練して使用するものである。

このような組成のためスラリーは

①水の存在で硬化反応が進むので軀体の湿潤はむしろ硬化に良い結果をもたらす。

②工事中の降雨あるいは直後の浸水も問題にならない。

③0.5～1.5kg/㎠程度の空気圧で0.5㎜以上の空隙に注入ができる。

④この空気圧送もコンプレッサーによる空気圧を利用するので手動のグリスポンプなどと異り、作業能率が良好である。

⑤大面積の補修工事に有効である。

⑥材料コストはエポキシ樹脂系に比較して低廉である。

工　法

外壁のコンクリートから剝離したモルタルの空隙部にスラリーを注入して補修する例。

(1)打診（浮きの調査）

金づちで壁面を軽く叩き、浮きの範囲をチョークで明示する。

(2)ひび割れ処理

スラリーの漏出を防ぐため、0.3 ㎜程度の小さなものはパラフィンロジンでシールし、注入後除去する。改装工事の場合はひび割れ部分をケレン後、セメント系フィラーパテでシールし除去しない。出隅、入隅等を含めた大きなひび割れは後処理し、仕上げを考慮してポリマーセメントモルタル等でシールする。

(3)ピンニング

注入圧力で剝離が進行したり、仕上層がふくれたり破壊したりしないように、注入前にアンカーピンを設ける。（アンカーピンは直径５㎜全捻切り、材質ＳＵＳ 304、固着用エポキシ樹脂は JIS A 6024、グリース状を使用）ピンは１㎡あたり４本を標準とし、スラリー注入の２日前に完了しておく。

(4)スラリー注入用穴あけ

スラリーの注入は直径10㎜のノズルから行うので注入孔をあける。40～80㎝の間隔でドリルビットがコンクリート地に達するようにする。同時に空気抜き孔を随所にあける。

(5)水洗い

注入箇所の清掃とコンクリート、モルタルの湿潤を兼ね、注入機を用いて水洗いを行う。ひび割れのシール状況の確認も併せて行う。

(6)スラリー混練

ポリマーラテックスに所定量の水を加え、これに粉体を徐々に加えながら強力な攪拌機で４分間混練する。まま粉のできないように注意する。

(7)注入機の調整・スラリーの仕込み

スラリーを仕込む圧送機、ホース、注入用ノズルを予め水洗し、混練したスラリーは金網で沪過してから仕込む。材料の粘度も確認する。



(8)注　入

注入ノズルの先にゴムパッキングをあてて差し込み注入する。隣接孔には予めＬ字管を設置しておき、スラリーの溢出をいち早く確認する。同時にコルク栓を用いて密封する。注入と打診を繰り返しながら下から上へ、また左右は一方から片押しで作業を進める。

(9)清掃、養生

注入中にもれたスラリーは直ちに水洗する。注入後12時間以上経過した後、硬化を確認してコルク栓を抜き、急結セメントまたはスラリーの硬練り材で孔をつめる。注入後夏期で24時間、冬期で72時間は振動や衝撃を与えないように養生する。

(10)後処理

注入硬化後の打診で不足の場合は再注入する。場合によってコアーを抜きとり、目視または接着引張り試験をする。

物性値

注入に用いるスラリーの特性値ならびに硬化後の物性値。

(1)硬化前の特性値

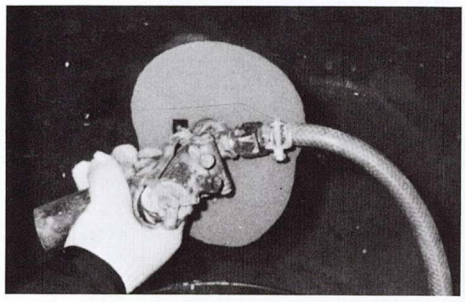
①比重：1.5～1.8

②粘度：ＢＬ型№３で測定2000～4000 ｃｐｓ

③可使時間：３～５時間

④注入時の拡がり速さ：７～８cm/sec

拡がり速さの試験は、内径８㎜のノズルより３㎜厚みの空隙に対し、0.5kg/㎠の吐出圧で注入した場合の上方への拡がり速さと下方への拡がり速さの平均値を示す。



⑤注入粘着係数：0.7～0.9

注入粘着係数は下方向への拡がり速さに対する上方向への拡がり速さの比率を示す。

(2)硬化後の物性値

①引張り接着強度：15kg/㎠以上

歩道用コンクリート平板（JIS A 5304）と石綿スレート（JIS A 5403）の間に、スラリーを注入し28日間養生したものを建研式引張接着力試験機を用いて試験する。

②曲げ強度：80kg/㎠以上

JIS A 1172（ポリマーセメントモルタルの強さ試験法）に準じて行う。28日間養生。

③長さ変化率：0.5%以内

直径50㎜、深さ100 ㎜のステンレス容器にスラリーを入れ、28日間上端部の中心部の上下方向への変化を読み取る。

④吸水性：１%以内

曲げ試験に使用したものと同じ大きさの試料を48時間清水に浸漬して吸水量を容積比で示す。

建材委員/川村真次（住宅・都市整備公団関西支社都市再開発部市街地設計課設計第１係長）

建築と社会 ニュース

ニュース原稿をお送りください。

住民発意のまちづくり活発に展開

—神戸市真野地区、丸山地区、御菅地区—

神戸市では、昭和56年12月「神戸市地区計画及びまちづくり協定等に関する条例」を制定し、住民発意のまちづくりを支援していくシステムを用意したが、この条例を活用したまちづくりが現在市内で活発に展開されている。

「真野まちづくり構想」の提案で知られる真野地区では、昭和57年10月25日「真野地区まちづくり協定」が市長と真野地区まちづくり推進会との間で締結され、同11月18日「真野地区地区計画」があわせて決定された。どちらもまちづくりを進めるうえで、手遅れにならないための予防策として、建て替えなどの際のルールを定めたもので、建物用途の制限、壁面の位置の制限などから成っている。

今後、小街区単位でまちづくりの詳細計画検討に入る予定。まちづくり用の受皿住宅である分譲モデル住宅（真野ハイツ）16戸も昨年12月24日に完成し、真野地区のまちづくりもいよいよ具体的段階を迎える。

コミュニティ活動で知られる丸山地区では、「丸山を住みたくなる町にする会」の結成以来、住民の意見を直接取り上げるため、アンケート調査、地区別懇談会などを実施してきた。現在、「丸山まちかど学校」を開校し、まちづくりの学習に取り組んでいる。講師はコミュニティ、住宅、都市計画、社会心理学など多種多彩な専門家で、10回の講演会のほか、シンポジウムも予定している。みすが大学の開校など、真野地区、丸山地区同様に住民活動の活発な御菅地区でも、戦前から栄えてきたまちが時代の変化の中で、住宅の老朽化とともに人口の減少、老齢化、商業の衰退などまち自身が年老いていくという慢性的状況に対し、人情味豊かなまちの良さを生かしたまちづくりによって蘇味を図ろうと努力している。「御菅地区各種団体連絡協議会」を結成し、これまで住民意向調査や「まちづくり懇談会」を実施して住民の意見を吸収してきたが、当面の目標として、まちづくりを幅広い住民の参加によって具体的行動へと展開させるためにも、長屋住宅の再生などを盛り込んだ未来像づくりに取り組んでいる。



完成した真野ハイツ



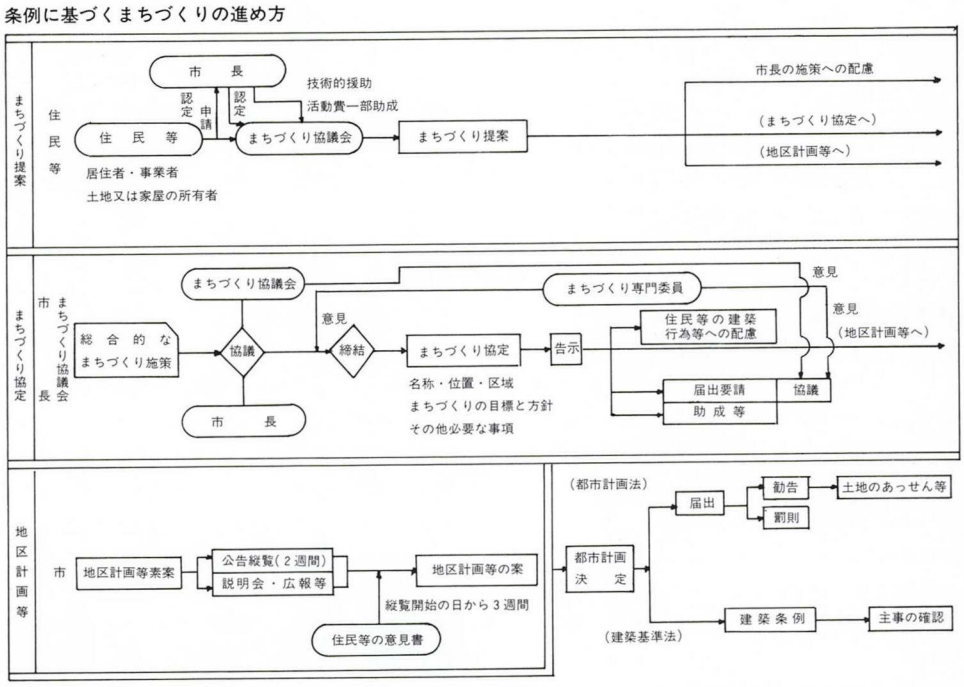
御菅地区まちづくり懇談会

地区計画及び条例によるまちづくり 昭和58年２月１日現在

	面積	現在の人口	地区計画	まちづくり協定	まちづくり協議会	まちづくり提案
ポートアイランドインターナショナルスクエア東地区	約ha 25	約０人（ポートアイランド 将来人口 20,000人）	○	×	×	×
真野地区	39	7,000	○	○	○	○
御菅地区	28	4,500	×	×	○	×
丸山地区	237	18,000	×	×	○	×

（注）○印は決定済、締結済、組織済あるいは提案済を示す。

条例に基づくまちづくりの進め方



神戸具象彫刻大賞展 '83 全国公募

神戸市では、1968年からビエンナーレ形式で都市空間の中に新しい彫刻のあり方をもとめて、神戸須磨離宮公園現代彫刻展を全国的規模で開催してきた。

この現代彫刻展と隔年に、1981年から新たに近畿圏在住の新進彫刻家を対象とした「神戸新進彫刻家の道大賞展」を、具象的野外彫刻展として開催してきた。

このたび、各地の具象彫刻家の要望に応え、本彫刻展を全国的規模に拡大し、広く有望な具象彫刻家に発表の機会を提供し、斯道の奨励を図ることとした。

これを契機に、名称についても「神戸具象彫刻大賞展'83」と改称し、具象彫刻界の登竜門としての野外彫刻展をめざし、今後、現代彫刻展と交互にビエンナーレ形式で開催する。

(1)主催　神戸市、読売新聞社、読売テレビ放送

(2)会期　昭和58年10月１日～11月10日

(3)会場　神戸ポートアイランド南公園

(4)　問合先

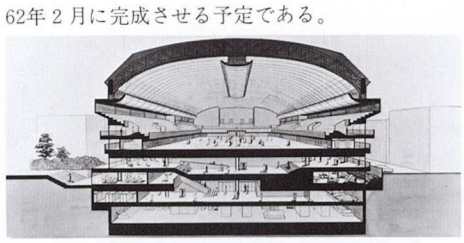
事務局

〒650　神戸市中央区加納町６丁目５番１号
神戸市市民局市民文化課
「神戸具象彫刻大賞展'83」係
Tel（078）331—8181 内線2812・2813

大阪府立体育会館建て替え

—昭和62年２月完成予定—

現在の府立体育会館は、昭和27年に建設され、30年を経過した今日では、狭少で設備の不足や老朽化が進んでおり、多様なニーズに応えるため、各種機能をあわせもった近代的総合体育館に建て替えるものである。昭和60年春から解体にかかり、62年２月に完成させる予定である。



大阪府立体育会館改築案東西断面透視図

読者の頁

〝私のらくがき〟募集

○タイトルを適当におつけください。またスケッチ場所などを含めて200字程度のコメントをつけて下さい。
○サイズは150×200ミリ程度の白紙に、できるだけ黒インキで書いたものとします。（ハガキ大でも差しつかえありません。）
○掲載分には規定の稿料をさしあげます。原則としてスケッチの原稿の返却はいたしませんが、返却希望の場合はその旨特記下さい。
○氏名、住所、職業、年齢を明記して㈱日本建築協会編集部宛お送り下さい。

アメリカ建築巡礼記　その3

〝落水荘〟

小竹達也／昭和設計

フランク・ロイド・ライトの作として名高い落水荘は、ペンシルベニア州の東方、Mill Runという地に位置する。辺りは広大な森林に蔽われ、比較的なだらかな起伏に富む丘陵地帯である。私が訪れたのは緑滴る初夏の頃であった。落水荘に至るまで出合う車もまばらな田舎道を延々と一人で車を飛ばして来た私は、やっと落水荘のゲートを見い出してほっとしたものである。恐らく落水荘という一般にもよく知られた名所でもなければ、こんな辺鄙な山中、訪ずれる人もないだろうと思わせる場所である。

木立の間の駐車場で車を降りると、少し離れた所にゲートハウスが見える。落水荘はそこよりやや急なガケを降りて、下方の林間道に出る。それが以前のアプローチ道路である。歩いていると、せせらぎの音が聞こえ、川の存在に気付く。そしてやがて木々の間にあの幾つかの水平ラインの持ち出しによるバルコニーが見えてくる。

道は直前で右へ折れ、落水荘の下を流れる渓流を渡ってエントランスへと導く。まるで林の中の散策者をかくも自然に自らの門前へ立たせてしまうかの如きである。

そして室内に入ると、それまで森の中にいた実感が跡絶えてしまうのではなく、さらに何か自然の奥まった安息の空間に入ったような、一種の居心地の良さを感ずるのである。実際この建築のどこに居ても、絶えず自分の存在が大自然の中に置かれていることを意識させる。巧妙に穿かれた開口部を通して望む木々の蒼さや、目に写るもの、手に触れるものに用いられた材質の自然感が、総てこの建築と自然との絆を物語っているようである。

二階の書斎を見学していた時のことである。ガイドの女性が、ひとつの窓を開けると、緑の梢をわたる風とともに、滝の水音が部屋に流れ込んで来た。やがてそれは部屋を満たすと同時に、そこに居る人間の心をも、大きな自然の懐ろにいるという実感で満たしてしまうようであった。

私にとって是非もう一度訪ずれてみたい建築である。



アプローチ道路より全景を望む



滝の下よりの全景

現代における数寄的世界とは
——シンポジウムに参加して——

茶之木宏次／出江寛建築事務所

あいにくの雨模様にもかかわらず、まずは盛況といったところか。「数寄屋的世界の成立した背景と源流を探り、その世界において独得な発達を遂げた数寄屋建築、庭に焦点をあてて、この分野における伝統的価値が、今日の時代の思潮にいかに継承されているかを論じ、現代における数寄的世界への展開についての可能性を探求する云々……」という開催趣旨にはまったく異を唱えるところはないのだけれど、時間的に盛りだくさんの感は否めない。はたして噛み合いどころの少ないものとなったのはとても残念な気がする。次回はあらたに主題をさがすのではなく、むしろ今回のものを絞り込む方向でやっていただきたい。

今回のシンポジウムで、ひとつ興味をひく話が安井清さんからあった。「今度つくった金の茶室のなかにしばらく座していると、じゅらく壁の茶室と全く同じ感じがしてくる……」という話である。金と土とは勿論、価格的には雲泥の差がある。それらが感覚的に同質と感じられるということは、つまり、土という素材を使っても金のもつ感性をひきだし得るということである。このことを発見（或は発明？）した利休の眼力にはまったくおどろかされる。利休の待庵につかわれている素材も（勿論それらはかけがえのないすばらしいものではあるが）現在の坪数百万もする数寄屋に較べれば、どうも粗悪なものばかりに思える。（利休には自然の豊かな恵みをむしろ拒否するようなところがあるように思えてならない）しかし、そこには、そういった悪条件であればこそ己れの美の発露を見いだし得るとする利休の凄まじいばかりの自負心、そして権力者の成金趣味に対する痛烈な批判精神がこめられているのが読みとれる。ひとつ金の茶室を見に行かなければ、と思っている次第。

なにはともあれ次回を期待しております。

日本軽金属はビル開口部のあらゆる設計条件にお応えしています。

国内に限らず海外においても数多くの実績と高い信頼を得ている日本軽金属のビル用アルミ建材。耐風圧強度・水密性・気密性・遮音性、そして安全性や意匠性など、様々な設計条件を考えながら市場のニーズにお応えしています。

アルミの一貫総合メーカーである日本軽金属――。よりよい人間環境をめざし、新しい時代の「アルミ建材製品」づくりに努力してまいります。



日本軽金属株式会社

大阪支店　大阪市東区高麗橋5－1（大阪興銀ビル）
TEL 06(202)6091　〒541

取扱い商品　●カーテンウォール●ビル用サッシ（特殊機能サッシ，断熱サッシ，防音サッシ，一般サッシ）●スチール製防火ドア●集合住宅用装飾防火ドア●学校間仕切●ショップフロント●サンルーム●アルアーチ●改装工法●バルコニー・手摺●その他

設計者のプロフィール　8　関西の昭和生まれの建築家

中川洋一

安井建築設計事務所

聞き手・編集委員　柏木浩一（竹中工務店）
プロフィール撮影　島　修一（STUDIO A.T）

略歴

生年月日	昭和14年3月23日(43歳)	関連した代表作品	奈良市庁舎、ゼンセン中央教育センター、姫路市庁舎他
出身地	神戸市	好きな空間	25年くらい前の京都 現在の神戸の街づくり
最終学歴	神戸大学工学部建築学科昭和37年卒業	趣味	（願望として）旅行 サスペンス
職場	安井建築設計事務所大阪事務所設計部長		
事務所所在地	〒540 大阪市東区島町2丁目7番地		



姫路市新庁舎



ゼンセン中央教育センター



組織の中で

三百数十人の所員を有し、開業が大正十三年という古い歴史と伝統をもつ、全国有数の大設計事務所で設計部長の要職にある。建築畑ひとすじにかかわってきた家系に生まれ、本人で七代目にあたり、建築の設計をごく日常的なものとする環境に育ったという。これに加え、事務所の性格も反映してか、その風貌や身のふるまいにもどこか毛並の良さが感じられる。接すると一般的にこの立場の人にありがちな冷めたさや、堅さなどは微塵も感じさせない。人当りの良さの中に、人柄のあたたかさ、柔和さが感じられる。外部から思う組織の中枢にある人のイメージとは大いにかけはなれている。〝設計業務も結局はやはり人柄〟のことわざが生きている。

安井事務所と関西のかかわりあいは通り一遍では語りつくせないが、この人と関西とのかかわりも徹底している。「関西以外の土地で生活したことがない」という。京都で育ち、神戸に住み、そして今日、大阪で仕事をしている。したがって考え方も関西人。「実質を重んじ、過大なことは極力ひかえめとする。」そうした発想が建物の計画や設計にもあらわれている。華やかなものに眼を奪われずに、地道、着実な設計を心がけることの基本姿勢は事務所の影響でもあると述べるが、それが生まれながらに身についている。

関西人のもつ特色のもう一つに「地域の中に溶けこむことの柔軟さ」を挙げる。最近参画した広島市役所のコンペに際して、審査後「地元の設計事務所の作品ではなかったのか」といわせしめたそうである。広島の地域特性を十分知りぬいて計画された案であったらしい。「そうした柔軟さは迎合ではない」と前置きしつつ「建物の設計でも関西人は地域に溶けこむことを身につけている。そうしてでき上った建物は土地の人々が敏感に感じとってくれる」と語る。それぞれの地域性を無視しては何も創れないという強い設計姿勢がひかえ目な言葉にあらわれている。地域の人々の意識や感情をうまく引き出して設計の中にとりこむことが大切、その上で自己の価値感の表現主張があるという。このことは就職のとき恩師の鳥田家弘先生から〝設計の仕事は社会の下請け〟と釘をさされながらも設計事務所を選び、以来、社長佐野正一氏の建築づくりを体で学びながら、過してきた育ちからも納得のいくところである。

さて、一人一人の個性が強いと思われる設計集団の中にあって管理職の立場。いかに若手所員をまとめ、指導していくかについては、いたって簡単に「一貫した信念をもって皆と一緒にやることしかない」といいきる。このやり方が、設計事務所の管理職のあり方の唯一の答であると明快に確信しているようだ。

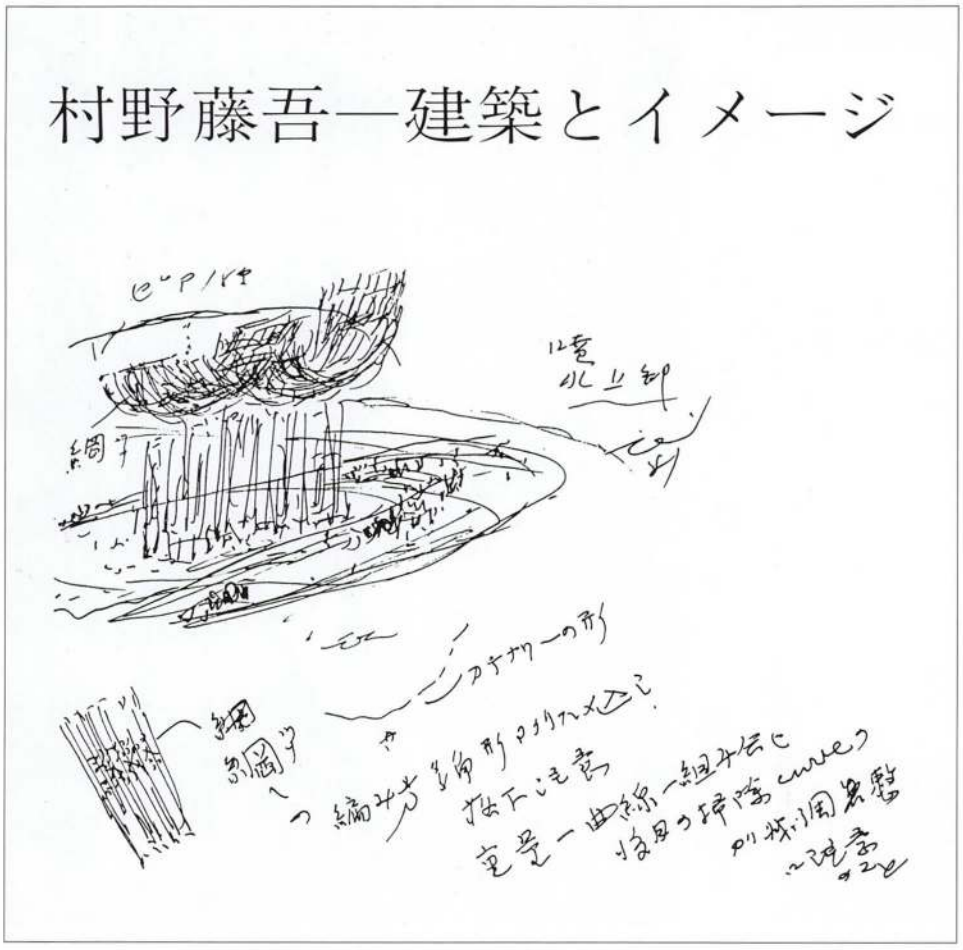
強く自己の主張を押しつけるタイプではない。むしろ周囲の意見を巧みにまとめ上げてゆくタイプである。そうすることで自分も含めて参加するもの全員の意識と個性を高めていこうとする。「建築設計とは自己教育と社会環元が表裏一体のもの」と語る。また、若手所員には「建築はセンスや理論だけではだめ、ドラマを構築するしたたかさを」と厳しい。多様な価値感の存在するなかで、ともすれば揺れ動く建築への姿勢に、ヒューマンなスジを通すことが大切と考えているのである。

これまでの作品には池田府市合同庁舎、ゼンセン中央教育センター、姫路市庁舎などがあげられる。比較的かたい部類の公共建築が多い。今の立場ではあらゆる分野の設計にかかわりあいをもつ。「高度な専門化への対応が組織としての課題」という。個人的には「できれば、集合住宅や再開発など、人の生活と底辺の経済行為に直接結びついた、よりリアリティーのある仕事にもっと時間を」と希望する。また「五十歳前後がいちばん建築をやれる年代です」と創ることへの自らの可能性を信じている。

時代の要求に対応して、高度化、合理化した設計活動の中にあっても、やはり大切なことは人と人とのかかわりあいにある。この基本的なところに終始一貫した姿勢をもち続ける安井設計のニューリーダーの一人である。

〔次号の登場者は遠藤剛生氏（遠藤剛生建築設計事務所）〕

村野藤吾—建築とイメージ



「村野藤吾——建築とイメージ」と題した展示会が、去る57年12月18日から本年1月30日まで、兵庫県近代美術館企画展示室で開催された。内容は、新高輪プリンスホテルを中心としたイメージパネルや模型、実物の展示、兵庫関係作品写真パネルの展示、スケッチ等の展示、それに村野先生の愛読された蔵書、資料の展示などである。

*

案内をもらったので、閉会真近いある日、会場へ足を運んだ。数人の先客が熱心に見入っていた。新高輪プリンスホテルのイメージスケッチが多数展示されていて感銘した。数ヵ月前、オープンしたばかりのこのすばらしい空間を見にいったときの印象がよみがえった。噴水のイメージや大宴会場、バルコニー等のイメージがとりわけ、実際の姿と重なって、どうしようもない衝動にかられた。イメージスケッチから、実施決定案にいたるまでのプロセスは、どうなのであろうか。そこには、はかり知れない、うかがいしれない深みと厚さを感ぜずにはおれない。その上、強さでなく、やさしさを、黒と金でなく、白と紅を基調とするデザインの深さも感ぜずにはおれなかった。バルコニーの実物模型が展示され、その手摺グリルの模様や下面の繰型を目のあたりに見て、一層その感を強くした。ひとつのバルコニーのデザインもさることながら、この円型バルコニーが集団として織りなすさまは、光と影の極致とも思える。

村野先生の最近のスケッチ——アテネのパルテノンのブルーコバルト色のスケッチなど、息をのむ思い。線が粗くて細くて、強くてやさしくて……。先生が、戦時中、資本論を勉強されたことは、かねがね承っていたが、その資本論をふくむ経済学の愛読書がずらりと展示されていて、えりを正す思いだった。岩波文庫の本の余白にメモされた感想文、小さな折りタタミ式？の手帳に小さな字でキッチリ書き込まれた文などは、あらためて、戦時中に、きぜんとして勉強された先生の姿を想像させずにはおかない。

壁には、村野先生の著作物の年表がパネル化されていて大変参考になる。「建築と社会」誌に寄稿された大正時代の「様式の上にあれ」ほか、大小いくつかの論文の題名も見えて、これから勉強する上で大変よい索引となろう。ただ、ひとつ気になったことは、村野論文のなかでも重要な位置を占めると思われる「動きつつ見る」(「建築と社会」昭和6年1月号)がぬけていることである。この論文はペンネーム「武羅野淘語」の名で執筆寄稿されたもので、昭和はじめの新興建築、ドイツやアメリカやソビエトの新しい建築の動きを村野先生なりに分析された貴重な文献である。14頁にも及ぶ、比較的長論文の方に属するものである。村野先生はこの論文の末尾に「レアリズムの対照をロシヤとアメリカに、実験室的理論と、意味深い新建築の技巧とをドイツ……」と結んでいる。この論文のなかには、タトリン署名入りの「第三インターナショナル記念塔」案の図がのせられていたが、その原図が出品されていて興味深かったことをとくに付記しておきたい。

*

なお、この「動きつつ見る」の村野論文の存在について、関西の実行委員水谷穎介氏に知らせておきました。

(松井昭光)

『村野藤吾展』に寄せて
—合理化体制における建築家の姿勢

香川清和

建築という実際に出来たもので勝負する世界で、私のような未熟者が筆を執るなどまことに恐縮ですが、思い切って筆を走らせました。

建築の道を歩み出した頃から私は木造建築の魅力に取りつかれ、京都の都ホテル内の佳水園や、同じ京都にある大阪から移築された旧富田屋はとくに強く魅了される作品です。佳水園は空間が発展的な拡がりをみせ、上品さを漂わせているのに対して、旧富田屋は空間を凝縮させて時間的な激しい展開を演出させているのを感じました。それらの空間は、如庵や孤蓬庵や桂離宮を訪れたときに感じた空間とは違った素晴らしいたたずまいであり、村野先生の底知れない力量を知りました。

そこで私は、佳水園や旧富田屋のようなたたずまいを生み出された建築家村野藤吾の、建築に取り組まれる姿勢を知りたく思い、また村野先生がよくおっしゃっている『数の哲学』や『直線の思想』を少しでも理解したいために、村野藤吾展に何度か足を運びました。

そして、多くの感銘を受けているうちに、私が就職して以来、取り組んでいた問題の一つである合理化体制の中で建築家はどうあるべきなのかに対して一つの見解ができました。

私は建築とは資本、労働、風土、思想、道徳などの諸条件が絡み合って発生する問題を解決していくことだと思っています。つまり理論よりも実践が主体となる行為だと思っています。またデザインとは、それらの条件の範囲で美的感覚により問題を追求し処理していくことだと思っています。かつての経済の高度成長時代と違い、近年の長期に及ぶ不況により社会的に強く合理化を要求される時代になったため、建築の条件は厳しくなり、発生する問題も難解なものになると考えられます。したがって、より一層建築家の力量が問われる時代なのです。なぜなら資本主義体制である限り問題を解決する最終的な手段は建築家の腕にあるからです。おのおのの建築家の自覚が今まで以上に建築物の質を決定する要因となります。これを非現実的だとか、単なる理想論と片付けてしまうことは逃避への第一歩であり、合理化体制に押し流されていては建築の質の向上は望めそうもありません。

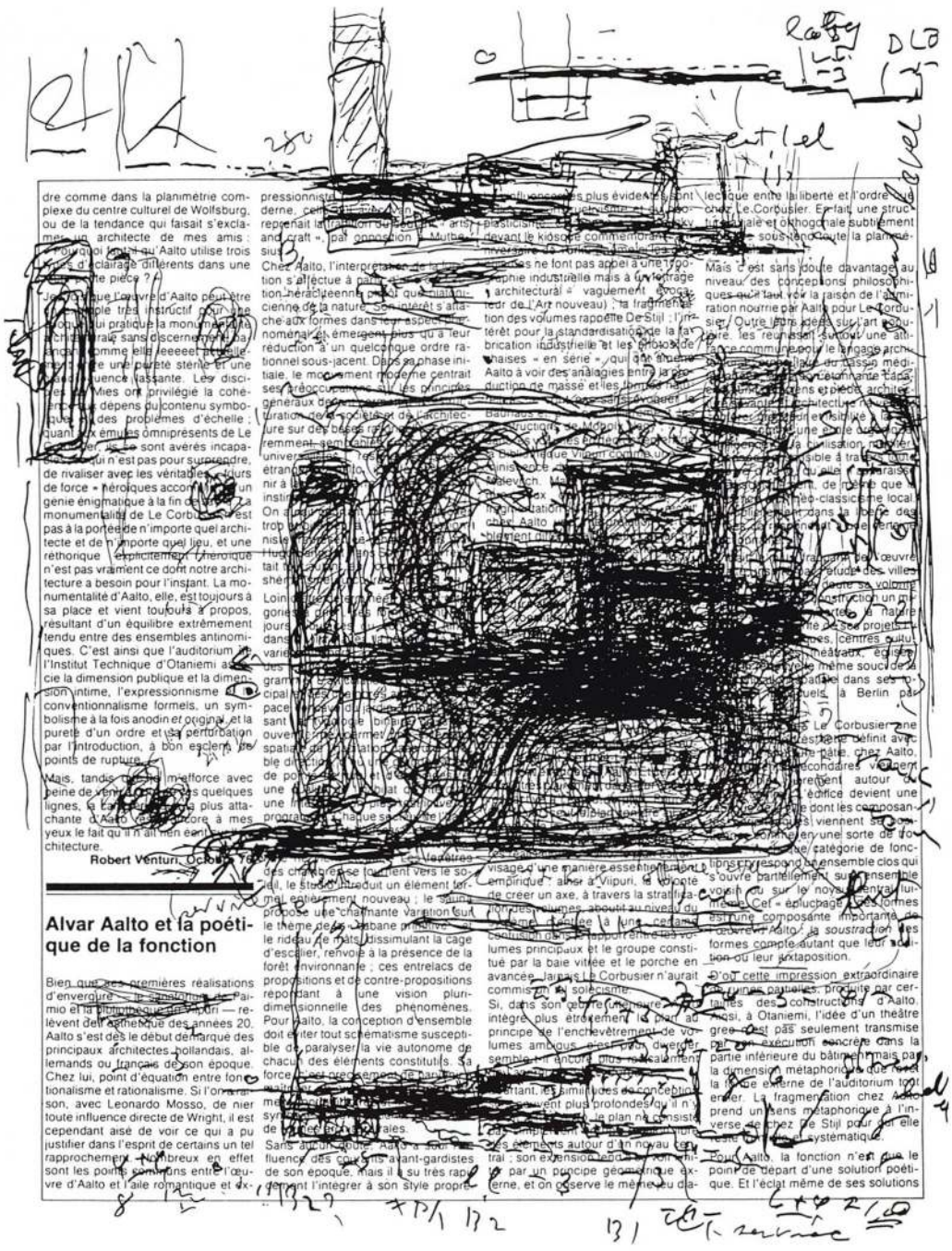
古人が、現代のような技術のない頃に、生活の知恵と工夫により、限られた材料を美的感覚の上で駆使している作品を見たときに、作家の心境というものが感じられました。一方、村野先生が洗練された感覚と現代の技術で木造建築に新しい生命を与えられ、その感性的空間を木造以外の建築にも浸透させられていることには、感服した次第です。村野先生の惜しまぬ努力の積み重ねをこの目で確認できたことは、私が抱えている多くの未解問題を解くための一つの鍵となりました。身勝手な解釈ですが、村野先生は、世阿弥のいう『離見の見』でもって『冷たる曲』を演じておられるのではないでしょうか。

(中村建築設計事務所勤務)

村野藤吾

—建築とイメージ展—

と　き　昭和57年12月18日～
　　58年１月30日
ところ　兵庫県近代美術館



dre comme dans la planimétrie complexe du centre culturel de Wolfsburg, ou de la tendance qui faisait s'exclamer un architecte de mes amis : « Pourquoi Diable Aalto utilise trois types d'éclairage différents dans une seule petite pièce ? »

Jeter un regard sur l'œuvre d'Aalto peut être un exemple très instructif pour une époque qui pratique la monumentalité architecturale sans discernement et parfois comme elle l'entend, avec une pureté stérile et une [illegible] séduction lassante. Les disciples des Modernes ont privilégié la cohérence aux dépens du contenu symbolique, des problèmes d'échelle ; quant aux émules omniprésents de Le Corbusier, ils se sont avérés incapables de ce qui n'est pas pour surprendre, de rivaliser avec les véritables « tours de force » héroïques accomplis par un génie énigmatique à la fin de sa vie. La monumentalité de Le Corbusier n'est pas à la portée de n'importe quel architecte et de n'importe quel lieu, et une rhétorique explicitement héroïque n'est pas vraiment ce dont notre architecture a besoin pour l'instant. La monumentalité d'Aalto, elle, est toujours à sa place et vient toujours à propos, résultant d'un équilibre extrêmement tendu entre des ensembles antinomiques. C'est ainsi que l'auditorium de l'Institut Technique d'Otaniemi associe la dimension publique et la dimension intime, l'expressionnisme et le conventionnalisme formels, un symbolisme à la fois anodin et original, et la pureté d'un ordre et sa perturbation par l'introduction, à bon escient, de points de rupture.

Mais, tandis que je m'efforce avec peine de venir à bout de ces quelques lignes, la plus attachante d'Aalto vient encore à mes yeux le fait qu'il n'ait rien eu d'architecte.

Robert Venturi, October '76

Alvar Aalto et la poétique de la fonction

Bien que ses premières réalisations d'envergure — le sanatorium de Paimio et la bibliothèque de Viipuri — relèvent de l'esthétique des années 20, Aalto s'est dès le début démarqué des principaux architectes hollandais, allemands ou français de son époque. Chez lui, point d'équation entre fonctionalisme et rationalisme. Si l'on a raison, avec Leonardo Mosso, de nier toute influence directe de Wright, il est cependant aisé de voir ce qui a pu justifier dans l'esprit de certains un tel rapprochement. Nombreux en effet sont les points communs entre l'œuvre d'Aalto et l'aile romantique et expressionniste du mouvement moderne, celle représentée par Mendelsohn, Scharoun et Hugo Häring, qui opposait « l'art » et « la technique » (« Kunst » et « Technik ») à « l'art » et « le métier » (« Kunst » et « Handwerk »), ou encore par opposition à Mies van der Rohe, « l'architecture organique » à « l'architecture inorganique ». Chez Aalto, l'interprétation de la fonction s'affectue à partir d'une perception héraclitéenne, c'est-à-dire quasi-biologique de la nature. Son intérêt s'attache aux formes dans leur aspect phénoménal, émergent plus qu'à leur réduction à un quelconque ordre rationnel sous-jacent. Dans sa phase initiale, le mouvement moderne centrait ses préoccupations sur les principes généraux de la construction de l'architecture et de la société, de l'architecture sur des bases rationnelles, universellement [illegible] étrangères à [illegible] à instinctives. On a [illegible] trop [illegible] nisle [illegible] tait [illegible] sher [illegible]

Loin [illegible] gone [illegible] jours [illegible] dans [illegible] variété [illegible] des [illegible] gram [illegible] cipal [illegible] pace [illegible] sant [illegible] ouvre [illegible] spatial [illegible] ble d'[illegible] de po [illegible] une [illegible] une [illegible] progra [illegible]

[illegible] visages d'une manière essentiellement « empirique » ainsi à Viipuri, la volonté de créer un axe, à travers la stratification commise [illegible] soleil. Le Stadium réduit un élément formel entièrement nouveau ; le salon propose une charmante variation sur le thème de la « banane pendante » ; le rideau de mâts, dissimulant la cage d'escalier, renvoie à la présence de la forêt environnante ; ces entrelacs de propositions et de contre-propositions répondant à une vision pluridimensionnelle des phénomènes. Pour Aalto, la conception d'ensemble doit éviter tout schématisme susceptible de paralyser la vie autonome de chacun des éléments constitutifs. Sa force [illegible] de [illegible] de [illegible] mé [illegible] syn [illegible] de [illegible] rales.

Sans aucun doute, Aalto a subi l'influence des courants avant-gardistes de son époque, mais il a su très rapidement l'intégrer à son style propre. [illegible] influences les plus évidentes sont [illegible] [illegible] [illegible]

大阪都市景観建築賞

第２回入賞作品

第２回大阪都市景観建築賞が２月15日に決まった。
「選ぶあなたが都市づくり」をキャッチフレーズに広く一般大阪府民からの推せんを受けて、周辺環境の向上に資し、かつ景観上すぐれた建築物（群）を表彰しようという、大阪府・大阪市・大阪府建築士会の三者共催によるこの賞も、昨年を上まわり、推せん者は 375名、推せんを受けた建築物は 157件にのぼった。
集まった 157件の作品は、建築・都市計画・芸術の各分野の専門家16名による審査委員会（委員長・足立孝大阪大学教授）で審査され、下記の５作品が選考された。
２月19日に薬業年金会館で行われた表彰式では５作品の建築主・所有者・設計者・施工者が表彰され、磯村隆文大阪市立大学経済学部長による「21世紀への町づくり―これからの暮らし方―」と題した記念講演が行われた。

大阪府知事賞

泉北鴨谷台3丁団地

所在地：堺市鴨谷台3丁3番
竣　工：昭和55年９月
建築主：住宅・都市整備公団関西支社
（理事・支社長・松下良一）
設計者：坂倉建築研究所大阪事務所
（太田隆信）
施工者：竹中工務店、前田建設工業大阪支店、三菱建設大阪支店



泉北ニュータウン光明池地区センターと地区公園に接する丘の上にあり、現況の緑地を残し松を主体とする自生林の小丘を抱きこむように、コンターラインに沿うてカーブする２列の住宅群からなり、各棟はバルコニーやセミパブリックスペースを持つ突き出た廊下などの凹凸で立体感が強調されており、周囲の広い空間にまけない圧倒的な重量感で、この地区の景観をリードしている。

大阪府知事賞

山田西Ａ団地

所在地：吹田市山田西2丁目18番
竣　工：昭和55年７月
建築主：大阪府住宅供給公社（理事長・椚座正信）
設計者：ＲＩＡ建築綜合研究所大阪支店（鳥飼勢三）
施工者：大新・金山共同企業体
岸・甲南共同企業体



ループ状の歩車併用道路によって分割された敷地ごとに住棟をまとめた準接地型、高容積の低層住宅団地である。主道路とは別に、各住棟間を結ぶ歩行者専用通路をとり、それをふくらませて小広場とし、各住戸ごとに極力戸外スペースをとり植樹に努めるとともに、傾斜屋根、バルコニー、屋外階段、街燈など細部にも留意して、変化にとんだ景観を生み、駐車スペースにありがちな間の抜けた感じの軽減に努めている。近くにある高層共同住宅と対照的に、人間的スケールの親しみやすく、落ち着きのある住宅景観となっている。

大阪市長賞

東洋紡ビルディング

所在地：大阪市北区堂島浜2丁目2－8
竣　工：昭和55年６月
建築主：東洋紡不動産（取締役社長・高畑圭作）
設計者：大林組（鶴田昭一）
施工者：大林組・東海興業共同企業体



南と西の２面を高架道路にかこまれた敷地で、建物を北に寄せ、南側に広いオープンスペースを確保し、そこに駐車場と広場（広場下も駐車場）を設けている。広場には、四季の変化に配慮して落葉樹と常緑樹を組み合わせた植栽をし、また、広場西端から駐車場が見えないよう植木で遮断して、広場としてのまとまりに成功している。白タイルとブルーペンのアルミカーテンウォールの壁面、白一色にまとめられたロビーと広場、その焦点として黒御影の大きな彫刻が置かれ、明るい近代的で高級な雰囲気を醸成し、高架道路下の陰うつさを完全に排除して、オアシスを現出している。

大阪市長賞

永楽ビル

所在地：大阪市北区曽根崎新地1丁目45－3
竣　工：昭和54年11月
建築主：谷安組（取締役社長・谷茂）
宏栄商事（取締役社長・鴨下忠宏）
設計者：ＡＡＡ総合設計（浅井謙）
施工者：谷安組



国道２号線の拡幅により、梅新から桜橋にかけての南側は、北新地の裏側をさらけ出した感じであった。その後整備されてはきたが、ペンシルビルや低層の建物で雑多な印象はぬぐえない。その中で、このビルは間口・高さともに国道幅に対応できるスケールを持ち、その外装の白さで目立っている。バーやレストランなどの入っている割には広告も抑制されており、永楽町への通り抜けも評価される。

大阪府建築士会会長賞

ドムス淀川

所在地：大阪市淀川区西三国町1－86
竣　工：昭和54年３月
建築主：福澤喜三郎
設計者：美建・設計事務所（石井修）
施工者：鐘紡建設工業



７階建賃貸住宅、前後２棟からなり、南側１階正面は入口以外の石垣、残り３側面はコンクリート打放し塀、その上（２階の高さ）に樹木を沿わし、住戸は２階から梯形フレームにセットバックさせて積み上げ、各バルコニーに植木槽を設けて、全面に緑を配している。棟の裏側は露出した柱・梁・通路になっているが、各層の梁にも植木槽を設け、建築と植物の一体化を意図している。在来の都市共同住宅の画一的な表情から脱して、立体的に植物を導入することによって魅力ある都市景観を造出しようとするその企図は大いに評価しうる。それだけに今後の維持管理に一層の努力を要望したい。

建築技術安全審査委員会について

1．発足からの歩み

当委員会は、昭和50年１月近畿建築行政連絡会議の要請により建築主事の諮問機関として発足し、同連絡会議が定める「近畿建築行政連絡会議構造等審査取扱要領」に掲げられた建築物などの部材、構法並びに防災などの安全性を審査することを目的としています。同要領は、昭和49年11月に制定されましたが、昭和56年６月の建築基準法施行令改正に伴なって改訂され、従来の「審査」案件に加え高さが45ｍを越え60ｍ以下の建築物の構造審査も追加されました。当委員会では、この追加された構造審査を「評価」と呼び、建設省住指発第96号により日本建築センターと同様に近畿以外の地域からの評価依頼にも応じております。

委員会発足以来現在までのところ、審査件数は42、評価件数は４を数えており、関係特定行政庁は大阪府をはじめとして計19にも達しています。また、委嘱委員も案件数の増大に対処すべく多くの先生方に参加いただき、昭和58年２月１日現在右記のとおりとなっております。

2．運　営

当委員会は、当試験所が定める「建築技術安全審査委員会規程・同業務規程」に従って運営されています。当委員会は、審査あるいは評価の申込みに応じ随時開かれており、申込み受付から報告書提出までの期間をできるだけ短期間にするよう配慮しておりますが、通常の場合ほぼ２ヵ月余となっています。

審査あるいは評価案件の審議ならびに結果のとりまとめは、１案件毎に３名以上の委員で構成する建築技術安全審査小委員会に付託して実施しております。

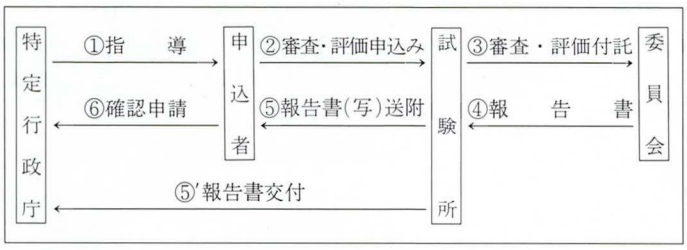
3．審査・評価の申込み方法

建築主が、当該特定行政庁の建築主事から建築確認申請予定物件に対して、当試験所の建築技術安全審査委員会の審査あるいは評価を受けるように指示された場合は、下記の図書などをそろえて当試験所に審査あるいは評価をお申込み下さい。

《必要な図書など》

- 審査あるいは評価申込書……１通
  （用紙は当試験所にあります）
- 建築主事の添書……１通
  （審査あるいは評価の対象となる項目を記載したもの）
- 審査あるいは評価に必要な設計図書
  申込用……（原則として）６部
  報告書提出用……３部

審査料その他ご不明の点は、当試験所の企画室田村または事務室石堂にお問い合せ下さい。



近畿建築行政連絡会議構造等審査取扱要領

昭56．６．１．改訂
近畿建築行政連絡会議

次の各号に該当する構造方法について、事前に財団法人日本建築総合試験所審査機関の技術的審査を受け、構造耐力上支障がないと判定され、かつ、建築基準法施行令第８章の規定を満足するものに対しては、建築基準法第20条の規定に基づき安全性を確認されたものとして取扱う。

(I)　審査を受けることにより建築基準法第20条に基づき確認される高層建築物等。

(1)　高層建築物

$$45\,\mathrm{m} < \begin{matrix}\text{鉄骨鉄筋コンクリート造}\\ \text{鉄骨造}\end{matrix} \leqq 60\,\mathrm{m}$$

$$31\,\mathrm{m} < \text{鉄筋コンクリート造} \leqq 60\,\mathrm{m}$$

の内建築主事が意見を求めるのが適当と判断したもの。

(2)　ＨＰＣ工法
（ただし、建築主事が在来工法とみなすものは除く）

(3)　現場打ち及びプレキャストコンクリートによる壁式鉄筋コンクリート造で特殊なもの。

(II)　確認上、判断の根拠として審査を必要とするもの

(1)　高強度コンクリート（28Fc ＞270kg/㎠）及び太径鉄筋（Ｄ51φ等）、その他特殊な材料を用いるもの。

(2)　異種基礎を併用するもの。

(3)　壁式とラーメン構法の大規模な併用。
（立面的及び平面的併用）

(4)　その他建築主事が意見を求めるのが適当と判断したもの。

(例)(ｱ)　解析が特殊なもの
(ｲ)　継手(鉄筋)の特殊なもの
(ｳ)　塔状物の特殊なもの
(ｴ)　水中構造物
(ｵ)　吊り下げ構造物
(ｶ)　ラックビル及び立体駐車場で特殊なもの
(ｷ)　プレストレスト構造で構造計画上疑義を生ずるもの
(ｸ)　電子計算機の使用に関して判断の困難なもの
(ｹ)　大規模工作物
(a)　令第138条1項1号(煙突)中、高さが100ｍを超えるもの
(b)　令第138条1項2号(鉄筋コンクリート造の柱、鉄柱、木柱等)中、高さが50ｍを超えるゴルフネット類。
(c)　令第138条1項3号(広告塔、広告板、装飾塔等)中、高さが100ｍを超えるもの。
(d)　令第138条1項4号(高架水槽、サイロ、物見塔等)中、高さが100ｍを超えるもの
(e)　令第138条1項5号(擁壁)中、高さが10ｍを超えるもの
（原則として10ｍを超えるものは認めない。）
(f)　令第138条2項中、1.2.3.号で、その構造が特殊なもの
(g)　製造施設でその構造が特殊なもの　　（以下、別記省略）

建築技術安全審査委員会委員（50音順・敬称略）

五十嵐定義	（阪大教授）	富永　恵	（京大助教授）
石崎　滋雄	（京大教授）	鳥海　勲	（福井大教授）
石田　修三	（京工繊大教授）	中田　啓一	（近大助教授）
井上　豊	（阪大助教授）	中村　恒善	（京大教授）
大場新太郎	（大工大講師）	日置興一郎	（大市大教授）
岡田　光正	（阪大教授）	堀内　三郎	（関大教授）
奥島　正一	（㈱日本建築総合試験所長）	堀江　悟郎	（関大教授）
鬼武　信夫	（近大教授）	松浦　邦男	（京大教授）
金谷　弘	（神大教授）	水畑　耕治	（神大教授）
金多　潔	（京大教授）	南井良一郎	（京大教授）
川村　純夫	（大市大教授）	六車　熙	（京大教授）
河野　允宏	（阪大講師）	森田　司郎	（京大教授）
堯天　義久	（神大学長）	八尾真太郎	（関大助教授）
日下部　馨	（神大助教授）	山肩　邦男	（関大教授）
小堀　鐸二	（京大教授）	山田　稔	（神大教授）
鈴木　計夫	（阪大教授）	若林　実	（京大教授）
竹内　吉弘	（大工大教授）	脇山　広三	（阪大助教授）
辻　文三	（神大助教授）	鷲尾　健三	（摂南大教授・大工大大学院教授）

（昭和58年２月１日現在）

本試験所●所 在 地……〒565 吹田市藤白台5－125（阪急北千里駅より北西約１km、国立循環器病センター西隣）
●電　　話……(06) 872－0391(代)
●営業時間……平日：午前９時～午後５時、土曜日：午前９時～正午

都市気球3

都市に物語(ストーリー)りを

土屋敦夫

今回の『都市気球』は、歴史的環境の再生と保存の問題をあつかう。というと、何だか役所の仕事めいた、かたくるしいことを想像しやすいけれども、議論はむしろ単純かつ明解である。
もし都市空間をひとつの劇場だと考え、われわれは日常そこでいろんな演技をしているのだとすれば、そのためには当然何らかの筋書が必要になってくる。誰が、どのような筋書をつくればよいのか、これについては異論も少なくなかろうが、しかしともかくも筋書としての物語(ストーリー)を（そして物語と語源を同じくする歴史(ヒストリー)をも）、都市のなかにつくりだした点で、妻籠の町並み保存は成功したといえよう。
ところで、物語を空間において復活させることは、ただ歴史的環境のみならず、われわれ自身のこのぼう莫とした都市にもまた望まれているにちがいない。その意味では、ここでの議論は、もう少し広い範囲で読みとっていただくことも可能であろう。
（富永茂樹）

現在、都市を大きな劇場にみたて、そこに来る人（買い物、散策、観光、ひまつぶしなどのあってないような、またそのどれにでも変りうるような目的でそこへ来る人々）を、演技者もしくは観客として登場させ、新しい体験をさせてゆこう、そしてそのためには舞台装置、つまり都市の空間を、できるだけ非日常でイメージ豊かなものにしようという計画が、商業的空間をつくりだすうえにおいてもさかんであるという。問題はどのようにしたら非日常性をつくりだしてゆけるかであり、しかもそれがしらけずに持続できるかにかかっている。

歴史的環境、いわゆる古い町並みや集落などは、劇的空間としては最高の装置であろう。それは他のどこにでもある破壊と建設をくりかえしている乱雑でアナーキーな都市空間とことなり、あるひとつの時代の、あるひとつの様式で空間全部が構成され、その地区だけあざやかに切り取って固定化されているきわめて非日常な準備された場所だからである。

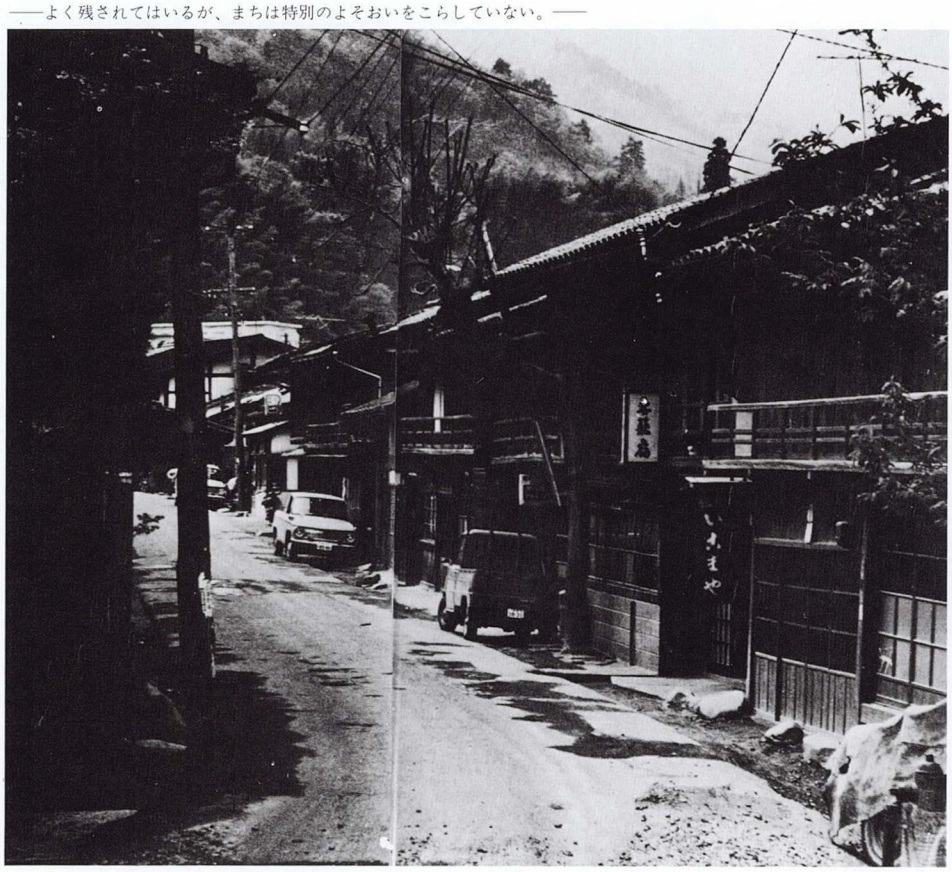
しかしそういった空間は非日常であるだけに、材料や技術など建築の生産様式や現代的生活様式からは、多かれ少なかれはずれてしまったリアル＝現実的ではない存在となる。たとえば中仙道の妻籠は江戸末期の宿場景観にもどそうとしているが、これはつきつめればつめるほど、たしかに江戸時代には近づくが、現代からは浮きあがった存在となる。つまりリアリズムから離れてゆくのである。だいたい日本の知識人には、リアリズム信仰というようなものがあり、こういった現実からははずれた存在をいかがわしいもの、うさんくさいものとして評価しない傾向がある。もともと木曽の山奥の宿場町などというものは、土着のデザイン要素と流れてきたデザイン要素とが完全には整理されないままで並存し、うさんくさいものだったろうと思われるのであるが。その点をきびしく問いつめようとする。

それよりも妻籠の意味は、過疎で危機に瀕していた町の町づくりの手法として町並み保存を，その町並み保存の背景として物語性をとりいれている所に価値があり、その最も成功した例であるという点にある。彼らが「幕末の宿場町の風景」にこだわるのには、はっきりとした理由がある。それは島崎藤村の『夜明け前』に、幕末の木曽の宿場町が細かに描かれていたからである。

『夜明け前』はひとりの地方の国学者の悲劇的生涯を描いた歴史小説とうけとられているが、新しい時代を模索した地域運動家の挫折の書であるととらえなおすことができる。

中仙道・馬籠宿の本陣その他役職を兼ねる旧家に生まれた青山半蔵は、幕末の動乱期に国学に傾倒しつつも、その日々を宿や家の仕事に奔走する。しかし期待した「維新」の変革による新しい時代は、彼の思い描いていたものとだんだん離れてゆき、深い絶望のうちに座敷牢で狂死する。この半蔵の発狂は、個人の政治的理想が、国家による現実の政治によって裏切られることによる痛憤と受け取られている。しかし国家と個人の間に、地域と家という中間の概念を挿入したほうが、その悲劇性がより明確に浮びあがってくる。つまり彼は国学という個人的理想を、そのまま尊皇倒幕という国家的理想に拡大して志士として活躍する道をとらなかった。迷いながらも、彼が生まれ育ったみずからの伝統に対する誠実さゆえに、地域の代表として、また家長として故郷に踏みとどまらねばならなかったの

復原直前（妻籠宿町寺下　昭和42年５月）〔〝木曽路の三十年〟よりp57、薗部澄ほか、岩波書店〕
――よく残されてはいるが、まちは特別のよそおいをこらしていない。――



である。ところが維新後の政治は、その地域や家をも破壊した。木曽の山林を住民のものにとりもどす運動に敗れ、馬籠宿は疲弊し、青山家も没落してゆく。ここで彼はみずから帰属した地域や家のためという、彼にとってもっとも根底的な存在理由をも無意味なものにされ、いやされることのない絶望に落ちこんでゆくのである。

半蔵の絶望は同時に木曽谷の人々の絶望でもあった。馬籠は火事で宿場町の景観は失われていたが、となりの妻籠では建てかえる力もなく古い宿場町はそのまま残されていた。『夜明け前』に描かれた幕末の宿場町は、時代を反映して騒然としてはいたが、生き生きと機能していた。そうしたらその時代に戻ればいいではないか、妻籠の人々はあえて仮構の時代に生きることを決意したのである。つまり彼らはその劇場における演技者になったのである。参加者は、彼らが予測していたのをはるかに越える多数が集まった。あとは参加者にストーリーをどう理解させるかというシナリオの問題にかかっている。

「八坂神社のあたりから、清水焼きやアンティークのお店のつづく三年坂まで、まるーいこもれ日の中を歩いていると、京都がとってもやさしく感じられます。」(Non－no 昭46, 10, 5)

「……赤いひもをつけ、つややかな光を見せている大小のひょうたんに、こうした言い伝えがあったのかと、しばしの間ながめていると、ずうっと昔、清水さんへのお参りを、一生の願いごとにしていたであろう人の姿が浮かんで、なかなか離れがたい気持になります。このあたりから二年坂界隈の石畳は、ゆっくり歩くのに絶好の散歩道だと思います。三年坂と同じように狭い道ですが、古い店の軒先をおしゃべりしながらジグザグに行っても平気です……。」(Amica 昭46－10)

今から10年ほど前、ディスカバー・ジャパンということで、日本中を若い女の子が旅行しまくった時期があった。上の記事はその頃最も人気のあった対象地のひとつである京都三年坂について紹介されたものである。ちょうどその頃三年坂の町並み保存の計画作成に関わっており、これらは、その時発行中のものを拾い集めたものにすぎず、じじつこういった本を開きながら歩いているグループをしばしば見かけたものである。こういった特有の文体をもつ文章はそれらの雑誌の名をとってアンノン調と呼ばれているのだが、こういう文章がなぜ人気があったのかといえば、とにかくリズミカルであり、具体的に描写されているうえ、ひとつずつの景観や物事とそこでの行動と持つべき感情とがきちんと対応しているからなのである。この文章に書いてあるとおりに歩き、そのとおりなものを見て、そのとおりな雰囲気に安心してひたることができるし、また行かなくてもそれを読むことにより、その場所をイメージできるし、想起すべき感情がていねいにそえられているのである。つまりこの文章は、古い伝統的な日本の風景の中での女の子の、いいかえればそういったおあつらえむきの舞台における演技者の、行為や感情を細かく書きこんだシナリオの「ト書き」なのである。ただ問題は、そのシナリオ自身が少女漫画か宝塚歌劇ぐらいのストーリーでしかないところであって、これではそのうちあきられてしまうのである。ただ単になんだかよくわからないまま、即座に「京都をやさしく感じて」しまったり、「石畳みの道をジグザグに歩」いたりするだけではなく、もっとみずから行動し、発見し、その空間の意味を把握し、その風景との対決のうえで自分の気分にひたってほしい。そのためには都市空間はより高度なストーリーを内包する必要がある。

復原後（左写真と同場所）〔〝妻籠宿〟よりp16右、南木曽町役場商工観光課編集、妻籠を愛する会発行〕
——まちは舞台となった——



都市にはそれぞれ個有の歴史があり、その歴史のつみ重なりが都市の空間をつくってきたのだ。歴史的環境というと、すぐに古い町なみというように物が中心に考えられがちであるが、むしろ歴史の豊かさそのもの、つまり都市の物語（ストーリー）それ自体が重視されねばならない。自分の町にはそのような歴史はないといわないでいただきたい。たとえば三年坂は明治以後、大部分が大正期に形成されたさほど古いものではないし、妻籠はとなり町のストーリーを自らのものとした例である。またストーリーは必ずしも歴史的事実に限るものではない。広く支持され、定着さえすればフィクションでもよいし、その方が事実より意味をもつことさえある。

我々はもっともっとまちのストーリーをみつけだし、それをその空間に定着させ、まちをどこにでもあるものではなくて、特別な意味のある存在にしてゆかなければならない。よい都市とはそういった意味のある特別な空間が、質的にも量的にも豊富であることが大きな要因となっているのである。特別な意味のある空間は、その意味が生きているかぎり、みずからその意味を高める方向に姿を変えようとする性質をもつからである。その時都市（まち）は劇場となることができ、参加者を舞台に登場させることができるようになる。

（つちや　あつお　金沢工業大学助教授）



藤原　勉
明石工業高等専門学校建築学科教授

白子典雄（はくしつねお）
国鉄大阪工事局（建築担当）次長

遠藤剛生（えんどうたかお）
遠藤剛生建築設計事務所代表取締役

山本康雄
大林組取締役建築本部副本部長

正月号から6月号まで上記の4氏が担当

我々は〝毒ガス〟と〝爆弾〟と同居している。
建材・インテリア家具調度・衣服など再検討しよう。

燃焼による発生ガス ＼ 材料の種類	記号	杉	羊毛	レーヨン	ナイロン	塩化ビニール	塩化ビニリデン	エチルセルローズ	ポリエチレン	ポリスチレン	アクリル	ユリア	ウレタン	エポキシ	発生ガスによる急性中毒の症状
炭酸ガス	CO_2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	呼吸深度大、胸部熱気感、意識不明に陥る
一酸化炭素	CO	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	血液の酸素運搬作用を阻害し脳中枢神経を侵し失神至死
ホスゲン	$COCl_2$					○	○								窒息性、肺傷害、致死
シアン化水素	HCN		○		○	○					○	○	○	○	血液中毒性、呼吸機能・中枢神経障害
塩化水素	HCl					○	○								呼吸器官粘膜の障害、胸部刺痛、声門閉そく、呼吸不能
アンモニア	NH_3		○		○	○									目鼻の刺激、吐き気、気管支障害

可燃ガスの爆発対空気容積比	
メタン	5.3~13.9%
プロパン	2.4~ 9.0
石炭ガス	8.0~40.0
水素	4.1~74.2
アセチレン	2.5~80.0
一酸化炭素	12.5~74.2
エチレン	3.0~34.0
硫化水素	4.3~45.0
アンモニア	16.0~27.0

火災や爆発が起ると必ずCOとCO_2を発生する一方空中のO_2は新鮮空気の供給がない限り平常の21%より急速に減少し低濃度になる。半分の10%以下になると意識を失い死に至る。また同時に発生する毒ガスの中には戦争当事国間でも国際条例で使用禁止を謳われているものだってあるのだ。　（T・F）

建築構造と用途

国鉄の建物には、各種各様の用途があり、俗に〝火葬場とお寺がないだけ〟といわれるくらい幅がある。事務所・学校・工場・倉庫・上家やアパート・ホテル・駅ビル、変電所・電車庫・諸詰所・病院など実に様々な用途や機能をもっており、延べ面積は2300万m²をこえる。構造種別でみても、SRC、RC、S、PS、CB、軽量鉄骨、アルミ造などのほか、石造も木造も未だに現存している。全体に占める木造の割合は17%程度で、新築される建物は、ほとんど不燃永久造といえる。

新築に当って、これらの用途や機能、採算性や経済性を加味して構造を決定することになる。このごろは国鉄を取り巻く環境の変化が大きく、組織や要員の増減も激しいので、造り易く毀し易い鉄骨造の建物がふえてきつつある。PS造は、昭和30年代に多く見られたが、薄肉の構造体は保守が困難なため、最近では姿を消した。S造も昔のビルト・アップ材が減って、H型鋼製のズンドウの梁や柱が幅をきかせているが、自動溶接の発達した今日、やや淋しい感じがする。トラス構造もめっきり減った。ただ厚肉の溶接・検査技術が向上し、何でもやれるようになってきたのは有難い。RC造は今でも多く採用されているが、工期や経済性の面での有位性があるからであろう。SRC造は高価で特殊である。構造種別にも流行り廃れがあるが、仕上材料の多様化、施工技術の進歩、法令の改正や施主の要望などが大きく影響していると思う。　（T・H）

情景―3

オーストリアのユーゴスラビアとの国境の近くに、グラーツという小さな街があります。伝統的なたたずまいを今日に止めるこの街の中心部に、唐突にさえ感じられる小高い岩山があり、この山は通りのはずれから綴れ織りの石段を登ると頂上に至ります。頂上には緑に包まれた公園と、メルヘンの世界を彷彿させる、素朴で古風な風車のような時計台と、そして3方の壁が、ゆうに3階程度の高さのある壁によって囲まれた屋外コンサートホールがあります。左右の壁と床は、岩山を削り取って、正面舞台の後方の壁は練瓦を積んで作られています。客席は、横一列20人程度の幅と、縦一列30人程度の奥行きが用意され、それ以外に特別席が左右の岩壁をえぐって作られています。特別席は、一般客席のレベルと2階半程度の高さと2列あり、客席から見える壁には蔦が繁り、特別席の改まった雰囲気を消しています。椅子席その他の設えも質素ですが、我々が目のあたりにする種々の公共施設のよそよそしさをみるにつけ、この屋外コンサートホールの持つ意味が大切に思われます。

オーストリアの音楽の歴史と自然と人間の係わりようもさることながら、素朴な空間の底に存在する知の有り様と、市民の中に生き続ける、この日常性を越えたこの空間には、たまらなく暖いものがある。　（T・E）

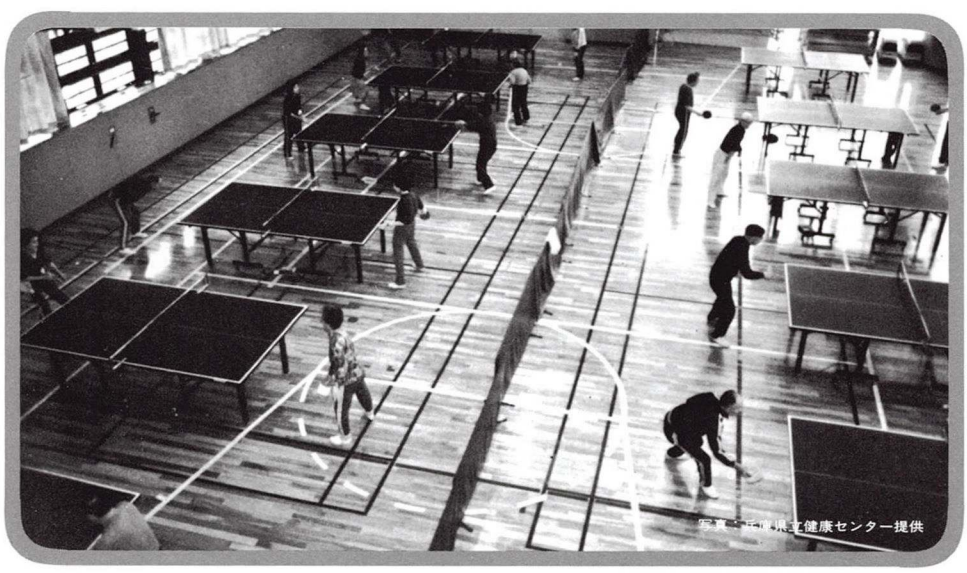
住民参加

千里や泉北のニュータウン建設の経過をみても解ることだが、住みいいまちまでは行政庁やデベロッパーの努力で造ることができるが、住みたくなるまちは上から与えられるものではなく、住みいいまちに住む住民の参加ではじめて達成されるものである。千里をみると住みいいまちづくりに10年、住民参加の住みたくなるまちの環境づくりに10年を経てきたが、本当の住みたくなるようなまちになるにはさらに数年が必要かも知れない。

芦屋を中心とする阪神間の住みたくなるまちづくりは、戦後有名な芦屋マダムの住民パワーをはじめ、地域の住民運動によるまちづくりが大きな力を発揮してきた。このような住民運動も70年代の要求型・対決型から、80年代は次第に参加型・提言型へと転換してきており、住みたくなるまちづくりには、住民の提言型の参加がどうしても必要となる。ことに住みたくなるまちは文化のまちでなければならないし、文化行政には住民参加が不可欠である。従って住みたくなるまちづくりのためには、まさに地域の建築家集団が住民参加の先頭に立って提言型の活動を行なう必要が生じてきている。このような社会的責任を果すことで、はじめて建築家の社会的地位も高められよう。　（Y.Y）

特集
多様化する運動施設

これまで運動施設に対する考え方は、ややもすると「運動＝競技」とハード的思考になりがちであった。しかし最近は、健康推持を目的とした中高年齢層の運動への進出や、婦人・子供層の増大とともに運動が大衆化し、その内容も多様化してきている。同時に、手身近かで快適な環境をそなえた施設がニーズとして現われてきている。一方従来からの競技型アマチュア・スポーツの分野ではマスコミなどの影響を受け興業化され、その結果全天候・インドア化へと展開しつつある。すなわち運動施設はいま大きな転換期にあるといっても過言ではない。
このような背景のもと、今回とくにパーソナル化と社会体育を中心に企画者、施設供給者、管理運営者などの立場から運動に対するソフト的思考について意見を頂き、特集としてまとめたものである。本特集によって、少しでも、「多様化する運動施設」への理解を深めることができ、今後の建築活動により一層役立てば幸いである。
（横尾迪夫・田辺一之）

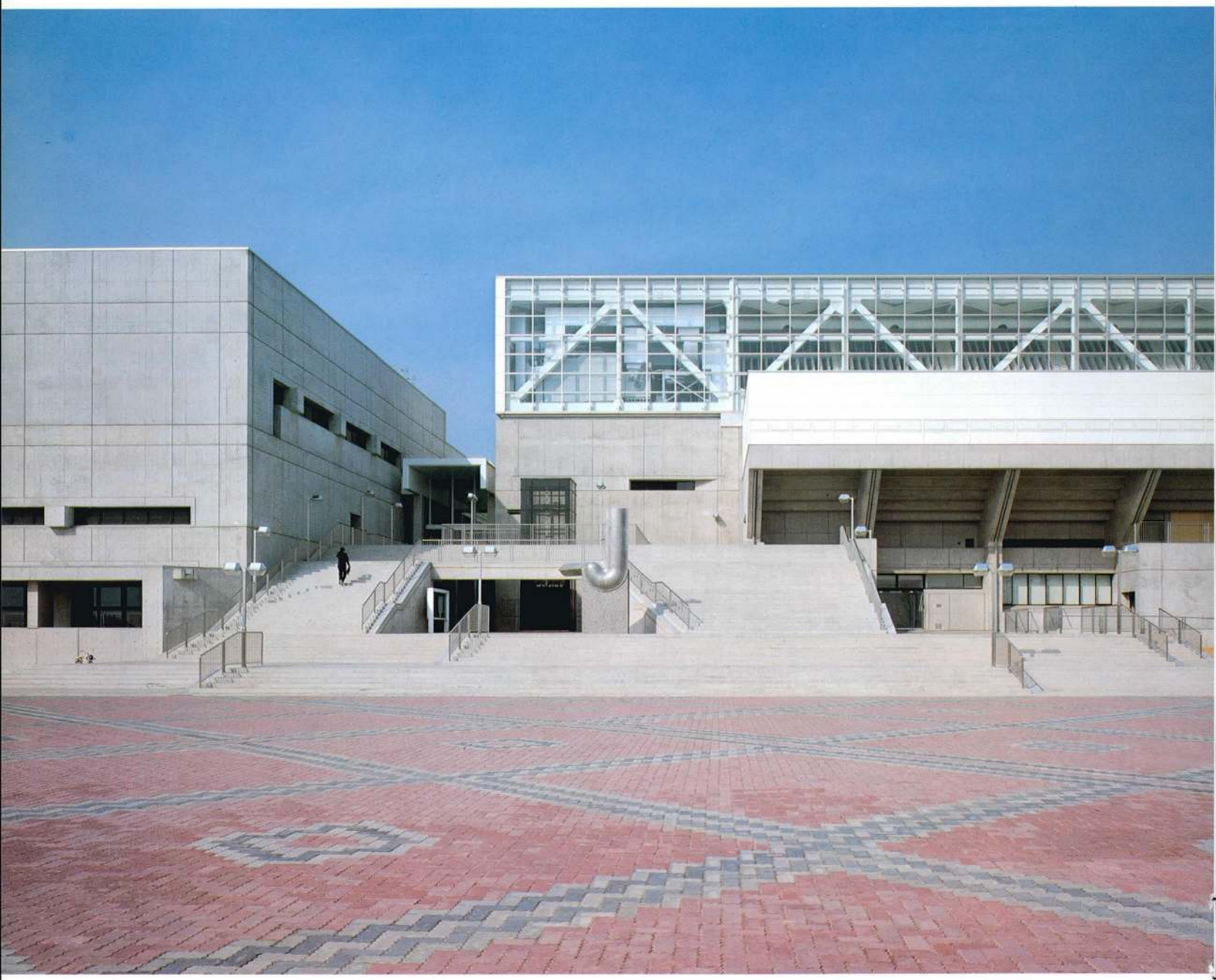


作品作風
岡山市総合文化体育館・武田記念体育館
事例紹介
ポートアイランドスポーツセンター体育館・大阪城国際文化スポーツホール・神戸総合運動公園陸上競技場
総論
多様化する運動施設―最近の動向を考える―／嶋田勝次
競技施設のパーソナル化
運動施設のインドア化－ＣＢＣスクェアーガーデン／松井淳之・高山順行
健康維持からの要請－兵庫県立健康センター／辻昇三
家族的レクリェーションへの開放Ⅰ－山城総合運動公園（太陽が丘）／松岡正樹
家族的レクリェーションへの開放Ⅱ－グリーンピア三木／加藤俊明
社会体育と教育
社会体育施設の運営・利用についての私見／田口守隆
鹿屋体育大学の役割／岡田参郎
北米のフィットネス施設の動向／池田勝
資料
競技場の基本寸法

本特集編集幹事：横尾迪夫・田辺一之・北村繁夫・高山司郎・中河克則（順不同）

岡山市総合文化体育館

設計監理　岡田新一設計事務所
施　　工　フジタ工業・安藤建設・松本組建設共同企業体



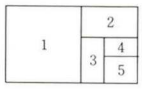
岡山市総合文化公園の主建物として、建設された「岡山市総合文化体育館」は、多目的に利用できる施設として設計された。総合文化公園は、建設省が推進しているカルチャーパーク構想のモデル事業および岡山市市制施行90周年の記念事業として整備が進められている。

この総合文化体育館は、4階建、延面積15,000㎡という大きなもので、メインアリーナ、サブアリーナと呼ばれる二つの多目的な競技場、催し物場のほか、武道場、弓道場、アーチェリー場、トレーニングルーム、図書室などで構成されている。

メインアリーナは、64ｍ×40ｍの平面広さ、天井高さ21ｍ500 あり、バスケットコートなら3面、バレーボールコートなら4面の公式コートがとれ、舞台を設ければ、可動イス 5,000席が設置できる。固定イス 3,000席と合わせ8,000人が収容できる。天井には 236基の照明があり、一灯づつの点灯が可能で、使用目的に応じ、パターンの組合せ照明もできるようになっている。アリーナ中央部の明るさは、2,000Lxあり、持込み照明なしでカラーテレビ中継を可能としている。主構造のトラス内に設けられたハイサイド窓からは十分な自然光が入り、日中は照明なしでも競技ができる。この窓は、電動ルーバーにより暗転ができ、多様な催し物を可能にしている。

その他、天井にはスノコ、キャットウォークがめぐらされており、幕類、吊物などの舞台設備、舞台照明、舞台音響スピーカーなどが設けられている。音響対策にも十分考慮をはらい、残響時間は6,500人で1.6秒、5,000人で1.8秒となっており、これは今までの体育施設兼ホールではあまり例がなく、専用ホール並みの数値となっている。

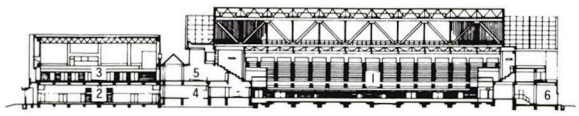
（岡田新一設計事務所所長／岡田新一）



1．正面
2．北東全景
3．ホール
4．正面全景
5．メインアリーナ
撮影：河野豊

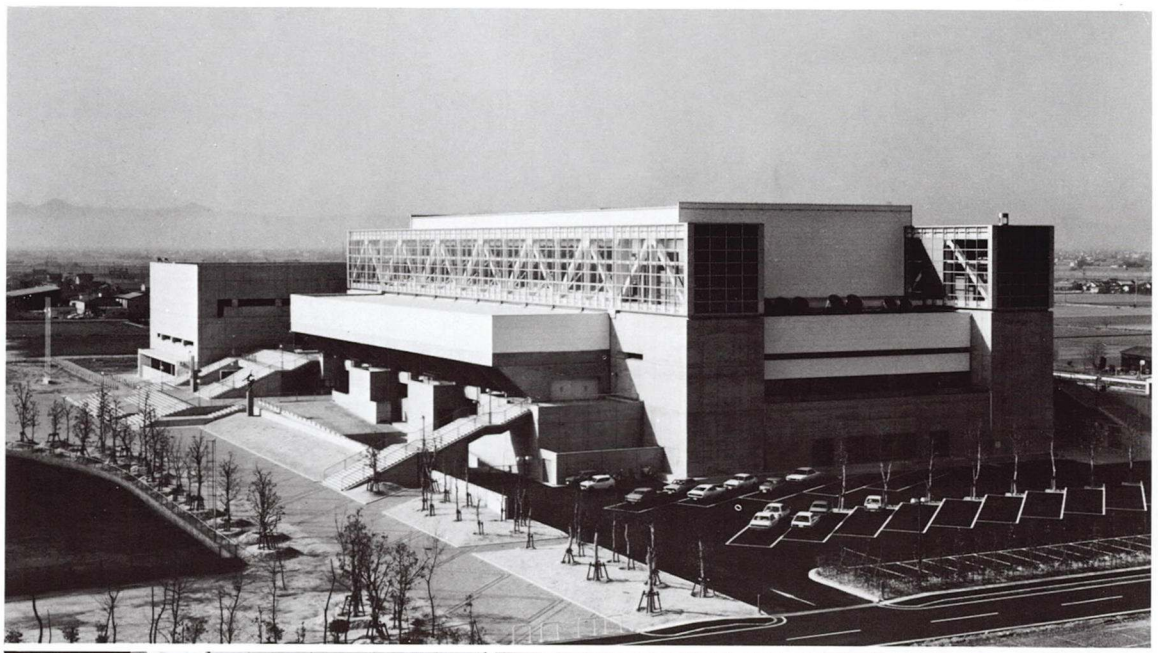
図面は日経アーキテクチュア' 83年
1月31日号より引用作成

所 在 地　岡山市浦安南町493－2および494－3
敷地面積　180,000㎡（都市計画公園内）
建築面積　8,812.552㎡
延床面積　14,935.698㎡
構造規模　ＲＣ一部ＳＲＣ、Ｓ、地上4Ｆ、最高高さ26.10ｍ
工　　期　昭和55年11月～昭和57年９月
最 寄 駅　山陽本線岡山駅

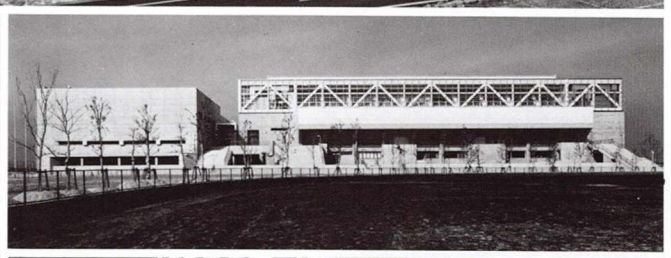


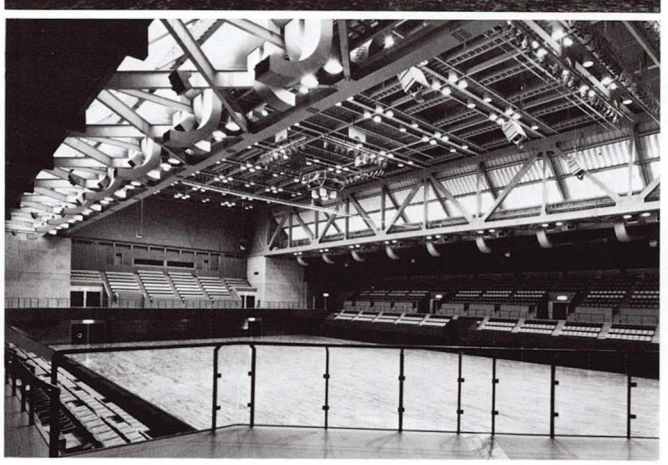
断面図 1：2000　1．メインアリーナ　2．武道場　3．サブアリーナ
4．メインアリーナ入口　5．2階ホール　6．中央機械室

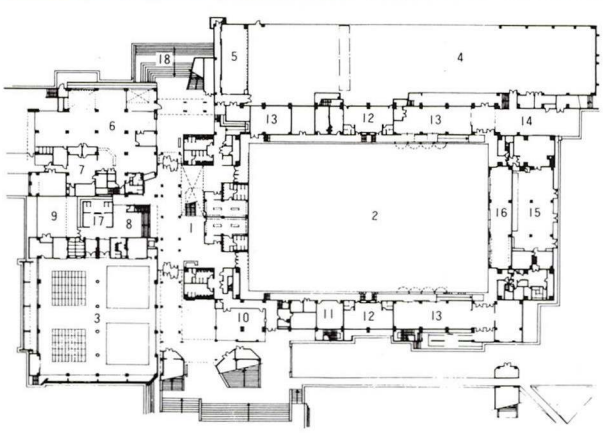




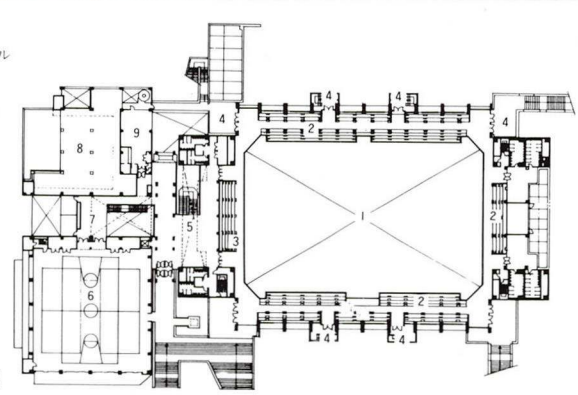








1階平面図 1：2000
1．メインアリーナ入口ホール
2．メインアリーナ
3．武道場
4．弓道場・アーチェリー場
5．射場
6．図書室
7．貸出事務
8．道場入口ホール
9．トレーニングルーム
10．事務室
11．会議室
12．選手控室
13．器具庫
14．大道具搬入口
15．中央機械室
16．倉庫
17．更衣室
18．外部階段

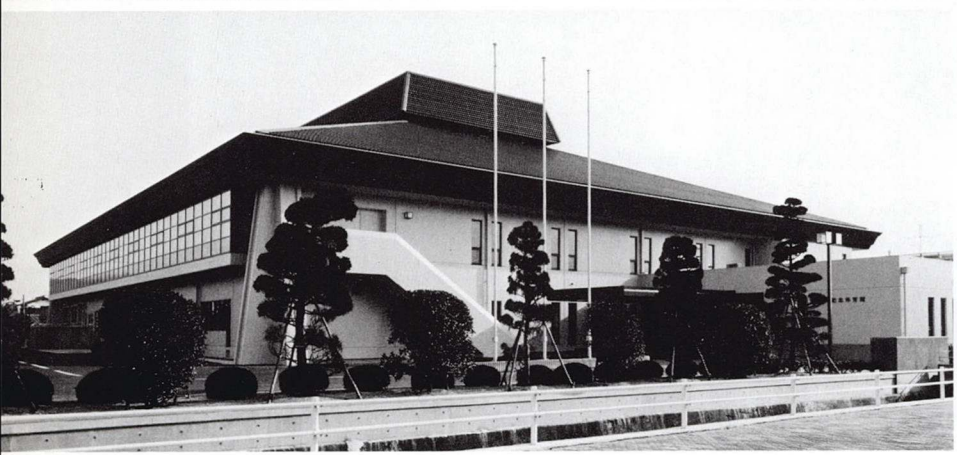


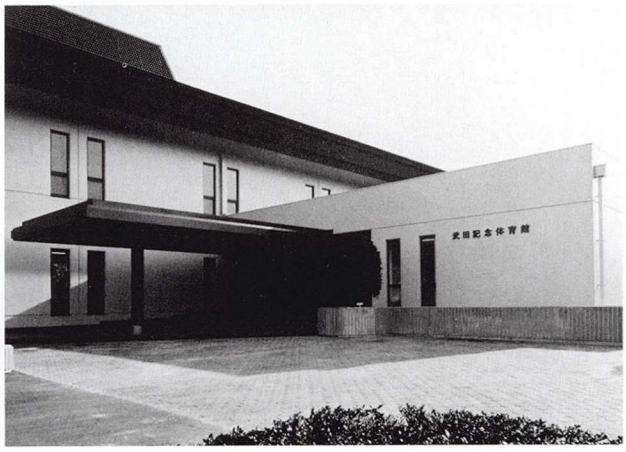
2階平面図
1．メインアリーナ上部
2．観客席
3．身障者用観客席
4．非常出口
5．2階ホール
6．サブアリーナ
7．同上入口
8．屋上
9．軽食喫茶室

武田記念体育館

設計施工　大林組







撮影：ヤマモト写真工房

所 在 地　山口県光市正門町13番地
敷地面積　6,900.80㎡
建築面積　3,885.13㎡
延正面積　4,799.34㎡
構造規模　ＲＣ一部Ｓ造、２Ｆ
工　　期　昭和57年１月～昭和57年11月
最 寄 駅　国鉄山陽本線光駅

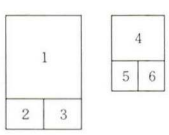
創業200年の記念事業として企画されたものであるが、公共施設が充分に満たされていない地方都市の一助ともなるよう、市民にも開放して運用される体育館である。

光市は工業都市でありながら落ちついた雰囲気を感じさせており、町並みの景観やスケールを逸脱することのない形や色に気を配った。

施設としては、公式バレーコート２面をもつメインアリーナ、練習用バレーコート兼集会時の舞台となるサブアリーナ、２階レベルで一周するランニングコース、固定1000席のギャラリー、その他のスポーツ施設をもつ。

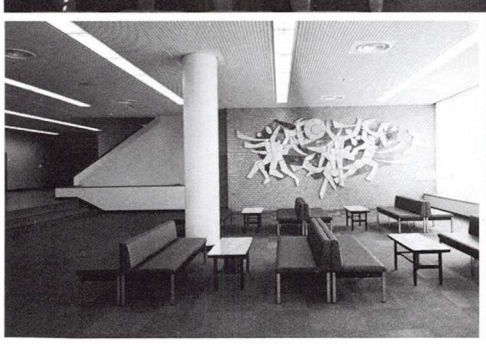
設備としては、昼光採光、採光調節、床下換気を含めた自然換気システム、集会時に使用される機械換気等を越屋根の中に集中させて設置した。

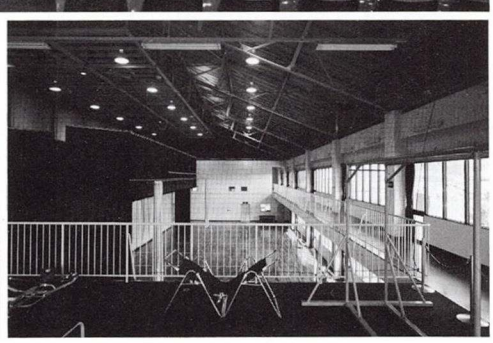
その他、シャワーの給湯にソーラーシステムを採用、また将来はサウナも設けられるよう先行工事がなされている。　（田澤道生・岡本美喜夫）

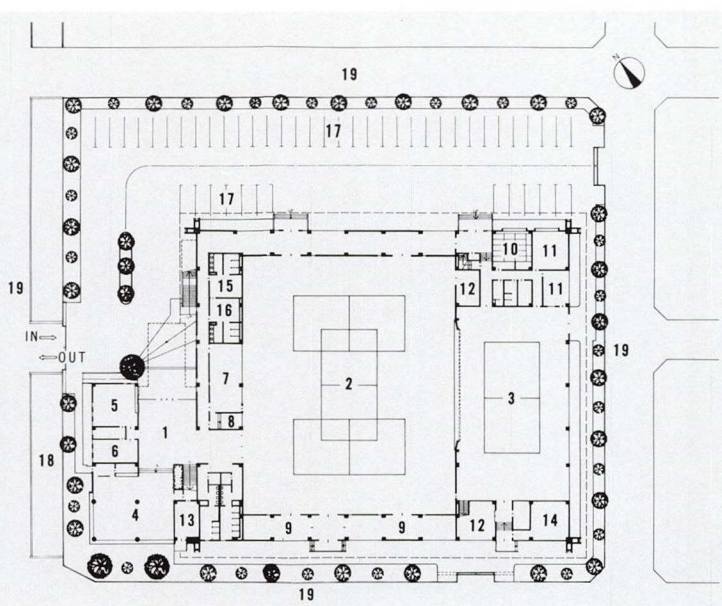


1．西側正面
2．北西より
3．玄関
4．アリーナ
5．ラウンジ
6．トレーニングルームより
ステージ／サブアリーナをみる





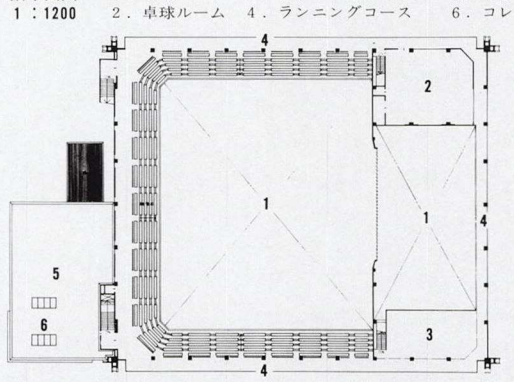




◀1階平面図　1：1200

1．玄関ホール　4．ラウンジ　8．放送室　12．倉庫　16．男子更衣室
2．アリーナ　5．事務室　9．器具庫　13．機械室　17．駐車場
3．ステージ　6．特別室　10．休養室　14．電気室　18．汐入川
サブアリーナ　7．ミーティング　11．部室　15．女子更衣室　19．道路

▼2階平面図　1：1200　1．吹抜　3．トレーニングルーム　5．管理棟屋上
2．卓球ルーム　4．ランニングコース　6．コレクター



●建設中の運動施設作品

ポートアイランドスポーツセンター体育館

設計監理　神戸市住宅局営繕部・昭和設計
施　　工　竹中工務店

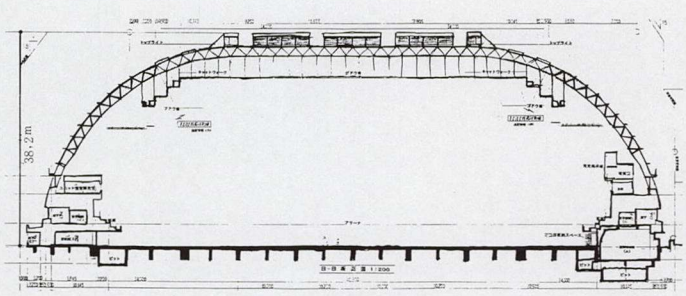


所 在 地　神戸市中央区港島中町６丁目
敷地面積　10,365.400㎡
建築面積　7,739.477㎡
延床面積　13,287.348㎡
構造規模　Ｓ造、ＲＣ造
工　　期　昭和58年１月～昭和59年８月予定
最 寄 駅　ポートライナー市民広場駅

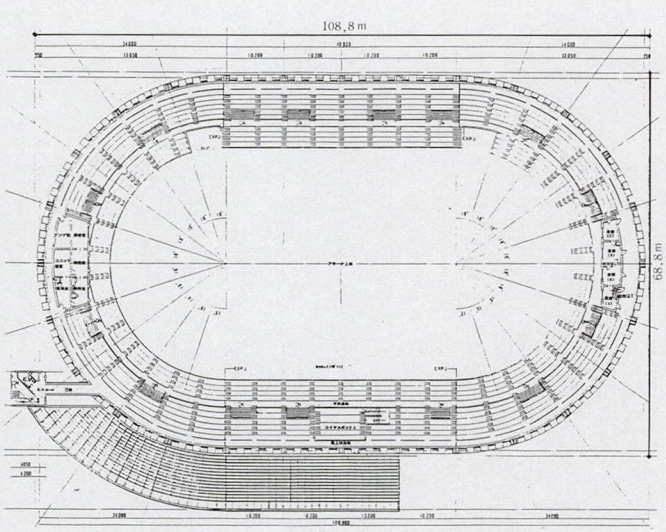
本施設の体育館としての当面の目的は、ユニバーシアードの体操競技とバスケットボール競技のための会場造りである。しかし、利用巾は広く、160Mトラックを含む殆んどの屋内運動競技が可能だけでなく、ヨット・ボートを含む見本市展示場として、また、講演、ショー、音楽コンサートまで、ある程度可能な性能を有している。これは、隣接するプールおよびスケートリンクや国際展示場、国際会議場との一体的利用を考慮し、インターナショナルスクェアーのまとまりを志向している故である。

これらの利用は、コミュニティーレベルから国際的レベルまで、当然対応できるものであり、スタンドも固定席の他に電動式の可動席を設けたり、吊物も２ヶ所のステージ利用が可能にしており、最大１万人利用まで想定し、アリーナの広汎な利用を期待している。南隣のプール・スケートリンク棟と比べ、省エネおよび空間構成の基本的考え方は殆んど同じであるが、デザインは全く対比的に扱った。

（三宗司郎／昭和設計企画部長）



断面図

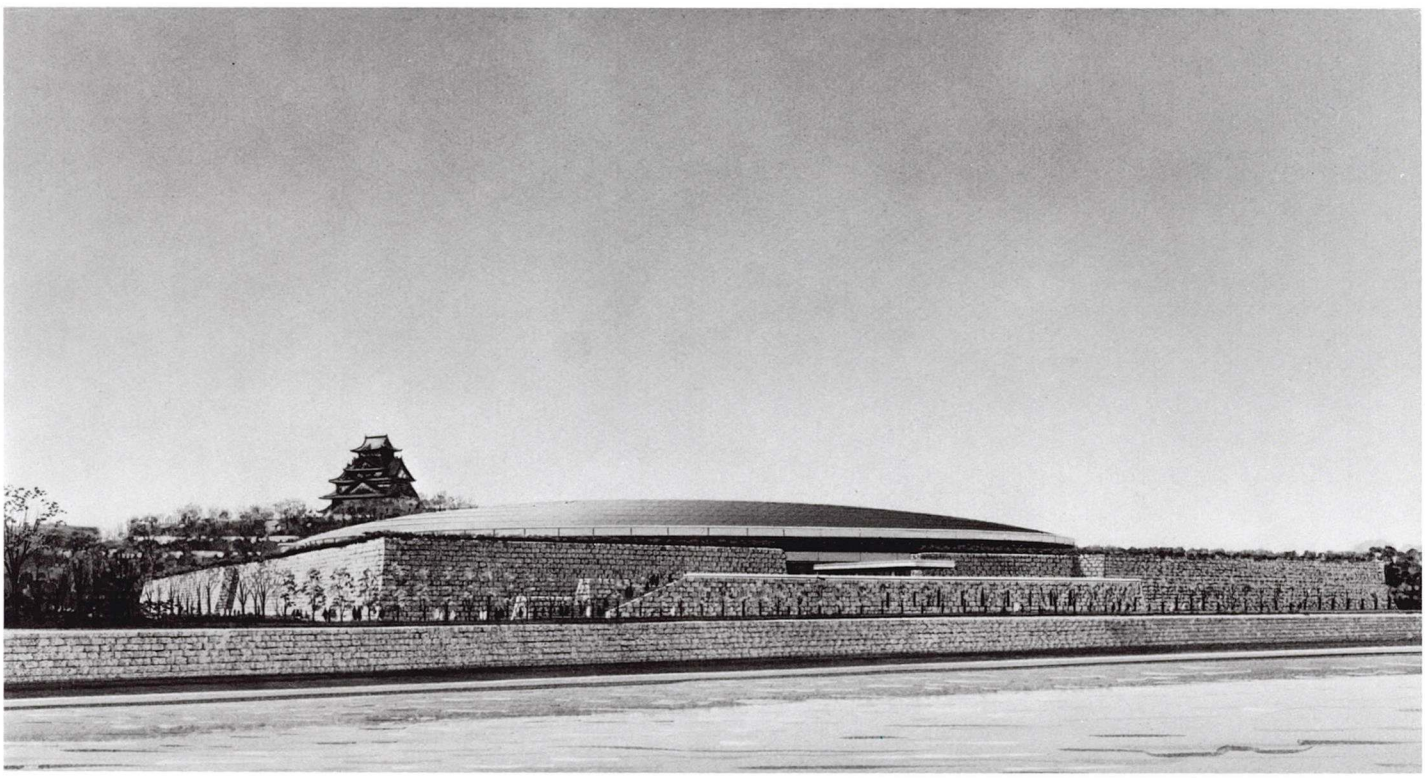


2階平面図

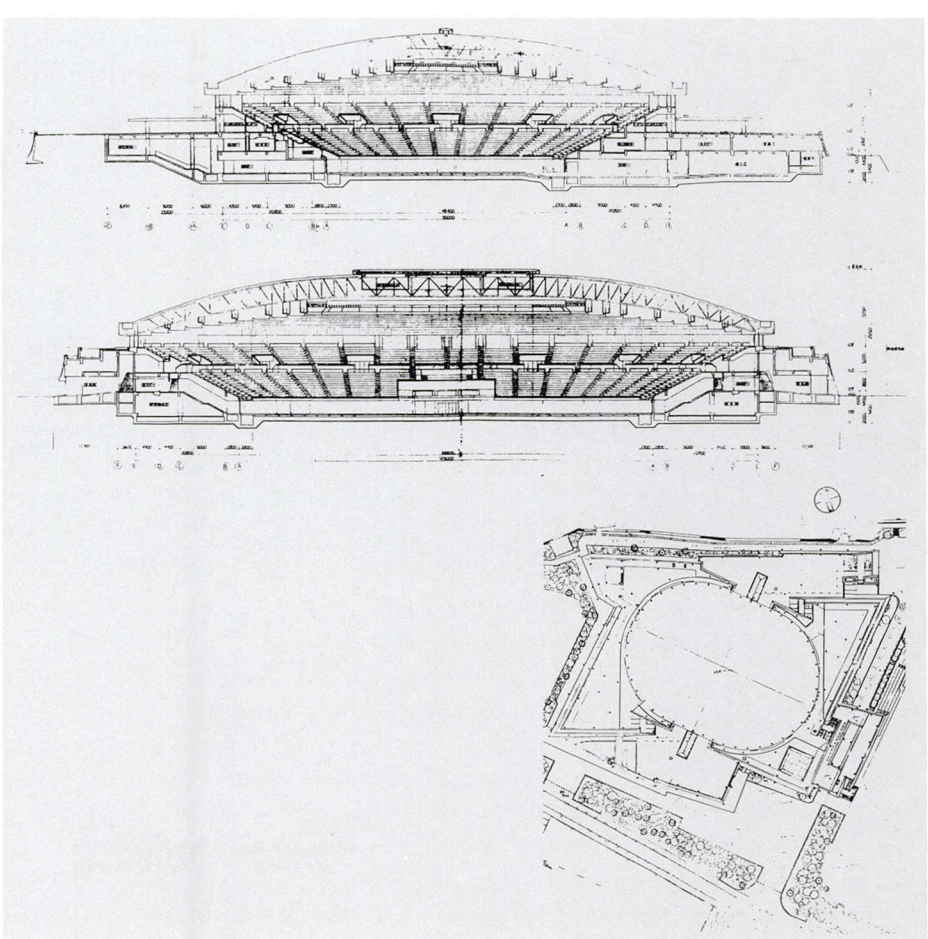
●建設中の運動施設作品

大阪城国際文化スポーツホール

建 築 主　大阪市開発公社
設計監理　日建設計大阪本社
施　　工　大成建設・松村組共同企業体



所 在 地　大阪市東区大阪城３番の３－７
地域地区　住居地域、準防火、風致、史跡指定地区
敷地面積　36,351.58㎡
延床面積　30,679.16㎡
建物規模　地下１階、地上３階
構造種別　基礎ＲＣ、軸組ＲＣ、屋根Ｓ
主要外装　屋根：銅板葺き　外壁：花崗石
工　　期　昭和57年３月～昭和58年８月予定
最 寄 駅　国鉄環状線森之宮駅



大阪城国際文化スポーツホールは、本年10月に予定されている大阪築城 400周年記念の式典と、その後引続いて計画される大阪21世紀祭の各種催物の主会場として用いられることとなっている。したがって当ホールの機能は、式典、音楽、各種ショウや文化的催物、スポーツ等の多岐に亘っており、従来の文化ホール、会議場、展示場、体育館を高い次元で融合させることが設計のテーマの一つである。

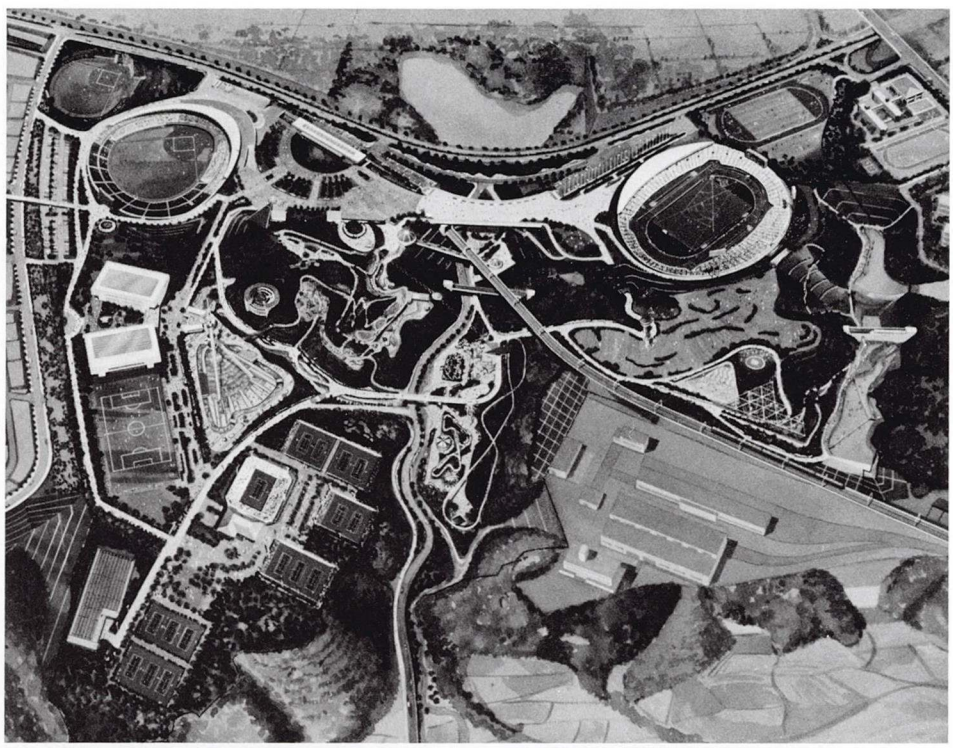
最大収容人員16,000人の規模のメーンホールは、空調、音響、照明、吊物等の各機構が組み込まれ、出演者および観客の多種多様なニーズに対応できる予定である。アリーナ部分の形状はアイスホッケーを前提に決定されたが、室内陸上競技場として用いる場合，160ｍトラックが設営できる大きさでもある。プロテニスに代表されるショウスポーツも、前述の各種機構設備やアストロビジョン等を用いて、音と光による演出が容易に実現されることを、当ホールの特色としている。

（上田信也／日建設計計画主管）

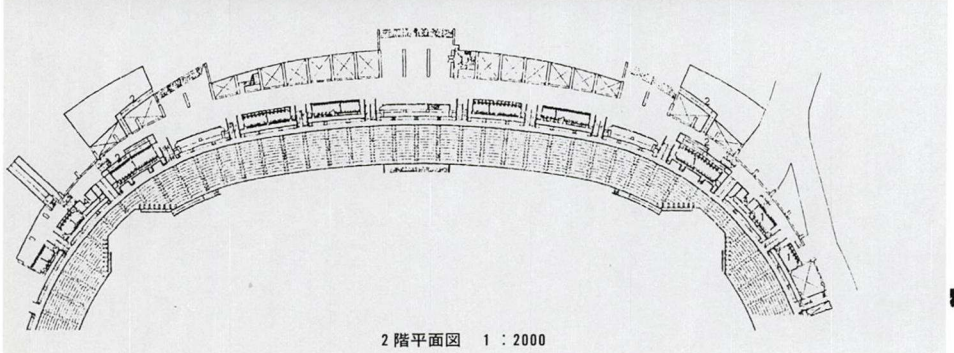
●建設中の運動施設作品

神戸総合運動公園陸上競技場

設計監理　神戸市・日建設計
施　　工　清水建設　他





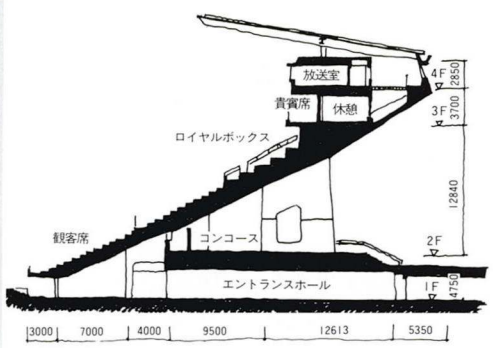


2階平面図　1：2000

所 在 地　神戸市垂水区名谷町
敷地面積　198,000㎡（公園全体56ha）
建築面積　7,930㎡
延床面積　8,716㎡
構造規模　ＲＣ造４階建
工　　期　昭和57年10月～昭和59年６月予定
最 寄 駅　神戸市営高速鉄道(仮称)神戸総合運動公園駅

'85 ユニバシアードのために建設中の当競技場は、10年計画である神戸市の総合運動公園の主要な施設となる。華やかに人々の集まる競技場も、イベントが過ぎ去ると、人影のないスタンドに過日の〝強者共の夢の跡〟の感傷を残すのみで、ストラクチャーの偉容がかえって公園に淋しい影を落とす。この計画ではすべての競技施設は公園と一体となって常に活き活きとした明るく若々しい雰囲気を創り出すことを最も大切なテーマとした。緑に恵まれて起伏の激しい環境との調和を計って、バックスタンドは自然の斜面を利用し、背後に連なる山全体と同化した公園広場とし、メインコンコースも園路と一体化し、スタンドへの親しみやすくスムーズな導入を計った。またフィールドに至る役員選手の動線は、自動車動線に直結して、園路歩行者とは立体的に分離した。一流のスポーツや催しを見るにふさわしい場として、スタンド環境の充実に努めたが、地形と一体になる建物外周ラインと、フィールド際まで届く可視線を得るための断面計画、さらにそれらがつくるエキサイティングで優美な曲面の検討に、最大の力を注いだ。

（橋本　巌／日建設計計画主管）



メインスタンド断面図

●総論

多様化する運動施設

――最近の動向を考える――

嶋　田　勝　次

1960年西ドイツの「ゴールデンプラン」が発表され、着々とその実績が展開されてくるにつれて、これを見習うところをあらたな出発点として、運動やスポーツに対する新しい方向付けが各国で始められたといえる。この国民の健康づくりから幸福をもたらす第二の道を歩み始めてから20年の間に、さらに深化した動向が定着してきている。その動向をまとめると、つぎの６点くらいに集約できるのではなかろうか。

まず第１に、これまでの選手中心、競技中心のスポーツからスポーツが一般に開放され、みんなのものになってきたことである。選手による競技スポーツ中心の第一の道からすべての国民がスポーツを楽しむ第二の道の転換がはかられてきたことがあげられる。これまでの青年中心、若者の独占物であったスポーツから、スポーツや運動に対する概念がまず変ってきたことである。〝見るスポーツ〟から〝するスポーツ〟へ、老若男女がそれぞれに対応した運動を選択して実施している。老人のゲートボール、乳幼児の水泳、ママさんバレー、女子マラソンなど、いくらでも身近かに接することができる。

その動向の第２は、公認競技中心に建設されて選手中心に利用されている運動施設とは別に、一般の生活圏の中で気軽に使える施設がつくられてきていることがあげられる。一般市民のスポーツ活動がますます活発になるにつれて、競技場や総合体育館などの正式に整備されているものに対して、コミュニティ施設の一部として、市民センターや文化ホールの中に設けられるようになってきた。スポーツ人口が増加し、その要望が日常化し、社会化してくるにつれ、公共施設にいつでも、どこでも、だれでも楽しく利用できるものの定着である。それまで学校体育館や企業のスポーツ施設の地域への開放がその要望に対応してきていたが、その過渡的時期から地域社会における施設配置のシステムづくりが展開してきたといえる。

この運動施設の配置システムの構成計画の一案を紹介する。**表-1**と**図-1**は、神戸都市問題研究所における市民スポーツ振興研究会に提出した神戸大学安田丑作講師の提案である。(「都市政策」'78年10月、第13号)

生活圏の段階構成と運動施設の位置付けを明確にして、その利用内容によって施設配置の検討を深めるべきである。またその施設を具体的に整備して行く上で、多くのバラエティある各施設をどう組み合わせて地域に配置させるかが大きな課題となる。Ⓐ各種コート数や野球場などの施設を種目毎に集約的に整備する種目別集約配置型。Ⓑ各種施設を利用圏に応じて分散配置するとともに緑道などで有機的に連結する地域分散配置型。Ⓒ各種施設を総合的に集中させたり、スポーツ施設以外の地域・社会・文化施設との関連の中でつくる複合型などが考えられる。どう長くそれらの施設がうまく活用されるかの見通しから施設の組み合わせを考えることが大切であろう。

第３の特色は、運動や体育そのもののプロパーな施設にとどまらず、周辺関連分野の施設との連繋である。その周辺関連分野として大別すれば、余暇レクリエーション・美容健康・医学診断の三分野があげられる。余暇レクリエーション施設の中のひとつにスポーツ施設が配されて、家族やグループで運動を楽しむことも遊びの新しい形として歓迎されてきているし、その大きな要素となってきている。また宿泊と運動、研修とスポーツ、レジャーと体育など，多機能な施設群によるあらたな利用形態が生まれている。また美容体操から健康増進に至るまでのさまざまな体づくりにおける運動施設利

用がある。さらに医療の一部としての体力増進の診断からそれぞれの個々に合った運動を行なう施設とのつながりである。健康増進センターの実現はこれに当る。健康診断・生活実態調査・栄養指導から、トレーニング室・プール・体育館における運動の実施という一貫した体制の確立となるのである。

第4の動向として、スポーツが街の中にどんどん進出し、コマーシャリズムの中にまで入り込んできたことをあげることができる。民間の経営になるテニスクラブや、ビルの内部にある健康トレーニングクラブや温水プールが現われてきているし、スイミングスクールなどが市街地の再開発建築の中や団地のセンター内などに新しい立地を見い出してきている。

第5の特色として、体育運動施設の設置や管理運営の主体が、これまでは公共と企業体に限られていたが、前項でもあげたように民間の手によるものが続々と生まれてきたことである。一般人を対象としてスポーツ欲求を充足させて採算性や収益を得ることはこれまでかなりむつかしいこととされていた。そのため官公庁の手によるスポーツサービスが主であったのは当然といえる。しかし市民のスポーツへの高級化・多様化・集団化の方向に対してすべて受けとめることの困難さが新しい主体をつくり出してきたのである。そのはしりは地域社会の中での自主的なスポーツ集団の誕生である。神戸ではたとえば垂水団地スポーツ協会がある。ひとつの団地の中で空地や公園を利用したスポーツを楽しむ市民組織である。また神戸ＹＭＣＡの事業活動の一部として行なわれている体育・水泳・野外活動である。きめ細かなボランティアを含めた小集団指導スポーツ活動である。さらに兵庫県にあるＯＡＡ（野外活動協会）は市・県・商工会議所・新聞社・青年会議所などの提唱・出資による組織の活動である。さらに最近では公的セクター方式で社団・財団を形成する組織がある。いわゆる外郭団体方式だが、たとえば滋賀県文化体育振興事業団・松江市教育文化振興事業団・鳥取県教育文化財団・兵庫県健康教育公社など、これらの事業の展開が期待される。そして民間独自の展開がそれに加わって多彩な方向で拡充されてきたのである。

第6点目の運動施設の特色は、これまでの多くの項目に関連するが、運動施設の周辺が広々した公園や緑地であり、豊かな外部空間の中に運動施設が立地していたのに対して、多様化する内容や主体と関係して、都市の市街地の中にあるものと、それと相反する遠く離れた開発地の中に立地するものの両極端に分れる。またスポーツの多くの種目を集約している場合も多く、それらをどう建築施設の中にまとめるかの課題がある。そのため各種目別の施設群をどううまく空間的に処理するかである。種目を階層で分けて積み上げたり、平面的に併列しながらホールや事務管理を一体化する工夫の苦労があったり、とにかくこれまでのスポーツ施設計画の単一機能の処理から多機能の輻輳した空間の有機的つながり方が、プランニングの新しい道を拓いてきているといえる。

*

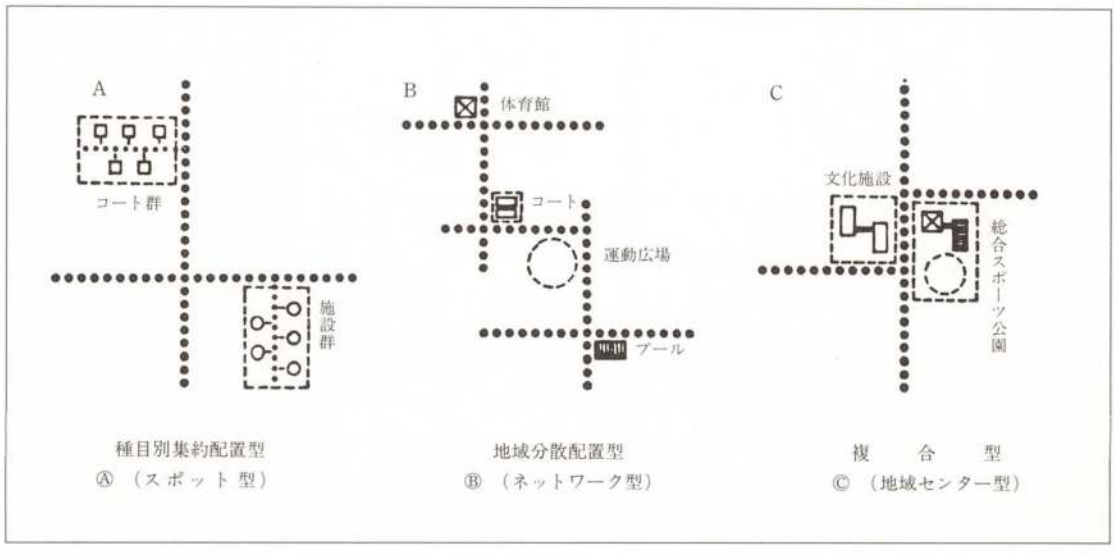
これからのスポーツが、競技中心、見ることが一般的であった時代から、みんなのものになり、市民ひとりひとりの身近かに楽しんで参加することになって以来、よりよい施設設備の高度化が進んでいるし、その受け皿のバラエティはますます多彩化している。しかし体育―運動―スポーツは必らずしも施設の充実や指導組織の確立だけにとどまるものではない。神戸では明治以来いろいろ西欧の新しいスポーツが輸入され、日本ではじめてのスポーツがいくつも行なわれた。たとえばゴルフ、サッ

表—1　生活圏の段階構成と体育・スポーツ施設の位置付け

		地区（住宅周辺）	近隣住区（コミュニティ）	地域（行政区）	都市（全市）
		100 世帯（200～300人）	3,000世帯～1万世帯（0.8万人～3万人）	3～4 万世帯（10万人）	30～40万世帯（100万人）
施設等	体育館 プール等		・学校体育館 ・コミュニティセンター ・学校・コミュニティプール	・区総合体育館 ・勤労市民センター ・温水プール	・中央総合体育館 ・中央競技用プール
	競技場 球技場等	（日常生活区域の体育スポーツ施設）	・学校・公園 ・少年野球場	・野球場 ・球技場（各種コート） ・ゴルフ練習場	・中央競技場 ・中央球技所
オープンスペース等	公園・緑地 プール等	・プレイロット ・ちびっこ広場（ラジオ体操）	・児童公園 ・近隣公園（毎日登山・早朝マラソン）	・地区公園（サイクリング）	・総合公園 ・自然公園（マラソン）（ゴルフコース）
利用主体・集団		幼児・児童（個人・家族）	児童・生徒・主婦・老人（学校集団・地域集団）	勤労者 生徒・学生（高校・大学）（職場集団・任意集団）	競技団体（団体利用・競技大会）

（公式競技用体育施設）

図—1　施設整備タイプ



カーなどがあるし、そのためのグランドづくりやルール徹底の苦労などもあったようだが、神戸の場合市街地の背後にすぐ連なる六甲山との交流は見逃せない。現在でもスポーツや体育の原型ともなる「毎日登山」をその座標の原点にすえることはできないであろうか。それぞれの住宅のすぐ裏山の山道に、通勤や通学の前に毎朝入り込み、ラジオ体操をしたり何人かの人達との挨拶や簡単なゲームに興じて、爽快な気持で一日が始まるという他愛のないものであるが、それぞれの住宅の周辺で、また個人個人で毎日簡単にできることから出発することが、複雑な社会になればなるほど必要なものになってこないかと思えてくるのである。

（しまだ　かつじ　神戸大学建築学科助教授）

●競技施設のパーソナル化

運動施設のインドア化

事例　ＣＢＣスクェアガーデン

松井淳之／高山順行

●はじめに

わが国のスポーツは常に学校体育とかかわり合いながら普及してきた。従来スポーツはエリートのもの、レクリェーションなどの遊びは罪悪なり、といった考え方が支配的であったが、第二次大戦以後、新制中学校の教育の中で、スポーツや運動によるレクリェーションに関することを扱ってきており、スポーツ活動の内容の変化も目覚しいものがある。

一方、わが国の産業・経済はめざましい発展をとげ、国民生活に多くの恩恵をもたらした反面、環境の汚染および破壊あるいは、生活様式の急激な変化などによる身体活動の減少にともなう体力の低下など、新たな問題を投げかけている。このことは健康に対する関心を高め、生活水準の向上、余暇の増大とあいまって、スポーツ活動やレクリェーション活動への欲求をいちじるしく高めている。

このような状況の中で、活動自身の変化もさることながら、国民のスポーツ・レクリェーションに対する思想や態度も近年非常に変化し、体育・スポーツ活動からレクリェーション活動の増大の方向に進み、大衆化へと相当な勢いで進行中である。その結果対応する施設も非常に大きな変化をとげている。現在、運動施設の内容を定義づけることは非常に困難であるが、大きくは、競技会中心の競技水準の向上を目ざす高度化の方向と、スポーツを生活の中で楽しむ層の普及拡大を目ざす大衆化の方向に分けることができるが、ここではスポーツの大衆化さらにレジャー化の方向に対して、一企業が取組んだ運動施設のインドア化について報告をする。

●スポーツの大衆化・レジャー化に伴うインドア化の要請

（ここ数年ブームともいうべき発展をしてきたテニスを主体に、将来スポーツコミュニケーションの場として開発を行っている、ＣＢＣスクェアガーデンの例を中心に。）

スポーツの営為そのものは変らないが、その活動は急激な変化をとげている。スポーツ・レクリェーション・ゲーム・あそび・観光・レジャー・余暇活動・社会体育・娯楽・アミューズメント・エンターティメント、いくつかあげたこれらの言葉に正確な定義を与えることは不可能であろう。スポーツをする人でも、子供・少年・青年から老人まで、そしてその男女。また個人でスポーツをする場合もあるが、グループでする方が多い。そのグループがまた多種多様で、学校仲間、近所付き合い、職場集団、生産・消費団体、家族、レジャー産業組織集団等々数限りない。初心者から大ベテランまで、それぞれの純粋集団とさまざまな混成集団。最近はさらに消費水準の多様化までつきまとい、クリスタル族スポーツ集団から、伝統的運動部までじつにさまざまである。スポーツ参加の動機もまた多様である。なんとなくスポーツ派から体力向上、健康増進、老化防止、美容保健など。これらの状況はたえず変化し、スポーツはその領域を拡大しながら常に新しいものを生み出している。

このような状況をとらえ、放送事業を本業とする。中部日本放送株式会社が開発事業として、放送事業と密接なかかわりをもたせながら、多目的なインドア運動施設を作り。これを開発の核として、スポーツ、レジャー、ショッピング、情報、文化などの各機能を備え展開するスポーツランド的色彩の濃い開発を進め、スポーツコミュニケーションの場を広げていく計画を行っている。

スポーツのインドア化は、自然からの独立に最大の目的があり、自然に拘束されない空間をつくることにある。本来、屋外で始まったスポーツがインドアで行われる一般的な理由は、

- まず屋外の地面が硬～軟・滑り過ぎ～滑らなさ過ぎ・含水～乾燥・凹凸などの欠点が多いこと。
- ゲームをする周囲の囲いが風などからゲームを守ってくれないこと。
- 自然の光、とくに直射日光がゲームのさまたげになる場合が多いこと。
- 雨風がゲームに好ましくないこと。

などであるが、スポーツの大衆化・レジャー化からインドア化が要請される理由は、

- 天候に左右されず、一年中フルに稼動できるとともに一日当りの稼動時間の延長を図ること。
- 四季に左右されないオールシーズンの稼動を図ること。
- 稼動延長による（とくに夜間）騒音公害・光公害・害虫公害などをさけること。
- 多様化するスポーツ・レクリェーションおよび各種の行事・催事に対応させること。
- 日焼を敬遠する女性、また高齢者などに対し日射・厳寒・酷暑をさけること。
- 施設、運営の質的競合化時代およびファッション化社会への対応。

などが付加されることになる。このように運動施設のインドア化という変化は、社会情勢の要請とともに進歩発展してきている。

一方、インドア化は技術の進歩に負うところが多く、社会的、経済的な豊さの進展とあいまって進行している。例えば技術的な換気・空調ということだけで見ても、昭和30年代から現在まで種々変化している。

- 30年代前期は、とくに機械換気を設けないもの、またはフロアー面の通気孔と天井面近くの通気孔により自然換気をはかるものが多い。（いわゆる学校体育館）
- 30年代の観客席付の場合、観客の発熱で自然に換気するようにフロアー付近に給気孔を、上部に排気孔を設けたもの、または１時間に３回程度の機械換気を考えたものが多い。
- 30年代末期の東京オリンピック（昭和39年10月）の体育館は、観客重視のためと空調を行うようになったため無窓に近くなり、人

工照明重視型に変化した。オリンピックという世界的なお祭りの器はそれでもよかったが、地方の一般運動施設までこの風潮が広がり、省エネルギー時代に問題となる。

（このころからスポーツ施設のインドア化が急激に進行してくる）

- 40年代は、オリンピックの影響を受けた空調無窓型か、または、換気無窓型（将来冷房可能型）が多い。
- 石油ショック以後、この密閉型に対する批判が多くなり、40年代末期から50年にかけて、断熱型に機械換気及び自然換気を加えたものが多い。
- 現在は、省エネルギーの社会風潮に合せて、断熱換気重視型が多い。

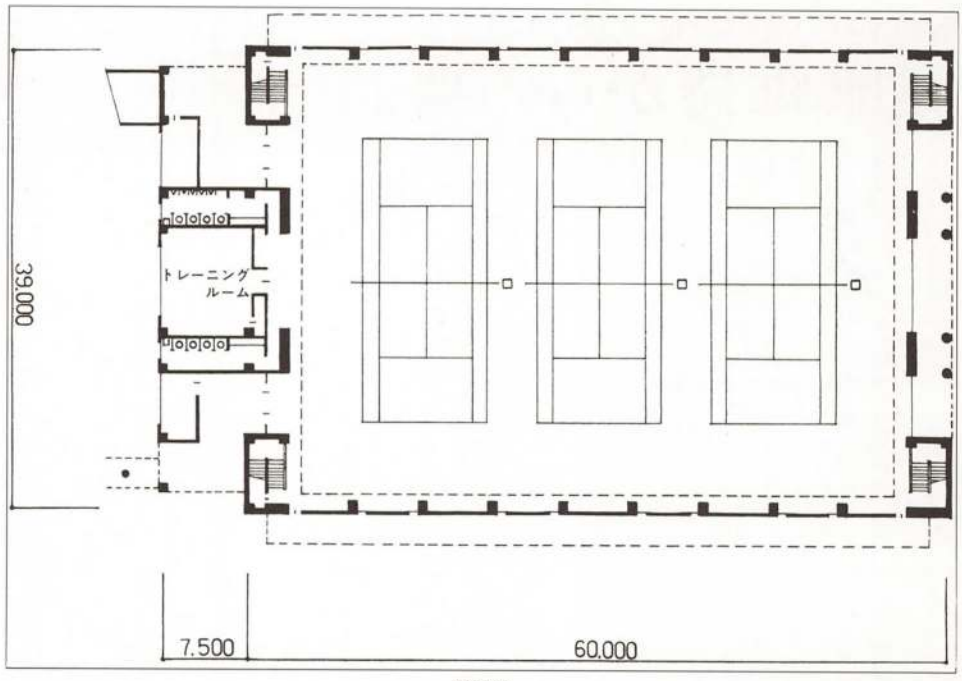
*

スポーツの大衆化・レジャー化からの要請によるインドア化としては、スポーツレクリエーション施設としての方向であり、いわゆる体育館という名称で呼び起すイメージとは一致しない。ＣＢＣスクェアガーデンの計画では、前述したように多目的なインドア運動施設ということであり、事業目的・活動種目などにより環境を創造する必要があるため、開閉式の建築となっている。例えば好天のときは「開」雨・風・寒いときは「閉」といった使用が可能となり、室内環境も空調設備にたよることなくつねに快適な環境を確保するようにしている。

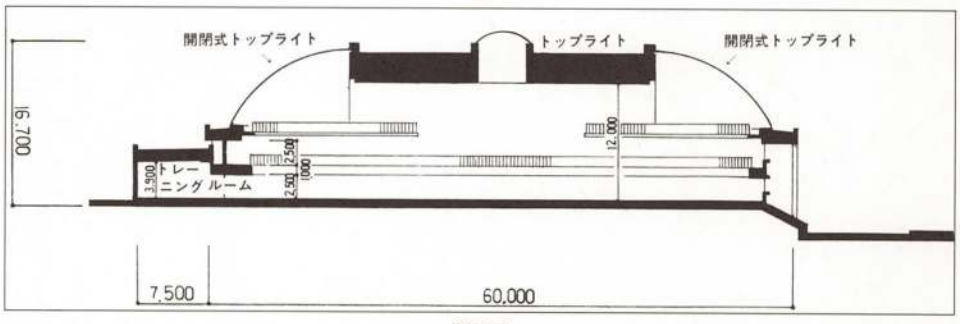
建築形態としても、従来の屋内スポーツ施設のイメージを刷新し開放的な施設としている。

スポーツの大衆化・レジャー化にとって大切なことは、デラックスな施設ひとつつくるよりも、身近なところにあり、しかも手軽に利用できる運動施設が数多くあるほうがよい、しかも何をするでもなく気楽に行って自然に多種目のスポーツと接触する環境をつくることにある。現在も、運動施設のインドア化はますます進行しつつあるが、建設コスト・多種目利用への対応など種々の問題は残っている。しかしスポーツの多様化・スポーツ施設需要の拡大に対応しようとする運動施設のあり方は、過去のイメージにとらわれることなく、自由な発想で可能性を追求する必要がある。

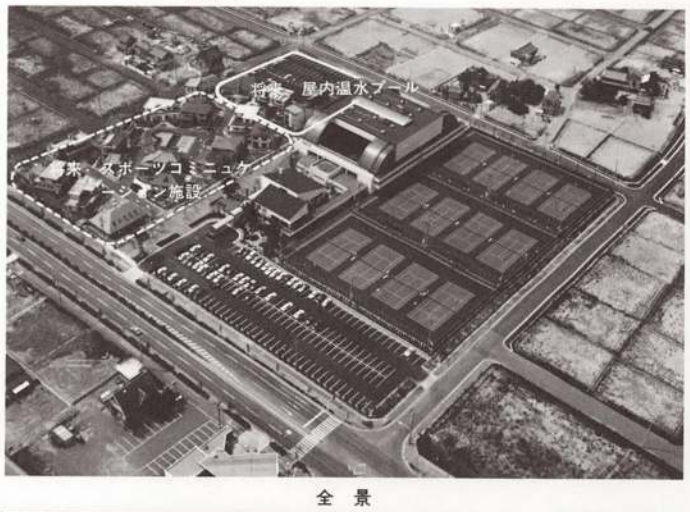
（まつい　じゅんじ　ＣＢＣ興産代表取締役）
（たかやま　よりゆき　日建設計名古屋事務所計画主管）



平面図



断面図



全　景


テニスコートから体育館をみる


体育館内部

●競技施設のパーソナル化

健康維持からの要請

事例　兵庫県立健康センター

辻　昇三



1．健康のセルフケアと生活化

“健康”が今日ほど大きな関心事になったことはありません。健康であることは、なにごとにもかえがたい人間の基本的欲求に深くかかわっていることであり、かつきわめて日常的な、わかりきった問題でありながら、健康に対する意識が日ましに高まっています。兵庫県で毎年実施している県民全世帯アンケートでも「家庭で最も気がかりなこと」や「今後の生活で力を入れたいこと」として「健康」や「健康づくり」をあげたものがもっとも多くを占めています。そして55年度の調査では「家族の健康状態」として、「体調のすぐれない者がいる」18.5%、「医者にかかったり寝ついている者がいる」10.1%であり、全体の約3割に何らか健康を害している家族がいることになります。さらに「健康を保つため気をつけていること」については、「食事」48.0%、「睡眠」32.1%、「過労」16.0%、「運動不足」14.5%という順になっています。

このことは、高齢化社会に入り、人口のなかに占める年配者の比率が高まったために、これらの人びとの健康への願望が、社会的にも大きな重みをもつようになったこととともに、きびしい競争社会にあって生活の重圧に耐えながら生きぬくためには、なんといっても健康が元手であり、それをそこなうことの恐ろしさを痛感している人が多いことが背景となっているものと思われます。

科学文明の進歩と経済の発展によって、伝染性の疾病が影をひそめ、食生活は豊かになり、それを裏づけるように平均寿命は大きく伸びたのですが、一方では医療保障の拡大が「病院はタダ、病気になったらすぐ医者にかかればよい」という安易な生活感覚を生み、自らの健康を自らの努力で守るという考えをうすれさせてしまったのです。

こうしたなかに、運動不足や体力の低下が著しくなり、肥満などによる成人病の誘発の危険が強く認識されるようになりました。今や、各自が長期的なライフサイクルの視点から健康に関する自己責任を自覚し、自主的に自己の健康管理をする…つまり“セルフケア”による積極的な健康づくりを生活習慣のなかに定着させなければならないのです。

2．メディカルチェックと体力測定

兵庫県が昨年6月、神戸市東灘区に開設した兵庫県立健康センターは、県民の健康づくりの拠点として、従来の臨床医学や予防医学による健康診断から一歩進め、栄養・運動・休養の三つの要素を柱として、個人の健康度測定に立脚した積極的な健康づくりの実践を指導し、支援しています。そのため、専門の医学管理スタッフと運動指導員が協力して健康度測定を行い、各人にあった健康づくりの処方せんを交付、これに基づいて各種の健康教室に参加したり、施設を利用したりして、健康づくりを実行する場を提供するという役割りを担っています。高まる健康意識を実践行動に移すといっても、ただやみくもに運動すればよいというわけではありません。ジョギング中に倒れたとか、ロードレースで心臓発作を起こしたとかいった例も少なくなく、運動をしたためにかえって健康をそこねるという不幸な結果を招くこともしばしばあります。

以下、健康センターにおける健康度測定と運動処方について紹介いたします。

健康づくり、とくに運動の実践にあたっては、安全性と有効性が確認されたものでなければなりません。このため健康センターにおける健康度測定は、メディカルチェックからはじめます。運動教室参加の希望者195人（女性）について実施した検診においても、運動負荷試験（トレッドミルテスト、2.8km／h・10%傾で3分、4.1km／h・12%傾で3分、5.5km／h・14%傾で3分）9分間の歩行で、何らかの理由（血圧上昇、心拍数上昇、心電図異常、自覚症状など）により途中で中止した人がその27%を占め、なかでも肥満教室希望者は他に比べて発現率が高く、その約半数（54%）に及んでいます。また、高年齢者ほど異常者が多いのも当然のこととはいえ、健康への執着が強い年代が自己流でやる健康法の危険性を示唆するものともいえましょう。メディカルチェックは、まず詳細な問診、つまり日常生活の状況、リズム、遺伝体質、生活消費カロリーなどを調査します。そして医学検査として、尿検査、血液一般検査、肺機能検査、心電図（安静時と負荷時）について行い、さらに心要に応じて血液生化学検査、眼底検査、胸部X線撮影などを行います。

ついで体力測定を6種目（子どもは3種目）について実施し、筋力、敏捷性、瞬発力、柔軟性、筋持久力、心肺持久力などを測定し、年齢平均値を尺度に評価をします。また肥満についても、3点計測による体脂肪量と標準体重比の判定を行います。

3．質と量を考慮した運動処方

医学的検査と体力測定の結果を大型コンピュータで処理したデータに基づき、各人が日常生活のなかで実践していく運動プログラムが作成されます。それぞれの健康度と体力に即した運動のサジ加減ともいうべき“運動処方”であり、質と量の両面から検討され、交付されるのです。

運動の“質”については、どんな種目を選ぶか…ということであり、各人の特性を考慮しつつ目標とする生理的効果が十分に期待されるものでなければなりません。また、目的に合致し効果性はあっても、生涯を通じてつづけられるという継続性も重視する必要があります。それぞれ各人に興味があり、楽しみながらつづけられる運動であり、かつ季節に応じて実践ができ、生活のリズムのなかに溶けこめるように複数のプログラムを用意する必要があります。

つぎに、運動は長時間ほどよい、強いほどよい、速く走るほどよい…というものではなく、健康度や体力に即応した“量”をつかんでおかねばなりません。すなわち、標準として1日200～300Kcalの運動量を確保するため、各人の運動強度・運動時間・実施頻度の3要素を具体的に組み合わし示す必要があるのです。

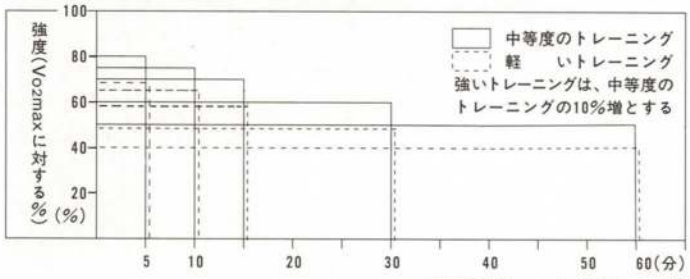
運動の強度は、とくに中高年者の場合安全性のため注意が大切で

表1　主な運動強度に対する年齢別心拍数

運動強度		100%	90%	80%	70%	60%	50%	40%
		最大脈拍数（運動強度の限界値）	トレーニングを積めばここまでは可能	ここまで上げれば運動効果は十分		トレーニングに慣れたらここまで上げる		これ以上の強度でないと運動効果はない
年齢	20～29歳	190 拍/分	175 拍/分	165 拍/分	150 拍/分	135 拍/分	125 拍/分	110 拍/分
	30～39歳	185	170	160	145	135	120	110
	40～49歳	175	165	150	140	130	115	105
	50～59歳	165	155	145	135	125	110	100
	60歳以上	155	145	135	125	120	110	100
		選手クラスの人のみ		健康ランニングの目標			初心者はここから	

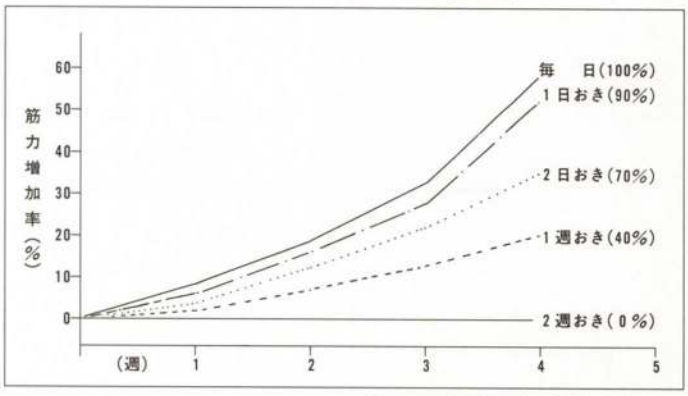
㈱体育科学センター資料

表2　運動時間と強度の組み合わせ（Vo2maxに対する%）



㈱体育科学センター資料より作図

表3　トレーニング頻度と効果〔筋肉例〕



「トリム家庭読本」㈱余暇開発センターより

す。運動強度の適正範囲は、日常生活（仕事）より少し強めの40%（最大酸素摂取量に対する%）…日常生活では25～30%の強度であり、体力に自信のある人は50%強度を下限とするのもよい…くらいの運動を下限とし、上限は少し息のはずむ70%（強者は80%）強度の目標を設定することが、有効性と安全性の両面から適切です。そして実践する際の強度の目安として、運動時または運動直後の脈拍数を指標とするとよいでしょう。（表1）

運動の有効な実施時間は、運動強度の各レベルによってちがいがあります。全身（心肺）持久力の向上をめざす場合は、強強度の運動を短時間実施するよりも、低強度の運動を長時間実施するのが望ましいのです。（表2）息切れしない程度に、20～30分間の運動に心がけ、最低5分は運動を継続しなければ効果はありません。

運動の効果が期待できる実施頻度は、運動生理学的に週2回以上必要です。運動の疲労が翌日に残らないようであれば、週6回の運動が望ましいでしょう。（表3）運動は、生涯実践すべきものであり、運動習慣の生活化をめざすべきものですから、何よりも無理のない頻度を求めていくことが大切です。

健康センターでは、健康度測定によってカウンセリングを行い、それぞれの目的に応じた運動処方を交付し，館内のプール、体育ホール、トレーニングルーム、ランニングデッキなどを利用して各種の運動教室に参加してもらったり、指導員のついた個人利用やグループの専用利用によって運動実践の機会を与えたりして、自発的積極的な健康づくりを支援しています。

4．生涯にわたる不断の努力を

健康は一日にしてならず。健康で行動力のある心身は終生にわたって確保するための不断の努力が必要なのです。しかし、健康でありたいと願っても、運動は「始めること」とともに「継続すること」がいちばん困難なことです。健康や体力は貯蓄しておくことができません。毎日毎日のたゆまぬ積み重ねが必要であり、一日でも休むとたちまち消耗してしまいます。

そのためには、心を持った動物である人間として、運動は常に喜びや楽しみを実感しながら実践されるものでなければなりません。喜びや楽しさのない運動は、ただ運動刺激となるだけで、生理的には効果はあっても心理的に味気ないものであればむしろ苦痛となり、長続きさせることができないのです。運動には味つけが必要であり、そのためには、“頭で覚え、心で理解し、体に生理的変化を期待し、喜びを覚えるプログラム”を用意したいものです。

5．健康づくりチームの組織化が急務

今日、健康への関心の高まりに呼応して、健康関係の出版物や放送番組が多くなり、また健康食品や健康器具などもはんらんして、健康ブームといった様相を呈しています。しかし、健康はあくまで自己のものであり、健康増進は他力本願ではなしうるものではありません。自分のたゆまぬ努力を積み重ねて、生涯を通じて継続されるべきものなのです。

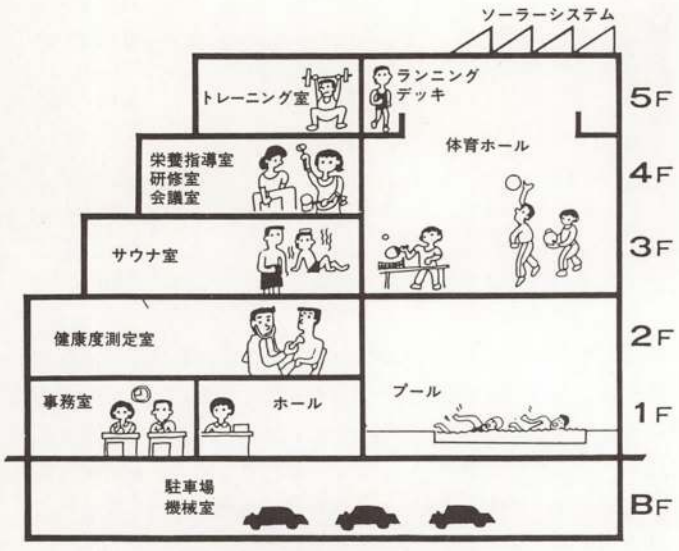
健康センターでは、健康増進へのニーズに対応して、正しい健康増進のあり方を指導し、支援しています。医学的検査で“健康状態”をチェックし、体力測定で“体力レベル”を把握し、その科学的根拠に基づいて栄養指導を行い、運動処方を与える…というシステムを、広く普及していこうとするものです。その実践を普遍化することによって、これまで横行していた消去法的健康論、つまり、これを食べてはいけない、こんな運動してはいけない…といったベカラズづくめの栄養学や運動論は粉砕されることでありましょう。

そのために、現在わが国での健康増進体制にも大きな変革が求められようとしているのです。従って健康センターは、疾病の有害因子から健康を守る…という消去法的健康管理概念に立つ検診センター方式、あるいは社会体育の場の提供を主眼としたスポーツセンター方式のいずれにも偏ってはなりません。しかし、全国の各地でかなり整備されてきた健康増進のための施設も、国のタテワリ行政の枠にしばられてか、文部省の所管する社会体育、厚生省の所管する

保健医療のいずれかの系列下におかれ、正しい健康増進の理念が浸透し、実践に結びつく体制に至っていないのが現実です。

いま当面の課題として、各地域ごとに住民の健康増進に携る医師・保健婦・栄養士・検査技師・看護婦などのメディカルスタッフと、社会体育に携る社会教育主事や体育指導員が緊密にジョイントして、“健康づくりチーム”の組織化が何よりも急務であると思われます。

健康づくりのやり方は、人間一人ひとりの生涯にわたるライフサイクルに応じて、それぞれに方向づけがなされ、日常生活のリズムに正しく位置づけられ、終点のない継続した努力として実践されていくものでなければなりません。巷間いろいろな健康観がとなえられ、健康論が論議されていますが、万人共通の唯一絶対といった秘法を求めることは不可能です。自分自身の責任として各自それぞれに身体状況と体力に適応し、生活のリズムに合致した方法を工夫することが、健康づくりの要諦といえましょう。そのための支援システムとして健康センターの使命はますます重くなることと思われます。



兵庫県立健康センター案内図

6．兵庫県立健康センターの概要

- 設置目的…県民の健康増進をはかるため、栄養・運動・休養の三つの要素を柱として、個人の健康度測定を行い、これに基づく生活処方を交付して効果的な実践方法を指導し、実行する場を提供するとともに、県内の健康増進事業の拠点となる施設として設置する。
- 位置…神戸市東灘区田中町５丁目３－20　☎(078)441－2234㈹
- 構造規模…鉄筋コンクリート（一部鉄骨）造、地下1階、地上5階
- 敷地面積…3,050.95㎡
- 建築面積…1,935.44㎡　延床面積…7,697.59㎡
- 業務

(1)健康度測定…個人の医学的、生理学的検査を行い、その結果に基づく生活処方を交付して、指導助言を行う。

(2)健康教室…健康度測定を受けた利用者を対象に、健康教室を開催し、各種の運動や栄養の指導を行う。

(3)施設利用…健康の増進に役立てるため、運動施設その他の設備を個人の共同利用とグループなどの専用利用に供する。

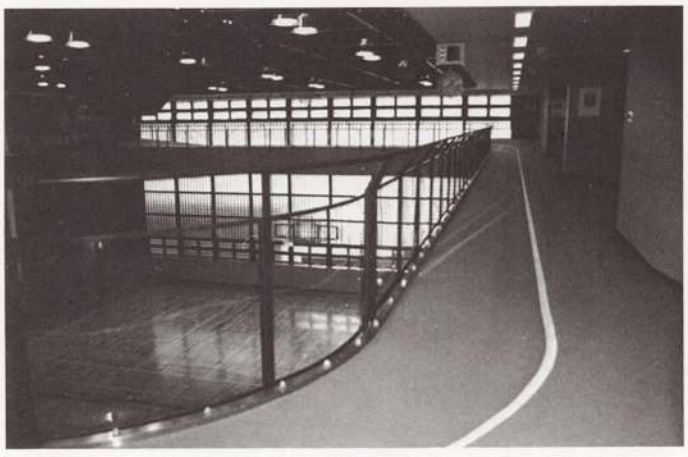
(4)調査研究・情報活動…県民の健康の増進に関する調査研究と情報資料の収集提供を行う。

(5)研修教育…県内の健康増進にかかわる指導者の研修を行う。

（つじ　しょうぞう　兵庫県立健康センター運動指導課長）



プール



ランニングデッキ

健康度測定（検査）項目と内容

項　目	内　容〔対象となる病気〕
○尿　検　査	糖、たんぱく、ウロビリノーゲン、潜血、ＰＨ、尿アセトン体〔糖尿病、腎臓病、肝炎、熱性疾患、過労など〕
○血液一般検査	赤血球、白血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板、ＭＣＶ、ＭＣＨ、ＭＣＨＣ〔貧血症、感染症、紫斑病など〕
○血液生化学検査	血糖、尿酸、尿素窒素、総蛋白、アルブミン、Ａ／Ｇ比、ＧＯＴ、ＧＰＴ、ｒ－ＧＴＰ、コレステロール、中性脂肪、ＨＤＬ－コレステロール〔糖尿病、高脂血症、痛風、動脈硬化症、肝疾患、腎障害、栄養不良など〕
○胸部Ｘ線撮影	心胸比、心所見、肺所見〔心臓病、肺結核、肺腫瘍など〕
○眼　底　検　査	〔高血圧、動脈硬化など網膜とくにその血管異常〕
○肺機能検査	肺活量、％肺活量、努力性肺活量、一秒量、一秒率、最大呼気流量、最大換気量〔拘束性障害（肺結核、肥満など）、閉塞性障害（気管支喘息など）、運動予備能力判定など〕
○心電図(安静時)	〔心疾患のスクリーニング〕
○運動負荷試験	〔心機能、心疾患の精密検査〕
○皮下脂肪厚計測	上腕、背、腹部　〔体脂肪量算出〕
○身　体　計　測	身長、体重　〔標準体重比算出〕
○体　力　測　定	反復横とび、垂直とび、立位体前屈、踏台昇降、握力、上体おこし〔敏捷性、瞬発力、柔軟性、持久性、静的筋力、筋持久力〕
○そ　の　他	テレメーター、テープ心電計、シルエッター

兵庫県立健康センター　ヘルスチェックの流れ

予約（窓口・電話）→問診カード発送→検査当日受付→問診チェック→更衣→採尿→採血→胸部Ｘ線→身体計測→皮下脂肪厚→眼底検査→安静時心電図（血圧・心拍数）→肺機能検査→運動時（運動負荷試験・心電図・血圧・心拍数）→一次判定→（※要治療→医師紹介）→体力測定→更衣→健康度測定→判定成績表交付→総合判定と医学的指導→生活プログラム提案→総合指導（栄養・休養・運動）→健康教室（運動・栄養）

●競技施設のパーソナル化

家族的レクリエーションへの開放 I

事例　山城総合運動公園(太陽が丘)

松　岡　正　樹

1．事業化への背景と意義

京都府は、人口及び経済活動の約80%が南部地域に集中し、その中でも、南山城地域は母都市大阪に隣接し、人口の急激な増大とスプロール化が進行し、生活環境基盤の整備が急務な地域といえる。

とくに、都市公園の例を取ると、建設白書の昭和52年度末において、公園面積が全国平均では3.6㎡/人となっているが、南山城地域ではわずか1.3㎡/人とその整備水準の低さがとくにめだっており、公園整備の必要性を痛感していた。

こうした都市公園の不足に加え、運動施設の整備も全国レベル40位程度ととくに低く、また、全国・関西レベルの競技会に使用しうる西京極運動公園・府立体育館などの水準に達するものは、南山城地域においては皆無といえる。こういった問題を一挙に解消するためと、63年国民体育大会京都大会に備えて、当公園を計画した。

一方、国民の余暇時間は週休２日制にみられるように増大し、この活用の仕方も多様化し、これまでの気晴し的レジャーから、「Do it yourself」といわれているように、自己啓発的、創造的な実り多いレクリェーション活動へと移行し、さらには、青少年・婦人・老人・心身障害者など幅広い層の間で、日常的なスポーツおよびレクリェーション活動が盛んになってきた。

このようなニーズにも同時に応えることが必要であったため、たんなる運動施設というだけではなく、

- 地域住民の公園
- レクリェーション性
- 全国・関西レベルの競技大会が開催できる。

の要素をすべて組み入れ、さらに、63年国民体育大会京都大会の主要会場としての要素を併わせもたすこととした。

2．事業概要

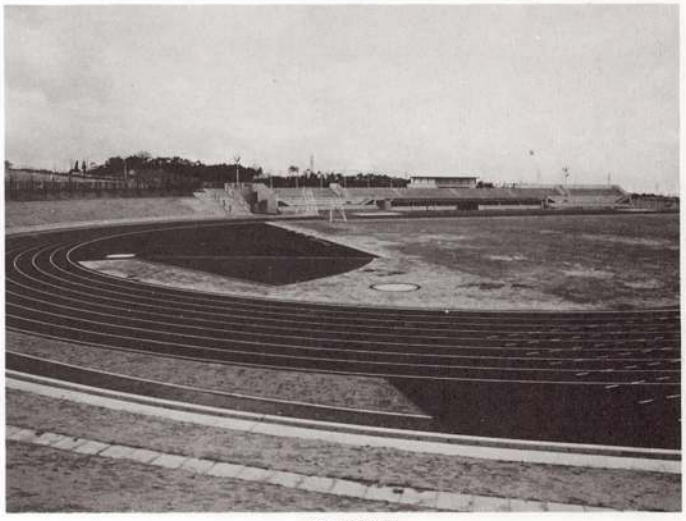
この公園は、宇治市東部丘陵に位置する折居国有林 100haを、都市公園として計画決定し、国庫補助を得て昭和54年度に事業着手した。

昭和57年３月一部開園した面積は約25ha規模であり、全体を10年程度で完成させる予定。総事業費は約240億円。これまでに約110億円程度を費している。京都の公園づくりでは前例のない大事業である。

全体を、都市・田園・自然林にゾーン分けを行い、

- 都市ゾーンは、中央広場・公園センター・体育館
- 田園ゾーンは、陸上競技場(２種公認)・第２競技場（補助で球技可能)・球技場２面・野球場５面（一面硬式野球可能)・テニスコート20面・競泳プール・ファミリープールなどスポーツ施設と広場・園路
- 自然林ゾーンは、工芸村・冒険の森・家族広場などを計画的に配置した。

なお、わが国における都市公園では初めての試みとして、園内監視・施設の自動運転・故障の発見・施設予約受付け・案内などの業務をコンピューターで集中管理している。



陸上競技場



球技場



中央広場



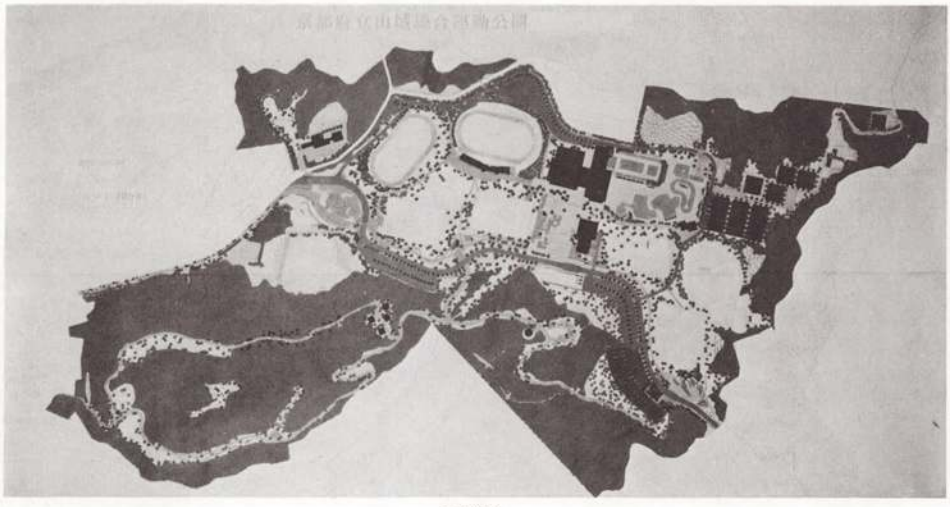
全　景

3．施設計画のおもな考え方

スタジアムという固定観念の打破

これまでの大都市を中心として建設された競技施設は、一部の強化された選手および役員などから構成された各種協会の意見を大幅に取り入れ、一流のゲームをさせるために、真に市民に開放された施設ではなく、専用の施設として建設されてきている。さらに、地方都市においても例外ではなく、国民体育大会開催という名のもとに、地方色も感じられない競技施設がつくられてきた経過がある。

当公園の計画に当っては、種々の障害もあったが、このような経過を打ち破ることから始めたのである。



配置図

地域社会に根ざし、自然を取り入れた公園計画

施設づくりでは、豊かな自然を周囲に残し、地元南山城の特色・文化を広場などに大幅に取り入れた。また、静かな空間を十分確保して、四季を通じて利用者に憩いを与えるよう工夫した。

眺望もすばらしく、これを生かすため高い構築物は極力低くおさえて、東側の一団に集めた。さらに、これをすべて掘り込み、なだらかな起伏をつくりながら、この稜線に遊歩道を設けて、公園にスケール感を与えるよう演出した。このため、歩くだけでも自然に溶け込んだ施設群が眺められて、公園の楽しさが感じられる。

都市的イメージが漂うシンボル広場の建設

公園のほぼ中央に位置する都市ゾーン、そこには、公園のシンボル広場として、人々の集散、とくに若人の集う拠点となる中央広場と、公園の管理運営のコントロール施設・公園センターを配置、ヨーロッパの都市広場を模したイメージに、古都の風情を調和させ、21世紀の京都を象徴させた。

競技者と利用者が一体となった多目的空間の形成

都市ゾーンの両側に広がる田園ゾーンにある競技場・球技場などは、芝生園地として一体化し、陸上競技・サッカーなどの枠にとらわれないで多目的に利用させる。

また、ひとたび大会となると、サッカーなどの球技が、同時に4試合開催できるのも、わが国では初めての規模である。

「見る」スポーツから「する」スポーツへの誘発

これまでの競技施設にはつきものだった競技場と観客席との間にフェンスをつくらない。これでスポーツを「する人」と「見る人」との境界がなくなり、そこから一体感が生れ、素人でもスポーツをやろうという意欲がでてくる。

とくに、当公園の陸上競技場では、正面の固定スタンドからトラックへすぐ階段で降りることが可能である。このため、地区運動会にも利用でき、家族連れで観戦しながら全天候型トラックを走ることができる。したがって、スポーツ選手の底辺が大きく広がるわけであり、「府民参加の国体」という国民体育大会京都大会の目標にも通じる、新しいスポーツ像があるのではないか。

（まつおか　まさき／京都府企業局開発事業課係長）

●競技施設のパーソナル化

家族的レクリェーションへの開放　II

事例　グリーンピア三木

加　藤　俊　明

大規模年金保養基地グリーンピア三木（以下三木基地という）は、厚生年金、国民年金、船員保険の受給者、受給権者およびその家族、つまり全世代の人々を対象とした保養のための総合施設であり、特殊法人年金福祉事業団により設置された。大規模年金保養基地は、全国11個所に計画され、現在数個所で工事が進行中である。この三木基地は、昭和55年７月にオープンしたその第１号で、規模最大のものである。

三木基地は、昭和49年にまとめられた年金保養協会の企画立案内容にもとづいて計画されたものであるが、長期にわたる計画期間中に、高度経済成長期から第一次石油ショック、低成長期へと移り変わり、その内容も、大都市近郊型の基地の特色を反映しながら、長期滞在型から、日帰り、短期宿泊型の週末保養基地へと若干の修正がおこなわれ実施されている。

敷地は神戸市の北方約20km、大阪市の西方約60kmにある。公共輸送機関にめぐまれず、車利用なら、神戸から40分、大阪から１時間半程度の距離であるが、思いつきで出かけるのにはちょっと遠いようだ。

基地の周辺は、金物の生産で有名な三木市の郊外で、里山に囲まれた豊かな田園地帯である。基地は標高100ｍ～200ｍにあり、その景観はコナラの広葉樹林と、尾根筋の赤松の針葉樹林との対比のはっきりした里山と、こまやかな谷筋によって特徴づけられている。敷地の南側に標高 200ｍの尾根筋が東西３kmにわたって通っており、全体的には北側へ傾斜しながら山すその田園風景へとつながっている。

観光資源としてはとくに恵まれておらず、緑豊かな里山風の景観となっている。

兵庫県が、「緑の回廊」づくりと銘打って進めている中国自動車道沿線の、福祉向上のための生活、文化、スポーツ、レクリェーション向けの諸施設の一つとしても位置づけられており、播磨中央公園、加西フラワーセンター、いこいの村播磨などの公営施設とならんで、代表的レクリェーション基地となっている。

■スポーツ、文化活動の拠点として

三木基地は、スポーツ、健康保持のための活動と、創作、研修を通じての教養・文化活動のための施設があり、自然との触れあいの中で〝する〟ことにより、保養を実現することを目ざしたものである。

利用者の活動の中心となる本館は多目的に利用される芝生広場にその深い軒先を向けて面しており、総合案内所、エントランスホール、ロビー、食堂街、みやげもの店、宴会場、サウナ付大浴場などがある。ホテル、セミナーハウスへは、エントランスホールから、本館内をとおり、雨に濡れずに行ける。ホテルはリゾートホテルとして、週末保養者の、セミナーハウスは文化活動の、拠点として利用される。

本館、ホテルなどの中央の施設群と、体育館を中心としたスポーツ施設群の間に、奈良若草山のような芝生広場がある。双方の施設群を有機的につなぐ自然の多目的広場としての役割と同時に、広大な自然と親しみ、散策する家族づれなどのグループや、テニスを楽しむ目的のはっきりした小グループなどの、世代間、グループ間をこえてふれあうことを期待する基地のシンボル的役割をになうものである。

広場は重なり合う屋根と、それに向かい合う赤松の景観林と、ゆるやかな芝生の斜面とで演出されており、三木基地全体の風景の印象を代表している。

以上の中心的な施設を核として、広大な敷地に、実習、野外活動、スポーツ活動のためのエリアが点在している。

創作・研修の実践の場としての工芸場、学習・散策の場としての大温室・バラ園へは、本館から園内周遊のバスに乗り、トンネルをくぐり、山を越えて行く。

三木基地のスポーツ施設は、これらの教養・文化活動のための施設との連係によって、グループ間の、世代間の交流を期待した、自然の中の総合保養エリアとなっている。

■三木基地のスポーツ関連施設

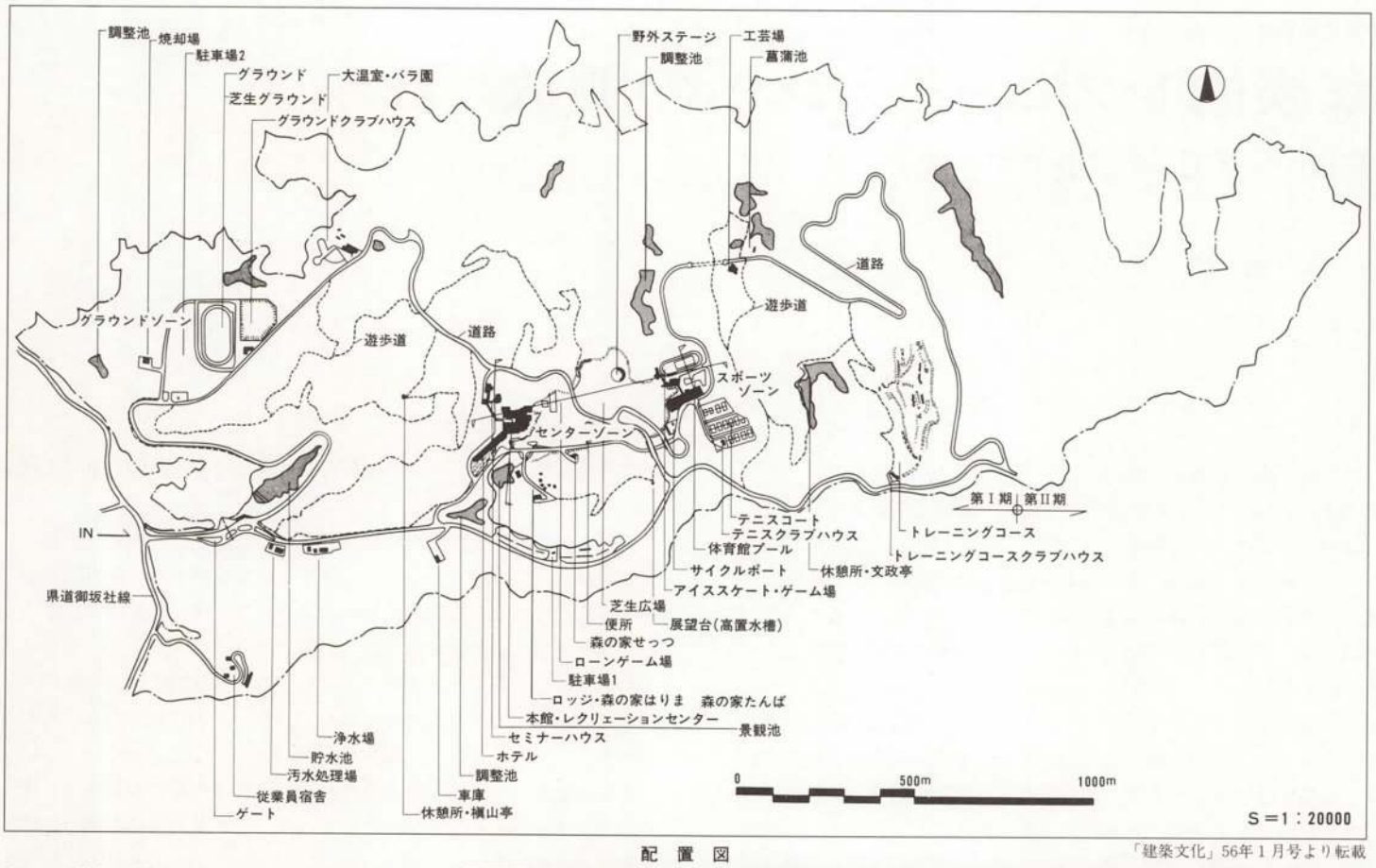
レクリェーション活動のためのスポーツ施設としては、全世代にわたり利用が可能であることと、利用の形態に柔軟に対応できるものであることが要求される。当基地のスポーツ施設は、自然を利用した野外活動施設とともに、これらのニーズに応じた内容を備えることを目的として設けられている。

スポーツ施設のほかに、芝生広場、サイクリングコースなどの野外活動施設も、レクリェーション活動の重要な施設として計画されている。

(1)　体育館、屋内プール、屋外プール

体育館とプールを一体的に配して、利用の相乗効果を期待するとともに、管理運営の効率化をめざしている。体育館のアリーナは、バドミントン、卓球などの屋内スポーツ活動のほかに、集会や催しにも利用できる。アリーナの妻側は大きなカーテンウォールで、建物をだき込むようにして広がる芝生広場に面している。芝生広場への視覚的連続により、変化のある使われ方を呼び起すことを目的としたためである。屋上の一部を、地形の傾斜を利用して屋上広場としている。テニスコートと芝生広場のエリヤの動線上の中央部分にあって、一般の利用者をここへ呼び込み、一義的目的のスポーツ活動のグループだけのものにならないようにしている。

屋外プールは屋内プールをとりまくようにして隣接している。夏



配　置　図

「建築文化」56年1月号より転載

期には屋内・屋外双方のプールが一体的に利用される。屋外プールは、幼児用、低学年用、成人用と三段階に分けられたウォータースライダー付の変形遊泳プールであるが、成人用の一部に50m直線部分を確保して競泳利用の魅力も付加している。

(2)アイススケート場

スキーとならぶウインタースポーツの花形のアイススケート、冬期利用者にも魅力を感じてもらうことのできるものである。当基地が自然利用、野外活動指向のつよい保養基地であることから、郊外型ではとくに人気の高いオープンリンクとしている。リンクは安全のために初心者用とスピード用とに分けられている。スケートのシーズンオフには変り種自転車場としても利用できる。

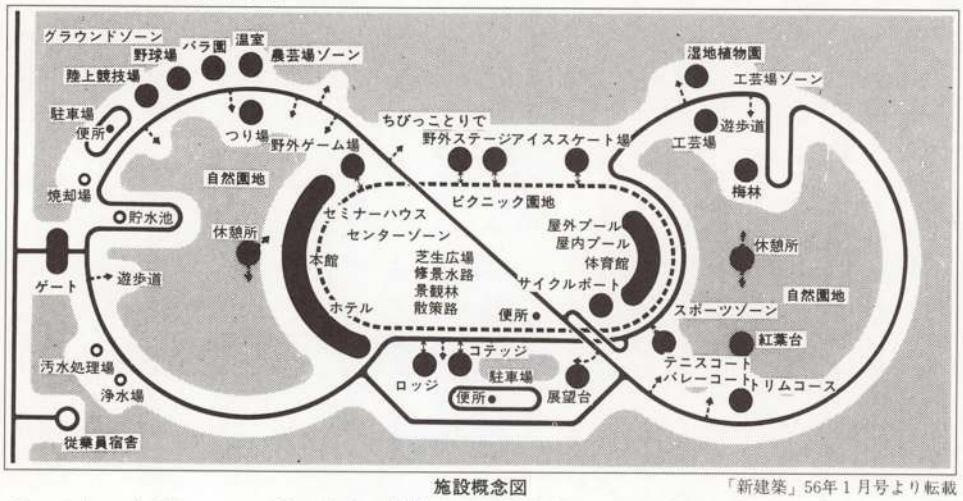
(3)テニスコート

テニスは近年の流行にのり、人気の高いスポーツであり、三木基地でも、シーズン中はプールとならんで満員の状態がつづく施設である。プレーヤーの求める落着いた環境を尊重し、独自の領域をもつ山あいに配置されている。テニスは単位面積当りの利用者数の割合が少ないスポーツであるが、人気が高いことに加えて、ファッション性もあり、基地の雰囲気を華やかなものにしている重要な施設と思われる。

(4)屋内テニス場

屋外スポーツ、野外活動の利用が重要である保養施設では、宿泊をして、利用する客の雨天時利用の問題がある。近頃の会員制テニスクラブでは、天候・季節に左右されないインドアテニスが定着しつつある。

三木基地でもサービス向上を目的として、屋内テニス場があらたに開設された。雨天時には体育館とともにテニス以外の、一般利用



施設概念図

「新建築」56年1月号より転載

者のための広場として利用することも想定されている。

(5)ゴルフ練習場

家族づれなどの中高年利用者のなかには、芝生広場での散策などではもの足りないとする人もみうけられる。目的のはっきりした施設利用を希望するこれらの利用者のため、あるいは思いつきでゴルフを楽しみたい人のために設けられている。

芝生広場の一角から、整備された谷を目がけて打ちおろす豪快な練習場で、上屋もあるため、雨天時利用もできるスポーツ施設となっている。

(6)サイクリングコース

保養基地での自転車利用のかたちは、2通りの方法がある。そのひとつは、電気自動車と同様にもちいられる代替の交通手段として(つま恋、合歓の郷)、あとのひとつはサイクリングそのものが目的となるものである(サイクルスポーツセンター)。三木基地では利用者の安全上、道路条件、管理運営条件の制約から、後者の方式をとっている。

基地での一般車両の通行は駐車場までとし、園内は歩行者と自転

車に開放されている。安全な道路で緑風をきって走るサイクリングの魅力は大きい。三木基地で自転車の利用が多いのは、保養にきた人が思いつきで利用できることによると考えられる。

サイクリングコースの要所には、梅林、菖蒲園などの名所をつくり、途中の工芸場では、七宝焼ほかの簡単な工芸実習ができるようにして、単調になりがちなサイクリング利用に変化をもたせている。

(7)グラウンド、芝生グラウンド

芝生グラウンドは多目的広場であるが、人気の高い草野球場としての利用を第一に想定している。トラックは4種公認の 400mアンツーカで、大きなグループの運動会やこのような施設をもたない周辺の市町村の競技会もできるものとし、地域のコミュニティへのサービスもめざしている。

(8)ローンゲーム場

高齢者向けのスポーツ施設は内容的に制約が大きい。いまひとつ利用が少ないものであるが、本館近くの芝生広場の一角にローンコートを設けて、ゲートボール、クロッケットなどの軽スポーツができるようにしている。

(9)トレーニングコース（トリムコース）

野外活動施設としては、一般的にどこでも人気の高いフィールドアスレチックコースで子供から大人まで親しめるものとしているが、比較的スケールが大きく、高学年～青年の利用が多いようである。

(10)遊歩道

里山の良さを満喫できる、安全策を構じた散策型の遊歩道である。要所には動物や昆虫の彫刻がおかれ、児童にも親しみのもてるものになっている。

■保養基地とスポーツ施設について

三木保養基地も企画当時のバラ色の余暇時代の到来予測から、低成長時代をむかえて、経営的にも正念場となっている。すべての世代の人に、健康的で、経済的な余暇活動を、しかも、多種目そろえて趣味の多様化に対応させるため、公的な保養施設にふさわしい施設として採用された、三木基地の数々のスポーツ施設群も、結局は予想通り、プール・テニス・サイクリングを除いて、それほど活発に利用されているとはいいがたい。

本来日常的なものであるべきスポーツ活動を、日常生活を離れた場所でも楽しめるためには、やはり一定の条件が必要と思われる。

現在の1泊2日の小旅行でなく、長期の滞在が可能な経済的な社会的条件が整うこと。いい換えれば保養基地での生活が、保養の目的となること。核家族化の中では、やはり子供中心に楽しめるスポーツ種目であること。場所を問わず利用される、その時の流行にのったスポーツ種目であること、基本的に個人種目であることなどが条件である。

日常生活圏でのスポーツ施設なら、地域の行政サービスの一環として、採算性をそれほど考えなくてもよいが、公的とはいえ保養基地の場合、ある種の採算性を考える必要があり、利用者のその時代の好みへの対応を強く意識する必要性を感じる。

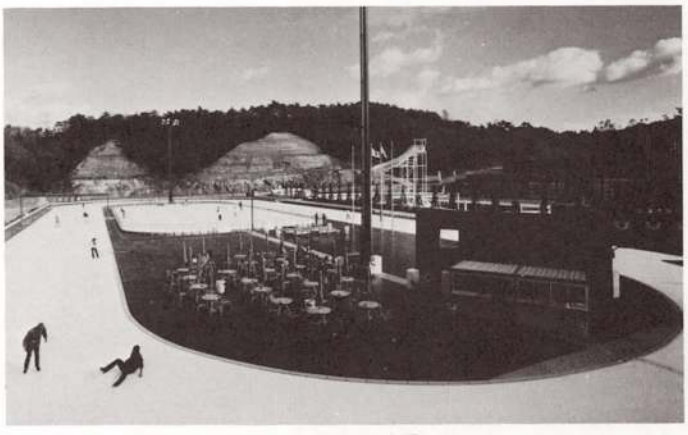
一般に、スポーツをするということは、90%の人にとって、体を動かさなくてはいけないという健康上の強迫観念と逡巡を伴うものである。日常的な人づき合いの中で、抵抗なく入っていける場合にくらべて、家族単位に切り替わってきた日本のレジャー活動性向のなかで、今後ともスポーツ活動が保養地の中心になるかどうかおおいに議論の余地のある問題であろう。経営的にも会員制という収入の安定化を図れる宿命にある以上、なおさら考えなければいけない問題である。



体育館・屋内プール・屋外プール



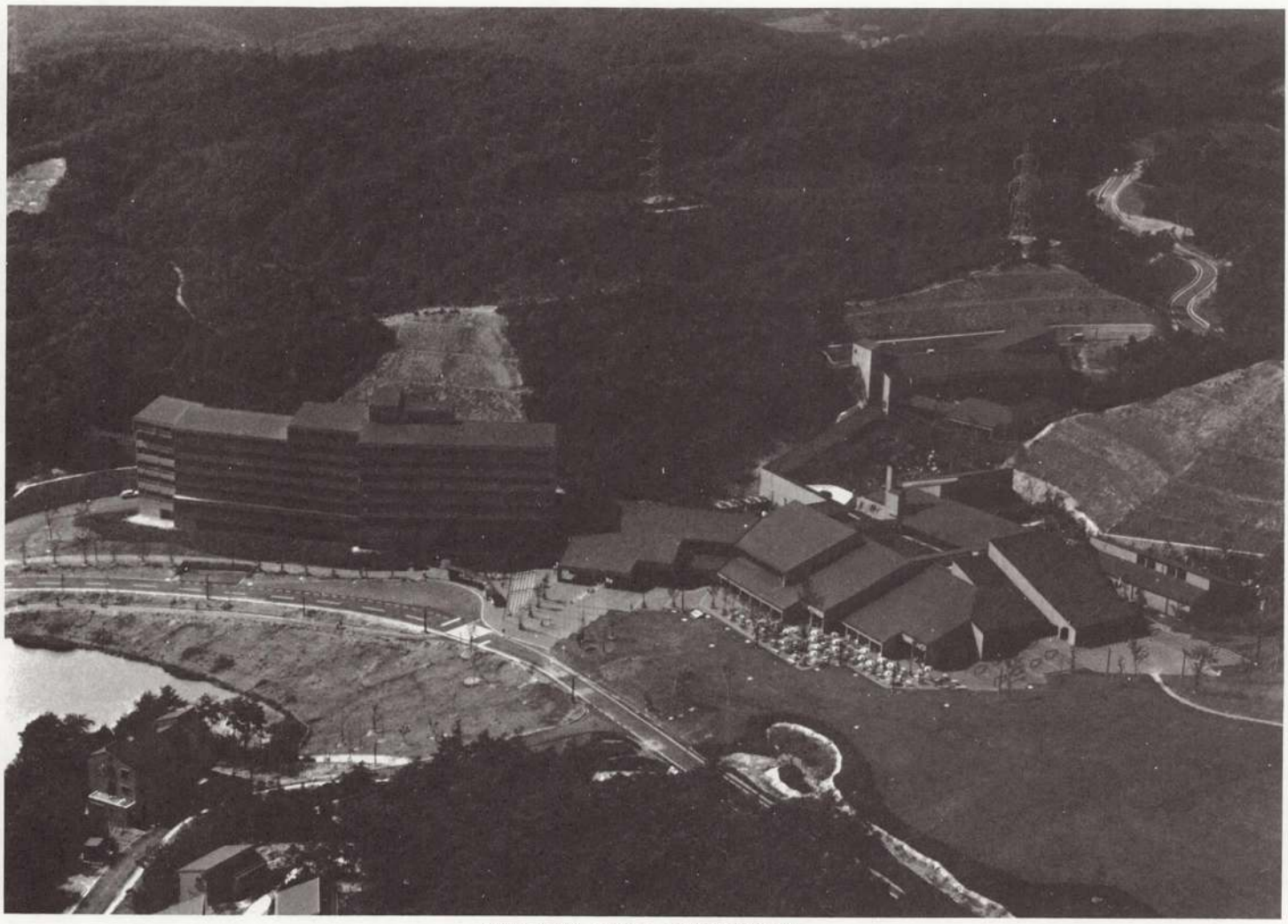
テニスコート



アイススケート場

施設計画でみると、緑の中のスポーツ施設という保養基地にとっての絶対条件を実現するため、スポーツ施設がスケールの大きいこと、地形への対応の理由から、分散の必要性と、管理や利用者の動線の長さという矛盾に直面することになる。三木基地は広大な敷地を大きく使う、あるいは自然を最大限に生かすこと、などの理由により、分散型配置となっている。管理の容易さよりも環境の充実を目ざしたものであるが、管理費の若干の増大という問題も出ているようである。しかし、都市のなかでの集約された施設では得られない良さを出したいのは、問題を含みながらも、計画者としての本音である。利用者と経営者の両面からみて、保養基地のスポーツ施設は備えなければならないものであっても、かならずしも基地の魅力の中心とはなり得ないと思われる。気粉れの休日をすごす利用者にとって、手軽で、格好良いプールとテニスが、現在では世界中どこでも保養としてのスポーツの王様でありつづけるであろう。

（かとう　しゅんめい　安井建築設計事務所設計部主任）



本館・ホテル・セミナーハウスと芝生広場

グリーンピア三木施設概要

所　在　地　兵庫県三木市細川町垂穂横山
主要用途　保養施設
事業主体　年金福祉事業団
管理運営　財団法人　年金保養協会
設　計
基本設計　三木大規模年金保養基地基本設計共同企業体
〈建築〉　安井建築設計事務所
坂倉建築研究所
〈土木〉　パシフィックコンサルタンツ
実施設計　三木大規模年金保養基地実施設計共同企業体
〈建築〉　安井建築設計事務所
坂倉建築研究所
〈土木〉　安井建築設計事務所
面　積
敷地面積　3,541,471㎡
建築面積　22,489.6㎡（58棟分）
延床面積　33,563.2㎡（58棟分）
基本設計期間　1976年6月～1977年3月
実施設計期間　1977年5月～1977年11月
工事期間　1978年1月～1980年6月（第一期）
開　設　1980年7月

一般施設・教養文化施設

本　館　〔鉄筋コンクリート2階建、一部3階建（延7,716㎡）〕
ホテル　〔鉄骨・鉄筋コンクリート7階建、一部地下1階（延7,692㎡）
宿泊室（109室、300人収容）
ペンション・ロッジ・コテージ　（9棟 合計延1,650㎡）120人収容
セミナーハウス　〔鉄筋コンクリート2階建、塔屋2階、地下1階（延1,988㎡）
工芸場　〔鉄筋コンクリート平屋建（延157㎡）〕
大温室・バラ園　〔鉄骨造・鉄筋コンクリート造2階建（延1,098㎡）

スポーツ施設・野外活動施設

体育館　〔鉄筋コンクリート一部鉄骨2階建・地下1階（延3,634㎡）〕
体育室・トレーニング室（体力測定、ゴルフクリニック）、屋内プール（25m6コース）、サウナ室、更衣室など
屋外プール　〔変形プール（水面1,763㎡）〕
屋内テニス場　〔鉄骨造2階建（延2,083㎡）〕テニスコート2面、雨天用広場1面
ゴルフ練習場　〔鉄骨造2階建（延640㎡）〕32打席
テニスコート　透水性全天候型11面（一部スタンド、照明付）、練習用半面コート、クラブハウス〔鉄筋コンクリート平屋建（195㎡）〕
バレーコート　クレイ2面（テニスコート兼用）
アイススケート場　スピード300m、初心者1,250㎡
グラウンド　〔18,000㎡〕400mトラック（4種公認、スタンド付）、クラブハウス〔鉄筋コンクリート平屋建（延252㎡）〕（休憩室等）
野球場　〔12,000㎡〕
芝生グラウンド　〔8,000㎡〕
トリムコース　コース（28ポイント、延1.5km）、クラブハウス〔鉄筋コンクリート平屋建（延207㎡）〕
野外ステージ　〔鉄筋コンクリート平屋建（延200㎡）〕芝生（10,000人収容）
野外ゲーム場　ゲートボール場2面、ローンボール場1面
サイクリングコース　コース（4km）、サイクルセンター〔鉄筋コンクリート平屋建（延278㎡）〕
芝生広場　〔6.1ヘクタール〕
湿性植物園　しょうぶ園、休憩所など
その他　遊歩道（16ルート、延10km）

●社会体育と教育

社会体育施設の運営・利用についての私見

田口守隆

1．はじめに

最近における体育・スポーツ施設の設置状況をみますと、昭和44年7月の調査結果が約15万ヵ所であったのに対して、昭和55年1月の調査結果は約22万ヵ所であるとの文部省スポーツ課の発表が参考になります。この10年間に約7万ヵ所（48%）の増加があったわけです。私たち体育・スポーツを愛するものにとって、とてもよろこばしいことであります。そして、今後さらに運動施設が増設されることを期待しましょう。

ただ、私は、体育・スポーツ活動を行う場合、施設だけを考えればよいのか、施設利用についての教育は充分なのかなどいくつかの疑問をもっています。そこで、社会体育施設の管理運営や利用の基本的な考え方についての私見を述べてみたいと思います。

2．「施設」のとらえ方の転換が必要です

私たち日本人の施設に対する考え方が、非常に片寄っていることについて指摘したいのです。「それは『施設』という文字をみれば、すぐ理解できますよ」という話をきいたことがあります。施設というのは「ほどこし・もうけるもの」だというのです。不真面目だといわないで下さい。私たち日本人の心の中には、施設は、誰かがつくってくれるものだという考えがあるように思えるのです。「施設がないから活動できない、施設・設備がないから指導が充分にできないという言葉を耳にすることがありますが、スポーツ活動は、自発的・自主的なものであるわけですから、身近かなところで、積極的な活動がスタートできるし、創意工夫される必要があります。

私は、精神主義を主張しているわけではありません。施設を充分利用できる能力・態度を育てることを忘れてはならないと考えるからです。学校体育の授業・課外活動・スポーツ少年団の活動などにおいて、運動することと、運動施設・設備のかかわりについて、きめの細かい指導がなされ、子どもたちの生活習慣として定着することが必要です。小さい頃からの教育が施設利用の正しい考え方を育てるわけです。

3．施設に血を流しこむ（活力を与える）のは人です

施設は、どんな立派なものであろうと、貧しいものであろうと静物です。その施設を生かすも殺すも、その責任は、私たちにあるのです。私たちの心に、私たちの態度にあります。施設に血を流しこみ、生きものにするのは、運動するよろこびを教えてくれる指導者と、運動するよろこびを知っている、また、知ろうとする利用者の活動がそれです。

指導者は、ただ、運動技能（スポーツ技術）の伝達者であればよいというものではありません。技能はもちろんすぐれていることは大切な資質ですが、運動しようとする人が、一人で充分、その運動ができるところまで、あたたかく、粘りづよく導いてあげることが、指導者の役割なのです。

運動する人は、幼い頃からの市民教育が、生活行動にゆきとどき、マナーにすぐれていることが期待されます。

そして何よりも、運動すること、スポーツすることの感動を知っているかが、大きく関係します。そうです、学校時代に、小さい頃に、スポーツ活動で感動した経験のある人が、一生涯、スポーツを友として生きる人なのです。学校教育・学校体育のあり方が、その人々の一生を左右するのです。社会体育が盛んになり、振興策がはかられていますが、社会体育の振興は、学校教育の充実をおいて考えられません、私たちの身近かなところで起る問題の解決は、その一歩前、一段階前を検討することからはじめられるとよいでしょう。

私たちの生活は、豊かに、便利になりました。が、一面健康問題が大きな現代的課題として生じてまいりました。

運動不足による疾患が、私たちを襲っています。とくに呼吸循環器系の疾患がそれです。私たちは、生活全体の中で、どのような形式でもよいですから、からだを動かすことを心がけねばなりません。その一つが社会体育活動ですが、一般の人々は、思い切って活動にとび込めない人々が多いのです、多様な施設を利用しながら、この人たちに、運動するよろこびを知っていただけるよう施策が必要です。施設は、みんなの努力によって生きものになり私たちをはげましてくれます、私たちによびかけてくれます。

4．施設からのみのスポーツ振興策はあぶない

スポーツの振興策は、施設の充実であるということは正しい考え方であるといえますが、前にも述べたように使用する人々の心が育っていなければなりません。過去に、1時間から2時間もプレイを待たされたボウリングブームがありました。人々はボウリングに強い関心をもち、日本中の若者から老人まで、プレイをたのしみました。ボウリング場は、どんどん増設されたことは、記憶に新しいと思います。しかし、人々は気まぐれなものです。いろいろな理由はあろうかと思いますが、ぱったりボウリング場通いは少なくなってしまいました。無責任だと腹を立てても、どうにもならない人間の気まぐれさがあることを知らねばなりません。日々、人々の心は変容しています。施設の管理運営の研究を忘れてはならないことが指摘される点です。また、人々は、再び帰ってくるかも知れません。その寄りどころが必要でもありましょう。

施設は、そんな宿命をもっているのです。私は、そんな思いで、グランドを、体育館を、公園などをみています。

5．競技スポーツ施設も、大切な役割を演じています

社会体育の振興は、大衆スポーツの充実が大切なことであるといわれています。その通りですが、一般の人々のスポーツ活動への動機は、競技スポーツはもちろん、ときにはプロスポーツを見たことが、強い引き金となっていることも否定できないのです。野球でいえば、掛布選手のホームランが、少年の心をとらえ、釜本選手のフット・ワークがサッカー好きをつくり、女子マラソンのスミス夫人の姿が、ジョッギング・ママを走らせているのです。

多様化する運動施設の必要性はこんなところにあると考えます。動機はさまざまであり、運動生活の進展もさまざまです、どんな形でも、人々の生活の中で、運動がよろこびをもたらすならば、それが可能な環境（施設）がほしいものです。

6．学校施設開放は施設不足を補うためだけではない

わが国の体育施設の約65%を占めている学校施設の開放は、私たちが、スポーツ活動に親しむ場を確保する意味においては、極めて重要な施策であると考えます。しかし、スポーツ活動の場を得るためにのみ、学校開放を考えることは危険なことであり、教育をゆがめることになります。そこで、学校とは何か、地域における学校のもつ意味をよく考えることが必要となってまいります。学校は聖域であり、特別な区域であり、人々は入るべからざるところなのでしょうか。

私の体験では、小学校の運動会の時、家族総出で応援に、競技に参加していたように記憶しています。小学校の運動会は、村の体育の祭であったのです。学校は地域社会の文化・教育・スポーツのセンター的役割を果すところであると考えています。日本のスポーツが学校を中心に発展してきたという歴史的事実を考えると、地域づくりの中心の一つとなるのが学校であり、学校開放は、児童・生徒の教育に支障のない限り期待されてよいと考えます。学校開放のねがいは、地域住民のスポーツ活動の施設不足を補うのみでなく、地域づくりの中心としての役割を期待することです。いや、私たちのスポーツ活動の振興の結実の日は、学校開放という言葉が使われなくなった時だと考えています。

7．市民体育館の役割は、基礎的スポーツ技能をのばす場でありたい

各市町村で、体育館が建設されておりますが、私は、例えば、市民体育館のプログラムは、誰でも、どんな体力・技術の人でも、充分活動が可能なものが用意されるとよいと考えています。今、学校開放施設利用の方が未組織なグループや少人数のグループの活動が時々あるようにみているのですが、市民は遠慮なく市民体育館を訪れて、自分にあった運動を指導していただき、一人で充分できるようになったら、身近かな学校開放施設でグループ活動をしている人たちの仲間入りをして、運動を続けるとよいでしょう。行政の方々は、どんな小さな施設でも、どんな小さなグループでも、しっかり把握しておいて総合的なスポーツ活動プログラムの展開を考えてほしいと願っています。

市民体育館が建設されると、すべての活動が可能だと思いがちですが、スポーツ人口の増大を考えますと、運動する工夫のできる市民教育が大切になってくるでしょう。

そして、施設は、利用者の自主管理ができるところまでになることが理想だといいたいのです。

8．社会体育施設は、地域での私たちの生活の中心であってほしい

私たちが、毎日生活している地域を見渡すと、さまざまな施設があります。例えば、家並、道路、学校、駅、市役所、市民会館、市民体育館、消防署、病院、公園、などがあります。それらの施設は、私たちの生活を幸福にしてくれています。私たちの生活は、それらを中心に動いているといってよいでしょう。その施設は、その独自の機能を果すだけでなく、地域の人たちの活動のポイントになっています。ジョッギングのコースの目印に、約束の場に、道案内に役立っています。社会体育施設も、そんな人々の生活の中で親しまれるようになってほしいものです。

（たぐち　もりたか／大阪体育大学教授）



高齢者学級「健康体操とレクリェーションの活用」の講座風景㊤㊦



望まれる社会体育指導者のタイプ（第１位）

	男	女	全　体
①　技術に優れ積極的に実技指導をする人	205 (15.2)	29 (13.2)	234 (14.9)
②　仲間づくりなど面倒みがよく、スポーツやグループ活動の楽しさを指導する人	677 (50.3)	127 (57.7)	804 (51.3)
③　健康・体力づくりなどについて実際的な方法を指導する人	121 (19.0)	11 (5.0)	132 (8.4)
④　各種スポーツ活動の企画・立案・運営などの能力の優れた人	99 (7.3)	10 (4.5)	109 (6.9)
⑤　体育・スポーツなどの理論や知識に優れ、よく理解させる人	104 (7.7)	10 (4.5)	114 (7.3)
⑥　無　　回　　答	141 (10.5)	33 (15.1)	174 (11.1)
計	1,347	220	1,567

（参考）

年　齢		10代	20代	30代	40代	50代	計
1．技術のすぐれた人	(49)	0	7.2	8.0	8.0	3.9	7.5
2．グループづくりなどの面倒をよくみる人	(388)	0	56.0	59.2	60.9	61.5	59.2
3．企画・立案・運営能力にすぐれた人	(122)	100	24.8	16.4	17.3	17.3	18.6
4．理論・知識にすぐれた人	(80)	0	12.0	14.4	10.2	11.5	12.2

「健康と体力」'78年10月号　　求められる社会体育指導者の資質－社会体育指導者に関する調査（文部省体育局スポーツ課）

●社会体育と教育

鹿屋体育大学の役割

岡　田　参　郎

1．鹿屋体育大学創設の趣旨

本学は、国立としては初めての単科の体育大学として設置されたもので、昭和59年４月の学生受け入れをめざして、諸般の準備が進められている。

国民の生活様式、生活環境の変化に伴ない、国民の健康、体力に関する関心は、いっそうの高まりを見せており、一方においては余暇が増大し、体育・スポーツ、レクリェーションに対する欲求が著しく高くなっている。

このような背景を踏まえ、明るく活力に満ちた社会を創っていくため、国民が生涯を通じて、それぞれの年齢、性別、健康状態あるいは環境などに応じて、適切な身体活動を行えるような条件を整備していくことが大切であり、とくに、学校体育における指導者のみでなく、一般市民に対し健康、体力づくりについて指導し得る幅広い基礎的な知識を身につけた実践的な指導者を養成することがもっとも緊要なこととされている。

また、わが国の民族的遺産であり、固有の文化である武道を振興することは、青少年の心身の鍛練のためにも、国際社会におけるわが国の文化的評価を高める上においても、重要な課題となっており、学校体育のみならず、今後、振興が期待される社会体育の一環としても武道に関する優れた指導者の養成が求められている。

鹿屋体育大学は、このような社会的要請をうけて設置されたもので、既設の体育系大学との関連において、独自の役割を明確にする上からも、とくに、社会体育の分野の教育研究と基礎的な知識を身につけた実践的な指導者の養成に主眼を置くこととしたものである。

2．わが国の社会体育・スポーツ施設などの現状

わが国の体育・スポーツは、人口、施設ともにどちらかといえば、学校体育に重点がおかれ発展をとげてきたのであり、社会体育の分野においては、欧米先進諸国に比べかなり立ち遅れているといわざるを得ない。このことは、国情の違い、その国の持つ歴史的背景にもよるものであるが、わが国における社会体育の分野が一部の者によってささえられ発展してきたという事実は否めない。

東京オリンピックの開催は真に国民全体のスポーツとして大きく転換を図る契機となったのである。

文部省が行なった体育・スポーツに関する施設などの実態調査結果によると、国民スポーツへの流れが数字的によく裏付けられていることがわかる。

昭和44年７月から昭和55年１月の約10年間に約７万ヵ所、また昭和50年７月から昭和55年１月の最近５ヵ年間では、約３万ヵ所が増加している。

陸上競技場、体育館、プールなど主要14施設の総数約２万 7,800ヵ所のうち、指導者が配置されているのは、約 8,800ヵ所（配置率31.7%）となっている。そして、約 8,800ヵ所のうち70.6%に当たる約 6,200ヵ所を公共スポーツ施設が占めている。

文部省は、昭和34年以来、公共の社会体育施設に対し、国庫補助を行なってきた。昭和34年に国民体育館、プールに対し、３千万円の補助を行なったのが最初で、以来昭和36年には「スポーツ振興法」の成立を図り、体育・スポーツの普及振興に国が積極的に助成策を打ち出したのである。

東京オリンピックの開催は真に意義深いものであった。

3．教育研究環境の整備

先にふれたように、新らしいタイプの実践的な社会体育指導者の養成という目的を達成するための要件として、第一は、優秀な教官組織を用意することである。

この点、当大学としては必ずしも立地条件に恵まれていないが、幸いにして、現段階では、理論分野についても、実技分野についても、一流のスタッフを集めることができ、活気ある教育研究が期待される。

第二は、施設、設備の整備充実である。キャンパスは、体育大学としてふさわしい景観、デザインを持ったもので、体育指導者としての人間形成に寄与できるよう配慮し、計画が進められている。公園の中にある大学、緑と水をじゅうぶん取り入れ、とかく体育大学のもつ殺伐としたイメージを無くすよう工夫をこらすこととしている。

各種の体育施設は、体育・スポーツ、レクリェーションに関する教育研究と、レベルの高い技能を身につけられるよう、最新鋭の機械、器具を駆使し、高度の専門性と機能を具備した専用施設を整備することとしている。また、武道関係については、機能的にも質的にも高い水準のものを整備することとしている。

4．教育課程の基本方針

人間性豊かな幅広い応用能力をもった人間形成を目指し、教育内容については、とくにつぎのような点に配慮する。

（１）体育指導者としての基礎的な知識と技能を身につけさせるため、体育・スポーツ、レクリェーションに関する基礎的、共通的な科目については、すべての学生に履修させる。

（２）体育・スポーツ、レクリェーション活動について、年齢、健康状態、職業などに応じた適切な指導を行い得るよう、人体の機能・発達及び健康などに関する科学的知識を身につけさせる。

（３）実技については、できるだけ幅広く多くの種目について、基

表1　設置者別にみた施設数と推移

項目＼設置者別	合計	学校体育施設（小・中・高・高専・大学等）	公共スポーツ施設	職場スポーツ施設	民間非営利スポーツ施設	民間営利（商業）スポーツ施設
A 今回調査（昭和55年）	218,631	141,794	29,566	29,013	5,592	12,666
	(100)	(64.8)	(13.5)	(13.3)	(2.6)	(5.8)
B 前回調査（昭和50年）	188,224	127,296	19,835	26,873	3,896	10,324
	(100)	(67.6)	(10.5)	(14.3)	(2.1)	(5.5)
C 前々回調査（昭和44年）	148,059	107,392	10,193	23,768	2,522	4,184
	(100)	(72.5)	(6.9)	(16.1)	(1.7)	(2.8)
10ヵ年間の増設数（増加率：Cを100としたときのAの指数）	70,572	34,402	19,373	5,245	3,070	8,482
	(148)	(132)	(290)	(122)	(222)	(303)
最近5ヵ年間の増設数（増加率：Bを100としたときのAの指数）	30,407	14,498	9,731	2,140	1,696	2,342
	(116)	(111)	(149)	(108)	(144)	(123)

注1．10ヵ年間は、昭和44年7月から昭和55年1月まで。　注2．最近5ヵ年間は、昭和50年7月から昭和55年1月まで。

表2　主要施設の指導者配置状況

施設種別＼設置者別	公共スポーツ施設		民間非営利スポーツ施設		民間営利（商業）スポーツ施設		今回調査（55年）合計		前回調査（50年）合計	
	施設数	指導者配置施設数	施設数	指導者配置施設数	施設数	指導者配置施設数	施設数	指導者配置施設数	施設数	指導者配置施設数
今回調査（55年）合計	20,603	6,233 (30.3)	2,920	697 (23.9)	4,326	1,898 (43.9)	27,849	8,828 (31.7)	18,151	5,855 (32.3)
前回調査（50年）合計	13,979	4,087 (29.2)	2,144	844 (39.4)	2,028	924 (45.6)	18,151	5,855 (32.3)		

（注）　（　）内は指導者が配置されている施設の割合（%）

礎的な実技を履修させるほか、高度な技能を身につけさせるため、専攻する運動種目について重点的に履修させる。また、競技水準の向上を図るため、科学的なトレーニング方法を修得させる。なお、実技の訓練に関しては、正規の授業との適切な関連の下に課外活動が有効に活用されるよう課外活動のあり方について十分工夫する。

（4）体育施設の経営・管理などに関する能力の養成にも重点を置く。

（5）実践的な指導能力を涵養するため、各種の社会体育施設における実習を取り入れる。

（6）体育指導者として必要な幅広い素養を与えるため、体育と関連する人文、社会系の分野の教育に配慮する。

（7）一般教育については、総合科目を主体とし、専門教育と適切な関連をもったものとなるよう工夫する。

（8）体育指導者として、海外においても活躍し得る人材の養成という観点からも、外国語教育を重視して、会話教育に重点を置く。

（9）社会教育主事、中学校・高等学校の保健体育教員の免許を取得できるように配慮する。

表3　公共社会体育施設文部省補助金予算額

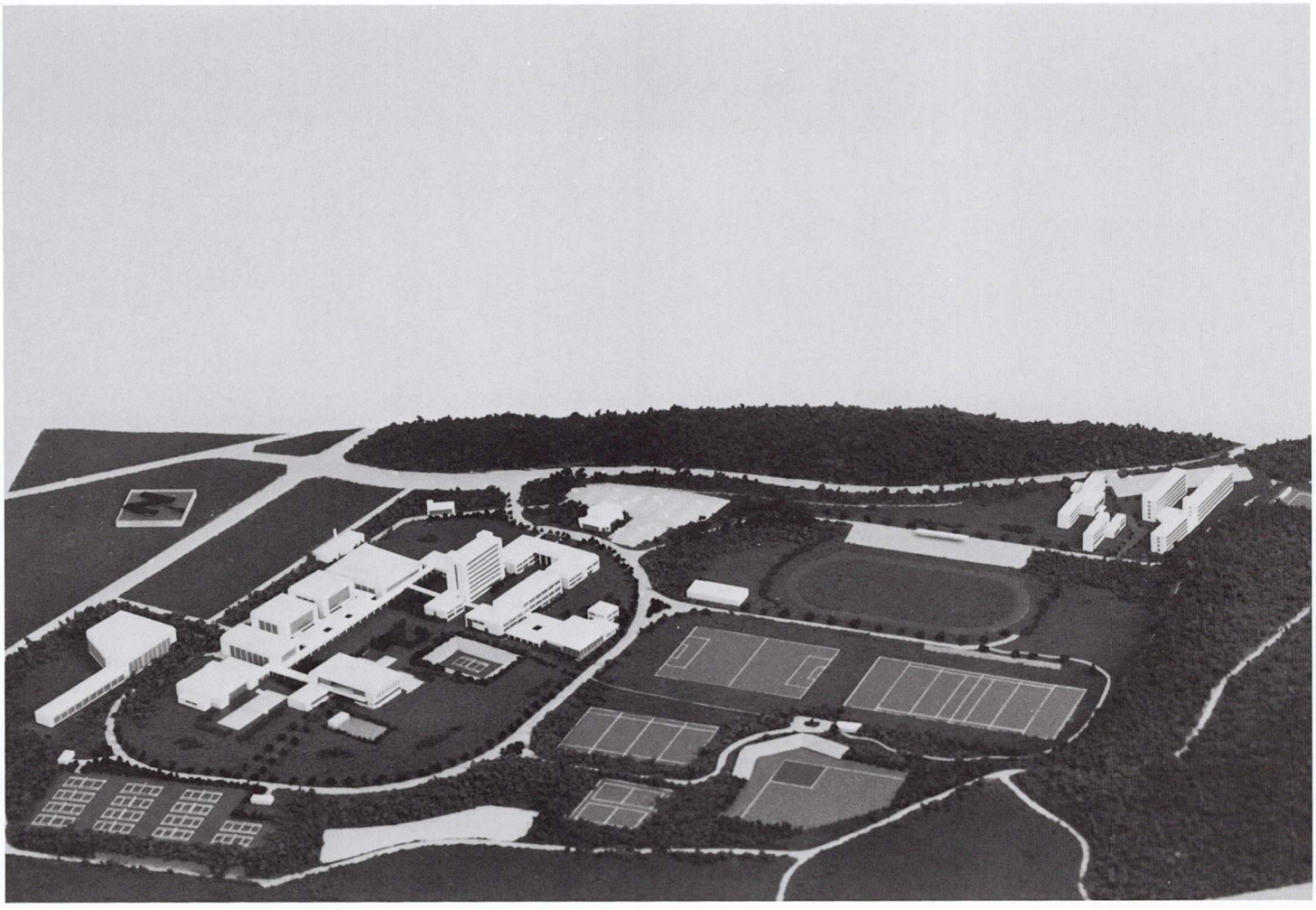
年度	予算額	備考
	百万円	
昭和34年	30	補助開始
〃 39年	130	東京オリンピック開催
〃 44年	560	
〃 50年	5,530	
〃 55年	10,120	
〃 57年	11,800	

5．履修コース

次の履修コースを設け、各人の選択によりいずれかのコースを専攻させる。

（1）体育・スポーツ課程

ア　陸上運動コース



鹿屋体育大学基本設計模型写真　　敷地　約37ha

イ　体操コース
ウ　水泳コース
（2）武道課程
ア　柔道コース
イ　剣道コース

6．授業科目の開設

（1）授業科目は、共通科目、専攻科目および関連科目として設定する。

ア　共通科目は、各課程に関連する基礎的、共通的な理論と実技について。

- 理論分野については、体育学、体力科学、健康教育学及びスポーツ、レクリェーション方法などに関する科目の中から全学生に共通に履修させる。
- さらに、専門科目の履修の基礎となる科目について、人文、社会および自然の分野について総合的、また多面的に履修させる。

イ　専攻科目は、社会体育に関する基本的な専門科目として、つぎの授業科目を開設し、いずれか一つの分野を選んで履修させる。

- 地域社会体育に関する科目
- 職場体育に関する科目
- 野外教育に関する科目

また、専攻する運動種目（履修コース）について深く重点的に履修させるため、それぞれの運動種目について理論および実技に関する科目を開設する。

ウ　関連科目は、専攻科目および共通科目の履修に関連して、各人の選択により専門教育に関する科目及び一般教育に関する科目を履修させる。

（2）幅広い教育課程を開設するため、他大学との単位の互換制度を積極的に活用する。

7．鹿屋体育大学の役割

以上のような教育研究条件の整備を図り、新しい構想の体育大学として課せられた使命を達成するため、一つには、大学を地域社会のために積極的に開放することを考えている。本学の創設の趣旨からして真に社会体育の実践の場となるためには、地域住民との接触なくしてはなし得ない。そのためには、一般市民を対象としたスポーツ教室など公開講座を計画するほか、社会体育指導者の受け入れ、各種研究員、研修生制度などによる指導力の向上のための再教育を計画的に実施することを計画している。

また、東南アジアを中心とした諸外国との国際交流を推進することとしている。

最後に、昨年行なわれた各種の国際競技大会において、今ひとつ、ぱっとした成績があげられなかったのは誠に残念であり、日本人選手がより優秀な成績を収めて欲しいというのは、大多数の国民の願いではないだろうかと思う。

社会体育指導者として、健康、体力づくりについて指導しうる幅広い基礎的な知識と、より高い競技力を身につけた実践的指導者の養成こそ、本学の目指す役割である。

（おかだ　さぶろう　鹿屋体育大学事務局長）

●社会体育と教育

北米のフィットネス施設の動向

池　田　　勝

高齢化社会を迎え、国民の健康問題に対する関心が、先進諸国において急速に高まってきている。施設に関しても、それに対応して、これまでのような治療を目的とした医療施設や、レクリエーションの場を提供する運動施設とは異なる、「疾病予防・健康増進」を主たる目的とした施設づくりのノウハウが求められ、また、すでにそうした先駆的な施設もみられるようになった。

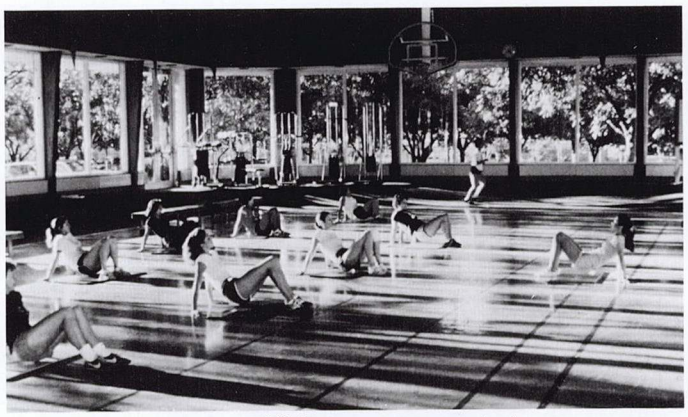
北米では、こうした施設を「フィットネス・センター（Fitness Center）」とか「ウェルネス・センター,(Wellness Center)」と称しているが、医療費の個人負担の大きい北米においては、こうした施設が従来の病院以上に国民に身近に親しまれ、また、重要な機能を果たすようになってきている。以下、その先駆的な二、三の施設を紹介してみよう。

1．エアロビクス・センター

科学的かつ実践的な健康づくりプログラムとして、世界的に広く受け入れられている「エアロビクス運動」の提唱者、ケネス・H・クーパー博士は、自らの理論を具現化し、発展させるために、テキサス州政府ならびに地元財界の協力を得て、1970年、ダラス郊外の22エーカーの広大な敷地に「エアロビクス・センター」を創設した。豊富なデータに基づいて、健康水準、年齢、性別にあった具体的な運動プログラムを開発し、またその実践の場を市民に提供しているこのセンターは、いわば〝健康づくりのメッカ〟であり、北米でもっとも権威のある健康づくりの総合センターとして、広く知られている。

エアロビクス・センターは、3つの施設（部門）から成り立っている。ひとつは、一般の人びとに種々の医学検査と健康づくりのための「運動処方」を与える「クーパー・クリニック」、第2の部門は、研究活動と研修プログラムなどの事業を行なう「エアロビクス研究所」、そして、具体的な運動プログラムの実践の場を提供する「エアロビクス運動センター」の3つである。

「クーパー・クリニック」には、クーパー博士を含めて7人の専任医師がおり、いわば予防医学センターの役割を果たしている。ここでは、血液検査によるコレステロール、中性脂肪、グルコースなどの値の分析、レントゲン、眼底検査などの一連の成人病検査が行なわれるほか、トレッドミルという器具を使っての運動負荷検査（ストレス・テスト）も行なわれる。この検査は、モーターで回転する走行盤（トレッドミル）で歩行もしくはランニングを行ない、運動実施中および直後の心肺機能の変化が心電図ならびに血圧計によって調べられる。このテストの目的は、中高年者の健康の側面でもっとも重要な心肺機能の水準を的確に把握するとともに、潜在性の心疾患の発見と予防にもつながり、とくに中高年者が運動を開始するにあたっては、運動負荷検査を受けることは不可欠なものとして、北米では実施されている。



ジムでの運動教室（エアロビクス・センター）



ラケットボール・コート（エアロビクス・センター）

以上の一連の検査ならびに測定結果に基づいて、年齢別、性別による冠状動脈疾患の危険度を示したプロフィールが各自に手渡される。さらに柔軟性、脚筋力、腕筋力などの体力テストを受け、日常生活における健康上の注意事項と総合的な運動処方プログラムが書かれた「健康手帳」がこの施設の利用者に手渡される。

種々の運動プログラムの提供ならびに指導は、「エアロビクス・運動センター」で行なわれる。このセンターのメインの建物には、1周100 mのインドア・トラックがあり、床にはコースに沿ってペースメーカーの点滅ライトがはめ込まれている。

インドア・トラック内のスペースは、各種の運動教室やバスケットボールなどの活動に利用される。建物の2階はウェイト・トレーニングルームにあてられ、階下はラケットコート3面、スチームとサウナつきのロッカールーム、それにプロ・ショップがある。屋外には、太陽熱利用の25 mプールとテニスコート（4面）、それに池も配してレイアウトしたジョギング・コースが1マイル、4分の3マイル、2分の1マイルの3コースあり、夜間照明付きである。センター内の施設は早朝の6時から真夜中の12時までオープンしている。

センターはコンピューターをフルに利用している。たとえば、利用者がこのセンターで運動を実施した場合、その種目コード、実施量(時間)、ペースなどをセンターの受付に置かれている端末機に自分の会員番号とともにインプットすれば、運動量を表わすエアロビクス得点がアウトプットされるようになっている。また、1ヵ月ごとの運動量などがプリントされた「運動レコード」が各人に配布される。

「エアロビクス運動センター」は会員制で運営されている。現在約2500名の会員がおり、会費は男子会員が年間600ドル、女子会員は400ドル、法人会員は10人以上で1人につき150ドルで、いずれも入会金をとっていない。法人会員には、地元企業のほかに、発展都市であるダラスへの出張が多い従業員のために、遠隔の企業も少なからず加盟している。企業によっては、会費を全額負担して健康水準の低い者や肥満タイプの社員を勤務時間内に送りこんでいるところもあれば、会員希望者に会費の半額を負担しているといったケースもみられる。

最後の部門の「エアロビクス研究所」は、運動による冠状動脈疾患の予防と治療に関する研究を主たる目的として、60万ドルの経費をかけて数年前に新しく設置されたものである。ここではまた、研究活動のほかに、教育研修、相談活動を通じて、地域社会や企業、民間団体に種々のサービスを行なっている。

このように、エアロビクス・センターの活動範囲は、研究、研修、指導、検査、診断、プログラム開発といったように、きわめて広範囲にわたっており、こうした諸活動を通じて、アメリカの健康づくり運動に大きな役割を果たしてきたのである。最近、北米の各地で、立派な健康づくりの総合施設がつぎつぎと作られているが、それらの先鞭となりモデルとなったのが、この「エアロビクス・センター」であるといっても過言ではない。

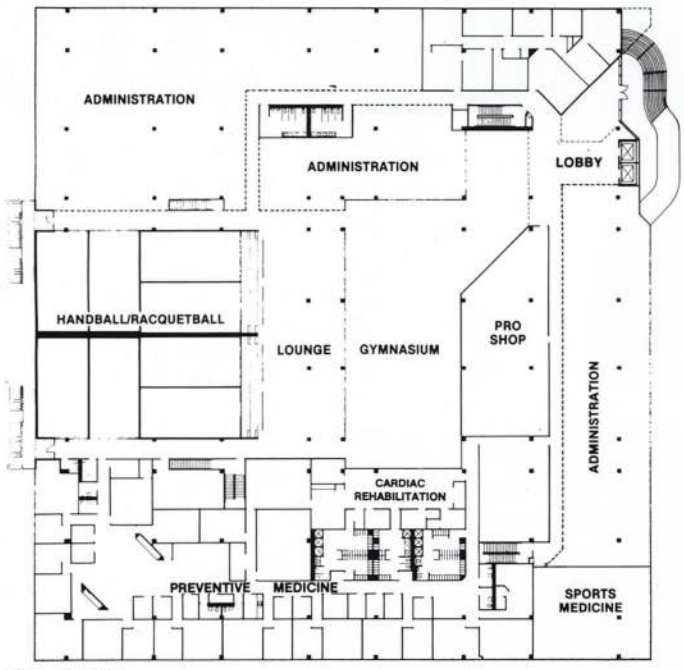
2．ザ・ヒューストニアン

エアロビクス・センターの申し子として、さらにそのスケールを大きくして誕生したのが、ヒューストンの都市公園の一画に作られた「ザ・ヒューストニアン」である。このセンターの規模および施設のコンセプト、そして創設のタイミング（1980年1月25日オープン）からいっても、まさに1980年代をリードする新しい健康増進施設といえよう。

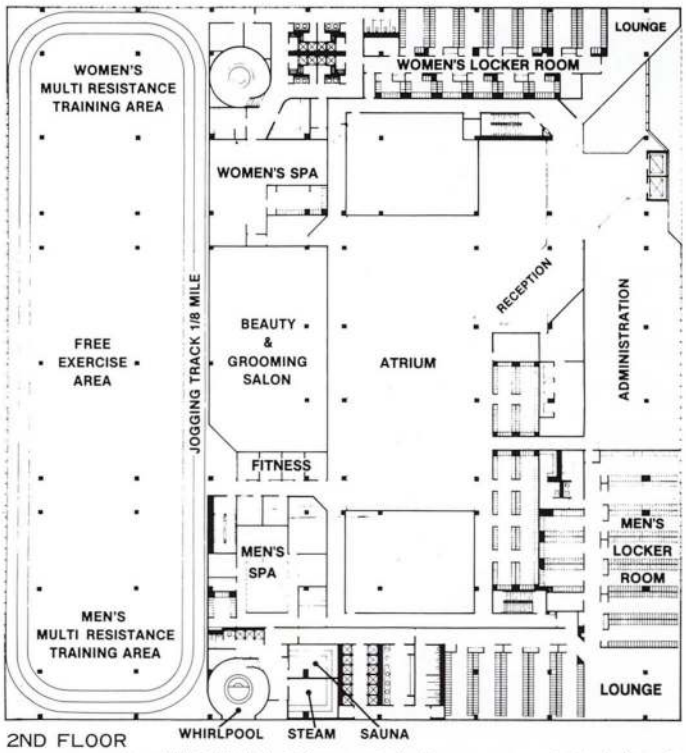
「ザ・ヒューストニアン」は、8人の専属医と最先端の医療機器を備えた「予防医学センター」、1500万ドルを投じて建設した「フィットネス・センター」、客室が300室と28の大小さまざまな会議場をもつホテル「ザ・ヒューストニアン・イン」の3つの部門からなり、施設費は3900万ドルかかったとされる。また、18エーカーの敷地内には、「アメリカ生産性本部」も建設されている。経営トップ層を主たるターゲットとした会員制のクラブ・システムで運営されており、健康の維持増進、知性と教養の開発、社交の拡大をここで追求しようとする。そのことから、「忙しいトップ・ビジネスマンの新天地」とも呼ばれている。

「ザ・ヒューストニアン」の中でも、とくに目につくのが、世界一の規模を誇る「フィットネス・センター」およびその附帯施設である。建物の大きさは12万6000平方フィートで、図に示したように2階建てである。玄関を入りロビーを過ぎると、バスケットボール・コート1面がとれるスペース（体育館）があり、屋根はドーム型でガラス張りであるからひじょうに明るい。その横にはスポーツ用具やウェアなどを置いた広々としたプロ・ショップがある。体育館の奥にはラケットボール専用コートが8面ある。体育館とラケットボール・コートの間は豪華なラウンジがあり、コーヒーなどを飲みながらラケットボールを観戦できる。

THE Houstonian Fitness & Medical Center



1ST FLOOR



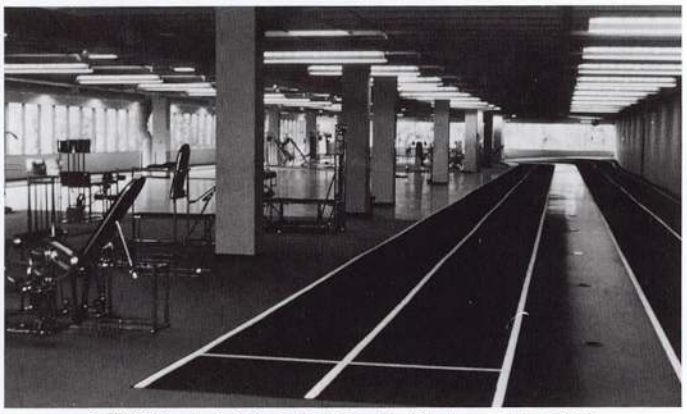
2ND FLOOR

1階の約3分の1を占める「予防医学センター」には、前述のように8人の専属医がおり、各ドクターの部屋には、ストレス・テスト用のトレッドミルなどの機器が備えつけられている。つまり、各ドクターがそれぞれ独立して、1人で責任をもってメディカル・チェックを行なえるようなシステムをとっているのである。ここでは13項目からなるメディカル・チェックを行ない、それらの検査結果を点数化して、心臓病などの「リスク・プロフィール」を作成している。その「リスク・プロフィール」により、リハビリテーション・プログラムや具体的な運動プログラムが提示される。

2階にあがってまず目につくのが、室内のジョギング・トラックのあるトレーニング・ホールで、その壮観さに圧倒される。ジョギング・トラックは8周で1マイルの長さであるから、1周約200 m、つまり日本の都会の小学校の運動場くらいのスペースであり、いか



予防医学センターにおける運動負荷検査（ザ・ヒューストニアン）



1周200メートルのジョギングコース（ザ・ヒューストニアン）

に大きいものか想像できよう。トラックに沿ってペース・メーカー用のランプが床にはめ込まれており、ここでジョギングする人は、自分のペースをスタート地点の壁にセットされた装置を自由に操作して決定するのである。また、4つのコーナーは走りやすいように勾配がつけられている。トラックの中は、一方に男子用、他方に女子用のトレーニング・コーナーがあり、最新鋭のトレーニング機器が置かれている。

トレーニング・ホールの三方の壁面はすべてガラス張りで明るく、外のテニス・コート、ジョギング・コース、それに緑豊かな自然の風景が眺められる。このような環境のスペースで、からだを動かして汗をかいても、およそ不快感というものは出てこない。

ロッカールームも「フィットネス・センター」の自慢のスペースである。厚いカーペットを敷きつめ、向かいあったロッカーの間はゆったりととっている。ロッカーはすべて厚い木材で作られている。ロッカーに併設するラウンジ、化粧ルーム、洗面所、トイレも清潔で気持ちが良い。また男女別々にサウナ、スチームバス、渦巻き風呂、マッサージ室、〝グルーミング・サロン〟と称する全身美容室まであり、まさに至れり尽くせりという感がする。

「フィットネス・センター」の付帯施設で注目されるのが、18エーカーの広大な敷地の周囲に設定された全長1マイルのジョギング・コースである。緑の木立を縫うようにコースがレイアウトされており、約2メートルの幅「スーパー・ターフ」(人工芝）がすべて張りめぐらされている。コースには適当な起伏があり、リスや野ウサギなどの動物にもお目にかかれるし、走る楽しさを存分に味わえる。

外部の附帯施設として、ジョギング・コースのほかに、夜間照明付のテニスコートが5面、25mの公認プールと一般用プールがある。また、フィットネス・センターのすぐ横には、婦人専用の別荘なみのロッヂがある。これは、健康と美容を兼ねた1週間の「トータル・フィットネス教室」に参加する婦人たちの宿舎となる。ちなみにこの教室の参加費は3,000ドルで、食費、各種指導費、宿泊費、それに空港からの送迎費までカバーされている。

「フィットネス・センター」には、前述の専属医8人を含めて専任職員が40名いる。オープンの時間は早朝6時から夜11時までで、宿泊客などがいつでも利用できるように配慮されている。プログラムも会員向けのものばかりでなく、一般の人びとも参加できるプログラムも多く用意している。「ザ・ヒューストニアン」の代表するプログラムは「不滅の力(Ultimate Strength)」と称するトップビジネスマン向けの総合的な健康づくり研修プログラムで、約1週間かけて運動、栄養、ストレス管理を中心に徹底した研修が行なわれる。

「ザ・ヒューストニアン」の発足当初の入会金は、個人会員で7,200ドル、月会費65ドルであったが、現在では入会金も1万ドルとなり、月額も100ドルにアップしている。正会員1,000人、賛助会員600人に限定しているため、会員希望者がウェインテング・リストにいっぱい名を連ねている。アメリカのビジネスマンの最近モットーに〝Sweat is status and muscle is money （汗は明日につながり、筋肉は金(カネ)につながる)〟とあるが、こうした「不滅の強さ」を求めるアメリカのビジネスマンにまさにフィットした施設が登場したのである。

3．ヘルス・サービスセンター（キンバリー・クラーク社）

従業員の健康増進のために、企業自体も独自にこうした施設をもつようになってきた。とくに、心臓病や高血圧などライフスタイル（生活習慣）に起因する疾病の死亡率の高い北米においては、その経済的損失は大きく、そのため、健康投資の考え方が経営トップ層にも理解されてきたのである。〝Good health is good business〟つまり、従業員が健康であることは、企業にとってもプラスになるという考え方が北米の企業社会において定着してきたのである。

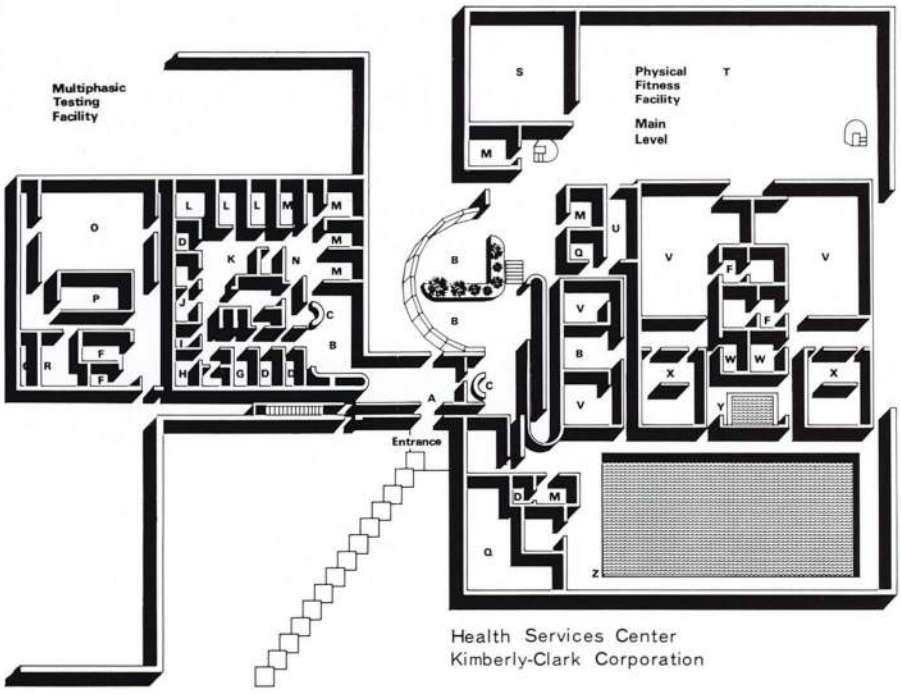
企業の健康づくり施設の中で、最先端を行く施設として、キンバリー・クラーク社（以下KC社と略す）の「ヘルス・サービスセンター」があげられよう。KC社はティッシュ・ペーパーを主に作っている製紙会社で、ウィスコンシン州のフォックス・ヴァレーに本社があり、そこの敷地内に2500人の従業員の健康増進を目的として、1977年秋に「ヘルス・サービスセンター」を完成させた。この施設は、ある意味では北米の企業内健康づくり施設の頂点に立つといえるもので、そのことは、1979年に大統領体力スポーツ審議会から、特別に表彰されたことによっても裏付けられる。

KC社のヘルス・サービスセンターが誕生したきっかけは、健康管理部門の担当者が、はじめに紹介した「エアロビクス・センター」で研修を受け、その施設およびプログラムの理念に感銘を受け、本社に戻ってすぐにスミス社長に報告し、要望したことによるとされている。スミス社長も、かねてから健康財政負担の拡大に頭を抱えており、10年先を見越して、250万ドルという従業員の健康投資のために思い切ったゴーサインを出したのである。

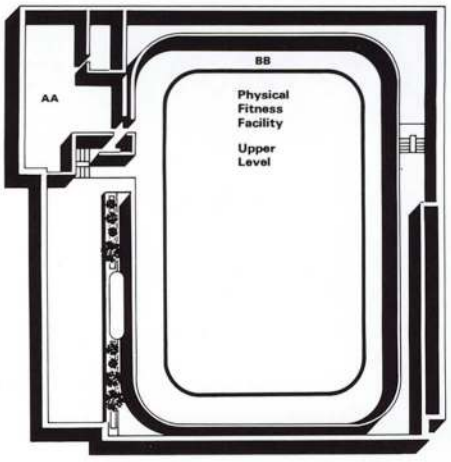
ヘルス・サービスセンターは一連の医療検査を行なう施設(Multiphasic Testing Facility）と、健康づくりを目的としたフィットネス・センターの2つがドッキングした形で建てられている。前者の施設の大きさは630m²で、フィットネス・センターは2,880m²である。フィットネス・センターには1周100mの室内トラック、25mの水泳プール（5コース)、2つのトレーニング・ルーム、ワールプール、サウナなどがある。

センターには、2人の専属医と数名の嘱託医、12人の看護婦、7人の医療検査技師、それにカウンセラーとフィット・トレーナー、事務員が置かれている。

ここで実施している総合的な臨床検査設備とその内容は、北米の



Health Services Center
Kimberly-Clark Corporation



Key

A/Entrance	O/Conference Room
B/Lounge	P/Audiovisual Room
C/Reception Area	Q/Storage
D/Changing Room	R/Library
E/Blood Drawing	S/Exercise Equipment Room
F/Restroom	T/Exercise Area
G/Vision/Hearing	U/Laundry Room
H/X-Ray	V/Locker Room
I/Lung Function and Body Density TanK	W/Sauna
J/Treadmill/Electrocardiogram	X/Showers
K/Nurses' Station/Laboratories	Y/Whirlpool
L/Examination Room	Z/Swimming Pool
M/Staff Office	AA/Heating/Cooling Equipment
N/Secretarial Area	BB/Track

企業界でもっとも模範的なものとされている。まず、従業員がセンターを訪問する前に、40ページにも及ぶ問診票があらかじめ渡され、全部記入して提供するように求められる。そして、これはすぐにコンピューターにインプットされる。つぎに、センターで一連の詳細なヘルス・スクリーニングを受けるが、これには、血液検査、X線検査、運動負荷検査などが含まれている。これら一連の臨床検査は、40歳以下には3年に1回、40歳以上には2年に1回与えられる。

ヘルス・スクリーニングの結果に基づいて、各従業員は医師から健康水準を知らされ、健康をさらに高めていくための処方箋が与えられる。個人別の処方箋は心身にマイナスな生活習慣を改善することに重点が置かれている。また、トレッドミルによる運動負荷検査の結果、心肺機能に問題のある従業員に対しては、医者の管理指導による運動プログラムが与えられる。

ヘルス・スクリーニングを問題なくパスした従業員は、フィットネス・センターを積極的に利用するように勧められる。センターは平日は早朝5時から夜9時まで、土曜日は朝8時から夕方5時までオープンしており、始業前や終業後、昼休みなど各自のスケジュールを調整して訪問することが望まれている。

KC社のヘルス・サービスセンターのユニークな運営方法のひとつに〝ヘルス・ホットライン〟というのがある。これは、従業員の誕生日前後に専任の医師が直接個別に電話をかけ、ヘルス・スクリーニングを受けるように、あるいは運動プログラムに参加するように勧めるのである。その結果、従業員の90%以上がヘルス・スクリーニングを受診し、25%以上がフィットネス・センターの常連利用者になったといわれる。また、約20%が家庭で規則的に運動を行なうようになったと報告している。

センターがオープンした当初は、利用者を正社員に限定していたが、1979年の秋から、生産現場部門のパートタイマー2,000人にも参加を認めている。そのことによって欠勤率も大幅に減少し、生産性の向上も著しく高まったとされている。また、パートタイマーの定着率もよくなったなど、会社にとっては、まさに思い通りの成果をあげたのである。

「わが社のヘルス・サービスセンターは、従業員が勝手気ままに運動をしたり、あるいはたんに楽しむだけの水泳をするために作ったのではない。ここでの目的は、病気を予防し健康を増進するために医学的見地にもとづいたプログラムを提供することであり、それによって社員が人生をより長く、楽しくおくるためには自分自身の生き方が大切であるということを認識してもらうことにある」とするスミス社長の企業理念は、80年代をリードした発言といえよう。



勤務時間内での運動プログラム（ヘルス・サービスセンター）



夜間照明つきのジョギング・コース（エアロビクス・センター）

（いけだ　まさる　筑波大学体育科学系助教授）

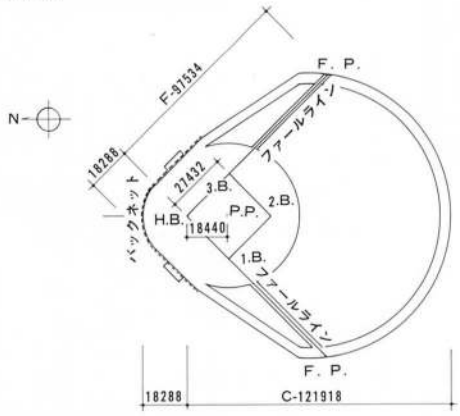
●資料

競技場の基本寸法

美津濃スポーツ施設部

（図、文章中の寸法は、とくに記入のない場合、㎜）

1．硬式野球



広　さ　野球規則に依る規格はつぎの通り

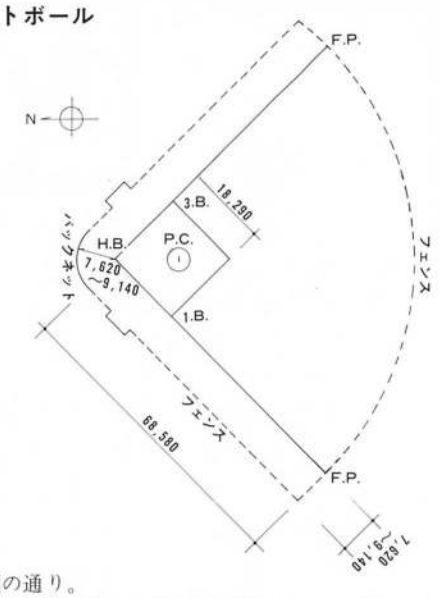
	F (H.B.～F.P.)	C (H.B～センター)
最　低	76,199（250フィート）	76,199（250フィート）
推奨値	97,534（320フィート）	121,918（400フィート）
プロ野球	99,058（325フィート）	121,918（400フィート）

舗装材　黒土、天然芝、アンツーカ、クレー、人工芝など

その他　バックネット、ダッグアウト、スコアボード、バックスクリーンなど考慮すること。

軟式野球のダイヤモンドは同一寸法とする。

2．ソフトボール



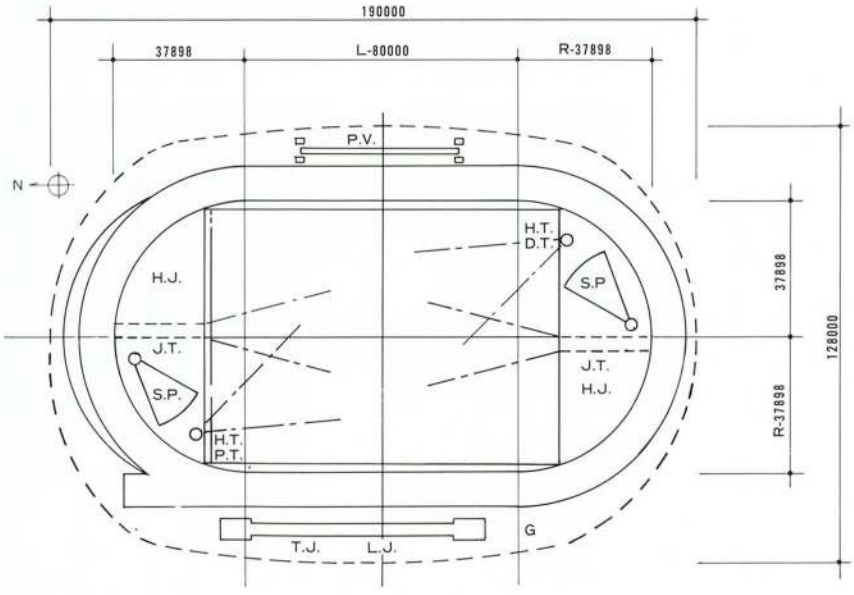
広　さ　図の通り。

広い場所で行なう場合も外周はフェンスで囲うのが望ましい。

舗装材　クレーなど。

その他　バックネット、スコアボードなど

3．陸上競技



舗装材　全天候、アンツーカ、シンダー、クレーなど。

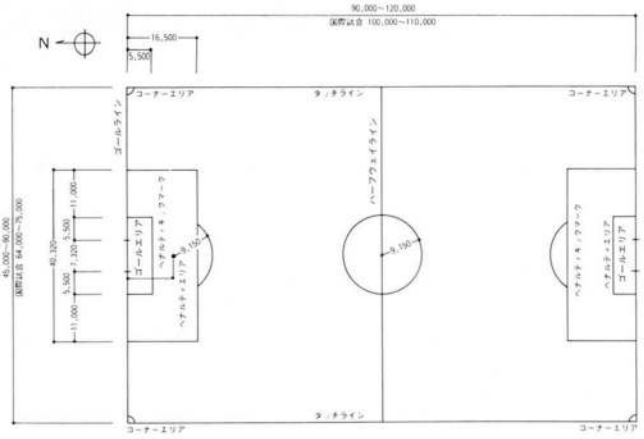
その他　風向に注意。

日本陸上競技連盟に依る第１～５種の公認制度あり。

トラックの大きさ

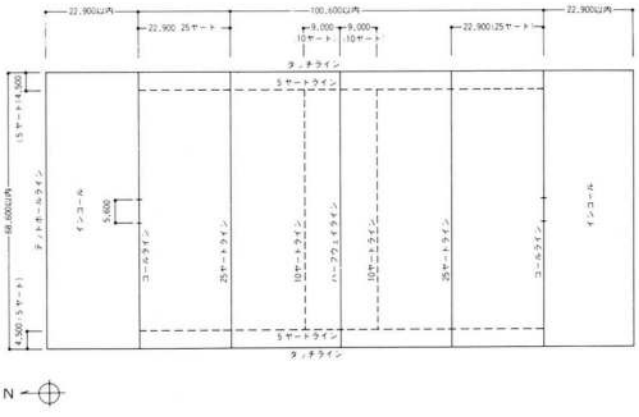
種別	形式	中心間(L)	半径(R)	コース数
400M	4－A	80,000	37,898	7～8
	4－B	85,000	36,306	
	4－C	90,000	34,715	
	4－D	95,000	33,123	
	4－E	84,390	36,500	
300M	3－A	60,000	28,348	6～7
	3－B	65,000	26,757	
	3－C	70,000	25,165	
	3－D	75,000	23,574	
250M	2.5－A	50,000	23,574	4，6
	2.5－B	55,000	21,982	
	2.5－C	60,000	20,391	
200M	2－A	30,000	21,982	
	2－B	40,000	18,799	

4．サッカー



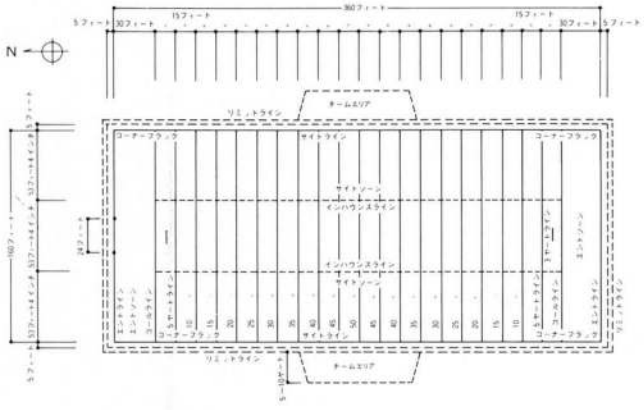
グラウンド寸法　図示の通り。
　　国際大会などは100～110M×64～70M
舗　装　材　天然芝、クレー、人工芝など。

5．ラグビー



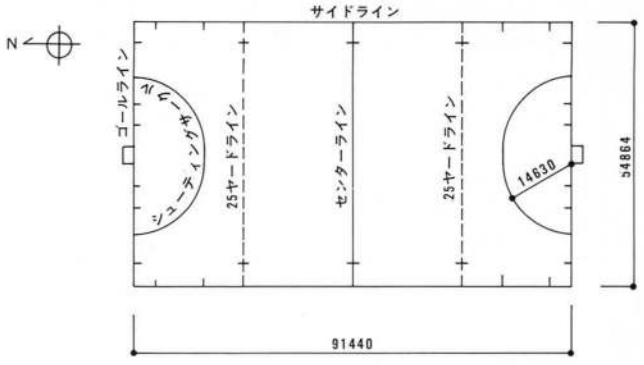
グラウンド寸法　図示の通り。
舗　装　材　天然芝、クレー、人工芝など。

6．アメリカンフットボール



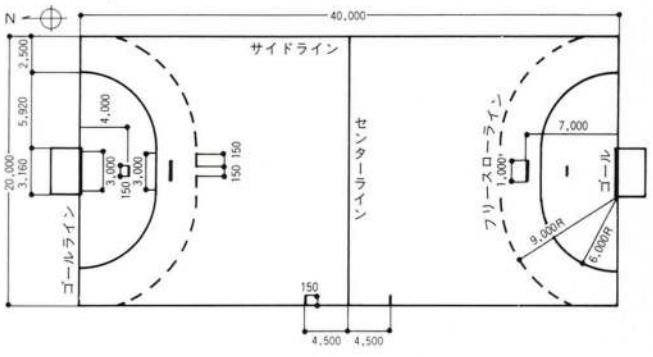
グラウンド寸法　図示の通り。
舗　装　材　天然芝、クレー、人工芝など。

7．フィールドホッケー



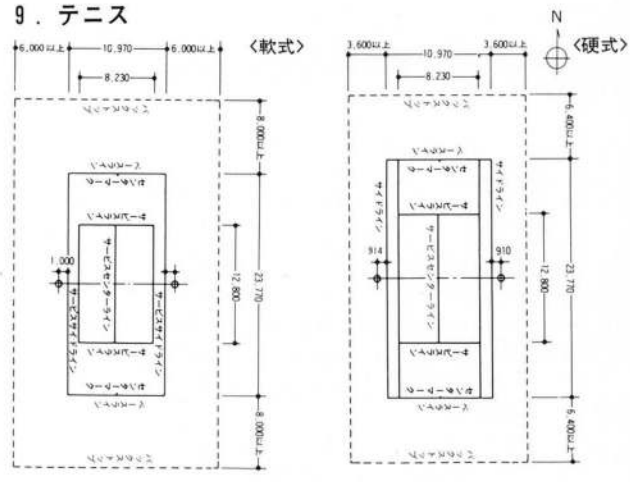
グラウンド寸法　図示の通り。
舗　装　材　天然芝、クレー、人工芝。
　　国産人工芝で国際大会を行う場合は事前にI.F.と打合せをする。
そ　の　他　周囲に危険防止対策必要。

8．ハンドボール



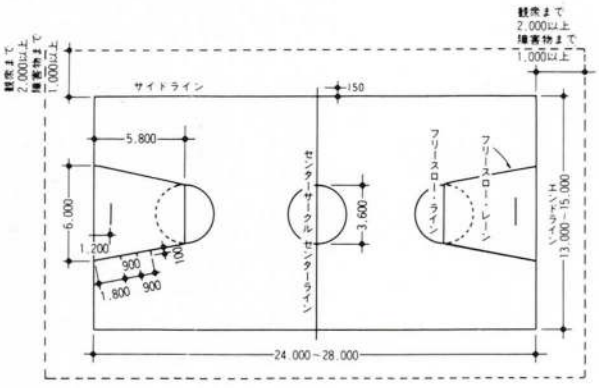
コート寸法　図示の通り。
床　　材　屋内　フローリング。
　　屋外　クレー、アンツーカ、全天候など。

9．テニス



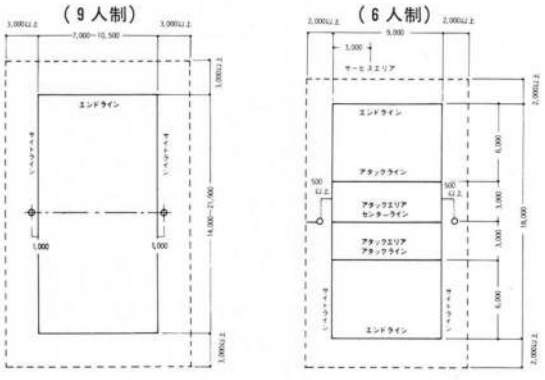
コート寸法　図示の通り。
舗　装　材　全天候、人工芝、天然芝、クレー、アンツーカなど。
そ　の　他　インドアの例が増加傾向にある。この場合天井高は11M以上、国際大会などではバックストップまで８M以上、サイドストップまで６M以上の余裕を確保する。

10. バスケットボール



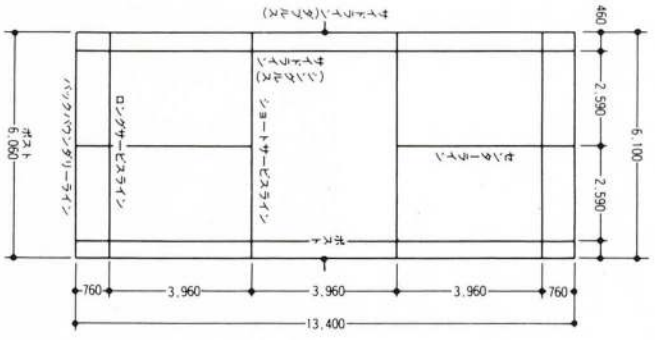
コート寸法　図示の通り。
　　大学・一般15M×28M　高校15M×26M　中学14M×24M
天　　井　高さ７M以上。
床　　材　弾性フローリングなど、屋外ではクレー、全天候など。
そ の 他　バスケットゴール、国際大会などではエンドラインから５M以上、サイドラインから４M以上の余裕を確保する。

11. バレーボール



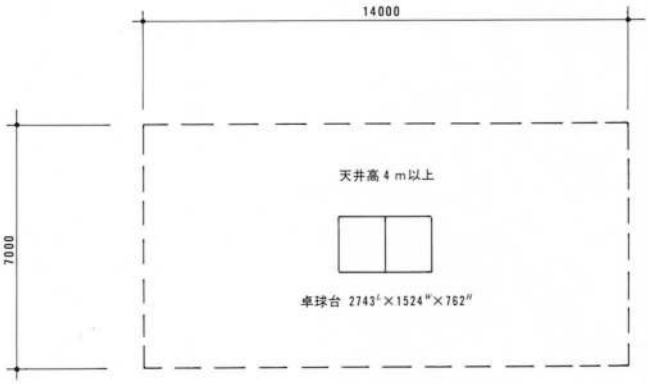
コート寸法　６人制　図示　中学女子17M×8.5M　その他18M×9M
　　９人制　図示　一般及高校男子21M×10.5M　中学男子20M×10M　一般及高校女子18M×9M　中学女子17M×8.5M
　　小学校14M×７M
床　　材　弾性フローリング、(屋外ではクレーなど)
そ の 他　国際大会などでは、サイド５M、バック８M以上の余裕
　　天井高12.5M以上。

12. バドミントン



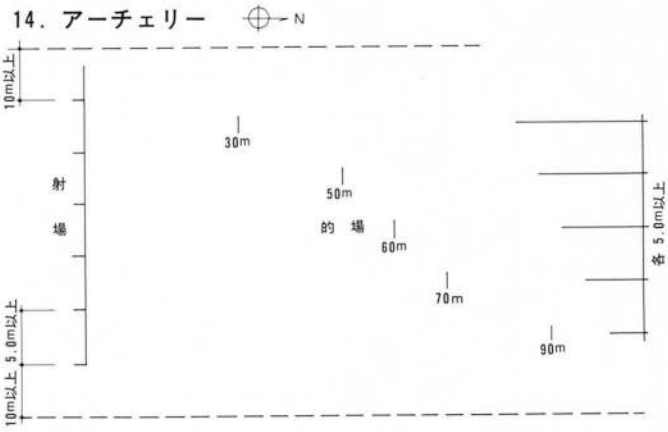
コート寸法　図示の通り。
天　　井　高さ８M以上。
床　　材　フローリングなど。

13. 卓　球



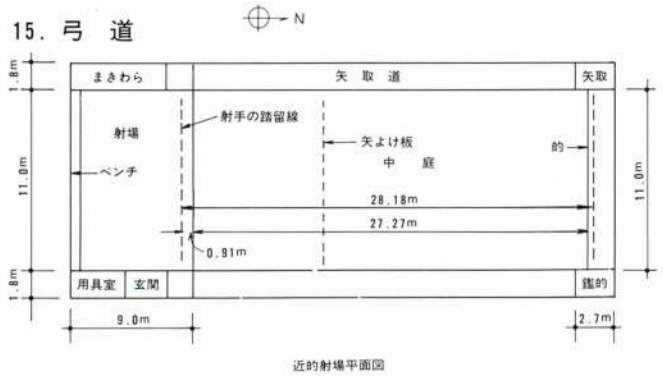
広　さ　図示の通り。
　　国際大会などでは、同一フロアーに16台以上設置する。
　　区画は卓球スクリーンなどで囲う。
天　井　高さ４M以上。

14. アーチェリー



距　離　図の通り　男子　30M・50M・70M・90M
　　女子　30M・50M・60M・70M
間　隔　2.5M～５M
　　大会時男女の間隔は５M以上とする。
その他　周囲には、危険防止対策重要。

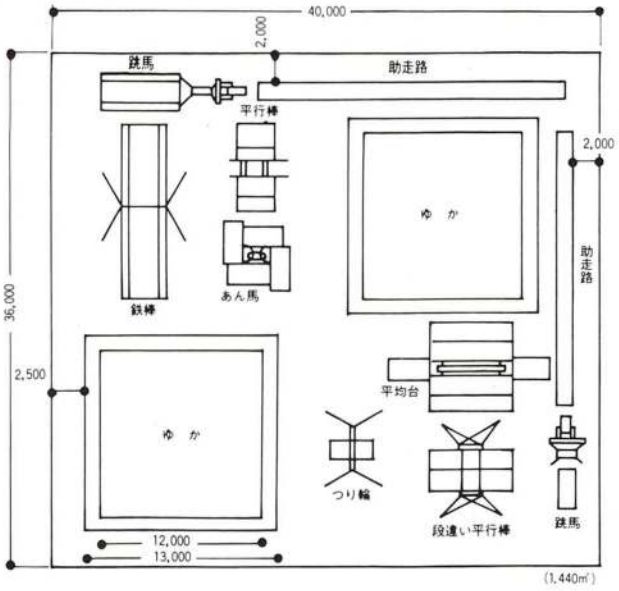
15. 弓　道



近的射場平面図

距　離　図は、近的競技場を示す。他に遠的競技として50M、60M、70M、90Mがある。
間　隔　1.5Mもしくはそれ以上。
その他　射場、的場とも上屋に関する規則はない。
　　周囲には危険防止対策重要。

16. 体　操



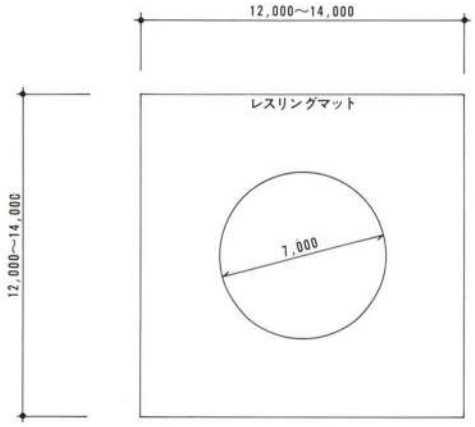
広　　さ　図示の程度。
男子：6種目　鉄棒、平行棒、あん馬、跳馬、つり輪、ゆか。
女子：4種目　平均台、段違い平行棒、跳馬、ゆか。
国際大会などでは男子、女子を分離のうえ、演技台を設ける。

使用マット　各競技には下記程度のマットを使用する。

〈男子〉
- 鉄　棒 1.5×6M－2枚
  1.2×6M－4枚
- 平行棒 1.5×3M－4枚
- あん馬 1.5×3M－4枚
- 跳　馬 1.5×6M－1枚
  1.2×6M－2枚
- つり輪 1.2×3M－2枚
  1.5×3M－1枚

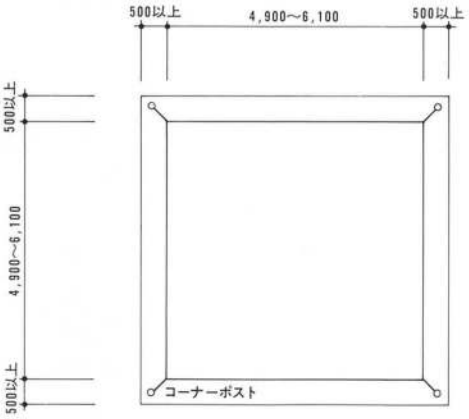
〈女子〉
- 平均台 1.2×6M－4枚
  1.5×3M－2枚
- 平行棒 1.2×6M－2枚
- 跳　馬 1.5×3M－1枚

17. レスリング



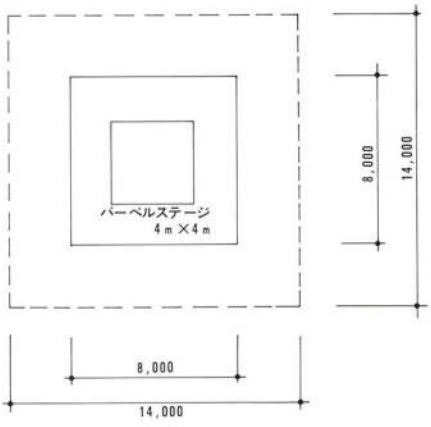
広　さ　図示の通り。
床材料　レスリングマット。
その他　国際大会などでは4面必要、高さ1.5Mのステージを架設する。

18. ボクシング



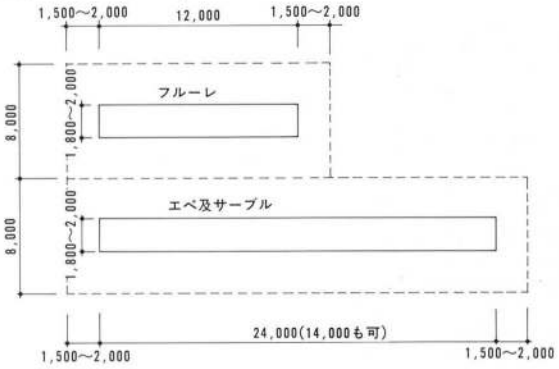
広　　さ　図示の通り。
専用リング　高さ　　0.9M～1.22M

19. ウェイトリフティング



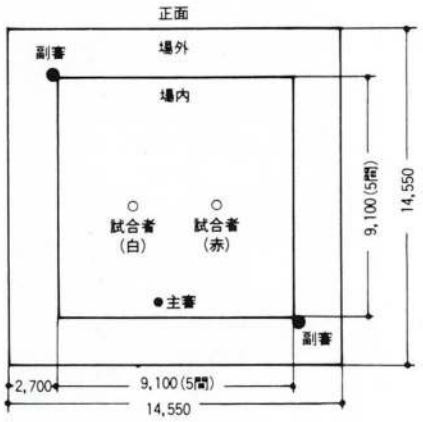
広さ　図示の通り。
高さ　H-0.9M～1.1Mのプラットホームを架設するのが望ましい。
材料　バーベルステージは木製が良い。

20. フェンシング



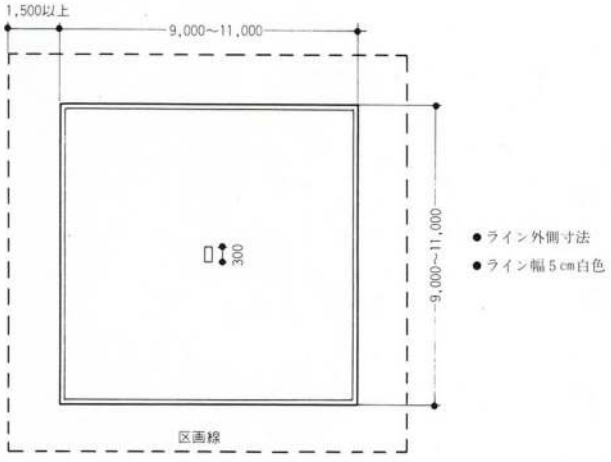
広　さ　巾　　1.8M～2.0M
長さ　フルーレ　　12.0M
エペ及サーブル　24.0M(14.0Mでも可)＋余裕1.5M～2.0M
ピスト間隔 8.0M以上
材　料　木製ステージ上　床材：ロンリウムなど。
その他　一般回路とは別の電気設備。
大会用には、複数のピストを用意する。国際大会では14以上。

21. 柔　道



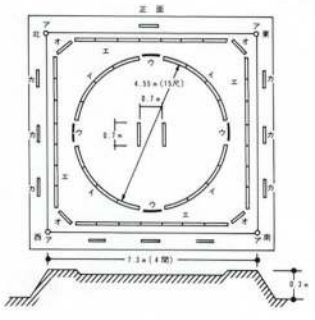
広　さ　図示の通り。
床　材　柔道用弾性フローリング＋柔道畳。
その他　大会時などには、20M×20M程度のステージを架設するのが望ましい。畳には国際柔道連盟に依る承認制度あり。

22. 剣　道



広さ　図示の通り。
床材　剣道用弾性フローリング。

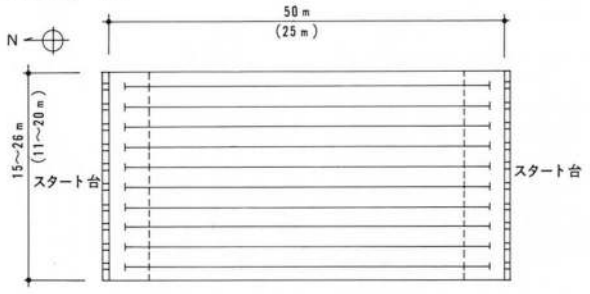
23. 相　撲



土俵の平面図
ア＝四本柱　イ＝内丸土俵
ウ＝徳俵　エ＝外角土俵
オ＝隅切土俵　カ＝踏俵
キ＝仕切線

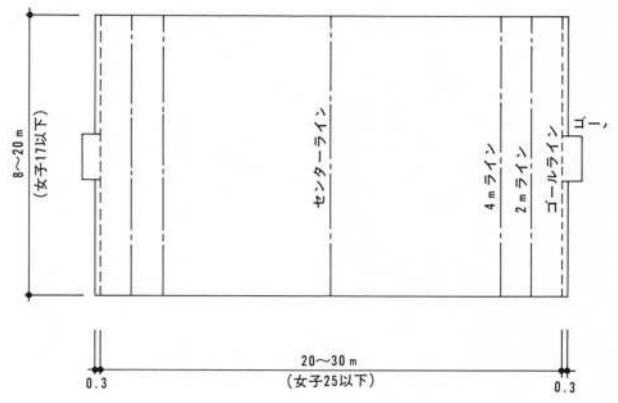
広　さ　土俵直径　一　般　4.55M
高等学校　3.6~4.0M
中 学 校　3.3~3.6M
小 学 校　2.7~3.3M
材　料　良質のクレー
その他　俵、上屋　方位に注意。

24. 競　泳



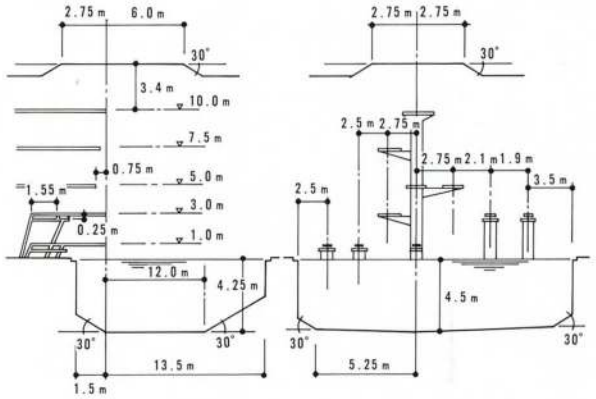
広　さ　標準は50M、25Mプールでは「短水路記録」としてのみ扱われる。コース巾2.0~2.5M
コース数は50Mプールで7以上、25Mプールで5以上。
深　さ　50Mプールで1.2M以上、25Mプールで1M以上
材　料　制限はないがコンクリート、アルミ、ステンレス、FRPなど固いものとする。
その他　循環装置など通常のプール設備、電気時計装置など、日本水泳連盟に依る公認制度あり。

25. 水　球



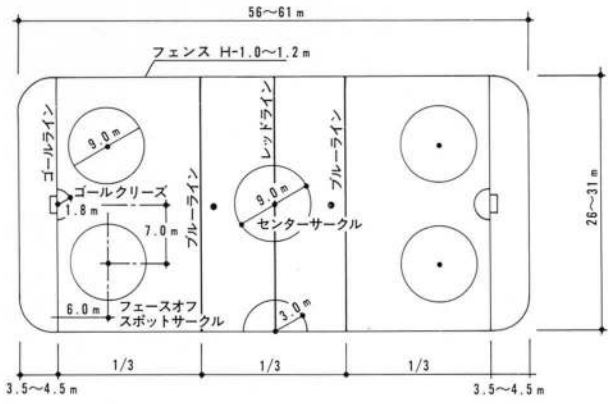
広　さ　図の通り、ゴール 2M、4M各ラインは両側に標識を設ける。
深　さ　1.0M以上で可能、1.8M以上が望ましい。
材　料　競泳プールに同じ。
その他　ゴール、標識、フックなど。
競泳プールで行なわれる例が多い。

26. 飛び込み



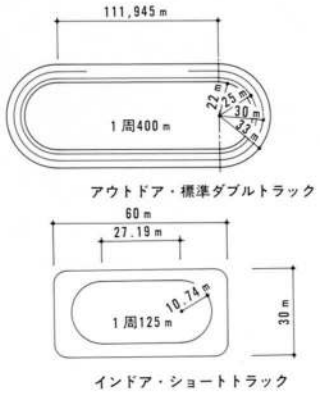
各寸法　図示の通り(最低寸法)
競技は　高飛び込み10M、5M
飛び板飛び込み3M、1M
練習用に6.5M、または7.5Mを設置する。
その他　通常のプール設備・図のような飛び込み台・水面の造波装置。

27. アイスホッケー



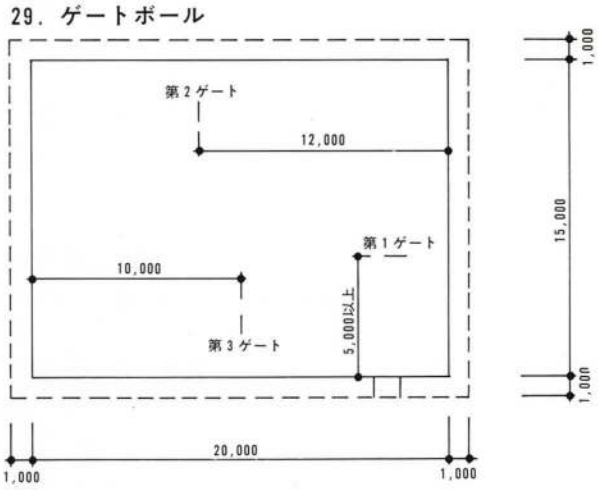
広　　さ　図示の通り　　周囲は危険防止の柵で囲うこと。
製氷装置　製氷方式　インドアパイピングリンク
　　アウトドアパイピングリンク
　　雪上散水
　　天然氷

28. スピードスケート



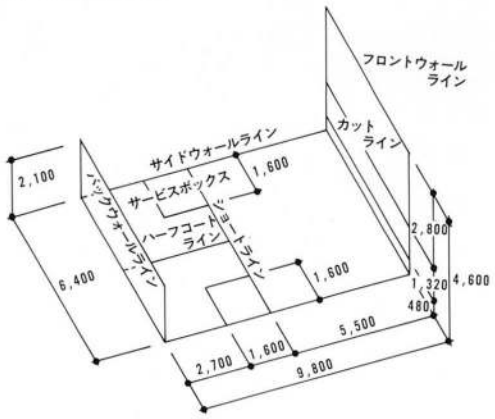
広　　さ　図示の通り、インドアでは、アイスホッケーのリンクと兼用できる。アウトドアでは、北側に本部棟を設置し北風を防ぐようにする。
製氷装置　製氷方式　アウトドアパイピングリンク
　　インドアパイピングリンク
　　雪上散水　天然氷

29. ゲートボール



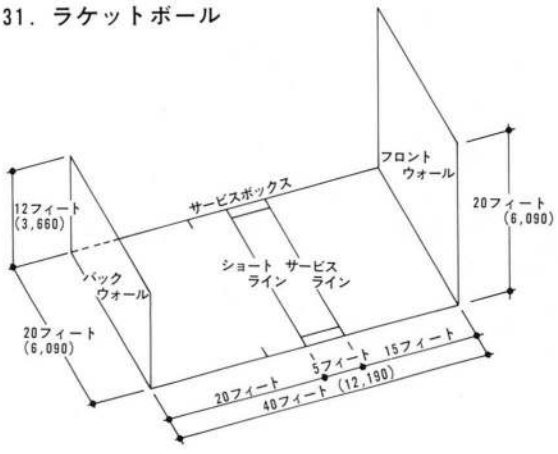
コート寸法　図示の通り。
舗 装 材　天然芝、クレーなど。
そ の 他　軽スポーツ。

30. スカッシュ



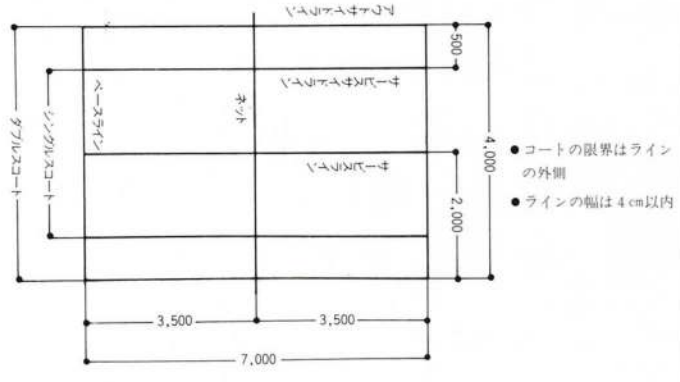
コート寸法　図示の通り。
床　　材　フローリングなど硬質材料。
そ の 他　前壁(H-4.6M)、後壁(H-2.1M)、側壁もコートである点に注意。

31. ラケットボール



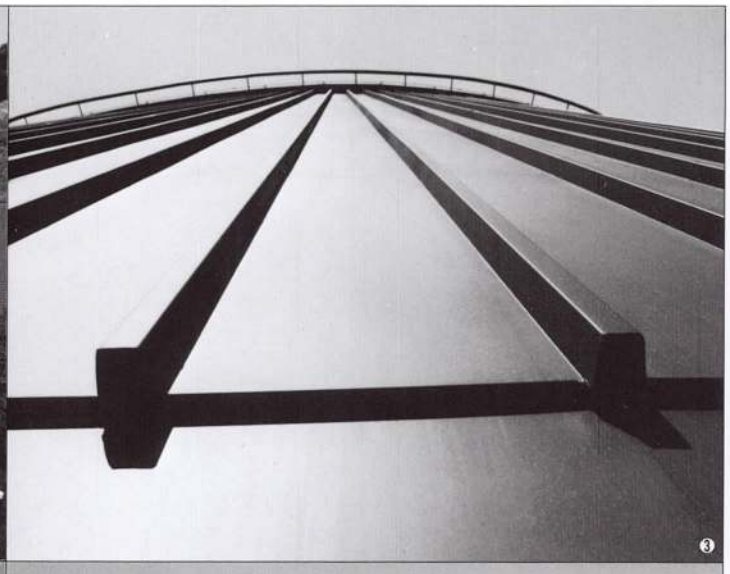
コート寸法　図示の通り。
床　　材　フローリングなど硬質材料。
そ の 他　前壁(H-6.09)、後壁(H-3.66)、側壁もコートである点に注意。

32. フリーテニス



コート寸法　図示の通り。
舗 装 材　屋内：フローリング。
　　屋外：クレー、アンツーカ、全天候など。
そ の 他　軽スポーツ。









住友の耐候性鋼板〈CR2〉が

- 専門技術者の手で、自然に融合。
- 自由造形と耐久性、渋い色調と重厚感は他の追随を許しません。

〈施工例〉

①～③ 〝グリーンピア三木〟〈延14,000㎡〉（設計 安井建築設計事務所 坂倉建築研究所）

④ 南海電車林間田園都市駅（設計 坂倉建築研究所）

イゲタ鋼板(工事部)の特長

●金属板屋根、側壁の責任施工

設計・施工図作成、加工・施工・メインテナンスまで一貫した保証体制を確立しています。

●広範囲な材料テリトリー

弊社は塗装鋼板メーカーです。

自社製品の各種高級塗装鋼板をはじめ、耐候性鋼板、ステンレス、アルミニューム、銅等、各種金属材料を駆使します。

●新規工法、デザインの開発

気軽に設計ニーズをお聞きかせ下さい。

設計の御協力と必要により構造力学的実験及び漏水試験等の機能確認もしております。

イゲタ鋼板株式会社

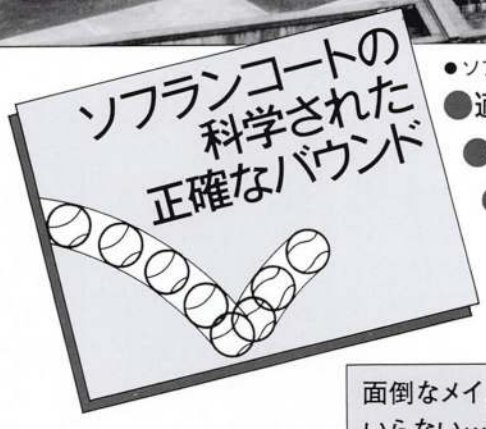
本　　社　〒590 大阪府堺市出島西町２番
TEL 0722－47－0111(代表)・0115(工事部)
東京営業所　〒101 東京都千代田区神田佐久間町３－27
ガーデンパークビル内
TEL 03－863－2041

いつも、ベストコンディション。全天候型テニスコート

ソフランコートは、トーヨーのソフラン技術をベースに開発したテニス専用の全天候型コートです。紫外線や風雨などに影響を受けず、弾力性、耐久性に富んでおり、四季を問わず快適なプレーが楽しめます。

設置場所を選ばない、ソフランコートの一例です。
兵庫県芦屋市汚水処理場・屋上コート





●ソフランコートは多層仕上げ、その特性が生きています。

●適度な弾性と反発力を生みだすクッション層。

●球足をコントロールするトップ層。

●ウレタンを素材とするセルフレベル性の高い塗り工法

ですから表面は均一、イレギュラーがありません。

ソフランコートは、ソフトで疲れにくく、正確なバウンドと自然なスピード感が得られ、安全性にも十分な配慮を施した理想的なコートです。

面倒なメインテナンスがいらない…気軽なコート

ソフランコートは、散水やライン引き、プレー後の手入れなどのわずらわしさを追放。その上、水はけが良く、亀裂や老化現象もなく、耐久性、経済性にすぐれています。

コーディネイトが楽しい…4色標準カラー

ソフランコートは、ボールが見やすく 鮮明。標準カラーは、レンガ色、グリーン、ブルー、エメラルドの4カラー。まわりの環境や好みにあわせて、組み合わせができます。

コートのレイアウトプランから施工まで…一貫システム

テニスコートをつくろうとお考えになられたら、ご一報ください。土地条件、マスタープラン、測量から施工に至るまで、一貫したシステム管理でご要望にお応えします。

SoflanCourt

TOYO 東洋ゴム工業株式会社
ソフラン事業部スポーツ施設グループ
大阪市西区江戸堀1-17-18 〒550 ☎06-441-8801
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-24-15 〒151 ☎03-404-1251

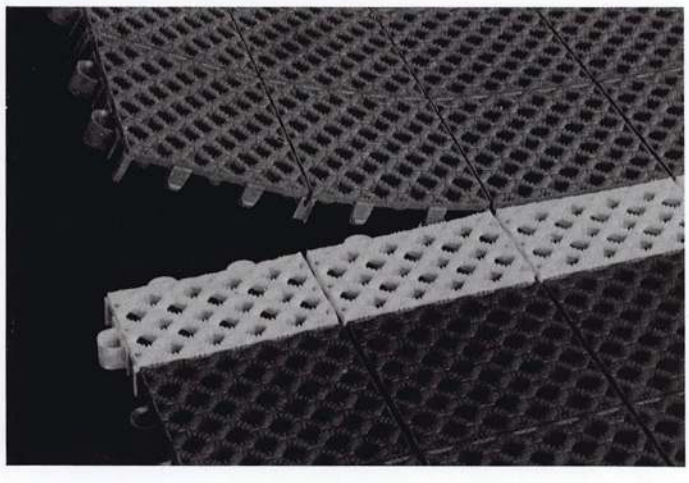
〈フランスからやって来たまったく新しいテニスコート〉

マテフレックス

財団法人　日本テニス協会推薦



特許第986759号　登録意匠第472139号
登録実用新案第1366183号
特許第1114573号　　防災規格合格品



雨をとおすアミ目のコート。

晴れ上った青空のもとで思いきりプレイをする。これがテニスの醍醐味であることは、言うまでもありません。しかし、よく雨の降る日本ではせっかくの休日を棒にふることが多いものです。マテフレックスは、まったく新しい全天候型のテニスコート。蜂の巣状にあいた小孔から雨水を下地へ流してしまいます。どんなに降ってもマテフレックス自体が乾くのを待てば、すぐにプレイはＯＫです。もちろんプレイ中の微妙なフィーリング、メンテナンス、耐久性の点でもとくに優れた設計です。日本の気象条件に最適のテニスコート、マテフレックス。テニス愛好家のみなさまにオールシーズンを通して、ベストコンディションのテニスコートをお届けします。

- ●雨がやんだら、すぐプレイできます。
- ●足が疲れません。
- ●いつも清潔で、鮮やかです。
- ●ボールのバウンドは正確です。
- ●一年中プレイができ、維持費もかかりません。
- ●耐久性は抜群です。
- ●屋外でも屋内でも設置が簡単です。

MATEFLEX®

住友ベークライト株式会社

本社　東京都千代田区内幸町1丁目2番2号
　　大阪ビル　第二事業部03(595)9492(直)
大阪　06(427)0886　名古屋052(211)1541

TOSHIBA

—あかるい明日を技術でひらく—

体育館照明の「省電力」プラス「省力化」に！



体育館 MESLシステムは、利用目的や競技種目に合わせて、全点灯、½点灯、¼点灯などマイコンに記憶させた照明パターンを管理室の主操作盤でスイッチ1つでコントロールでき大幅な省電力が図れます。(2線伝送制御方式により制御配線工事の簡略化も図れます。)

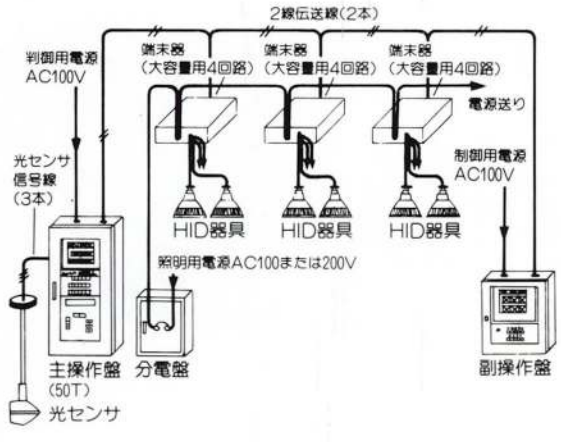
また、高天井の体育館では昇降装置の併用でランプ交換、器具の清掃など保守の点でも省力化が図れます。

■年間約230万円も節電。(当社比)

省電力試算例 440m²の体育館にHL-ネオハライドランプ700W120灯を設置、競技面で平均1,350lx。

システムを使用しない照明用電気料金	約**480**万円/年
システムを使用した場合の照明用電気料金	約**250**万円/年
年間節約額　480万円−250万円	約**230**万円/年
システム機器費(主操作盤1台・端末器15台/工事費別)	約**210**万円
償　却　年　数	約　**0.9**年

●体育館MESLシステム系統図(端末器方式)



●昇降装置



電動式
HUD-2201(1灯用)
昇降重量5.5kgまで
¥49,700

手動式
HUD-1200(1灯用)
昇降重量1.2kgまで
¥20,400

HUD-1210(巻上機)
¥14,000

他に電動式4機種・手動式3機種ございます。

東芝 体育館 MESL(メッスル)システム
HID照明器具・昇降装置

Toshiba 東芝電材

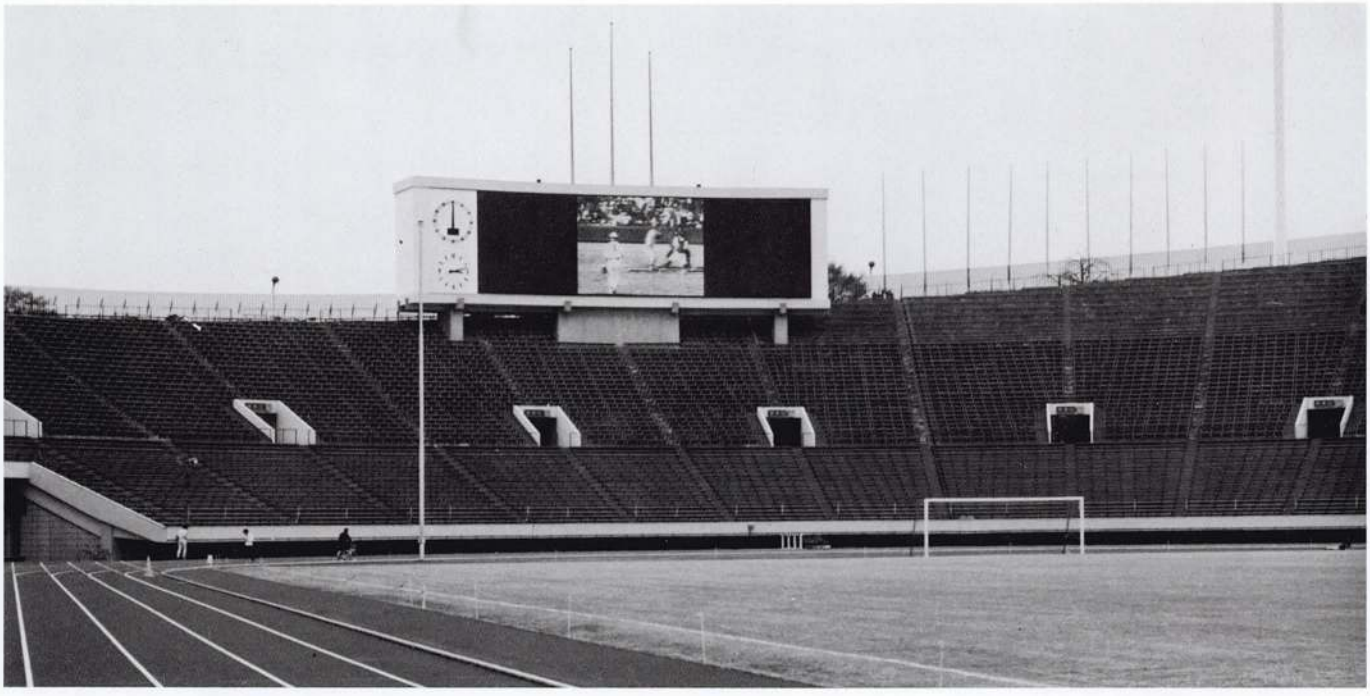
●お問合せは…東芝電材㈱ 省電力システム推進本部☎(03)457-6158 ●照明器具事業部 照明機器課☎(03)457-6084
〒105 東京都港区芝浦1-1-43(東芝浜松町ビル)

活躍する富士通機電の表示装置

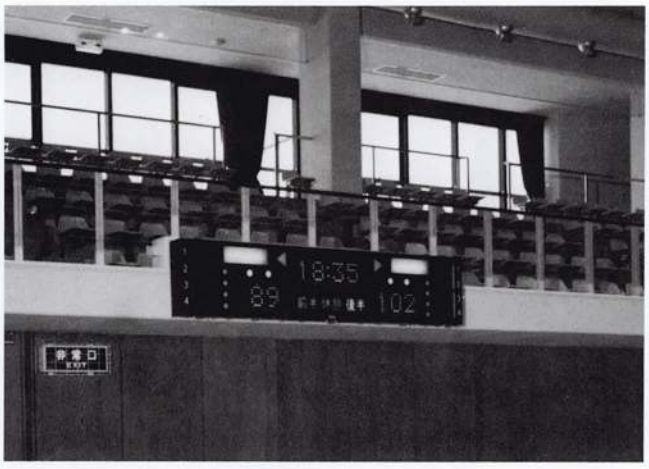
富士通機電

表示装置の総合メーカーとして、屋外競技場の電光掲示盤をはじめ室内競技用の各種表示装置の製造・販売にたずさわり、これまで数多くのご採用を頂いてまいりました。

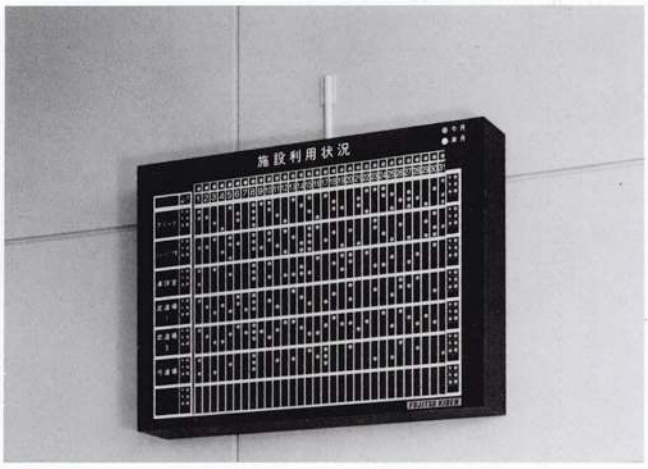
記録掲示盤



体育館用得点表示装置



体育施設利用状況表示盤



富士通機電株式会社

本　　社　東京都稲城市矢野口1776番地
東京営業所　武蔵府中(0423)77−5111(大代表)
大阪営業所　大阪市北区堂島1丁目5番17号（堂島グランドビル）
富士通株式会社大阪営業所内　大阪(06)344−1101
名古屋営業所　名古屋市中区錦1丁目19番24号　（名古屋第一ビル）
富士通株式会社名古屋営業所内　名古屋(052)201−8611
福岡営業所　福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号(朝日生命福岡ビル)
富士通株式会社九州営業所内　福岡（092)411−6311
札幌(011)271−4311　仙台(0222)64−2131　新潟(02569) 3−3161

未来を開発する
三菱電機

日本語優先時代。



●16ビット●日本語●オンライン
MULTI16
三菱パーソナルコンピュータ

日本語がそのまま使えるマルチ16です。

かな漢字変換、熟語変換ができる日本語CP/M-86をいちはやくサポート。16ビット・日本語パソコンの決定版。スピーディな日本語処理が実現できます。

本格的な日本語処理機能。日本語処理をより幅広く行うため豊富な日本語辞書を用意しました。日本語CP/M-86で動く高級言語で作ったプログラムでも日本語処理が行えます。

充実したオンライン処理機能。ローカルエリアネットワーク(LAN)から遠隔地のオフィスとの情報交換までサポートできます。パソコンネットワークのオムニネットは今春から出荷。

強力なデータベースシステム。社内の全セクションを通じて多種類のデータを一括管理し、目的別のデータ処理を速やかに行うデータベースシステムで、高度なシステム処理ができます。

豊かなシステムの拡張性。マルチ16は専門業務の効率アップのために、豊富な周辺機器から多彩なシステム構成ができます。さらに業務に合せたシステムの規模拡大が実現できます。



5インチモデル

MP-1601S(モノクロディスプレイ、主記憶装置128KB/ミニフロッピーディスク1台、標準キーボード)53万円(標準価格)

MP-1602S(モノクロディスプレイ、主記憶装置192KB/ミニフロッピーディスク2台、標準キーボード)73万円(標準価格)

MP-1605S(カラーディスプレイ、主記憶装置256KB/ミニフロッピーディスク2台、標準キーボード)93万円(標準価格)

●以上3機種の標準価格には「スタンドアロンM-BASIC」を含みます。

8インチモデル

MP-1622(モノクロディスプレイ、主記憶装置192KB/標準フロッピーディスク2台、標準キーボード)93万円(標準価格)

MP-1625(カラーディスプレイ、主記憶装置256KB/標準フロッピーディスク2台、標準キーボード)113万円(標準価格)

●上記2機種の標準価格には「スタンドアロンM-BASIC」を含みます。

CP/M-86はデジタルリサーチ社、オムニネットはCORVUS SYSTEMS社の登録商標です。

マルチ・ポート パーソナルコンピュータ で「最先端」OA機器をご覧ください。

五反田 (03)490-7611 | 銀座 オンライン サポート センター (03)544-8421 | 大阪 (06)347-2816 | 名古屋 (052)565-3100 | 広島 (082)248-5260 | 福岡 (092)721-2301

お問合せは……三菱電機株式会社〒100東京都千代田区丸の内2-2-3
本社パーソナルコンピュータ部(03)218-3543又は下記支社へ
●札幌(011)212-3738●仙台(0222)64-5656●新潟(0252)41-7220●富山(0764)42-2328●名古屋(052)565-3257●大阪(06)347-2421●広島(082)248-5260●高松(0878)51-9783●福岡(092)721-2346
本社機器事業部(03)218-2816又は下記営業所へ
●札幌(011)212-3787●仙台(0222)64-5742●東京(03)459-5692●新潟(0252)41-7227●金沢(0762)52-1154●名古屋(052)565-3344●大阪(06)347-2868●広島(082)243-5445●高松(0878)51-0000●福岡(092)721-2233

カタログ請求券
マルチ16
建築と社会
8303

あなたの電話番号をご記入ください。

日降水量1ミリ以上の日が年平均129日もある多雨国ニッポン(理科年表より算出)。屋外コートにとって、これは大きな問題です。1年の⅓あまりもコートは多かれ少なかれ雨にあうことになり、また霜のおりる季節のことも考え合わせ、これほどひんぱんにコートのコンディションが左右されるとしたら、プレーヤーにとっては重大事。オーナーにとっても、コストパフォーマンスや、プランニングに大打撃です。そこで、求められているのが雨の透過性にすぐれたコート。つまり降雨後でもすぐにプレーが可能である透水型弾性舗装材を使った稼働効率のよいコートです。

雨がふるとよくわかるサーファムの実力

ヨコハマゴムのテニスコート用舗装材「サーファムWP」は、変化のはげしい日本の気象条件にマッチした、実績ある透水型弾性舗装材。その実力は、雨がふるとよくわかります。すぐれた透過性能を発揮するため——

- ●水勾配をとらなくても水たまりができない。
- ●雨あがりでもすぐにプレーができる。
- ●クレーコートなみのプレーが楽しめ、プレーヤーの足にソフトな弾性を常に一定にキープする。

——など、まさに、雨国ニッポンにおいて理想的な舗装材といえます。もちろん、霜や温度変化にも左右されません。維持・管理も容易です。プレーヤーからはもちろん、オーナーの方々からも「サーファムWP」のすぐれた特性が注目され、いま各地で着々と採用され、高い評価を得ています。

■主な施工実績

〈テニスクラブ〉●栃木県 宇都宮テニスクラブ●千葉県 J.S.S.八柱テニスクラブ・マザー牧場テニスクラブ・美野里テニスクラブ・千葉ローンテニスクラブ●東京都 成城グリーンプラザ・B & G深川テニスコート・ティンバーテニスクラブ・荻窪テニスクラブ●神奈川県 鎌倉シーサイドテニスクラブ・新横浜テニスクラブ・コートピア横浜テニスクラブ・津久井グリーンテニスクラブ●山梨県 青葉フレンドシップテニスクラブ●静岡県 千代スポーツガーデン・朝霧高原グリーンパーク・フジテニスワールド●愛知県 那和スポーツランドみなとテニスクラブ・高針台テニススクール●京都府 城陽テニスクラブ●大阪府 中之島テニスクラブ・風ロイヤルテニスクラブ●奈良県 ナコー橿原テニスプラザ●兵庫県 垂水グリーンテニスクラブ・有馬グリーンテニスクラブ・仁丹テニスガーデン芦屋●徳島県 鳴門スポーツランド

〈公共体〉●北海道 釧路市愛国ニュータウンテニスコート・恵庭町テニスコート●秋田県 秋田厚生年金休暇センター●岩手県 一ノ関市テニスコート●宮城県 七ヶ浜町テニスコート●山形県 寒河江市市民テニスコート・平田町コミュニティー広場●福島県 中島町農村改善センターコート・西郷村営テニスコート●新潟県 柏崎市白竜公園テニスコート●茨城県 水戸専売公社テニスコート・県立山方商業高校●栃木県 総和町総合グラウンド●千葉県 国民宿舎しおさいテニスコート・船橋市営テニスコート●東京都 都立日野台高等学校コート・大井埠頭公園テニスコート●神奈川県 神奈川県央スポーツセンター●山梨県 国母公園テニスコート●静岡県 県立西高校テニスコート●愛知県 鶴舞公園テニスコート●石川県 輪島農村改善センター●大阪府 企業局臨海公園テニスコート・岸和田市テニスコート●兵庫県 グリーンピア三木●岡山県 岡山厚生年金休暇センター●広島県 大州下水処理場テニスコート

〈民間企業〉●栃木県 富士通大田原工場・東京建物上ノ原テニスコート●埼玉県 イトーヨーカ堂テニスコート・KDD上福岡総合グラウンド●千葉県 伊藤忠商事総合グラウンドテニスコート・野田醤油生活協同組合・藤沢薬品厚木テニスコート●東京都 いすゞ自動車・日本輸出入銀行・東京海上火災富士見台グラウンド・第一勧銀清和寮・八丈島グランドホテル●神奈川県 日本興業銀行横浜寮・東京生命相模原センター●静岡県 静岡新聞放送・農林中金静岡支所●長野県 中軽井沢三井の森●愛知県 KDD三ヶ日テニスコート●滋賀県 日産プリンス滋賀保養所●大阪府 三宝伸銅・サントリー茨面総合トレーニングセンター●兵庫県 サンヨウテニスプラザ●山口県 黒川病院テニスコート●福岡県 東京海上門司寮テニスコート・東京海上西陳社宅テニスコート

〈私立学校〉●北海道 札幌商業高校・函館短期大学●宮城県 東北電力学園●埼玉県/埼玉工大深谷高校●千葉県 日本大学理工学部テニスコート●東京都/川村学園グラウンド・日本大学医学部運動場・武蔵野女子学園・東京女子短期大学・国本女子高校●神奈川県/慶応大学体育会テニスコート・上智学院泰野グラウンド・湘南白百合中高校グラウンド●長野県/須栄女子学院●愛知県 愛知淑徳学園●大阪府/大阪工大テニスコート●奈良県/東大寺学園



雨の多い国ニッポンで、理想的コートを追求すると、サーファムになる。

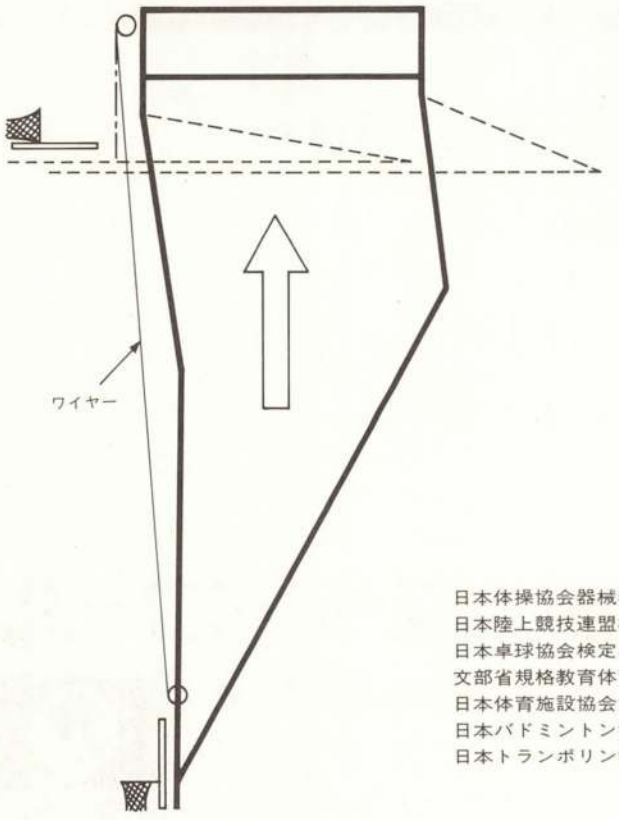
日本テニス協会推薦
日本プロテニス協会公認
日本軟式庭球連盟公認

WP
Surfam
《サーファム》

■お問い合わせ先:横浜ゴム株式会社 工業品事業本部/東京都港区新橋5-36-11 〒105 ☎東京03(432)7111(大代表)
ヨコハマゴム工業品北海道販売:☎011-241-5111/ヨコハマゴム工業品東北販売:☎0222-94-0437/ヨコハマゴム工業品東京販売:☎03-436-5621/
ヨコハマゴム工業品新潟販売:☎0252-65-4141/ヨコハマゴム工業品中部販売:☎052-852-1161/ヨコハマゴム工業品関西販売:☎06-468-3521/
ヨコハマゴム工業品中国販売:☎0822-31-9251/ヨコハマゴム工業品九州販売:☎092-711-8541

YOKOHAMA

株式会社 小川長春館



吊下二段折畳式バスケット台

日本バスケットボール協会検定品（電動型・手動型）

従来不可能とされていた高い天井（10m以上）からの吊下式バスケット台の取付を可能にする製品です。収納時は天井にコンパクトに収納され他の競技に支障をきたすことがありません。また、吊下ワイヤーを真上にとる為、前方折畳式バスケット台のようにコート内に、ワイヤーがぶら下がることがなく、競技中ワイヤーにボールがふれる心配がなくなりました。

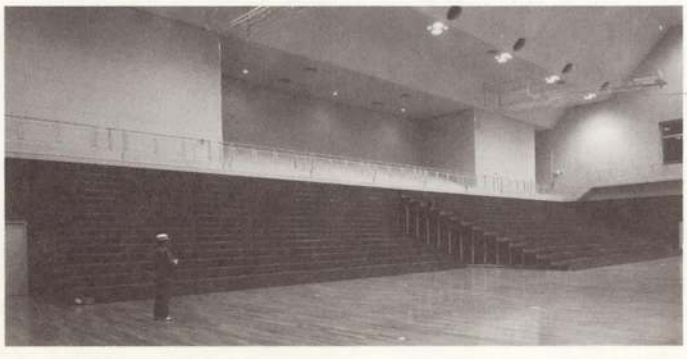
日本体操協会器械器具検定工場
日本陸上競技連盟検定品製造工場
日本卓球協会検定品製造工場
文部省規格教育体育用品製造工場
日本体育施設協会加盟工場
日本バドミントン協会検定品製造工場
日本トランポリン協会一級検定工場

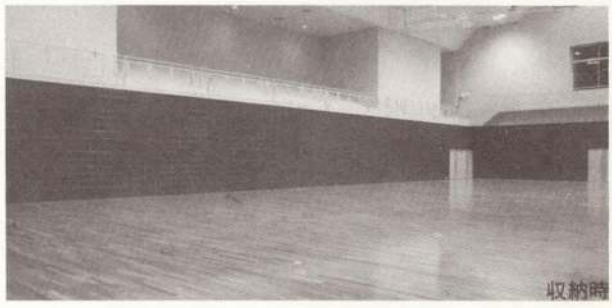
㈶日本バスケットボール協会検定工場
●体育器具・遊技具・体育館内部施設
企画／製作／施工

株式会社 小川長春館
広島県福山市引野町5丁目46〈〒－721〉
☎福山局（0849）41－0230（代表）

引きだせば、日本最大。1,768人分。

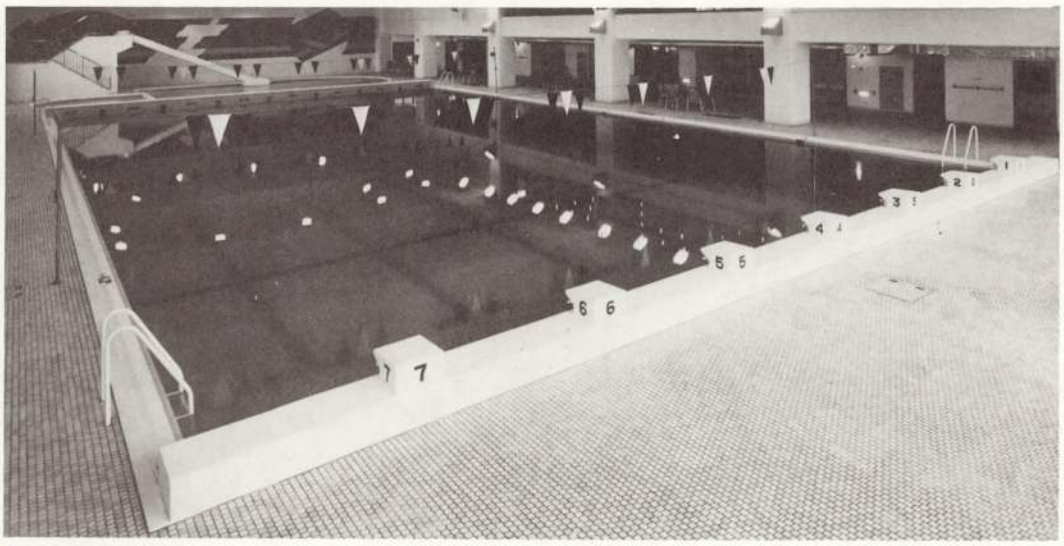
日本最大のスケールで、
ロールバックスタンドが設置されました。




収納時

秋田県は鹿角市に開館した鹿角市記念スポーツセンター。体育施設としてはもちろん、文化的な行事にも利用できる多目的ホールとして市民に大好評です。なかでも話題になっているのが、必要に応じて収納、設置できるロールバックスタンド。その座席数は1階、2階をあわせて1,768人分。まさに日本最大のスケールを誇ります。さらに注目されるのが、15段タイプの電動式。これが、また日本初。各ブロックを連結して引きだすパンク方式の採用で、6ブロック（960人分）を一挙にセットできるユニークなものです。1,768座席の壮観な観覧席。シーティング・スペシャリストのコトブキが開発、設置した、ビッグなスケールのスタンドです。この鹿角市記念スポーツセンターのように省力化、省スペースをめざす多目的ホールに、ロールバックスタンドは欠かせない設備といえます。コトブキでは、さまざまな目的で建てられる施設にあわせて連結イス、観覧席、議場家具、学校家具をはじめとした各種パブリックファニチュアをフレキシブルな考えで設計・製作しています。

シーティングスペシャリスト
コトブキ
東京都千代田区有楽町1-2-12 コトブキビル
〒100 TEL03(591)1311㈹
大阪支店　大阪市淀川区西宮原1-4-11　〒532　TEL06(396)5111(代)



チェスタープールは、
日本水泳連盟に
《推薦》されています

ALL ALUMINIUM POOL
チェスタープール®

日本アルミニウム工業株式会社
プール施設販売部
本　　社　大阪市淀川区西中島1-11-16-301(住友商事淀川ビル)
〒532 ☎大　阪(06) 304－6272(代)
東京支社　東京都千代田区内神田1－9－13(柿沼ビル)
〒101 ☎東　京(03) 292－2221(代)

日本アルミ

従来の常識を変えた煙突材料

フジモリの **ハイスタック**



★軽　量（比重0.4 g /cm³）
★施工が早い（耐火レンガの約1/10の速さ）
★断熱に優れている（耐熱温度1000℃）
★改修工事にも適している（ユニット煙突）
★自由な型状ができる（丸型、角型）

※煙突に関する御相談は
フジモリ産業まで気軽にどうぞ

フジモリ産業株式会社
〒541 大阪市東区博労町2－41（中博ビル）
TEL　06－271－4131

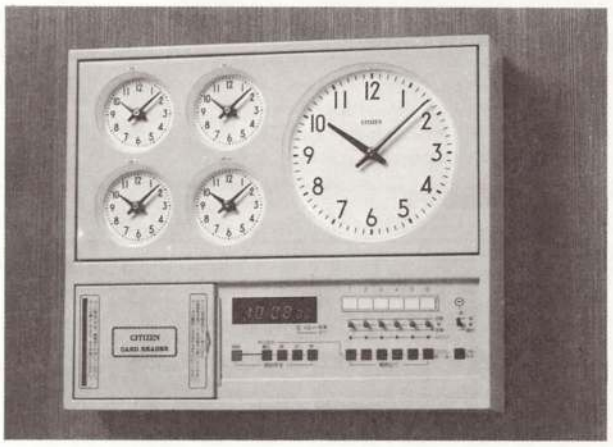
CITIZEN

カード式6回路
マイクロコンピューター制御

プログラムタイマー付親時計

高精度の親時計に取扱いが
簡単なカード式プログラムタイマー
を組合せました。

能率的な時間管理に、省エネルギー、省力のためにお役立てください。



株式会社 T.I.C.-CITIZEN

本社
東京支店　〒162 東京都新宿区下宮比町1番地　TEL 03（268）2261 代表

支店営業所　〒540 大阪市東区京橋前之町2番地　TEL 06（941）6594 代表
〒221 横浜市神奈川区松本町4丁目28番1号　TEL 045(321) 8344 代表
〒460 名古屋市中区新栄1丁目35番1号　TEL 052(262) 7737 代表

建築・設備エンジニア必携の書！　好評発売中

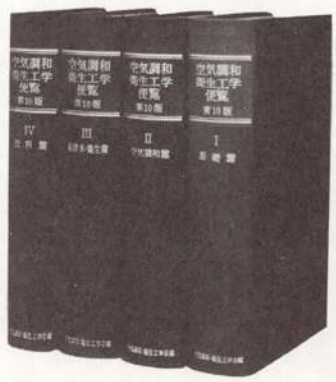
第10版 空気調和・衛生工学便覧

Ⅰ巻－基礎篇
第1編　基礎　第2編　総合計画
第3編　汎用機器および電気設備
第4編　材料と施工　付録　法規・規格

Ⅱ巻－空気調和篇
第5編　空気調和計画・設計
第6編　空気調和機器
第7編　空気調和応用

Ⅲ巻－給排水・衛生篇
第8編　給排水・衛生計画
第9編　給排水・衛生機器
第10編　給排水・衛生特殊設備
第11編　給排水・衛生応用
第12編　上下水道

Ⅳ巻－資料篇



価格　セット価格（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ巻）　分冊価格（Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ各巻共）　Ⅳ巻資料篇は1冊

	セット価格（Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ巻）	分冊価格（Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ各巻共）	Ⅳ巻資料篇は1冊
空衛学会員価	37 000円	13 000円	5 000円
定価	44 000円	16 000円	7 000円

送料

地域	1冊	2冊	3冊	4冊
全国均一	1500円	2000円	2500円	2800円

申込方法　現金書留または本学会指定の振込用紙にてセット数明記の上，代金・送料をご確認のうえ，最寄りの郵便局または銀行へお払込み下さい。

社団法人 空気調和・衛生工学会　〒160 東京都新宿区北新宿1－8－1（中島ビル）　TEL東京(03)363－8261(代表)
郵便振替口座　東京9－37842番　振込先銀行　三和銀行大久保支店㊟0053986番

〈日本消防設備安全センター認定品〉

尊い命を守る スカイダー

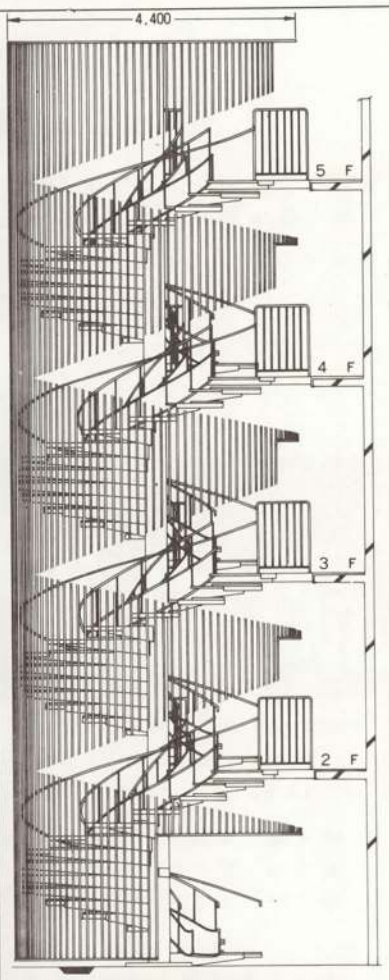
〈避難用すべり台〉

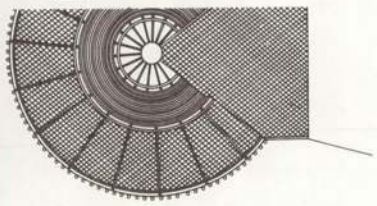
PAT

病院　幼稚園　身体障害者施設　老人ホーム　マンション　ホテル



愛媛県立新居浜病院





KL－X型
●建築基準法適合階段＋すべり台

〈特長〉

1．なんの操作もいりません。
他の器具では操作に時間がかかり、またあわてて使用不能にする場合が多々あります。

2．身体不自由者、子供、老人など誰でも使用できます。
他の器具では作動及び心理的に無理です。

3．少ない時間に大量の脱出が出来ます。
待つ事はありません。次々と脱出できます。

4．永久的で結局は安くつきます。
他の器具の様に一定年数で取り替えれば高い物につきます。

5．せまいスペースで施工出来ます。
3ｍ角あれば充分です。

6．固定式なのでいつでも設置場所が頭に入っております。
非常の際は思わぬ精神状態になるものですがこれなら安心。

7．すべり台です。
誰でも乗れば自然に降下出来ます。

SKK 山陽建工株式会社

本　　社	広島市中区西川口町5番2号	☎ (0822) 91－1020	〒733
東京営業所	東京都中央区日本橋2－10－11(織正ビル)	☎ (03) 278－1780	〒103
名古屋営業所	名古屋市中区栄4丁目2－8(小浅ビル)	☎ (052) 263－1825	〒460
大阪営業所	大阪市住吉区長居3丁目7－14	☎ (06) 695－1551	〒558
福岡営業所	福岡市博多区博多駅前3丁目19－23	☎ (092) 472－7267	〒810
仙台事務所	仙台市本町2丁目1－10(第二広瀬ビル)	☎ (0222) 63－8521	〒980
高松事務所	高松市通町5－13	☎ (0878) 22－5669	〒760

◀「建築と社会」誌バックナンバーのおしらせ

バックナンバーがそろっております。購入ご希望の方は日本建築協会まで(電話06－231－9648)お申し込み下さい。バックナンバーは特価以外￥650(55年4月号以降は￥750)です。なお、郵送料は実費いただきます。年間購読(12冊￥9,000・送料当方負担)のお申し込みも応じます。

＊印は欠号

巻＼号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和39年(45集)	建築と照明	＊プレハブ	外部空間	ホテル建築	鋼管構造	施工	第11回青年建築家	宅地開発	オリンピック競技施設	交通施設	工事別建築材料集成(上)	工事別建築材料集成(中)
昭和40年(46集)	尾崎久助	委員会	工事別建築材料集成(下)	内部空間	人間工学	社会開発	第12回青年建築家	施工の手続	建物管理	＊建物と騒音	中小企業団地	医療施設
昭和41年(47集)	＊都市住居	地下街	空気調和設備	建具金物	建築法規	国立京都国際会館	第13回青年建築家	1970年万国博会場計画	＊造園	最近の地下工法	市街地改造	公害と都市・建築
昭和42年(48集)	＊国立劇場	建設機械	日本建築協会50周年記念号	社会と建築	都市と流通空間	住宅と設備	生産施設	モントリオール万博	建設資金	最近の外装	第14回青年建築家	建築と生命
昭和43年(49集)	都市生活	都市のいこいの場	＊50周年記念事業記録号	＊幼児施設	＊教育施設	＊医療施設	都市交通施設	都市供給処理施設	群としての住居	都市のアクセサリー	第15回青年技術者	新都市計画法の諸問題
昭和44年(50集)	＊建築産業の構造と方向	鉄筋コンクリート構造耐震設計の再検討	計画と住民－中部からの報告	老人とすまい	建築史の方向－現代によみがえる過去－	建築行政に期待するもの	転換しつつある住宅生産	＊解決をせまられる公害問題	＊海洋開発	＊民家の系譜と保存計画	＊第16回青年技術者	九州からの報告
昭和45年(51集)	現代社会とは何か	建築と安全	日本万国博と技術開発	設計のシステム化	グッドデザイン運動	高層建築問題	欧米における契約	建築家の課題と責任	＊工事計画	ディベロッパー	第17回青年技術者	山陽・山陰からの報告
昭和46年(52集)	住宅－60年代の総括と70年代の展望	都市エネルギと無公害化ビル	建築基準法	都市生活とみどり	＊企画と設計のプロセス	解体工学	都市と港湾	転換期のニュータウン	軟弱地盤と震災	変貌する建築生産	第18回青年技術者	自然とレジャ空間
昭和47年(53集)	冬季オリンピックと札幌	600号記念号	インテリアデザイン	都市交通問題	水利用	量産住宅の設備	＊一般号(桂中学)		都市住環境へのアプローチ	都市防災	第19回青年技術者	北陸の新建築
昭和48年(54集)	建築教育	泉北ニュータウンのコミュニティ施設	大阪大林ビルディング	レジャーと施設	大阪国際ビルディング	老人コミュニティ	住宅－建築家のすまい	＊新用途地域制と環境	構造と施工	仕上と材料	第20回青年技術者	＊ヨーロッパのまちづくり
昭和49年(55集)	歴史的環境保全	明日の建築はどうなるか	保養所作品	既成市街地の住宅地整備の方策	北摂ニュータウン計画	建築生産と流通機構の変容	ビルの省エネルギ化	高層プレハブ住宅の構造設計	＊みどり	＊屋根防水工事の失敗例とその対策	第21回青年技術者	ビル防災に関する12章
昭和50年(56集)	図書館	東海の新建築	＊インテリア	PC板を使用した工業化住宅	社会・建築・法	＊都市の景観と施設	建築とプレストレストコンクリート	生活排水処理施設のあり方	＊人間環境としてのターミナル	騒音対策と防音材料	第22回青年技術者	＊集合住宅の設備
昭和51年(57集)	証言'76－建築デザインの動向	建築基礎構造の問題点	医療施設	床工法と材料	建築防災と法	市街地整備	工場建築と設備	鉄骨構造のジョイント	集住体のハードとソフト	結露防止対策と断熱材料	第23回青年技術者	＊設備からみた建築の問題点
昭和52年(58集)	＊デザインの動向－部分と全体	兵庫県－その風土と建築・建築界	●日本建築協会60周年記念号 ●ニュータウンの管理	コンクリートの品質管理と行政指導の方向	日影規制と法	身障者施設	照明設備	埋立地における構造問題－大阪南港と芦屋浜を例として	日本住宅公団と建築作品	ミニ乱開発から計画的ミニ開発へ	建築における省エネルギー化	第24回青年技術者
昭和53年(59集)	デザインの動向－新旧のコントラスト	水	医療施設－病院建築と情報システム	外壁塗装材料	電波障害と建築	組合方式による集合住宅計画	住宅設備	新しい耐震設計	CAD－設計とコンピュータ	＊一般号	第25回青年技術者	ビル環境
昭和54年(60集)	＊転換期の再開発	大阪南港ポートタウン	商業空間	コンクリートのひびわれ	日影規制	ホテル建築と情報システム	農村施設の変貌	建物の終局強度の検討	庄内のまちづくり	80年代のインテリア	第26回青年技術者	建設業の労務事情
昭和55年(61集)	80年代の都市と建築－まちづくりの歴史と展望	＊ ●今後の省エネルギーの趨勢 ●建築金物	＊ ●最近の銀行建築 ●安井建築設計事務所作品集	住宅の耐久性	建築行政と法規	＊最近の防水工法	都市景観とアメニティ	屋内体育施設の設備	水ぎわのまちづくり	今後の外装吹付仕上材	●第27回青年技術者 ●転機にたつマンション・集合住宅	設計のための新耐震設計法
昭和56年(62集)	職能論	＊中国の論文－北京の都市計画	ポートピア'81	台所まわりの計画と設備	シーリング材の知識	災害と法－安全な環境をめざして	都市住宅－住まい手からの発想	●建築物と風－デザイナーのために ●日建設計作品集	住宅・都市整備公団－関西における都市整備を中心とした新公団の役割	間仕切壁の性能評価	第28回青年技術者	障害者の暮らしやすい環境と設備
昭和57年(63集)	新たな商業空間の展開	省エネルギーと開口部	医療施設－地域医療と設備計画	近畿の地盤と地質	都市景観－まちなみ美観への誘い	大阪市庁舎(第1期)	音とホール建築	大スパン構造	昭和設計作品集	●絵本にみるすまいとまちづくり ●オー・エム・ホテル日航ビル	●第29回青年技術者 ●地方の庁舎建築	風土・空気と人間
昭和58年(64集)	関西の建築文化を考える	マイコンの建築への利用	多様化する運動施設	建築と品質管理	グラフィックプレゼンテーションの技法							

雑誌の大きさは第48集からは現行のA4判変形、それ以前はB5判

構造の頁

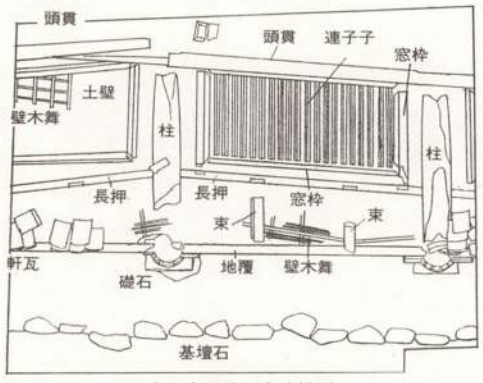
103
木構造の変遷と地方性
（その3）

宮本長二郎

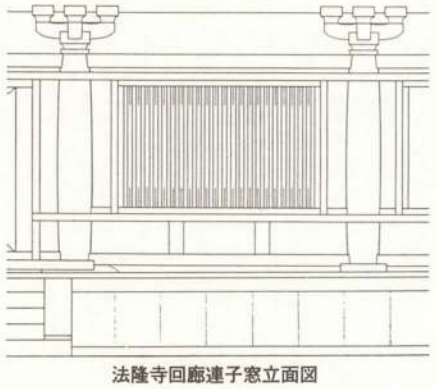
仏教伝来　竪穴住居から平地式の掘立柱住居へ、集落の住居構成が移行しつつあった6世紀中頃の大和朝廷に、百済聖明王から欽明天皇のもとに仏像・経論が献ぜられて、はじめて仏教が日本に伝わった。しかし、仏教の導入を巡って、進歩派の蘇我氏と保守派の物部氏は一族の存亡をかけて相争い、587年、ついに蘇我馬子は物部守屋を打ち破り、その戦勝記念ともいうべき飛鳥寺建立が計画された。その建立にあたって百済から寺工・瓦工・金工・画工が献ぜられ、飛鳥文化の幕開けとなったのである。7世紀後半に入って、仏教は全国的に普及し、各地に新しい建築様式が定着していった。なかでも、大和飛鳥地方は政事、文化の中心として、常に様式・技術の最先端を行くものであったことは、これまでの発見遺構・遺物によっても十分に窺い知ることができる。しかし、昨年10月の山田寺埋没回廊の発見ほど、その事実を端的に物語る例は少なく、今後とも多くの発見は期待できないであろう。

山田寺発見の埋没回廊　山田寺は過去4回の発掘調査によって、伽藍中心部の配置がほぼ明らかとなった。それは、中門・塔・金堂・講堂が南北中軸線上に並び、中門左右からでた回廊は塔・金堂の左右を廻って金堂の背面、講堂との間で閉じる、いわゆる四天王寺式の伽藍配置をもつ。山田寺は舒明13年(641)に寺地の造成をはじめ、皇極8年(643)には金堂を建て、大化4年（648)には僧が住まって活動をはじめるが、塔はまだ造営に未着手であった。翌年、創立者の蘇我倉山田石川麻呂は冤罪を被り、誅せられて工事は中止された。天智2年（663）には冤罪が晴れて塔の造営工事がはじまり、天武5年（676）に竣工、天武14年には講堂本尊の法養を行って、伽藍全体の落慶をみる。調査の結果、金堂・塔は12世紀のうちに焼失し、罹災を免れた講堂も、その後間もなく廃絶したらしい。今回発見された東面回廊の建造時期は礎石の蓮弁や瓦の様式から金堂に近い頃で、廃絶は金堂・塔よりも古く10世紀頃と推定された。回廊は自然倒壊した上に、東南方に迫る山腹から流出した土砂に埋まった状態で、倒壊直後に垂木や側柱、虹梁、組物などの部材は抜き取られ、回廊の間仕切りの部材のみが、屋瓦下に埋もれていた。

図1のように、ちょうど柱間2間分で、一方は連子窓と腰壁がほぼ原形を保っており、他方の柱間には連子窓の上半分に土壁を塗りこめて補修した様まで明らかである。回廊の規模は柱間寸法が桁行、梁行とも3.78m等間の単廊で、柱高約 2.3m である。軸部は胴張りのある円柱を地覆・腰長押・頭貫で固める。地覆は柱下端を貫通して引き通され、地覆上、柱間を三等分する位置に2本の束を立て腰長



山田寺埋没回廊遺構図


法隆寺回廊連子窓立面図

押を受け、長押は柱に釘止めとする。頭貫は柱間2間に1本を引き通して、つなぎは出枘と枘穴で緊結する。長押・頭貫間の連子窓の形式は、左右の窓枠は断面方形の方立柱から窓框を1本で造り出したもので、上下の框材とは留め枘で接合し、20本の連子子を嵌め込む。連子子間の明きの広いのが特徴的である。材質は柱が楠、他は桧で、木部は朱色に彩色されて、部分的に丹土が残る。

法隆寺との比較　山田寺回廊の形式は法隆寺と非常によく似ていることに驚かされる。平面は山田寺とほぼ等しく柱間3.7m等間の単廊であるが、柱はやや高く2.7m、腰長押を低くして、窓成を高く広くとり、頭貫のやや下方に内法長押を用いる点などに、様式的な差が認められる。また、細部の技法をみると、地覆・頭貫は柱に大入れとして貫通せず、窓は内法・腰長押間に楣・窓台を入れ、方立を立て、その外に辺付をそえた形式をとり、山田寺に較べて非常に古風な手法を用いている。礎石は凝灰岩切石の方形で、山田寺の花崗岩から造り出した華麗な蓮華座を伴う礎石や、浮き彫り彫刻を施した金堂の基壇石などに較べると、細部的に著しい差がある。法隆寺は山田寺と様式的に同一系統にあるとはいえ、山田寺が当時の最先端の技術を採り入れ、財力をかたむけた華麗な建築とすれば、法隆寺は古風の技法に則り簡素をむねとした建築とすべきであろうか。

飛鳥様式と白鳳様式　両寺の建立年代は、山田寺が7世紀中頃、法隆寺が天智9年(670年）火災後、和銅年間にかけて再建されたものであるから、少なくとも両寺の年代と様式の関係は逆転している。つまり、今まで法隆寺をもって飛鳥時代の様式を継承するものとする認識を再確認するとともに、飛鳥様式は、すでに7世紀中頃の段階で技術的に相当進歩していたことも明らかとなったのである。朝鮮半島を経由した飛鳥文化の華やかなうちに山田寺は造営されたが、一方では、紀元600年以後に遣隋使、630年以後には遣唐使が遣わされて、中国大陸から直接に新たな文化の洗礼を受けつつあった。蘇我宗家に次ぐ実力者の氏寺として、伝統の飛鳥様式に則りつつも、細部手法に大陸伝来の最新技術を導入したことは想像に難くはないが、7世紀の後半に入ると唐様式を全面的に採用した寺院建立がはじまった。天智創建の川原寺、大官大寺、本薬師寺などの官寺をはじめとして、全国的な拡がりをもって普及して白鳳文化の華を咲かせたのである。法隆寺再建にあたり、時代の潮流に逆らってまで、頑に古風な様式技法を保持しつつも、垂木断面を円形から方形に、垂木配付けを扇形から並行に改め、それに伴い、金堂の柱配置を山田寺に較べて整備している点などは、この新様式の影響と認めて良いであろう。山田寺回廊の発見は、約1000年もの眠りから蘇って、われわれに語りかけることの歴史的意義の深さは筆舌に尽くし難く、今後の発見部材の詳細な調査検討と、万全の保存処置を講じる必要性を痛感している。

おわりに　石器時代から古代、中世にいたるわが国の文化は、常に半島を経由して北方、大陸あるいは南方の文化を摂取しつつ変容し、独自の文化を育んできたことを、建築を通して改めて強く感じるのであるが、さらにつきつめると、中央文化の地方への伝播の過程で、伝統色豊かな地方性に吸収されて、多様性を発揮するところに、日本文化の本質が隠されているように思う。

（みやもと　ちょうじろう　奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部遺構調査室長）

設備の頁

102

視聴覚教室の設備(その2)

本吉　知司

2．AV機器を主体とした教室

光学的な画像を扱うよりも、電気信号に変換して取り扱う方が簡単である点から、ＡＶ機器を利用した視聴覚教室が採用されてきた。これは主としてテレビジョン受像機(モニター含む以下ＴＶ)およびカセットビデオテープレコーダー（以下ＶＴＲ）の発達と普及による。広義に解釈すると、教室で放送波をＴＶで共同視聴する場合も含まれるが、ここではシステム化した場合に限る。

画像の提示手段として、前述の光学機器を主体とした教室では映写機を利用したが、本システムではＴＶを利用する。ＴＶの設置方法として、個別に設置する場合と、教室に数台設置し、共同で視聴する場合がある。また最近では投写形のテレビプロジェクターを利用し、光学機器と同等に扱う場合も見られるようになった。しかし一般的には通常のＴＶを利用する場合が多い。光学設備とＡＶ機器を利用した設備の相違は、素材または教材の取り扱い、およびグループ別、個人別の対応の容易さの点にある。ＡＶ機器で扱う素材は、一般につぎのようなものがある。

- 印刷物……提示卓を利用してテレビ信号に変換
- フィルム…テレシネ装置を利用してテレビ信号に変換
- ＶＴＲテープ…ＶＴＲにて再生
- 放送波……ＴＶにて直接受信またはチューナの利用

本教室では、提示卓、ＶＴＲ、チューナを主体として上記素材を目的に応じて利用している。提示卓は提示面に置かれた図表をテレビカメラで撮像し、テレビ信号に変換するのみならず、提示面を半透明スクリーンにて構成し、映写機器と組み合わせて、簡易テレシネ装置としても使用できるように工夫されたものもある。提示卓を利用すれば、たとえば教科書の重要な部分をクローズアップして指示することも可能であり、教室の照明についても光学設備のごとき制約はなくなる。ただ生徒側の視線が各ＴＶに向かう点が黒板による授業と異なる。

3．LL教室

語学教育の要請から出発したＬＬ設備は、視聴覚教室の代表的な設備として広く採用されている。

ＬＬ設備は大きく、マスター設備（教師側の設備）およびブース設備（生徒側の設備）に分けられる。マスター設備はマスターコンソレットを中心として、種々の機能を追加する付加的な機器より構成される。ＬＬマスター設備の機能として、

①マスターから各ブースへの指示
②各ブースの状況モニター
③マスターと特定のブース（個別またはグループ別)との会話
④外部プログラムのブースへの送出
⑤特定のブースの音声を各ブースに流す

等があり、その他ブース側のグループ討論、ペアレッスンの機能、ブース側テープレコーダーの制御、ＧＴ機能の追加等付加的なものがある。とくに外部プログラムとして、レコードプレヤー、テープレコーダー等を利用することが多く、卓の配置が教室の使いやすさを決定する一つの要素となる。

教室の配置としては、マスター設備を教室内に設置する場合、教室の前面または背面に、または教室と区切って調整室を設け設置する場合があり、それぞれの状況に応じて使い分けられている。

ブース側設備としては、ブーステープテレコーダーを設置する場合と、通話パネルを使用する簡易形と二つの場合がある。ブーステープレコーダーは通常のテープレコーダーと異なり、２チャンネル別々に録音・再生できる方式が採用され、教材チャンネルと練習用のチャンネルをそれぞれ独立して録音・再生できる。また独特の機能としてマスターから送出される複数の番組を選択する機能、一つの文章を自動的に繰り返す機能等ＬＬ学習の効果を上げる機能が追加されている。(つづく)

(もとよし　さとし
東京芝浦電気株式会社小向工場放送機設計部)

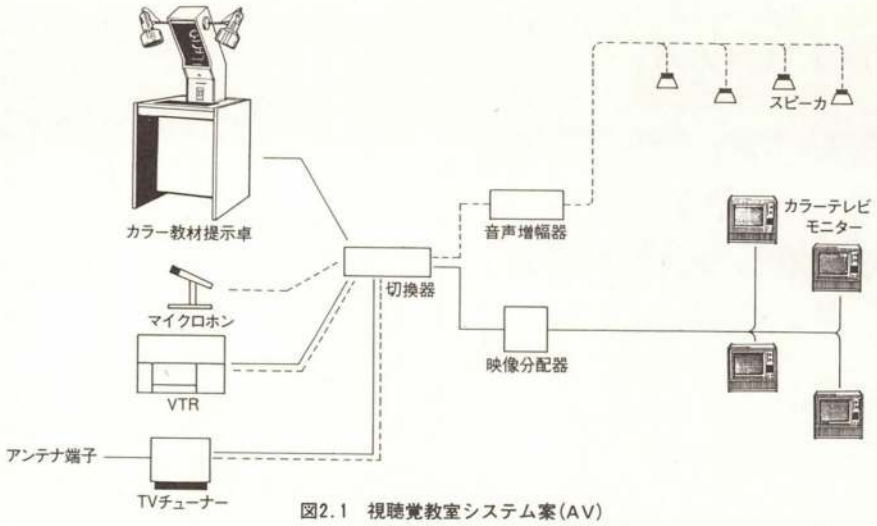


図2.1　視聴覚教室システム案(AV)



写真2.1 教材提示卓(標準形)



写真2.2　教材提示卓の例



写真3.1　LL設備(AV機器を併用)

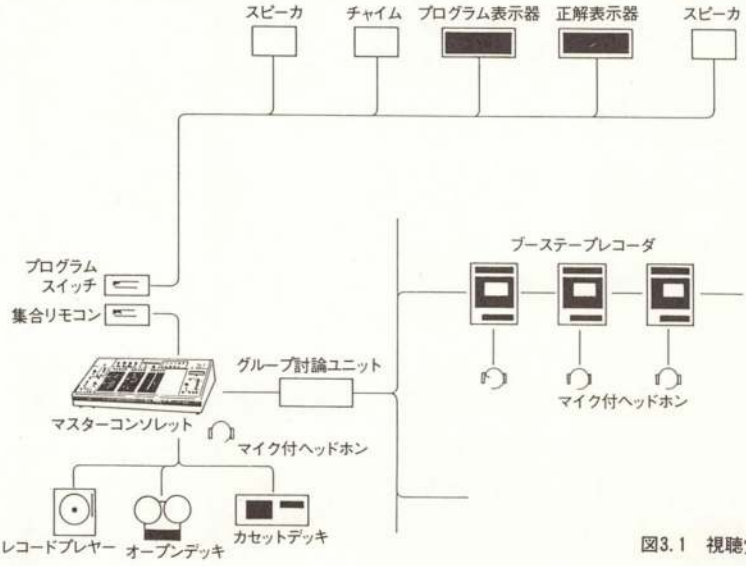


図3.1　視聴覚教室システム案(LL)

施工材料の頁

101 超大型油圧式破壊機による岩盤破砕

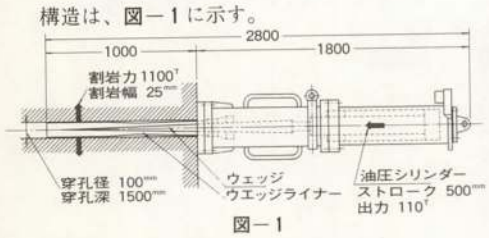
小川　弘

従来、造成基礎工事において岩盤の破砕は、火薬または類似品による爆破、あるいは大型ブレーカーの打撃による破砕等が主体であるが、近年、無騒音、無振動、安全性が強く要望され、作業が制約されるケースが多い。

非爆性工法として、珪酸塩を主体とする、無機化合物を主成分とした膨張性破砕剤（小野田セメント／ブライスター、住友セメント／Sマイト、日本セメント／カームマイト、吉沢石灰／スプリッター等）による方法があるが、これに対し、作業性、経済性ともにすぐれた、画期的なシステムとして開発したのが、超大型油圧式破壊機ＨＲＢ—1000ビッガーである。

1．構造と割岩力

構造は、図—1に示す。



図—1

割岩力は、下記のように求める。

(1)　シリンダー押力：Fを求めると、

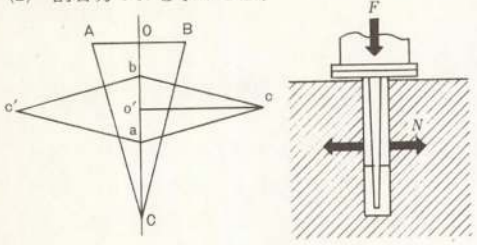
シリンダー内径　20cm

油圧　350kg/cm²

$F=\pi\times(\frac{20}{2})^2\times350=110000(\mathrm{kg})=110(\mathrm{t})$

ゆえにシリンダー押力は110トンとなる。

(2)　割岩力：Nを求めると、



図—2

図—2より押力：Fは$\overline{ab}$に相当し、bc′とbcの力に分解して考え、また、割岩力：Nはo′cに相当する。ここで、△ABCと△abcは相似で、$\frac{OC}{AB}=\frac{o'c}{ab}$

より $o'c=ab\times\frac{OC}{AB}=F\times\frac{OC}{AB}$

ところで、$\frac{OC}{AB}=20.0$で$N=o'c=110\times20.0=2200$

ゆえに割岩力は2200トンとなる。

(3)　ウエッジとウエッジライナーおよび、パッキンによる摩擦、またシリンダーの背圧等の能力低下を見込んだ場合、実質的割岩力は、標準1100トンとしている。

2．作業手順

(1)　油圧または、空圧式クローラードリルにより、口径100㎜、孔長1.5mの穿孔をする。（写真—1）

(2)　穿孔した孔へ、ビッガーのくさび（ウエッジ、ウエッジライナー）を挿入し、350kg/cm²の油圧を加え、左右へ開き割岩し、一次破砕をする。(クラック発生)（写真—2、3）

(3)　クラックが生じた個所をリッパーで二次破砕（起才）する。（写真—4）



写真—1



写真—2



写真—3



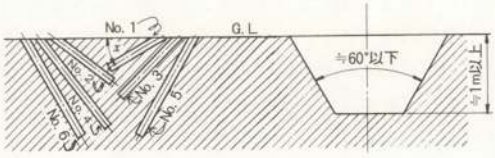
写真—4

3．作業方法

(1)　十分な自由面の確保

とくに地山を起才する場合、まず大切なことは、自由面（逃げになる側面）を確保することである。自由面のないときは、初めに自由面を作る。方法として、ある直線上にＶ型のみぞを作る要領で行う。

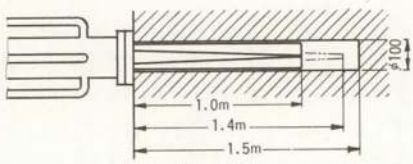
図—3のようにまず、GLとの角度x(30°くらい)をもったNo.1の孔をあけ、ビッガーで起才する。つぎにxより少し大きい角度をもったNo.2の孔をあけ、同様に起才し、最後に、みぞの角度が60°以下、孔の深さ1.0m以上になるような、できるだけ垂直に近い、高さの高い自由面を作る。



図—3

(2)　割岩用孔の寸法

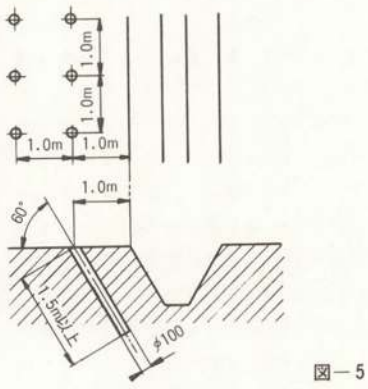
ビッガーのくさび(ウエッジ、ウエッジライナー)の寸法が95㎜×1.0mで、ウエッジを押し出したときの長さが1.4mである。したがって、口径100㎜、孔長1.5m以上が必要である。孔が浅い、曲がっている、100㎜以下の小口径である等の場合は、ウエッジ、ウエッジライナーの折損の原因となるので注意を要する。（図—4）



図—4

(3)　割岩孔の向き、角度、ピッチ

孔の向きは、孔尻が、自由面に近づくように穿孔する。角度およびピッチは、岩質により異なるが、花崗岩の場合を一例として、図—5に示す。



図—5

4．高圧、油圧の確保

通常、取付台車は、パワーショベルを利用するが、350kg/cm²の油圧は取り出せない。

この場合、パワーショベルの一次圧を利用し、専用油圧ユニットを組み込み、二次圧を350kg/cm²とするか、あるいは増圧器を、中間回路に組み込む方法がある。

（おがわ　ひろむ　株式会社山本鉄工所東城営業所長）

日本建築協会

月間の動き

昭和58年1月分

理　事　会

19日　4時～5時　於建設交流館
出席者　福田会長ほか21名
議事　(1)通常総会開催に関する件
(2)表彰候補者推せんの件
(3)電子計算機利用シンポジウム後援の件
(4)創立66周年記念日の件
(5)昭和58年度役員に関する件
(6)入退会者承認の件
(7)報告事項

事　業　委　員　会

広報研修分科会
10日　6時～10時10分　於本会会議室
出席者　原見副委員長ほか4名
議事　「マイコンの建築への利用状況アンケート」集計報告と研修会企画の件

若い会員の集い小委員会
11日　6時～9時　於本会集会室
出席者　山形副委員長ほか9名
議事　(1)前回の事業委員会の報告
(2)第5回企画「逆瀬台の家を訪ねる」の実施報告
(3)第6回以降の企画
(4)事業委員会懇親会(第2回)の企画
(5)その他

広報小委員会
12日　6時～8時40分　於本会会議室
出席者　原見副委員長ほか7名
議事　(1)前回の事業委員会の報告
(2)第54回展示写真実施報告
(3)第55回以降の展示写真
(4)本年度の研修会の企画
(5)その他(次年度の委員選出の件、他)

見学会小委員会
17日　6時～7時半　於なだ万新大ビル店
出席者　上出副委員長ほか7名
議事　(1)前回の事業委員会の報告
(2)11月、12月の見学会実施報告
(3)58年1月、2月の企画
(4)3月の企画
(5)次年度の企画(4月以降)並びに委員選出
(6)次年度の年間企画並びに予算
(7)その他
終わって新年懇親会を開催。

委員会
21日　0時半～2時　於本会集会室
出席者　西村副委員長ほか3名
議事　(1)各小委員会の事業報告および事業企画
(2)次年度事業委員の編成
(3)その他(次年度年間企画案並びに予算)

研修分科会講師打合会
25日　6時～10時10分　於本会会議室
出席者　講　師：荒井清氏、奥山工氏
委員会：原見副委員長、奥村・北岡両幹事ほか2名
議事　「マイコンの建築への利用研修会(仮称)」の企画について

編　集　委　員　会

委員会
12日　4時～6時半　於本会集会室
出席者　横山委員長ほか5名
議事　(1)2月号「マイコンの建築への利用」特集経過報告
(2)3月号「多様化する運動施設」特集経過報告
(3)4月号「建築と品質管理」特集経過報告
(4)5月号「グラフィック・プレゼンテーションの技法」(仮称)特集報告
(5)6月号「大阪ターミナルビル」(仮称)特集の企画
(6)7月号設備特集の企画
(7)特別企画・東海地方特集の企画
(8)委員の交代について
(9)作品作風掲載の状況
(10)昭和57年度収支状況報告

投稿欄小委員会
17日　4時～7時半　於本会会議室
出席者　羽生副委員長ほか3名
議事　"シリーズもの""読者の頁"そのほかの企画

作品作風小委員会
19日　4時～7時半　於本会会議室
出席者　小野副委員長ほか4名
議事　新建築調査表の選定、その他

5月号「合意形成とプレゼンテーション」特集第2回編集幹事会
20日　4時～7時　於本会会議室
出席者　田中直・宮口・手嶋各委員
議事　「計画におけるコミュニケーションとプレゼンテーション」特集のテーマと執筆者の選定

第2回設備分科会
25日　6時～8時　於本会会議室
出席者　澤柳幹事ほか4名
議事　(1)7月号設備特集の企画(特集テーマの選定と方向)
(2)「設備の頁」の企画
(3)委員の交代について

広告企画小委員会
26日　4時～6時　於本会会議室
出席者　横山委員長、渡辺副委員長ほか5名
議事　(1)2月号「マイコンの建築への利用」特集広告収入報告
(2)3月号「多様化する運動施設」特集広告途中経過報告
(3)4月号「建築と品質管理」特集報告
(4)作品作風関係報告、そのほか

構造分科会
27日　4時～6時　於本会集会室
出席者　観音幹事ほか4名
議事　(1)「建築と社会」8月号構造特集の企画(特集テーマの選定とその企画)
(2)「構造の頁」の企画(8月号以降)
(3)委員の交代の件

出　版　委　員　会

18日　4時～5時半　於本会集会室
出席者　小林委員長ほか4名、学芸出版社・吉田
議事　(1)「建築技術選書」経過報告とさいそく
(2)新しい企画

教　育　委　員　会

19日　6時～8時半　於本会集会室
出席者　多胡委員長ほか11名
議事　(1)本年度建築工事実務講習会(第38回)実施報告
(2)同上地方開催(広島)について
(3)建築技術選書講座・第11回実施報告
(4)本年度工高生デザインコンクール(第28回)実施報告
(5)次年度の教育委員の編成について
(6)次年度年間企画案並びに予算について
(7)その他(建築工事実務講習会テキスト原稿料について)

建　材　委　員　会

20日　4時～5時半　於本会集会室
出席者　牧田委員長ほか11名
材料説明：ゴーエススラリー
説明者：ゴーエス産業㈱、恒和化学工業㈱
議事　今後のメインテーマと新建材紹介コーナー

表彰候補者推薦委員会

13日　0時～1時半　於本会会議室
出席者　錦田委員長ほか3名
議事　各種表彰の受賞候補者選定について

見　学　会

灘の清酒・白鹿の「白鹿記念酒造博物館」を訪ねる
29日　1時～5時　於西宮・辰馬本家酒造
参加者　37名
説明者　南野武衛氏(記念博物館事業部長)
主な見学先
・記念館(設計施工　大林組)
・喜十郎邸、帳場、酒蔵


たつみ蔵休憩所

建　築　ク　ラ　ブ

新年宴会
11日　6時～7時半　於大阪グランドホテル
出席者　85名

役員会
28日　2時～3時半　於本会会議室
出席者　塚本代表ほか7名
議事　(1)2月のスピーカー事後承認の件
(2)3月以降のスピーカーについて
(3)会場のテーブル配置について
(4)役員の半数改選について

1月の入会者　(敬称略)

〔団体会員2社〕
ハードグラス工業㈱
㈱日本セメント防水剤製造所

〔個人会員9名〕

赤井　悦夫	内村　俊一	小原陽二郎
笠井　修	菅野　智子	福井　清
千原　政明	丸尾　勝彦	山本　良介

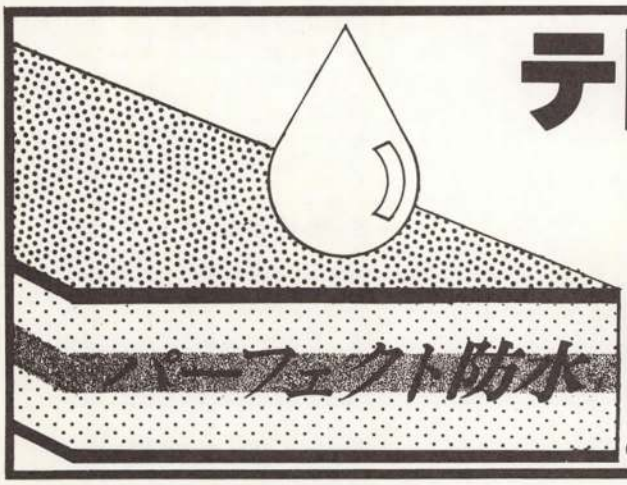
室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市中央区北長狭通4丁目2番4号(英和ビル)
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区西天満2丁目6番8号(堂ビル5階)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市東灘区御影石町4丁目(電話811-3610)

テトカッパー防水層



防水専業の研究・経験から生れたすくない資源のパーフェクトな防水層です。
この防水層は(一層防水)施工するだけで、防水は完璧です。
温度変化に伸びがなく、柔軟性に富み、耐酸、耐薬品性に優れ、腐蝕しません。

カッパー防水帯　コーバータイト　オクロン防水帯　新工法　プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

本社　東京都中央区銀座8—4—9　電話03 (571) 2703
大阪事務所　大阪市淀川区東三国6—1—41　電話06 (391)1081-2
埼玉営業所　埼玉県桶川市東1—3—30　電話0487(74)2845-6
厚木出張所　神奈川県厚木市金田259　電話0462 (21) 1761
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話052 (811) 3660
九州出張所　佐賀県佐賀郡諸富町大字諸富津450　電話0952 (47) 2945

発明賞に輝く各種特許235件所有

特許　鈴木シャッター

65年の歴史最高の技術最大の生産

防煙火・防災・防盗

鈴木式防煙火シャッター・リンググリル®シャッター・
ステンレスシャッター・アルミニュームシャッター・
40・ピーアップ®シャッター・汎用シャッター
その他特殊シャッターの製造
アフターサービスの完璧

鈴木シャッター販売株式会社

大阪市北区茶屋町5番2号　電話大阪(06市外局番)371代表4151-6
北陸営業所　金沢市長田町119番地　電話金沢(0762市外局番)65-5135-6
神戸営業所　神戸市長田区大橋8-4-7　電話神戸(078市外局番)611-7971 631-2021

防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

豊かな経験
最新の技術

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社

本社：大阪市東区両替町1—12 日生ビル　☎ (943)6571代表
東京・横浜・盛岡・仙台・水戸・静岡・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・神戸・広島・高松・福岡他全国主要都市

空気調和・給排水・衛生・防災設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話（434）6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302）2271(代)
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話（352）1131（代）
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町1-35-8　電話（667）3431（大代）
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

空調・衛生
防災・汚水処理 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区角田町2番15号 電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4944(代)
神戸市中央区下山手通6-2-8 電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

取締役社長　齋藤博

本　社　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03—344—1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06—363—1371
支　店　仙台市中央2丁目10番12号　電話0222—61—3002
名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号　電話052—581—8571
広島市中区紙屋町1丁目2番22号　電話0822—47—4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092—761—3795
出張所　青森・秋田・宇都宮・横浜・福井・京都・神戸・松江・高松・下関・沖縄

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

本　店　大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 〒550 電話(441)8231
本　社　東京都中央区銀座2丁目2番17号 〒104 電話(535)5251
支　社　大阪・東京・名古屋
支　店　札幌・仙台・金沢・広島・福岡
営業所　新潟・天理・岡山・高松・熊本
出張所　帯広・青森・秋田・盛岡・前橋・千葉・横浜・静岡
富山・福井・豊田・京都・神戸・徳山・鹿児島・那覇
海外支店　シンガポール

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む——

株式会社精研

本　社　大阪市南区瓦屋町2丁目11番16号(オートセンタービル2階)
郵便番号542　電話 大阪(06) 768—5031番
メンテナンス部　大阪市大淀区豊崎4丁目5番21号
郵便番号531　電話 大阪(06) 374—2455番
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル8階)
郵便番号102　電話 東京(03) 262—3241～4番

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備　■その他管工事一切の設計・施工

斎久工業株式会社

本　社　東京都千代田区大手町2-6-2（日本ビル）
電話 03-(270)-7411(代)
大阪支社　大阪市北区中之島4-2-38　電話 06-(443)5041(代)
支　店　札幌・岡山
営業所　仙台・千葉・横浜・名古屋・金沢・四国・広島・福岡
出張所　福井・倉敷・松山・宇都宮・静岡・苫小牧

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜1丁目2番6号（新大ビル）
電話（06）344—6031（代）
本　社　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話（03）279—5671（大代）
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業株式会社

取締役社長　玉置純治郎
取締役支店長　杉浦敏郎
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国・シンガポール
営業所　横浜・静岡・豊田・岡山・金沢・新潟・香港

cleanair
一年中 秋のすがすがしさ！

創業1901
須賀工業株式会社
大阪市西区土佐堀1丁目2番30号 TEL.06-441-5171(大代表) 〒550

FUTABAYA DECORATORS,LTD



建築物船舶等造作工事、家具建具・室内装備工事
内外装飾織物・窓掛敷物壁紙類一式/設計施工

二葉屋装備工業株式会社

（創業大正7年）

大阪府摂津市東別府3丁目7番8号
電話 大阪（06）349—9193代表
大阪府知事建築業者許可(般—48)第12064号

商品は空気です。

熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備
公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京支店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03－344－1851(大代)　大阪支店☎06－4[illegible]－5851(代)
名古屋支店☎052－211－1535(代)　九州支店☎092－431－2147　営業所：札幌・仙台・横浜・京都
神戸・広島　出張所：新潟・金沢・大宮・静岡・豊田・岡山・松山・熊本・鹿児島・沖縄・バンコク

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津6丁目8番4号　**電話大阪(458)3531番**
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工

第一工業株式会社
大阪支店

大阪支店　〒530　大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話　06－364－6661(代表)
本　社　〒100　東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話　03－211－8511(代表)

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681)5101～5・夜間専用(691)1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352－3501(代)
三重支店　津市栄町2－111　電話(0592)26－3610(代)
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431(代)
滋賀営業所　大津市中央2丁目4-28　電話(0775)22－9738(代)
名古屋営業所　名古屋市中村区則武1－23　電話(052)452－3701(代)

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田1丁目4-8(北阪急ビル9階)
電話　大阪(372)2511　(代表)
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

Carrier
冷暖房はCARRIER キャリア
東洋キャリア工業(株)デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話大阪(384)1201～7

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区靭本町3－1－27　TEL(443)8071
本　社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562)1351
支　店　名古屋・福岡

営業種目
空気調和・衛生設備工事・設計・施工

平山工業株式会社

大阪市西区江戸堀1丁目22番7号
☎06－441－1994・443－0331

空気調和・衛生設備　設計・施工　大阪ガス指定工事会社
ガス設備・ガス住宅設備　大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本社　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846
ガス工事事業部　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846
大阪ガス枚方工営所　枚方市甲斐田東町9番3号　電話0720－49－2128
設備部　大阪市北区西天満5-11-12　電話 06－313－1846

空気調和設備・給排水衛生設備・上下水道施設
環境衛生施設・公害防止施設／設計・施工・監理

山田工業株式会社

本　社　大阪市西区京町堀1－6－8　電話 06(443)8161(大代表)
(環境装置事業部専用)　電話 06(447)0831　(代表)
分析センター　大阪市淀川区三津屋南1-1-35　電話 06(308)1491
支　店　東京・名古屋・福岡
営業所　京都・神戸・姫路・広島・高松・松山

飛鳥野瓦(意匠登録549771号)
渡辺式緩勾配安定瓦(実用新案登録出願中110750, 110751)　製造販売
各和洋瓦全般・カラーベスト・モニエル瓦・セキスイカワラU

創業67年　綜合施工卸
久保田鉄工・松下電工㈱・日本モニエル㈱・積水化学工業㈱・富士スレート㈱・特約代理店

瓦寅工業株式会社

本　社　大阪市生野区林寺1丁目5番14号　〒544
電話 06(715)0201代表～5番
営業所　大阪市平野区　工場　兵庫県三原郡(淡路島)

文化庁・宮内庁・各府県庁
国宝重要文化財　社寺・天理教教会本部　御用達

株式会社 瓦宇(かわらう)工業所
代表取締役　小林麻造
〒630 奈良市西新在家町17番地
電話 奈良(0742)26－2901番(代表)

電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東 京・名 古 屋・舞 鶴・京 都・天 理
大 阪 南・神 戸・広 島・四 国・九 州

電気設備 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 博 三

本 社 大阪市北区中之島3－2－4 朝日ビル TEL 大阪06 (385)1361(代)
大阪営業所 TEL 大阪06(385)1361(代) 京都営業所 TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所 TEL 東京03(574) 0 6 6 5 福岡出張所 TEL 福岡092(771) 6 1 6 8

電気工事設計施工

株式会社 三 興 社

代表取締役 坪 井 大

本 社 大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル7階)
電 話 (361) 3 6 7 1 (代)
支 店 東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電 話 (671) 1 4 7 8 (代)
出張所 川 崎・相 模 原・堺・福 山

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

大 阪 支 社

大阪支社長 横 田 幸 一

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪 (202)0325～9番
本 社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支 社 札幌・仙 台・丸 ノ 内・名 古 屋・福 岡
営業所・出張所 全国主要都市20ヶ所

総合設備工事〈設計・施行〉
建築・電気・アンテナ・送電線・プラント・計装・空調・土木

太陽工藤工事株式会社

取締役会長 小 林 四 郎
取締役社長 代 谷 正 元

本 社 大阪市福島区福島7－22－8
TEL(06)452—1151(大代)
事業所 東京・名古屋・広島・福岡

電気工事設計施工

富士電業株式会社

取締役社長 田 中 実

本 社 大阪市西区北堀江1丁目10番2号
電話 大阪 (5 3 8) 1 1 7 1代表
営業所 東 京・名 古 屋・広 島・福 岡

特殊壁装材製造販売 和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)

(株)ホクシンクロス

〒583 大阪府羽曳野市島泉8－173－1
TEL(0729)39－3610
工場 〒580 大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一 〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二 〒597 大阪府貝塚市王子501

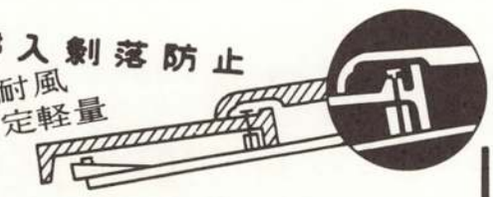
電気・計装・空調工事 設計施工

ヤマト電気エンジニアリング株式会社

取締役社長 山 本 永 造

本 社 大阪市北区西天満5丁目1番3号
TEL 06—364—3056 (代)
支 店 東京・神戸・広島・岡山
事業所 名古屋・岡山・札幌・苫小牧・浜松・滋賀
京都・高砂・三原・徳山・松山・新居浜・福岡・沖縄

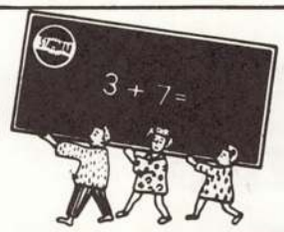
雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾最適軽量水止付(空葺)瓦

ナニワ瓦株式会社
大阪市港区弁天一丁目七四二電話(461)五〇六五



Standard Board&Slate

フタバ黒板

〒547 大阪市平野区加美北3－4－5 TEL 大阪06(792)5858(代)

奉仕感謝の店
タイル工事施工

株式会社 川岸窯業商店

本 社 大阪市西区西本町1－13—33(靱本町バス停前)
電話 大阪 06(532)代0461 ☎550
天理営業所 天理市丹波市町新町50

株式会社矢橋大理石商店

大阪支店

大阪市東区高麗橋2丁目9 野村ビル5階 電話 大阪(202)4905

白あり

木材保存のトップメーカー
サンヨー

住まいのガン細胞、しろあり公害を未然に防ぎましょう。
◉シロアリ予防・駆除・施工(10ヶ年保証付)
◉製造販売 サンプレザー（予防剤認定）
サンソイル（土壌処理剤）
PGスケヤー(加圧注入防腐木材・土台・大曳用)

山陽木材防腐株式会社
大阪営業所 〒541 大阪市東区北浜3丁目7 信愛ビル ☎06-231-6406
化成品部 〒101 東京都千代田区神田須田町1-26 芝信神田ビル ☎03-254-0831

膨張材 小野田エクスパン
防錆剤 ラスナイン
小野田セメント株式会社
本部 東京都江東区豊洲1-1-7 TEL 531-4111
大阪支店 大阪市北区梅田1-8-17 TEL 341-8331
支店 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・高松・広島・福岡

営業種目
●防水工事 塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法 各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事 各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事 シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹付工事 アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可 大阪府知事許可（般－53）第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員
大阪市北区末広町3－21
旧和地所扇町ビル201S
TEL 06(315)0701
㈱特殊技研

建設業界をアシストする
ポゾリス
■コンクリート用混和剤 ■無収縮グラウト材
■鉄筋コンクリート用防せい剤 ■工業用特殊床材
製造元 日曹マスタービルダーズ株式会社
販売元 ポゾリス物産株式会社
本社/東京都港区六本木3－16－26 ☎03-582-8811
大阪営業所/大阪市東区北浜3－7 ☎06-202-3294

デンカCSA デンカセメント
セキサンパイル(S M.AC.PC.RC)
カネライトフォーム.ALC.鋼材
建築材料一式
浜宗産業株式会社
代表取締役 濱岡 浩
本社 〒629-31 京都府竹野郡網野町字網野
TEL (07727)2－2220(代)
舞鶴営業所 〒624 舞鶴市福来160-1
TEL (0773) 76－0133(代)

省エネルギー時代の断熱用シート防水材
日立バイナリーシートP
日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。
日立電線株式會社 本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA ……コンクリートのひびわれ防止に
(膨張性混和材)
●デンカタスコン ……鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
(グラウト用無収縮材)
●デンカキューデックス ……コンクリート軀体の漏水補修に
(止水・補修用急硬セメント)
●デンカES ……地盤補強用薬液注入
(土質安定用急硬材)
●デンカΣ1000 ……コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
(製品用超高度混和材)
電気化学工業株式会社
近畿地区販売店
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）332－6861
TEL 東京（03）272－8501
光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）252－6000
小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）443－6181
株式会社 トーゴー/本社
TEL 滋賀・守山（0775）83－2381

電気・空調・衛生など各種設備分野の記事が1冊の雑誌に！

BE 建築設備 月刊

都市＋建築＋設備＋機器＋材料を総合するユニークな専門誌



～充実した実務家のための内容～

■視点・随筆　業界，学会，社会，文化について，学識経験者の見解を発表
■新建築・新設備　注目すべき建物の建築と設備を紹介
■特　集　業界，社会のニーズにこたえる諸テーマをとらえて，必要知識を紹介
■講　座　建築，建築設備，機器，材料に関連し実務上必要とする基礎知識を連載
■特別講座　業界，社会のニーズにこたえ，時代的テーマに関し実務上必要とする知識を連載
■ニュース　国内・海外ニュース，機器・文献ニュース
■会社だより，研究所だより　その他

雑誌B5判・100頁・定価1000円——申込次第見本送付

社団法人　建築設備綜合協会　〒104 東京都中央区銀座1-6-10(皆川ビル) ☎03(535)6690・(561)1765

● 出版案内——好評発売中 ●



建築 設備読本
Ⅰ 給排水衛生設備篇　井上 博 著

建築の設計者や現場マンを対象に、建築技術者としてこれだけは知っておきたい設備の93項目について、自筆の挿図と写真を豊富に使用しながらわかりやすく説き進めたもので、新入社員の教育と中堅社員の知識の整理に最適の書。

B5・171頁　定価3,200円・送料300円

配筋読本
井上 博・北小路宏 共著

本書は、あくまでも「納りやすく施工しやすい配筋」を旨として、基礎からスラブ、壁と順を追って配筋方法を示すとともに、また配筋検査のときに見られる欠陥について、その正しい手直し方法を優先順位をつけて解説した実用書。



B5・162頁　定価3,200円・送料300円



増補 溶接読本
井上 博 著

建築設計の実務に携わる著者が、過去の貴重な体験をもとに、主として親しみやすさと読みやすさに重点をおいて執筆した溶接の入門書。建築の溶接にさいして常時出てくる専門用語の解説という形式をとっているのも本書の特色。

B5・149頁　定価3,000円・送料300円

建築の接着工法
西 忠雄 監修

接着工法はいまや建築工事の広い範囲にまたがって利用されております。設計・施工に必要な接着工法の決定版として、建築設計者、施工管理にたずさわる現場技術者、その他の方々に役立つ接着工法の参考書。座右に備えてご活用下さい。



B5・430頁　定価3,000円・送料400円

全国書店毎月18日一斉発売！

月刊 建築技術
建設省建築研究所 監修

No.380　4月号予定目次　定価￥1,000

美しい大阪のまちをめざして Ⅰ.
—都市景観整備のあゆみ……岡田 信幸
中規模建物の移動工事……横山 保則

●中空スラブを利用した集合住宅の設計施工例……松本 隆ほか
●無線塔の耐震診断方法……今野知則ほか
●研究施設の計画と設計 9.無菌室……浜田 守ほか
●建築技術者のためのわかる電気 (9)……井上 博
●構造物の動的解析 (22)……石丸 辰治
●構造計算データシート (91)……構建設計研究所

●建築経済統計図表●フォトニュース●トピックス●建築家の良識
●読者コーナー●海外の話題●建材の動向　その他

直接購読ご希望の場合年間予約金　￥12,000 (送料共)

〒160 東京都新宿区北新宿1-8-1 中島ビル8F　建築技術　振替口座 東京0-72417番 ☎東京(363)4211(代)

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

錆びない！
われない！
燃えない！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種
- オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
- オリエンタルスーパーメタル(SPM)
- オリエンタルメタル(OPM)
- オリエンタルスチールライト(STL)
- オリエンタルサンセラム(SS)

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ホーンタイト(防音壁)・スチールシングル・其の他

※ カタログを御請求下さい


オリエンタル被覆鋼板製防音壁施工

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り3—26　松本ビル　電話大阪(06)412—5131(代)
営業本部　〒660　尼崎市長洲稲川新田44　電話大阪(06)488—1081(代)
支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷
姫路(東洋建材工業．株)
東京本社及工場　〒335　蕨市塚越5丁目6番32号　電話蕨(0484)42—3115(代)
支店及工場　東北

工期の短縮が図れる左官用高級スタッコ
地震に強い家をつくるモルタル下地合板

ロダラスカット
特殊白モルタル

左官作業の近代化を更にすすめる

スーパーローラー


一発で特殊「白モルタル」スタッコが仕上げられます。

(株)新興建材工業所
〒550 大阪市西区南堀江4丁目32—11　☎(06)538—2951

支店・営業所
東京・仙台・高槻・明石・中国・四国・九州

地震考

総合天井システム〈Jライン工法〉〈ALTS工法〉

耐震・耐火そして軽量化を誇る総合天井システム〝Jライン工法〟〝ALTS工法〟は当社独自の照明灯ユニットおよびアルミ製Tバーを建物のモジュールに配列し、天井仕上げ材と一体化したシステム天井です。空調、照明、防災機器、スピーカーなどの設備ゾーンとの組み合せ、さらに間仕切、ブラインドBOXなどの取り付けも可能にした多機能を誇っております。(PAT. 6件)

奥村重兵衛株式会社

本社　大阪市北区西天満5丁目3番7号　〒530 電話(06) 312—4131(代)
東京　東京都港区新橋4丁目2番第29森ビル　〒105 電話(03) 437—3361(代)
福岡　福岡市博多区住吉2丁目16番27号　〒812 電話(092)291—0459(代)
名古屋　名古屋市西区倹町2丁目1番6号　〒451 電話(052)522—5436(代)
仙台　仙台市本町2丁目1番8号第1広瀬ビル　〒980 電話(0222)65—6568(代)
沖縄　沖縄県那覇市壺川119番地　〒900 電話(0988)53—6850(代)

東レ ナイロンだから差



うれしい声

ベリーソフトだ
アメリカの球場にもぜひ欲しい
はね返ってきた



● 西武ライオンズ球場



● テニスコート（札幌）

ローンテニスのダイゴ味が
満喫できる





● サッカー場（東京都内）

たいへん走りやすく
ヒザに疲れがこない



「これほどの人工芝は見たことがない」と、本場の大リーガーも絶賛した西武ライオンズ球場。野球場やサッカー場用のスパック®ターフは、芝にネジリをもたせて復元力を高めています。また、いちはやく開発したテニスコート用は、ボールのバウンドするスピードを十分計算に入れた設計仕様です。プレーヤーのみなさまの使用感は、こうした商品設計の確かさを裏づけるものです。もとより、東レナイロンですから耐ヘタリ性や緑の美しさには定評あるところ。そして、用途に最適のタイプをお選びいただけるバラエティの豊かさもスパック®ターフならではのメリットなのです。

●防音材として、鉛繊維不織布を使用した「東レ防音材-FC」があります。住宅防音や一般工場・建設分野など各種にぜひお役立てください。

東レ
人工芝
スパック®ターフ
Toray 東レ株式会社
®は登録商標の表示です。

●お問い合わせは…東レ株式会社繊維資材第3課
東京都中央区日本橋室町2丁目2番地（東レビル）〒103 TEL（03）245-5422・大阪市北区中之島3丁目3番3号（三井ビル）〒530 TEL（06）445-3416

建築と社会　第64輯第3号
昭和58年3月25日発行（毎月1回25日発行）
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

アルプール　ミニプール　ソーラープール

昭和アルミプール



市立花園北小学校
（東大阪市）25×9m

自在のフォルムを描く昭和アルミプール

昭和アルミプールは、錆びず・腐らず・いつまでも美しい耐食アルミ合金で耐久性抜群。しかも、加工性にすぐれているので、どの様な設計仕様にも思いのままお応えします。

さながら育ち盛りの子供のように、伸びやかに自在のフォルムを描く昭和アルミプールは、学生・児童の心身の発達を大きく促す体育施設としてお役に立ちます。



SHOWA
昭和アルミニウム株式会社
詳しくは下記プール担当までお問い合わせください。

東京支社　東京都千代田区神田小川町2－12（進興ビル）〒101　☎(03)295-8611
大阪支店　大阪市北区小松原町2番4号（大阪富国生命ビル）〒530　☎(06)315-1286
名古屋支店 ☎(052) 582－7851　福岡支店 ☎(092) 771－6938
札　幌 ☎(011) 221－9311　仙　台 ☎(0222) 23－7733
新　潟 ☎(0252) 47－8331　静　岡 ☎(0542) 62－6106
金　沢 ☎(0762) 91－5534　高　松 ☎(0878) 45－5551
広　島 ☎(082) 246－9161

社団法人　日本建築協会　〒541　大阪市東区北浜3　37　電話大阪06(231)9648・9649・9640　振替口座大阪一三九七五番
（表紙デザイン・水野哲雄）
正会員の購読料は会費にふくめて徴収
定価七五〇円